北埋調報 300

千歳市

祝梅川上田遺跡（２）

― 道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

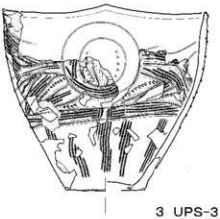
平成24年度

公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター

千歳市　祝梅川上田遺跡（２）

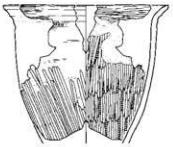
（公財）北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第300集　平成24年度

1 UPS-1



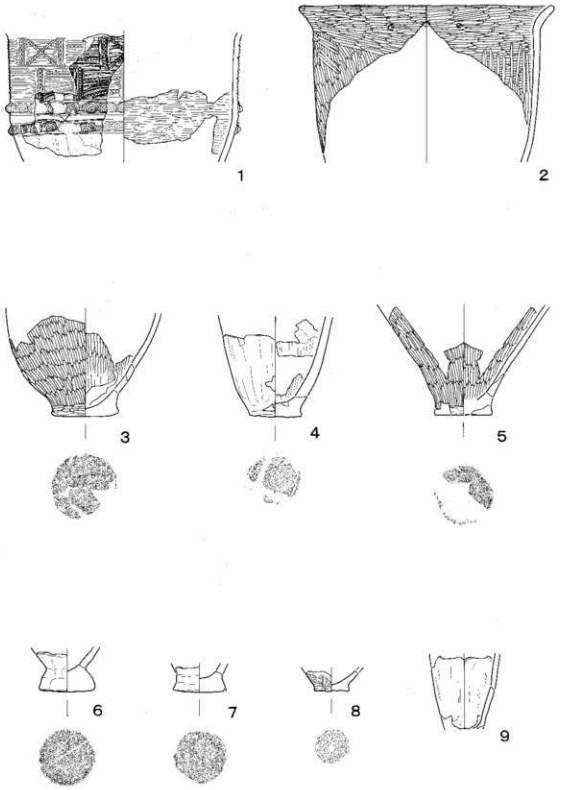
3 UPS-3

2 UPS-2

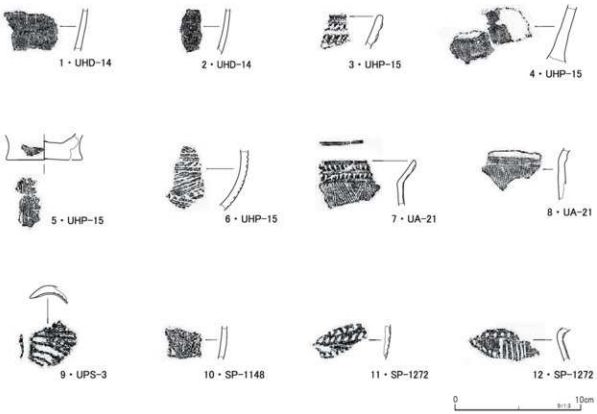


4 UHP-17

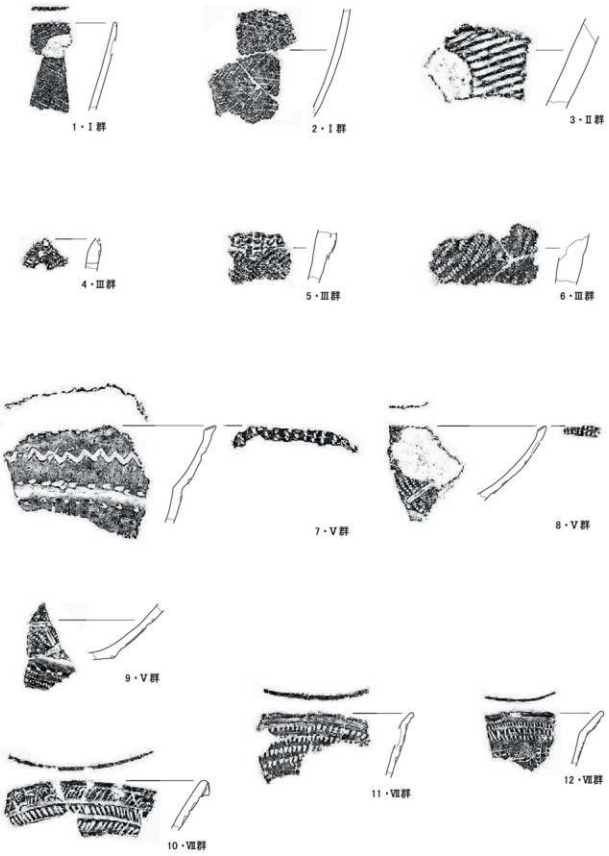
図Ⅵ－14　遺構出土復原土器



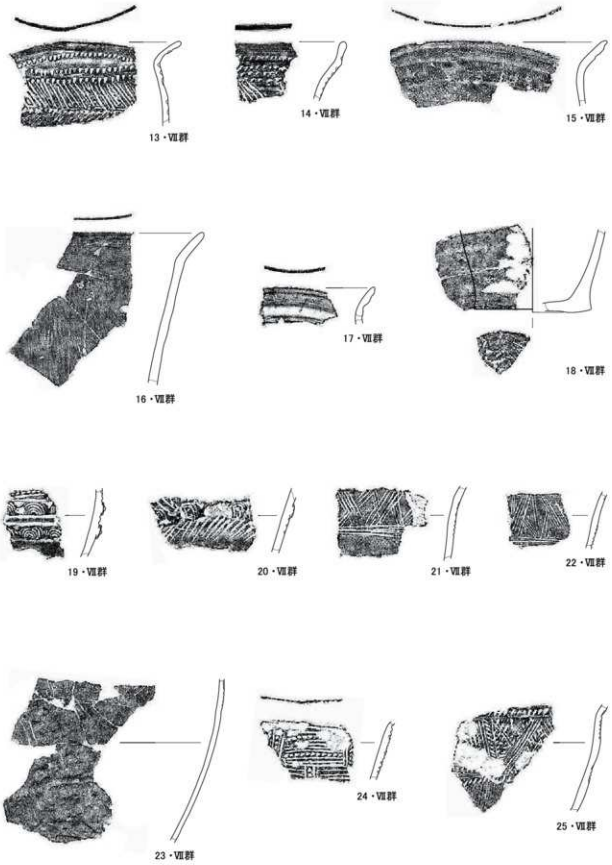
図Ⅳ－15　包含層出土復原土器



図Ⅵ-16 遺構出土破片土器

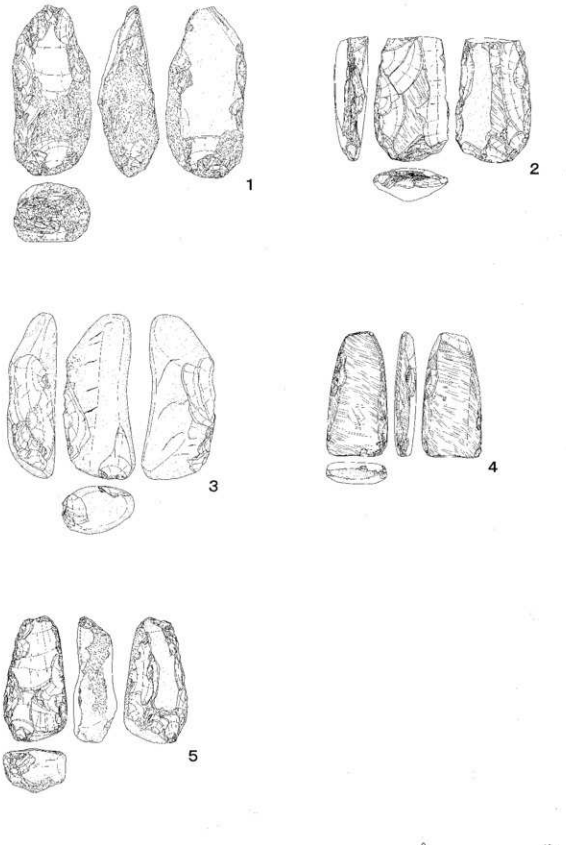


図Ⅵ-17　包含層出土破片土器(1)

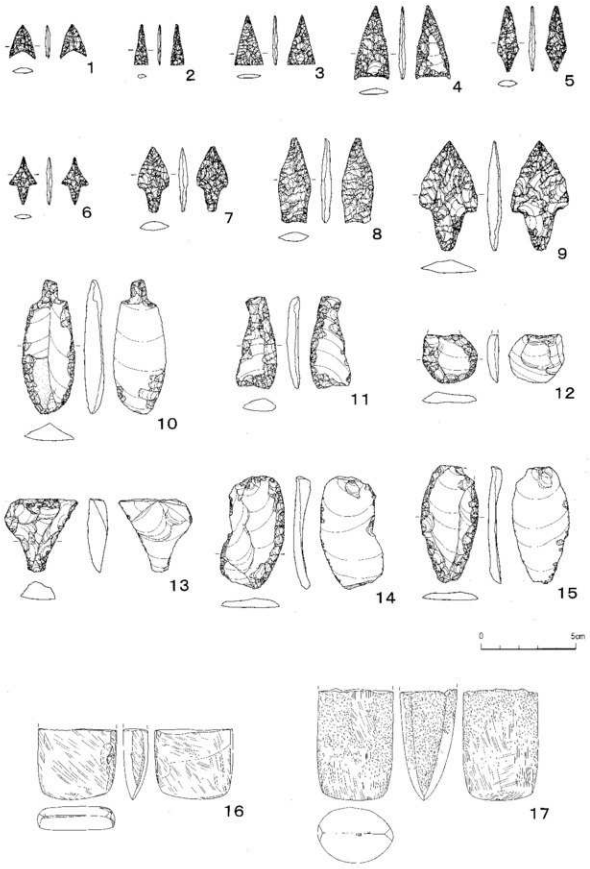


図Ⅵ-18 包含層出土破片土器(2)

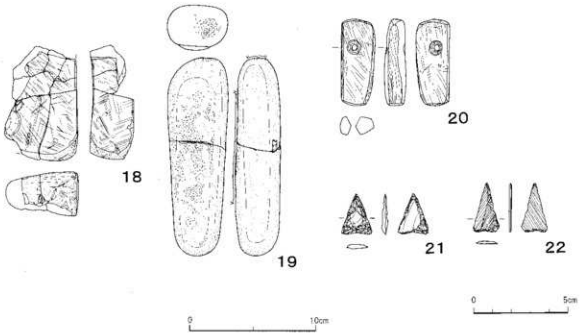
石斧集中



図Ⅵ－19　遺構出土石器



図Ⅵ－20　包含層出土石器（1）



図Ⅵ－21　包含層出土石器（2）

・礫石器（図Ⅵ－20・21　図版31）

16・17は磨製石斧で、16は刃部で研磨痕が観察され、17は厚みがあり、すべての面に敲打痕がある。18は砥石で複数の破片が接合した。19は棒状の礫の上端部と表面にたたき痕がある。

・石製品（図Ⅵ－21　図版31）

20は研磨痕と穿孔がみられ、21・22は無茎石鏃の形状に加工されたと推測する。　（末光）

表Ⅵ－10　ＵＰＳ－１出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－14	1	27	UPS－1	Ⅲ層	—	95	22.3	22.2	7.2	810	口縁～底部	壺	Ⅶ群

接合破片総点数	119	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）	G－48区・Ⅲ(1)、H－49区・Ⅲ(10)、Ⅰ－49区・Ⅲ・(12)、Ⅰ－50区・Ⅲ層(1)

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	細粒	種類	岩石・鉱物ともにあり	量	中～多量	備考	亜角礫状

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	沈線文 ヨコナデ ヨコミガキ	にぶい黄橙色 (10YR7/3)	黒色化 炭化物付着	—	口縁部 (40%)					内面
	ヨコナデ 隆帯 棒状工具 刻み	にぶい橙色 (7.5YR7/4)	黒色化 炭化物付着	補修孔 一部 剥離	口縁部～頸部 (40～80%)	ヨコナデ ヨコミガキ	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	
	棒状工具 刻み 沈線文 刺突文 タテハケ ヨコナデ 貼付断続帯	にぶい黄橙色 (10YR7/3)	黒色化 炭化物付着	一部 剥離	胴部上半 (80%)	ヨコミガキ ヨコハケ	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	
	沈線文 ヨコナデ タテミガキ	にぶい褐色 (7.5YR5/4)	黒色化 炭化物付着 赤色化？ 明赤褐色 (5YR5/6)	一部 剥離	胴部下半～底部 (80～100%)	タテミガキ	(黒褐色)	黒色化	—	
	ミガキ	(黒褐色)	黒色化	一部 剥離	底面 (100%)	ヨコミガキ	(黒褐色)	黒色化	剥離	

表Ⅵ－11　ＵＰＳ－２出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－14	2	27	UPS－2	Ⅲ層	—	41	19.2	14.6	(6.8)	570	570	口縁～胴部下位	Ⅵ群 後北A式？

接合破片総点数	41	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）	—

胎土（混和材）	繊維	—	粒径	細粒	種類	鉱物主体	量	多量	備考	—

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	ヨコミガキ	灰黄褐色 (10YR6/2)	黒色化	—	口縁部 (40%)					内面
	微隆起線文 沈線文 LR横走縄文	灰白色 (10YR8/2)	黒色化	補修孔 一部 剥離	口縁部 (40%)	ヨコミガキ	灰黄褐色 (10YR5/3)	黒色化	—	
	LR縦走縄文	にぶい黄橙色 (10YR7/3)	黒色化	一部 剥離	胴～底部 (60～40%)	ヨコミガキ	にぶい黄橙色 (10YR7/2)	黒色化	—	

表Ⅵ－12　ＵＰＳ－３出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－14	3	27	UPS－3	Ⅲ層	—	72	19.1	(21.8)	8.4	600	口縁～底部	鉢	Ⅵ群 後北C・D式

接合破片総点数	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）
76	H－35区・Ⅲ層(2)、I－35区・Ⅲ層(2)

胎土（混和材）	繊維	粒径	種類	量	備考
—	細粒	鉱物主体	多～中量	有色鉱物目立つ

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外	棒状工具刺み	褐灰色(10YR5/2)	黒色化	—	口縁部(5%)					内
	微隆起線文 沈線文 刺み 三角列点文 RL縄文	にぶい橙色(7.5YR6/4)	—	一部 剥離	口縁部(5%)	ヨコナデ	にぶい黄橙色(10YR6/4)	—	—	
	微隆起線文 沈線文 刺み 三角列点文 RL縄文	にぶい橙色(7.5YR6/4)	黒色化 炭化物付着	一部 剥離	胴部上半(70%)	ヨコナデ	灰黄褐色(10YR5/3)	黒色化	一部 剥離	
	RL縄縄文 ヨコナデ	(灰白色)～にぶい橙色(7.5YR6/4)	黒色化 炭化物付着	一部 剥離	胴部下半～底部(80%)	ヨコナデ	灰黄褐色(10YR5/3)	黒色化 炭化物付着	一部 剥離	
面	ナデ	明黄褐色(10YR5/3)	黒色化	一部 剥離	底面(100%)	ヨコナデ	灰黄褐色(10YR6/2)	—	一部 剥離	面

表Ⅵ－13　ＵＨＰ－17出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－14	4	27	UHP－17	床面直上	19	11	(14.3)	(17.4)	—	340	口縁～胴部下位	壺	Ⅶ群

接合破片総点数	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）
22	UHP-17・床面直上・16(7)・・覆土・3・14(1)、UA－21・覆土1・3(1)、N－42区・Ⅲ層(2)

胎土（混和材）	繊維	粒径	種類	量	備考
—	細粒	岩石・鉱物ともにあり	中～少量	—

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外	ヨコミガキ	(灰褐色)	黒色化	—	口縁部(10%)					内
	ヨコナデ (隆帯状の高まり)	(灰褐色)	黒色化	—	口縁部(10%)	ヨコミガキ	灰黄褐色(10YR6/2)	黒色化	—	
	ヨコナデ (沈線文状のくぼみ)	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	頸部(5%)	ミガキ	灰黄褐色(10YR4/2)	黒色化	—	
	タテハケ ナデ？	灰褐色(7.5YR4/2)	黒色化 炭化物付着	—	胴部上半(5～10%)	タテミガキ	(黒褐色)	黒色化	—	
面	タテミガキ	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	胴部下半(30%)	ヨコハケ タテミガキ	(灰褐色)	黒色化	一部 剥離	面

表Ⅵ－14　Ⅰ－24区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	1	28	Ⅰ－24区	Ⅲ層	—	8	(12.1)	—	—	520	胴部上位	甕	Ⅵ群

接合破片総点数	13	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号（点数）	G－25区・Ⅲ(4)、H－16区・Ⅰ(1)

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	中粒	種類	岩石・鉱物ともにあり	量	中～多量	備考

外面	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内面
	沈線文 刺突文 ヨコナデ タテミガキ 貼付圏帯	浅黄橙色 (10YR8/3)	黒色化	一部 剥離	胴部上位 (15%)	ヨコハケ タテハケ ヨコミガキ	にぶい黄橙色 (10YR7/4)	黒色化 炭化物付着	—	

表Ⅵ－15　E－37区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	2	28	E－37区	Ⅲ層	—	3	(15.7)	(27.0)	—	1,010	口縁～胴部中位	甕	Ⅵ群

接合破片総点数	5	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号（点数）	H－35区・Ⅲ(1)、K－34区・Ⅲ(1)

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	細粒	種類	鉱物主体？	量	微量？	備考

外面	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内面
	ヨコミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	—	—	口縁部 (30%)					
	ヨコミガキ	にぶい橙色 (7.5YR5/3)	—	補修孔 二対 35.0㎜	口縁部 (30%)	ヨコミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	黒色化	—	
	ヨコミガキ	にぶい橙色 (7.5YR5/3)	—	—	頸部 (25%)	ヨコミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	黒色化	—	
	タテミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/3)	黒色化	—	胴部中位 (20～5%)	ヨコミガキ タテミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	—	—	

表Ⅵ－16　R－20区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	3	28	R－20区	Ⅲ層	—	19	(10.7)	—	7.0	350	胴部下位～底部	甕	Ⅵ群

接合破片総点数	20	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号（点数）	K－20区・Ⅲ(1)

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	中粒	種類	岩石主体	量	多量	備考	亜円錐状のチャート

外面	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内面
	タテミガキ ヨコナデ	にぶい黄橙色 (10YR7/4)	黒色化 赤色化 にぶい赤褐色 (5YR6/4)	一部 剥離	胴部下半～底部 (70～90%)	タテミガキ	にぶい黄橙色 (10YR6/3)	黒色化	—	
	ミガキ	灰黄褐色 (10YR4/2)	黒色化	一部 剥離 若干 丸底	底面 (100%)	ナデ？	褐灰色	黒色化	—	

表Ⅵ－17　K－42区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値(cm) 器高	口径	底径	重量(g)	部位	器種	備考(分類・型式)
Ⅵ－15	4	28	K－42区	Ⅲ層	—	29	(13.5)	—	5.6	210	胴部上位～底部	甕	Ⅶ群

接合破片総点数	30	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)	J－42区・Ⅲ(1)

胎土(混和材)	繊維	微量	粒径	細粒	種類	鉱物主体?	量	微量	備考	

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	タテナデ ヨコナデ	灰白色 (10YR8/2)	炭化物付着	磨耗	胴部上半 ～底部 (25%)	タテナデ	(褐灰色)	黒色化?	一部 剥離	内面
	タテナデ ヨコナデ	浅黄橙色 (7.5YR8/6)	炭化物付着 赤色化 にぶい橙色 (5YR7/4)	磨耗 一部 剥離	胴部下半 ～底部 (40～100%)	ナデ	(褐灰色)	黒色化?	—	
	ナデ	(褐灰色)	黒色化 炭化部付着	磨耗 一部 剥離	底面 (100%)	ナデ?	(褐灰色)	黒色化?	一部 剥離	

表Ⅵ－18　J－44区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値(cm) 器高	口径	底径	重量(g)	部位	器種	備考(分類・型式)
Ⅵ－15	5	29	J－44区	Ⅲ層	—	7	(11.4)	—	6.1	240	胴部下位～底面	甕	Ⅶ群

接合破片総点数	8	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)	J－45区・Ⅲ(1)

胎土(混和材)	繊維	無	粒径	細粒	種類	鉱物主体	量	中量	備考	—

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	タテミガキ ヨコナデ	にぶい黄橙色 (10YR8/4)	炭化物付着	—	胴部下半 ～底部 (40%)	タテミガキ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	黒色化 炭化物付着	—	内面
	ナデ? 粟圧痕	浅黄橙色 (10YR8/3)	—	一部 剥離	底面 (80%)	—	—	—	剥離	

表Ⅵ－19　N－30区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値(cm) 器高	口径	底径	重量(g)	部位	器種	備考(分類・型式)
Ⅵ－15	6	28	N－30区	Ⅲ層	—	3	(4.2)	—	5.9	95.6	胴部下位～底部	甕(小型)	Ⅶ群

接合破片総点数	3	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)	—

胎土(混和材)	繊維	無	粒径	細粒	種類	鉱物主体	量	少～中量	備考	海綿骨針

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	ヨコナデ 指頭圧痕	橙色 (5YR6/6)	—	—	胴部下半 ～底部 (40～100%)	ナデ	にぶい橙色 (10YR7/4)	黒色化 炭化物付着	—	内面
	ヨコナデ	にぶい橙色 (7.5YR6/4)	黒色化	—	底面 (100%)	—	(褐灰色)	—	—	

表Ⅵ－20　Ⅰ－21区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	7	28	Ⅰ－21区	Ⅲ層	—	1	(2.7)	—	5.7	75.7	底部	甕（小型）	Ⅵ群

接合破片総点数	1	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）	—

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	中～粗粒	種類	岩石・鉱物ともにあり	量	中～多量	備考	

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	タテナデ ヨコナデ	浅黄橙色 (10YR8/4)	—	—	底部 (100%)					内面
	筋状の痕跡	にぶい黄橙色 (10YR6/3)	炭化物付着	—	底面 (100%)	ナデ	灰白色 (10YR8/2)	炭化物付着	—	

表Ⅵ－21　Q－52区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	8	28	Q－52区	Ⅲ層	—	1	(2.15)	—	3.7	31.4	胴部下位～底面	甕（小型）	Ⅵ群

接合破片総点数	1	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）	—

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	中～粗粒	種類	岩石主体	量	多量	備考	亜円礫状のチャート

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	タテナデ	にぶい黄橙色 (10YR7/4)	—	—	胴部下位～底部 (50%)	ヨコナデ	橙色 (7.5YR7/6)	—	—	内面
	筋状の痕跡 不明な圧痕	にぶい黄橙色 (10YR7/3)	—	—	底面 (100%)	ヨコナデ	橙色 (7.5YR7/6)	—	—	

表Ⅵ－22　S－38区出土復原土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値（cm） 器高	口径	底径	重量（g）	部位	器種	備考（分類・型式）
Ⅵ－15	9	29	S－38区	Ⅴ層	—	8	(7.7)	—	—	80.3	胴部上位～下位	甕（小型）	Ⅵ群

接合破片総点数	8	接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号（点数）	—

胎土（混和材）	繊維	無	粒径	細粒	種類	岩石・鉱物ともにあり	量	多量	備考	

	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部位（残存率）	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
外面	ナデ？ ヨコナデ？	浅黄橙色 (10YR8/3)	—	—	胴部上位 (60%)	ナデ 指頭圧痕	浅黄橙色 (10YR8/3)	黒色化	—	内面
	ナデ 指頭圧痕	浅黄橙色 (10YR8/3) ～(褐灰色)	黒色化	—	胴部下位 (60%)	ナデ 指頭圧痕	(褐灰色)	黒色化	—	

表Ⅵ－23　遺構出土破片土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片数 小計	破片数 合計	破片部位	重量(g)	器種	分類	備考(型式)
胎土(混和材)				文様・調整				色調			使用の痕跡	
繊維	粒径	種類		外面	内面	(部位)		外面	内面		外面	内面
Ⅵ－16	1	29	UHD－14	民土面	29	1	胴部	8.4	甕	VIIIB		
無	細粒	岩石・鉱物ともにあり		タテミガキ	タテミガキ	—		浅黄橙～灰黄褐色(10YR6/3～10YR6/2)	灰白色(10YR8/2)		黒色化？	黒色化？
Ⅵ－16	2	29	UHD－14	面層	17	1	胴部	3.0	甕	VIIIB		
無	細粒	鉱物主体		タテミガキ	タテミガキ	—		灰黄褐色(10YR4/2)	(黒褐色)		黒色化	黒色化
Ⅵ－16	3	29	UHP－15	炭面直上	52	1	口縁部	4.6	甕	VIIIB		
無	細～中粒	岩石・鉱物ともにあり		ナデ(沈線文状の調整痕)矢羽根状の刺突文	ヨコミガキ	(口縁部)ナデ？ ミガキ	灰黄褐色(10YR6/2)	(黒褐色)		—	黒色化 炭化物付着	
Ⅵ－16	4	29	UHP－15	覆土1 覆土1	24 25	1 1	2 胴部(底部近く)	20.7	甕	VIIIB	外面約1/3剥離	
無	中粒	岩石・鉱物ともにあり		ヨコナデ ヨコミガキ	ナデ タテミガキ	—		にぶい橙色(7.5YR7/4)	(黒褐色)		黒色化？ 炭化物付着	黒色化 炭化物付着
Ⅵ－16	5	29	UHP－15	覆土1 覆土1	31 34	1 1	2 底部	17.5	甕	VIIIB	内面約2/5剥離	
無	細粒	鉱物主体		ヨコナデ	(底内面)ナデ	ヨコナデ	浅黄橙色(7.5YR8/6)	(黒褐色)		(底外面)黒色化	黒色化 炭化物付着	
Ⅵ－16	6	29	UHP－15	覆土1	10	1	胴部	10.2	甕	VIIIB		
無	細～中粒	鉱物主体		沈線文 刺突文(刺文)	ヨコミガキ	—		にぶい橙色(7.5YR6/4)	灰黄褐色(10YR6/2)		炭化物付着	黒色化 炭化物付着
Ⅵ－16	7	29	UA－21	覆土1 覆土1	3 27	1 1	2 口縁部	12.6	甕	VIIIB		
無	細～中粒	岩石・鉱物ともにあり		ナデ(沈線文状の調整痕)矢羽根状の刺突文 沈線文 刺文	ヨコミガキ	(口唇部)ヨコナデ	にぶい黄橙色(10YR7/4)	灰黄褐色(10YR6/2)		—	黒色化？ 炭化物付着	
Ⅵ－16	8	29	UA－21	覆土1	9	1	頸部～胴部	12.5	甕	VIIIB		
無	中粒	岩石主体		ナデ(沈線文状の調整痕)タテハケ タテミガキ	ヨコミガキ ヨコハケ タテミガキ	—		にぶい橙色(7.5YR7/4)	にぶい黄橙色(10YR6/3)		—	黒色化？
Ⅵ－16	9	29	UPG－3	面層	3	1	片口部	6.0	片口土器	VIIB		後北C1・D式 内面約1/2剥離
無	中～細粒	鉱物主体(有色鉱物目立つ)		横隆起線文 三角形点文(刺突文)	ナデ	(片口部口縁)ナデ？ミガキ？	浅黄橙色(7.5YR7/4)	にぶい黄橙色(10YR6/3)		黒色化 炭化物付着？	—	
Ⅵ－16	10	29	SP－1148	覆土	★	1	胴部	5.3	甕？	VIIIB	外面 磨耗	
無	細粒	鉱物主体		(磨耗)	ヨコミガキ	—		灰黄褐色(10YR6/2)	(黒褐色)		炭化物付着？	黒色化 炭化物付着
Ⅵ－16	11	29	SP－1272	覆土	3	1	胴部	3.7	甕	VIIIB	内面 剥離	
無	細粒	鉱物主体		ナデによる沈線文 矢羽根状の刺突文	(剥離)	—		褐灰色(10YR5/1)	(剥離)		黒色化 炭化物付着	(剥離)
Ⅵ－16	12	29	SP－1272	覆土	2	1	胴部	9.0	甕	VIIIB	—	
無	細粒	岩石・鉱物ともにあり		タテハケ 沈線文 刺突文	ヨコミガキ タテミガキ	—		浅黄橙色(10YR8/4)	褐灰色(10YR5/1)		黒色化	黒色化 炭化物付着

表Ⅵ−24　包含層出土破片土器観察表（1）

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片数 小計	破片数 合計	破片部位	重量(g)	器種	分類	備考(型式)
胎土(黒和村)				文様・調整				色調			使用の痕跡	
編組		粘性	種類	外面		内面	(部位)	外面	内面	外面	内面	
Ⅵ−17	1	29	T−24区	Ⅴ層	●	2	口縁部	19.5	深鉢	Ⅰ群	内外面一部剥離	東釧路IV式
少～中量		細粒	鉱物主体	R・Lの燃糸文	ヨコナデ	ヨコナデ	(口唇部)ナデ	に赤い黄橙色(10YR7/4)	灰黄褐色(10YR5/3)	黒色化 炭化物付着	黒色化 炭化物付着	
Ⅵ−17	2	29	T−24区	Ⅴ層	●	4	胴部	40.6	深鉢	Ⅰ群	内面 磨耗	東釧路IV式
小～中量		細粒	岩石・鉱物ともにあり	R・Lの燃糸文	ヨコナデ	—	黄橙色(10YR8/6)	(黒褐色)	黒色化？	黒色化 炭化物付着		
Ⅵ−17	3	29	P−32区	Ⅴ層	●	1	胴部	96.5	深鉢	Ⅱ群	外面 約1/2剥離 内面 器面荒れ	縄文式
極多量		中～粗粒	岩石・鉱物ともにあり(石英)	LR横走縄文 箆 磨耗	ヨコナデ	—	に赤い褐色(7.5YR6/3)	(褐灰色)	赤色化 橙色(5YR7/8)	黒色化		
Ⅵ−17	4	29	D−27区	Ⅴ層	●	1	口縁部？	7.3	深鉢	器群	内面 剥離・磨耗	北筒式？
中量		細～中粒	岩石・鉱物ともにあり	円形刺突文 刺突文 LR斜行縄文	(剥離・磨耗)	(口唇部)刺突文	に赤い黄橙色(10YR7/3)	(剥離・磨耗)	—	—		
Ⅵ−17	5	29	I−21区	Ⅴ層	●	1	胴部	29.0	深鉢	器群	内面一部剥離	砂子岡式？
中～多量		粗粒	岩石主体(微円礫状白色岩片)	貼付 LR・RL 別状縄文	ヨコナデ	ヨコナデ	(貼付上)押引文 RL縄文	橙色(5YR6/6)	浅黄橙色(10YR8/4)	—	—	
Ⅵ−17	6	29	H−22区	Ⅴ層	●	3	胴部(底部近く)	63.9	深鉢	器群	内面 約1/2剥離	
多～極多量		粗粒	岩石・鉱物ともにあり	LR斜行縄文	ヨコナデ	—	浅黄橙色(10YR8/4)	浅黄橙色(10YR8/4)	—	—		
Ⅵ−17	7	29	I−54区	Ⅱ層	●	4	口縁～胴部上位	80.1	深鉢？鉢？	Ⅴ群	突起1か所	
無		中～粗粒	岩石・鉱物ともにあり	ヨコナデ ナデによる沈線文 山形沈線文 刺突文 RL縄文	ヨコナデ	ヨコナデ	(口唇部)ヨコナデ RL燃糸押み	に赤い黄橙色(10YR7/3)	に赤い黄橙色(10YR7/2)	黒色化	—	
Ⅵ−17	8	29	L−26区	Ⅴ層	●	1	口縁部	24.2	鉢	Ⅴ群	外面 約1/2剥離	
微～少量		粗粒	岩石・鉱物ともにあり(岩片礫状)	ヨコナデ 沈線文 刺突文 RL縄文	ヨコナデ	ヨコナデ	(口唇部)LR燃糸圧痕文	に赤い黄橙色(10YR6/3)	に赤い黄橙色(10YR7/3)	—	黒色化？ 炭化物付着	
Ⅵ−17	9	29	N−18区	Ⅴ層	●	2	胴部～底部	20.0	鉢	Ⅴ群	外面 磨耗	
微量		中粒	岩石・鉱物ともにあり	RL縄文 ヨコナデ 刺突文 沈線文	ヨコナデ	ヨコナデ	(底外面)RL縄文 刺突文	に赤い黄橙色(10YR6/3)	に赤い黄橙色(10YR7/4)	黒色化？ 炭化物付着	—	
Ⅵ−17	10	30	M−45区	Ⅱ層	●	3	4 口縁部	43.5	壺	Ⅰ群	外面 貼付剥落 磨耗	
			M−46区	Ⅱ層	●							
無		細粒	鉱物主体	貼付 沈線文 矢羽根状の刺突文	ヨコナデ	ヨコナデ	(口唇部)ミガキ(貼付部上)同心円状の押捺文	に赤い褐色(7.5YR7/6)	に赤い褐色(7.5YR5/3)	赤色化？ 橙色(2.5YR6/6)	黒色化 炭化物付着	
Ⅵ−17	11	30	R−32区	Ⅱ層	●	1	4 口縁部	22.9	壺	Ⅰ群	外面 若干磨耗 内面一部剥離	
			S−32区	Ⅱ層	●	3						
無		細粒	岩石主体(岩片礫状)海綿骨針	ヨコナデ 二叉状工具 刺突文	ヨコナデ ナデによる沈線文	ヨコナデ	橙～に赤い褐色(5YR6/6～7.5YR5/3)	橙色(7.5YR6/6)	黒色化	黒色化 炭化物付着		
Ⅵ−17	12	30	F−19区	Ⅱ層	●	1	口縁部	21.2	壺	Ⅰ群		
無		細粒	鉱物主体	ヨコナデ 沈線文 矢羽根状の沈線文	ヨコナデ 沈線文状の調整痕	(口唇部)ヨコミガキ	に赤い橙色(5YR7/4)	に赤い黄橙色(10YR7/2～7/3)	黒色化 炭化物付着	炭化物付着		
Ⅵ−17	13	30	I−33区	Ⅱ層	●	1	口縁～胴部上位	47.0	壺	Ⅰ群		
無		細粒	鉱物主体？	沈線文 刺突文(矢羽文) ヨコナデ 沈線文状の調整痕	ヨコミガキ タテミガキ	(口唇部)ヨコミガキ	浅黄橙色(7.5YR8/4)	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	黒色化 炭化物付着		
Ⅵ−17	14	30	L−44区	Ⅱ層	●	1	口縁部	17.1	壺	Ⅰ群	外面 若干磨耗	
無		細～中粒	岩石・鉱物ともにあり	刺突文 沈線文 ヨコナデ ヨコミガキ	ヨコミガキ	(口唇部)ヨコミガキ	浅黄橙色(10YR8/3～8/4)	に赤い橙色(7.5YR6/4)	炭化物付着	炭化物付着		
Ⅵ−17	15	30	O−24区	Ⅱ層	●	1	2 口縁部	62.7	壺	Ⅰ群	外面 器面荒れ？	
			O−25区	Ⅱ層	●							
少量		細粒	鉱物主体(多量)	ヨコナデ ナデによる沈線文 タテナデ	ヨコナデ ヨコミガキ	(口唇部)ヨコナデ	浅黄橙色(10YR8/4)	灰白～に赤い橙色(10YR8/4～7/4)	炭化物付着	黒色化 炭化物付着		
Ⅵ−17	16	30	E−31区	Ⅱ層	●	1	5 口縁～胴部上位	88.8	壺	Ⅰ群		
			F−31区	Ⅱ層	●	4						
無		細粒	鉱物主体？	ヨコナデ ヨコミガキ タテミガキ	ヨコミガキ タテミガキ	(口唇部)ミガキ	に赤い橙～褐灰色(7.5YR7/4～7/1)	褐灰～に赤い橙色(7.5YR6/1～5YR6/4)	黒色化	炭化物付着		
Ⅵ−17	17	30	N−42区	Ⅱ層	●	1	口縁部	15.8	壺	Ⅰ群	補修孔1か所	
無		細～中粒	岩石・鉱物ともにあり(岩片～赤鉄鉱状)	ヨコナデ ナデによる沈線文	ヨコミガキ	(口唇部)ミガキ	に赤い橙色(7.5YR7/4)	灰黄褐色(10YR6/2)	炭化物付着？	—		
Ⅵ−17	18	30	J−38区	Ⅱ層	●	2	底部	58.3	壺	Ⅰ群	外面一部剥離	
無		中～細粒	鉱物主体	タテハケ ヨコナデ	ヨコハケ タテナデ	(底外面)ナデ	に赤い黄橙色(10YR7/4)	浅黄橙色(10YR8/4)	黒色化 炭化物付着	黒色化		

表Ⅵ－24　包含層出土破片土器観察表（2）

図	番号	図版	出土地点		層位	遺物番号	破片数 小計	破片数 合計	破片部位	重量(g)	器種	分類	備考(型式)
胎土(混和材)			文様・調整						色調			使用の痕跡	
繊維	粒径	種類	外面	内面	(部位)	外面	内面	外面	内面				
Ⅵ－18	18	30	H－24区	旧層	●	1	胴部	22.2	褐	暗褐			
無	細粒	鉱物主体	岩石主体 (岩片雲状)	刻み 沈線文 ミガキ 貼付調整帯	ヨコミガキ	(貼付帯上) 同心円状の押捺文	浅黄橙色 (10YR8/3 ～黄橙色)	褐灰色 (10YR6/1)	—	黒色化			
Ⅵ－18	20	30	J－38区	旧層	●	1	胴部	32.1	褐	暗褐	外面 剥離後摩耗		
無	細粒	鉱物主体 (有色鉱物)	沈線文 ミガキ？ 貼付調整帯	ヨコミガキ ヨコナデ	(貼付帯上) 同心円状の押捺文	黄橙色 (10YR7/6)	黄橙色 (10YR7/6)	(黒褐色)	赤色化 橙色 (5YR7/6)	黒色化 炭化物付着			
Ⅵ－18	21	30	L－28区	旧層	●	2	胴部	30.0	褐	暗褐	外面 一部剥離		
無	細粒	鉱物主体	沈線文 タテミガキ	ヨコミガキ	—	黄橙色 (10YR7/6)	黄橙色 (10YR7/6)	褐灰色 (10YR5/1)	—	黒色化 炭化物付着			
Ⅵ－18	22	30	H－45区	旧層	●	1	胴部	16.2	褐	暗褐			
無	細粒	鉱物主体？	沈線文 ヨコナデ ミガキ？	ヨコミガキ ヨコナデ	—	黄橙色 (10YR8/3)	黄橙色 (10YR8/3)	褐灰色 (10YR5/1)	炭化物付着	黒色化 炭化物付着			
Ⅵ－18	23	30	I－48区 旧層	●	5	7	胴部上位 ～下位	83.5	褐	暗褐			
			J－49区 旧層	●	1								
			J－50区 旧層	●	1								
無	細粒	鉱物主体	沈線文 ヨコミガキ	ヨコミガキ タテミガキ	—	浅黄橙～ 黄橙色 (10YR8/2～4/4)	黄橙色 (10YR7/3)	褐色 炭化物付着	褐色 炭化物付着				
Ⅵ－18	24	30	G－23区	旧層	●	1	胴部	24.2	褐	暗褐	外面 一部剥離		
無	細粒	岩石主体 (岩片雲状)	沈線文 刺突文	ヨコナデ ヨコミガキ	—	浅黄橙色 (10YR8/3)	浅黄橙色 (10YR8/3)	—	黒色化				
Ⅵ－18	25	30	L－44区	旧層	●	3	胴部上位	41.4	褐	暗褐	外面 一部剥離		
無	細粒	鉱物主体	矢羽根状の 刺突文・沈線文 沈線文 ヨコナデ タタハケ タテミガキ	ヨコミガキ タテミガキ	—	黄橙色 (10YR8/3)	黄橙色 (10YR8/3)	(褐灰色)	黒色化 炭化物付着	黒色化 炭化物付着			

表Ⅵ－25　遺構・包含層出土石器一覧

図	番号	図版	遺構グリッド	層位	遺物番号	器種	計測値（cm） 長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材	残存状態	備考
Ⅵ－19	1	30	石斧集中	F層	1	磨製石斧未製品	13.5	6.4	4.9	518.0	緑色泥岩	完形	剥離痕 敲打痕
Ⅵ－19	2		石斧集中	F層	2	磨製石斧未製品	9.9	5.9	2.7	223.9	緑色泥岩	完形	剥離痕 研磨痕 敲打痕
Ⅵ－19	3		石斧集中	F層	3	磨製石斧未製品	13.1	5.8	3.8	400.0	緑色泥岩	完形	剥離痕 敲打痕
Ⅵ－19	4		石斧集中	F層	4	磨製石斧未製品	9.9	4.8	1.7	143.2	緑色泥岩	完形	剥離痕 研磨痕
Ⅵ－19	5		石斧集中	F層	5	磨製石斧未製品	10.0	5.0	3.5	250.1	緑色泥岩	完形	剥離痕 敲打痕
Ⅵ－20	1	31	H－17区	V層	—	石鏃	1.8	1.4	0.3	0.4	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	2		E－50区	Ⅲ層	—	石鏃	2.1	0.7	0.2	0.2	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	3		E－33区	Ⅲ層	—	石鏃	2.6	1.5	0.3	0.7	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	4		E－16区	Ⅲ層	—	石鏃	3.9	1.9	0.4	1.9	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	5		H－52区	Ⅲ層	—	石鏃	3.4	1.1	0.3	0.9	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	6		P－20区	V層	—	石鏃	2.5	1.5	0.3	0.5	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	7		N－52区	V層	—	石鏃	3.5	1.6	0.5	1.7	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	8		E－15区	V層	—	石槍・ナイフ	4.5	1.7	0.6	3.4	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	9		G－18区	V層	—	石槍・ナイフ	5.8	3.1	0.8	8.0	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	10		G－49区	V層	—	つまみ付きナイフ	7.1	2.8	1.1	17.2	頁岩	完形	
Ⅵ－20	11		G－20区	V層	—	つまみ付きナイフ	4.9	2.2	0.7	5.7	黒曜石	完形	
Ⅵ－20	12		S－28区	Ⅲ層	—	ラウンド スクレイパー	(2.6)	2.9	0.7	4.4	黒曜石	準完形	
Ⅵ－20	13		P－35区	Ⅲ層	—	スクレイパー	3.9	3.9	1.1	12.1	黒曜石	完形	破損？
Ⅵ－20	14		K－18区	Ⅲ層	—	スクレイパー	6.0	3.0	0.9	11.6	黒曜石	完形	破損？
Ⅵ－20	15		K－18区	Ⅲ層	—	スクレイパー	6.2	3.0	0.7	9.9	黒曜石	完形	破損
Ⅵ－20	16		P－24区	Ⅲ層	—	磨製石斧	(5.6)	6.0	2.0	132.1	緑色泥岩	半形	研磨痕 破損
Ⅵ－20	17		G－33区	Ⅲ層	—	磨製石斧	(8.8)	6.0	4.5	376.0	砂岩？ 片岩？	準完形	研磨痕 敲打痕 破損
Ⅵ－21	18		N－37区 Ⅲ層 Q－34区 Ⅲ層 T－36区 Ⅲ層		—	砥石	(9.0)	(5.8)	3.5	44.2	凝灰岩	準完形	破損 剥落痕 接合
Ⅵ－21	19		Q－44区 Ⅲ層 Q－41区 Ⅲ層		—	たたき石	15.6	4.8	3.6	476.3	緑色泥岩	準完形	破損 磨製石斧未製品？
Ⅵ－21	20		R－24区	Ⅲ層	—	玉（垂飾）	4.6	1.8	1.2	12.4	緑色泥岩	完形	研磨痕 穿孔
Ⅵ－21	21		H－34区	Ⅲ層	—	石製品	2.1	1.6	0.4	0.7	片岩	完形	剥離 石鏃の形状
Ⅵ－21	22		T－39区	Ⅲ層	—	石製品	2.6	1.4	0.1	0.4	粘板岩	完形	研磨痕 打ち欠き 石鏃の形状

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（1）

遺構	層位	出土遺物				計測値					形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g			
UHD－13	Ⅲ層	2	礫	完形	安山岩	(8.3)	(3.3)	(1.9)	45.8	円礫	被熱	
UHD－14	Ⅲ層	1	礫	完形	泥岩	7.8	3.7	2.4	113.6	円礫		
		2	礫片	片	砂岩	(3.5)	(1.6)	(1.1)	5.5	円礫		
		3	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.7)	(3.2)	(2.1)	21.5	円礫		
		4	礫片	片	砂岩	(2.5)	(1.9)	(1.4)	8.2	角礫		
		5	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.6)	(3.2)	(1.6)	15.1	円礫		
		6	礫片	片	安山岩	(2.6)	(1.8)	(1.7)	9.4	円礫		
		7	礫片	片	安山岩	(4.7)	(4.0)	(1.5)	3.6	円礫		
		8	使用痕のある礫	片	安山岩	(7.7)	(3.3)	(3.5)	142.8	円礫		
		9	礫	完形	砂岩	(8.4)	(3.9)	(3.4)	147.9	円礫		
		10	磨製石斧	完形	緑色泥岩	9.8	(3.2)	(1.6)	78.0	円礫		
		11	使用痕のある礫	片	安山岩	(9.1)	(3.8)	(2.9)	99.5	円礫		
		12	礫片	片	安山岩	(10.2)	(4.1)	(1.8)	101.6	円礫		
		13	礫	完形	安山岩	10.0	3.6	2.6	135.5	円礫		
		14	礫	完形	泥岩	6.9	2.3	1.7	43.3	円礫		
		15	礫片	片	砂岩	(2.5)	(2.8)	(1.4)	9.5	円礫		
		18	礫片	片	砂岩	(5.2)	(3.6)	(1.4)	32.4	円礫		
		19	礫片	片	砂岩	(4.5)	(2.9)	(1.7)	33.3	円礫		
		20	礫	完形	火山礫凝灰岩	(5.7)	(3.7)	(1.6)	34.2	円礫		
		21	礫	片	泥岩	(3.4)	(1.5)	(1.5)	8.6	円礫		
		22	たたき石	半形	緑色泥岩	(6.0)	(3.2)	(1.4)	84.7	円礫	半形	
		23	礫片	片	安山岩	(4.4)	(3.8)	(1.6)	31.4	円礫	被熱	
		24	礫	完形	砂岩	7.0	3.0	2.7	66.8	円礫		
		25	礫	完形	安山岩	(6.3)	3.0	2.0	58.6	円礫		
		26	礫片	片	砂岩	(4.0)	(2.6)	1.8	34.5	円礫		
		27	礫	完形	砂岩	5.7	3.8	1.7	63.5	円礫		
		28	礫片	片	砂岩	(6.2)	(2.4)	(7.6)	12.8	円礫		
UHD－15	層土1	2	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.4	4.9	1.8	30.3	円礫	接合	
		3	礫	完形	凝灰岩	6.1	2.4	1.7	30.3	円礫		
		5	礫	完形	火山礫凝灰岩	(5.9)	3.2	2.8	57.4	円礫	接合	
		6	礫片	片	安山岩	(2.6)	(1.6)	(3.4)	1.6	円礫		
		7	礫片	片	凝灰岩	7.1	(2.8)	(1.4)	33.9	円礫		
	層土	9	礫片	片	凝灰岩	(2.9)	(2.4)	(1.2)	5.9	円礫		
		11	礫	完形	泥岩	4.4	2.8	2.0	31.0	円礫		
		12	礫片	片	凝灰岩	(2.2)	(1.4)	0.8	2.1	円礫		
		14	礫	完形	泥岩	(4.6)	(3.1)	1.8	32.8	円礫		
		16	礫片	片	凝灰岩	(4.8)	(2.5)	1.5	16.9	円礫		
		17	礫	完形	凝灰岩	5.5	(3.6)	1.3	18.7	円礫		
		19	礫	片	凝灰岩	2.0	1.3	0.3	0.9	円礫		
		20	礫片	片	凝灰岩	(3.1)	(2.7)	1.4	9.2	円礫		
	床面直上	21	礫	完形	凝灰岩	3.8	2.4	1.8	21.3	円礫		
		41	礫	完形	安山岩	4.4	(3.5)	1.7	34.2	円礫		
	床面	42	礫片	片	凝灰岩	(5.5)	2.0	2.1	22.5	円礫	接合	
		43	礫片	片	凝灰岩	(4.5)	(2.3)	1.5	13.8	円礫		
		46	礫片	片	凝灰岩	(3.7)	(8.3)	7.6	3.7	円礫		
		47	礫片	完形	凝灰岩	4.7	3.7	(2.5)	53.8	円礫		
		48	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.0	5.3	2.4	75.4	円礫		
		49	礫	完形	泥岩	5.0	4.0	2.5	66.8	円礫		
		50	礫	完形	火山礫凝灰岩	5.4	2.6	2.3	26.7	円礫		
	層土	56	礫片	片	砂岩	(3.6)	3.2	16.4	23.6	円礫		
UHD－16	Ⅲ層	1	礫	完形	泥岩	6.4	3.8	2.9	94.8	円礫		
		2	礫	完形	チャート	6.3	5.8	2.5	43.6	円礫		
		3	礫	完形	火山礫凝灰岩	(5.8)	5.0	1.6	41.8	円礫		
UHD－17	層土3	1	礫	完形	スコリア	(2.4)	(2.2)	(1.0)	3.7	円礫		
	層土1	—	礫片	片	砂岩	(2.4)	(1.2)	(0.3)	1.0	円礫		
	層土3	3	礫片	片	安山岩	(2.9)	(2.7)	(2.4)	27.5	円礫		
		4	礫片	片	砂岩	(5.1)	(2.5)	(1.1)	17.6	円礫		
	層土2	5	礫片	片	片麻岩	(8.9)	(4.3)	2.2	115.2	円礫	接合	
		6	礫片	片	片岩	(3.6)	(1.7)	(0.7)	4.2	円礫		
		7	礫片	片	砂岩	(3.3)	(4.0)	1.9	33.0	円礫		
	層土3	11	礫片	片	片岩	(2.9)	(2.0)	(7.3)	5.7	円礫		
		12	礫	完形	凝灰岩	(6.8)	(4.2)	(2.4)	72.1	円礫		
		13	礫	完形	砂岩	(2.9)	(2.4)	(0.9)	8.1	円礫		
		17	礫	完形	火山礫凝灰岩	(11.8)	(5.0)	(2.7)	123.9	円礫		
	床面直上	18	礫	完形	火山礫凝灰岩？	6.7	5.7	0.9	37.6	円礫		

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（2）

遺構	層位	出土遺物				計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g		
UHD－17	カマド焼成粘土	—	礫片	完形	安山岩	(4.5)	(3.7)	(2.6)	39.3	円礫	接合
	層土3	20	台石	片	砂岩	15.5	(7.3)	(8.2)	1216.0	亀裂	被熱
	カマド粘土	21	礫	完形	火山礫凝灰岩	(9.5)	(4.9)	(3.0)	138.6	円礫	接合
		23	礫	片	砂岩	25.3	14.9	8.8	4900.0	円礫	被熱
		26	礫片	片	砂岩	(7.1)	(4.5)	(3.2)	79.0	円礫	接合
		27	礫片	片	砂岩	(7.9)	(4.9)	(3.3)	137.3	円礫	
		28	礫片	片	安山岩	(5.5)	(3.9)	(2.7)	59.7	円礫	
	粘土	29	たたき石	完形	砂岩	(13.3)	6.5	2.8	392.0	円礫	被熱
UHD－21	Ⅲ層	1	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.7)	(4.2)	(1.3)	22.4	円礫	
		2	礫	完形	泥岩	7.1	3.7	1.8	73.1	円礫	
		3	礫片	片	砂岩	(4.6)	(3.2)	(2.0)	41.5	円礫	
		4	礫片	片	砂岩	(4.5)	(2.3)	(0.9)	9.2	円礫	
		5	礫	完形	砂岩	4.7	(3.6)	1.3	36.3	円礫	
		6	礫片	片	砂岩	(3.4)	(2.2)	(1.3)	9.0	円礫	
		7	礫	完形	泥岩	6.1	2.4	2.3	59.7	円礫	
		8	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.8)	(2.8)	(1.3)	14.0	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	6.5	3.1	1.1	36.4	円礫	
		10	礫片	片	砂岩	(2.5)	(4.6)	(4.1)	75.6	円礫	
		11	礫	完形	砂岩	9.3	4.5	2.9	149.2	円礫	
		12	礫片	片	砂岩	(4.2)	(2.7)	(0.9)	13.1	円礫	
		13	礫	完形	安山岩	7.5	5.1	2.3	118.0	円礫	
		14	礫	完形	軽石	6.7	42.5	1.7	26.9	円礫	
		15	礫片	片	安山岩	(3.1)	(3.1)	(1.1)	8.4	円礫	
		16	礫片	片	軽石	(3.3)	(2.4)	0.6	2.8	円礫	接合
		17	礫	完形	安山岩	6.1	2.4	2.4	53.5	円礫	
		—	—	—	—	3.1	2.6	2.7	31.5		モルタル
UHD－22	Ⅲ層	1	たたき石	完形	砂岩	6.2	(2.4)	(2.3)	50.6	円礫	被熱
		2	礫	完形	砂岩	7.7	3.7	2.0	67.5	円礫	被熱
		3	礫	完形	安山岩	5.4	2.7	2.5	60.5	円礫	
		4	礫	片	火山礫凝灰岩	6.4	4.1	0.8	17.0	円礫	
		5	礫	完形	凝灰岩	7.1	3.5	0.9	31.0	円礫	
		6	礫	完形	凝灰岩	10.1	3.5	2.1	99.7	円礫	
		7	礫	完形	泥岩	7.2	3.0	2.3	59.3	円礫	接合
		8	礫	完形	凝灰岩	5.3	3.1	2.4	40.3	円礫	
		9	礫	—	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		10	礫	片	砂岩	2.8	2.7	1.0	9.3	円礫	
		11	礫片	片	安山岩	3.2	1.8	1.4	7.4	円礫	
		12	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.8)	(3.9)	(0.9)	11.0	円礫	接合 4点
UHD－24	Ⅲ層	1	礫片	片	チャート	(4.9)	(4.8)	15.2	45.6	円礫	
		2	礫	完形	泥岩	6.1	3.4	1.3	47.0	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	5.5	3.6	1.4	43.1	円礫	
		4	礫	完形	砂岩	6.0	3.9	1.8	57.6	円礫	
		5	礫	完形	安山岩	4.8	1.8	2.0	26.5	円礫	
		6	礫片	片	泥岩	(1.5)	(1.2)	(1.0)	1.8	円礫	
		7	礫	完形	スコリアヲ	(2.6)	(2.0)	(0.9)	3.6	円礫	
		8	礫	完形	砂岩	4.5	3.8	1.4	30.6	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	5.1	4.0	2.3	62.6	円礫	
		10	礫	完形	安山岩	7.0	3.5	3.1	101.6	円礫	
		12	礫	片	泥岩	5.8	2.7	2.4	48.8	円礫	炭？
		13	礫	完形	スコリア	(4.2)	(3.3)	2.5	29.7	円礫	
		14	礫片	片	泥岩	3.2	2.3	0.4	2.8	円礫	
		16	礫	完形	安山岩	6.1	(3.6)	1.6	41.2	円礫	被熱？
		17	礫	完形	砂岩	5.5	2.6	1.9	40.3	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	5.3	4.3	2.2	66.9	円礫	
		19	礫	完形	泥岩	5.8	2.8	1.9	36.4	円礫	被熱
		20	礫	完形	泥岩？	6.0	3.3	1.8	53.8	円礫	被熱
		21	礫	完形	泥岩	5.6	3.2	1.6	47.7	円礫	
		22	礫片	片	安山岩	2.6	1.9	0.6	2.5	円礫	
		23	礫片	片	泥岩	5.1	3.2	1.8	44.0	円礫	
		24	礫片	片	安山岩	(2.8)	(2.6)	(0.6)	3.5	円礫	
		25	礫片	片	安山岩	(3.8)	(3.1)	(9.5)	7.6	円礫	
		26	礫	完形	泥岩	6.8	3.3	1.3	47.1	円礫	
		27	礫片	片	安山岩	(3.4)	(2.3)	(0.8)	4.3	円礫	
		11	たたき石片	完形	砂岩	(11.6)	7.9	4.6	602.0	円礫	接合
		15	礫片	片	泥岩	3.1	2.5	0.4	4.2	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（3）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UHD－25	田層	3	礫	完形	泥岩	7.3	3.5	0.9	36.3	円礫	
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩	(8.5)	(6.0)	(1.7)	58.8	円礫	
		5	礫片	片	安山岩	(7.1)	(2.7)	(2.9)	67.7	円礫	
UHD－30・HP－1	耕土	—	礫片	片	砂岩	5.3	2.9	7.6	11.1	円礫？	
UHD－31	耕土1	1	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.0	5.0	1.3	42.6	円礫	
		2	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.0)	(4.5)	(1.6)	25.4	円礫	
		3	礫	片	火山礫凝灰岩	4.8	3.3	1.0	12.8	円礫	
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.0	5.4	1.3	48.2	円礫	被熱
		6	礫	完形	砂岩	6.8	4.0	3.4	131.8	円礫	
		8	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.2	5.9	1.6	51.9	円礫	
		9	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.1	3.9	1.8	48.0	円礫	
		10	礫	完形	砂岩	7.4	3.0	1.8	52.7	円礫	
		11	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.5	4.9	1.4	44.6	円礫	被熱　接合
		12	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.2	3.6	2.5	50.7		
		13	使用痕のある礫	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	4.8	1.4	22.3		
		14	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	4.1	2.2	32.5		
		5	礫片	片	火山礫凝灰岩	(6.0)	(4.0)	1.0	22.8	円礫	接合
		7	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
UHD－35・HP－4	耕土	—	礫	完形	チャート	5.9	3.2	2.0	58.6	円礫	
UHD－36	田層	1	礫	完形	砂岩	5.0	2.8	2.0	38.2	円礫	被熱
		2	礫	完形	泥岩	5.2	1.9	1.6	21.0	円礫	
		3	礫	完形	安山岩	5.0	2.6	2.1	32.5	円礫	
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩？	5.7	2.3	1.6	26.1	円礫	被熱
		5	礫	完形	砂岩	6.0	2.9	1.6	48.5	円礫	
		6	礫	完形	砂岩	7.5	3.3	1.7	65.4	円礫	
		7	礫	完形	チャート	7.0	3.7	2.2	74.7	円礫	
		8	礫	完形	安山岩	6.9	3.1	1.8	59.2	円礫	
		9	礫	完形	泥岩	4.5	1.8	1.4	14.3	円礫	
		10	礫	完形	泥岩	4.2	2.4	0.9	15.2	円礫	被熱
		11	礫	片	凝灰岩	4.3	2.1	1.4	15.1	円礫	被熱　6点接合(3点1211、他3点は番号なし)
		11	礫片	片	凝灰岩	2.7	1.1	0.9	2.8		
		11	礫片	片	凝灰岩	1.1	0.9	1.2	1.1		
		11	礫片	片	凝灰岩	1.5	0.5	1.2	1.0		
		12	礫片	片	凝灰岩	3.0	1.7	1.0	6.7	円礫	
		13	礫	片	凝灰岩	3.3	1.4	0.7	3.0	円礫	
		14	礫	片	凝灰岩	3.6	2.0	1.7	8.5	円礫	
		15	礫片	片	凝灰岩	2.6	2.1	0.6	3.5	円礫	
		15	礫片	片	凝灰岩	2.7	2.2	0.7	2.9	円礫	
		15	礫片	片	凝灰岩	3.0	1.6	0.6	3.2	円礫	
		15	礫片	片	凝灰岩	2.1	1.9	0.5	2.2	円礫	
		15	礫片	片	凝灰岩	2.7	1.5	5.6	2.7	円礫	
		15	礫片	片	チャート	3.5	1.8	1.2	1.3	角礫	
		15	礫片	片	チャート	3.3	1.2	1.1	7.5	角礫	
		15	礫片	片	チャート	2.3	1.6	0.7	2.7	角礫	
		16	礫	完形	片麻岩	7.7	4.7	1.7	108.9	円礫	
		17	礫	片	泥岩	6.7	2.8	2.1	55.4	円礫	被熱　4点接合
		18	礫	完形	泥岩	7.4	3.3	1.6	68.1	円礫	
		19	礫	完形	泥岩	4.3	1.7	1.2	12.2	円礫	
		20	礫	完形	砂岩	8.1	2.7	1.7	64.4	円礫	
		21	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.3	3.6	2.8	100.4	円礫	
		22	礫	完形	安山岩	6.5	2.8	1.8	48.0	円礫	
		23	礫	完形	安山岩	6.3	2.1	2.0	41.7	円礫	
		24	礫	完形	泥岩	6.8	2.6	2.1	62.2	円礫	
		25	礫	完形	泥岩	7.9	5.6	2.3	168.6	円礫	
		26	礫	完形	チャート	9.5	4.8	4.1	279.2	円礫	
		27	礫	完形	火山礫凝灰岩	(6.7)	4.7	18.4	48.1	円礫	
		28	礫	片	泥岩	3.7	1.7	1.4	7.2	円礫	
		29	礫	完形	輝石	5.2	3.8	1.9	14.6	角礫？	
		30	礫	完形	チャート	6.5	2.9	1.7	44.9	円礫	
		31	礫	完形	泥岩	8.8	3.4	2.4	97.7	円礫	
		32	台石	片	安山岩	14.4	11.7	7.8	1900.2	円礫	被熱
		33	礫	完形	チャート	5.5	3.4	2.6	56.5	円礫	
		34	礫	完形	砂岩	6.0	3.9	2.4	99.1	円礫	
		35	たたき石	片	砂岩	13.3	4.5	4.0	306.1	円礫	
		36	たたき石	完形	砂岩	6.6	3.9	3.6	144.8	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（4）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UHD－36	Ⅲ層	37	礫	完形	泥岩	7.0	4.0	1.7	76.4	円礫	被熱
		38	礫片	片	片麻岩	(4.6)	7.2	30.4	149.9	円礫	
		39	礫片	片	砂岩	2.6	1.6	0.8	3.4	角礫	
		40	礫片	片	砂岩	2.4	2.1	0.8	4.4	角礫	被熱
		41	礫片	片	安山岩	4.1	3.3	2.6	31.9	円礫	
		42	礫片	片	砂岩	3.4	1.8	0.9	5.5		
		43	礫片	片	砂岩	2.6	1.3	0.3	1.3	角礫	被熱
		44	礫片	片	砂岩	(3.0)	4.6	1.4	19.9	角礫	被熱
		45	礫片	片	砂岩	(7.1)	7.9	1.6	90.0	角礫	被熱
		46	礫片	片	砂岩	2.7	2.1	0.4	3.4	角礫	
		47	礫片	片	砂岩	3.6	2.0	0.4	2.6	角礫	
		48	礫片	片	砂岩	3.4	2.4	0.6	5.4	角礫	
		48	礫片	片	砂岩	2.5	2.1	0.4	1.8	角礫	
		48	礫片	片	砂岩	1.9	1.5	0.3	0.8	角礫	
		48	礫片	片	砂岩	1.7	1.7	0.2	0.5	角礫	
		49	礫片	片	砂岩	3.9	2.8	0.7	9.3	角礫	
		50	礫片	片	砂岩	3.9	1.4	0.4	3.0	角礫	
		51	礫片	片	砂岩	2.6	1.6	0.7	0.2	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	7.2	7.1	1.0	71.3	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	4.7	4.9	0.6	16.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	5.1	4.6	5.4	16.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	4.7	3.2	4.7	8.2	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	4.1	1.1	0.7	3.5	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	4.0	2.6	0.4	4.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.8	2.7	0.5	3.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.1	2.5	0.6	5.3	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.7	2.4	0.4	4.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.0	2.3	0.5	2.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.3	2.1	0.5	3.1	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.8	2.4	0.5	2.9	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.4	2.0	0.5	2.6	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.0	2.4	0.4	3.1	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.2	1.6	5.3	3.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.2	2.1	0.4	3.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.6	2.3	0.3	2.1	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.5	2.4	0.3	1.7	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	3.5	1.4	0.2	1.5	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.6	1.9	0.4	1.8	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.7	1.6	0.3	1.2	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.2	1.4	0.4	1.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.3	1.3	0.5	1.2	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	1.8	0.4	1.1	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.3	1.5	0.4	1.2	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	1.6	0.2	0.7	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.1	1.7	0.2	0.7	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	1.7	0.1	0.6	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	1.6	0.2	0.8	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.6	1.4	0.3	0.6	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.6	0.9	0.3	0.5	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.8	1.0	0.2	0.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.7	1.3	0.4	0.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	0.9	0.2	0.5	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.9	0.8	0.2	0.4	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	1.7	1.0	0.5	0.7	角礫	
		52	礫片	片	砂岩	2.0	1.3	0.3	0.8	円礫	
		53	礫片	片	砂岩	4.4	2.0	0.6	4.5	角礫	
		53	礫片	片	砂岩	1.7	1.0	0.2	0.5	角礫	
		54	礫片	片	砂岩	1.9	0.8	0.1	0.3	角礫	
		55	礫片	片	砂岩	2.4	1.3	0.4	0.9	角礫	
		56	礫片	片	砂岩	3.8	1.8	0.4	2.8	角礫	
		57	礫片	片	砂岩	4.6	2.8	0.7	10.4	角礫	
		58	礫片	片	砂岩	4.0	2.0	1.0	5.5	角礫	
		59	礫	片	砂岩	(3.3)	3.3	0.7	11.2	角礫	
		60	礫	完形	泥岩	5.6	3.2	2.0	47.1	円礫	
		61	礫	完形	安山岩	4.6	1.7	1.4	15.9	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（5）

遺構	層位	出土遺物				計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g		
UHD－36	Ⅲ層	62	礫	完形	安山岩	5.1	3.7	2.8	66.8	円礫	
		63	礫片	片	安山岩	4.3	3.5	2.3	32.6	円礫	
		64	礫	完形	片麻岩	7.7	3.5	1.6	87.8	円礫	被熱
		65	礫片	完形	片岩	(6.7)	(2.6)	(0.7)	11.8	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(5.8)	(4.1)	(0.3)	9.5	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(5.6)	(4.7)	(0.5)	11.9	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(4.6)	(3.1)	(0.3)	5.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(5.1)	(3.0)	(5.2)	8.5	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(4.0)	(3.1)	(0.4)	5.3	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.5)	(2.2)	(0.4)	2.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(3.8)	(1.7)	(0.3)	2.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.5)	(2.3)	(0.2)	1.9	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.9)	(1.7)	(0.4)	1.8	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(3.3)	(1.4)	(0.2)	1.0	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(3.3)	(1.5)	(0.1)	0.9	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.9)	(1.3)	(0.2)	0.9	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.3)	(2.5)	(1.7)	1.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.8)	(1.8)	(0.1)	0.7	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.9)	(1.2)	(0.2)	1.0	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.9)	(1.6)	(0.1)	0.5	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.1)	(1.2)	(0.2)	0.7	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.4)	(1.5)	(0.1)	0.7	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.5)	(1.9)	(0.1)	0.6	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(1.8)	(1.4)	(0.1)	0.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(1.9)	(1.5)	(0.1)	0.3	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.7)	(1.0)	(0.1)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.3)	(1.6)	(0.1)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.0)	(1.4)	(0.1)	0.6	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.3)	(1.2)	(0.4)	0.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.7)	(1.4)	(0.2)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.2)	(1.8)	(0.1)	0.7	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(1.8)	(1.2)	(0.1)	0.3	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.6)	(1.5)	(0.1)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.4)	(1.5)	(1.0)	0.5	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.0)	(1.5)	(0.2)	0.6	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.2)	(0.9)	(0.1)	0.2	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.1)	(1.4)	(0.2)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.0)	(1.1)	(0.1)	0.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.6)	(0.9)	(0.1)	0.4	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(1.9)	(1.3)	(0.1)	0.3	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(1.8)	(1.6)	(0.2)	0.5	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.2)	(0.9)	(0.0)	0.1	角礫	
		65	礫片	完形	片岩	(2.4)	(1.1)	(0.1)	1.1	角礫	
		66	礫	片	片麻岩	10.2	6.4	1.4	165.3	円礫	
		67	礫	完形	泥岩	7.4	2.9	2.1	55.8	円礫	
		68	礫	完形	泥岩	8.1	7.2	2.0	204.3	円礫	
		69	礫片	片	火山礫凝灰岩	7.5	7.5	(4.2)	47.7	円礫	
		70	礫片	片	火山礫凝灰岩	9.4	(4.4)	1.5	55.9	円礫	
		—	礫片	—	砂岩	(1.7)	(2.2)	0.7	3.9	角礫と円礫	被熱　9点中3点が51と接合する
		—	礫	—	砂岩	(2.7)	(1.3)	(0.3)	1.2		
		—	礫	—	砂岩	(2.8)	(1.2)	(0.6)	1.6		
		—	礫	—	砂岩	(2.2)	(1.3)	(0.3)	0.7		
		—	礫	—	砂岩	(1.3)	(0.9)	(0.2)	0.1		
		—	礫	—	砂岩	(1.5)	(0.9)	(0.2)	0.3		
UHD－37	Ⅲ層	2	礫	完形	砂岩	6.6	3.5	1.2	52.1	円礫	
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.9	3.3	1.4	36.6	円礫	
		5	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.7)	4.6	1.8	32.7	円礫	
		6	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.4)	4.0	1.2	21.5	円礫	
		7	礫	完形	泥岩	6.9	2.2	1.6	44.2	円礫	
		8	礫	完形	砂岩	6.4	3.1	1.7	50.5	円礫	
		9	礫片	完形	火山礫凝灰岩	7.8	3.4	(1.0)	29.1	円礫	
		10	礫	完形	泥岩	6.0	4.8	1.4	46.9	円礫	接合
		11	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.4	3.8	1.6	41.7		
		13	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.1)	3.6	2.0	26.2	円礫	接合
		14	礫片	完形	火山礫凝灰岩	8.4	5.2	(1.5)	58.9	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（6）

遺構	層位	出土遺物					計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g			
UHD－37	Ⅲ層	15	礫	完形	泥岩	6.5	2.6	1.9	51.6	円礫	
		16	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.3	3.9	1.7	43.4	円礫	
		17	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.6	4.9	1.7	71.9	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	7.0	2.8	2.2	41.6	円礫	
		19	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.3	3.3	1.7	47.6	円礫	
		20	礫片	片	火山礫凝灰岩	4.9	3.1	1.5	17.6	円礫	被熱
		21	礫	片	火山礫凝灰岩	8.8	5.2	2.3	80.0	円礫	
		22	礫	完形	砂岩	6.1	3.6	1.9	57.0	円礫	
		23	礫	完形	軽石	5.2	3.3	1.8	23.7	円礫	
		24	礫	完形	砂岩	8.1	3.6	1.4	46.4	円礫	
		25	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	4.4	1.9	33.2	円礫	
		26	礫	片	凝灰岩	4.7	3.4	1.7	15.4	角礫	接合
		27	礫片	片	凝灰岩	2.9	2.4	0.8	5.1	円礫	被熱
		28	礫	完形	砂岩	6.7	2.6	1.5	41.7	円礫	
		29	礫	完形	砂岩	6.9	3.3	1.7	46.4	円礫	
		30	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.7	4.6	2.1	64.2	円礫	
		31	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.3	4.2	1.5	58.7	円礫	
		32	礫	完形	砂岩	6.3	2.1	1.7	36.1	円礫	
		33	礫片	完形	砂岩	6.8	3.1	2.2	51.2	円礫	被熱
		34	礫	片	閃緑岩	4.4	3.7	2.2	36.6	円礫	
		35	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.5	4.3	1.5	52.1	円礫	被熱
		36	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.1	4.7	1.7	62.7	円礫	
		37	礫	完形	泥岩	6.5	4.3	1.6	50.6	円礫	
		38	礫	完形	安山岩	8.2	4.0	1.8	48.7	円礫	
		39	礫	完形	安山岩	7.5	4.0	2.6	103.1	円礫	
		40	使用痕のある礫	完形	砂岩	7.3	4.3	3.0	120.1	円礫	
		41	礫	完形	泥岩	5.4	2.8	2.3	65.6	円礫	
		42	礫	完形	砂岩	6.1	3.3	2.0	52.3	円礫	
		43	礫	完形	砂岩	6.0	3.2	2.4	60.6	円礫	
		44	礫	片	火山礫凝灰岩	3.5	2.5	1.7	11.7	円礫	
		45	礫	片	泥岩	3.1	2.4	1.3	12.5	円礫	被熱
		46	礫	完形	砂岩	6.9	2.6	2.3	57.9	円礫	被熱
		47	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.3	3.2	2.0	43.6	円礫	被熱
		48	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.3)	4.5	(1.8)	33.8	円礫	
		49	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.1)	3.4	1.6	27.1	円礫	
		50	礫	完形	泥岩	4.2	2.2	1.2	15.1	円礫	
		52	礫	完形	泥岩？	6.0	3.6	2.1	59.6	円礫	
		53	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.5	4.6	1.4	50.4	円礫	
		54	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.2	3.8	1.7	53.0	円礫	
		55	たたき石	完形	砂岩	6.2	2.4	2.7	60.6	円礫	
		56	礫	完形	砂岩	6.3	3.9	2.4	71.2	円礫	
		57	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.0)	4.2	(2.1)	21.5	円礫	
		58	礫	完形	砂岩	6.5	3.4	1.4	56.3	円礫	
		59	礫	完形	泥岩	6.3	3.9	2.2	86.0	円礫	接合
		60	使用痕のある礫	完形	砂岩	15.1	6.7	4.0	510.0	円礫	
		61	礫	完形	砂岩	7.2	3.0	2.3	66.1	円礫	被熱
		62	礫	完形	泥岩	8.6	3.2	1.5	69.4	円礫	
		63	礫	完形	泥岩	5.8	3.2	2.2	45.2	円礫	
		64	礫	完形	砂岩	6.3	3.5	1.4	48.8	円礫	
		65	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.1)	1.8	(1.8)	39.5	円礫	
		66	礫	完形	火山礫凝灰岩	4.3	3.0	1.0	15.7	円礫	
		67	礫	完形	泥岩	6.9	4.2	2.1	70.5	円礫	
		68	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	(4.0)	1.1	16.2	円礫	
		69	礫	片	片麻岩	(5.8)	(5.3)	2.6	117.2	円礫	
		71	礫	片	安山岩	7.6	3.5	1.9	78.4	円礫	
		73	礫	片	火山礫凝灰岩	6.2	3.5	1.0	19.6	円礫	
		74	礫片	完形	火山礫凝灰岩	(5.6)	(3.9)	(1.2)	19.2	円礫	
		75	礫	片	火山礫凝灰岩	7.1	4.2	1.2	43.6	円礫	
		76	使用痕のある礫	完形	砂岩	(6.8)	4.2	2.1	79.8	円礫	
		77	礫	完形	砂岩	6.7	3.0	1.8	51.9	円礫	
		78	礫	完形	泥岩	6.3	3.7	2.8	71.1	円礫	
		79	礫	完形	砂岩	6.6	3.0	3.0	94.4	円礫	
		80	礫	完形	泥岩	7.0	3.4	1.8	53.1	円礫	
		81	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.2	3.3	1.5	43.4	円礫	
		82	礫片	完形	砂岩	(4.7)	(3.2)	(0.7)	14.3	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（7）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UHD－37	皿層	83	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.0)	(3.0)	(0.9)	5.4	円礫	
		84	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.0)	(3.0)	(1.6)	12.6	円礫	
		87	礫	完形	安山岩	5.4	2.7	1.4	22.7	円礫	
		88	礫	完形	チャート	5.2	3.4	2.4	65.5	円礫	
		89	礫	完形	安山岩	7.2	3.8	2.2	79.6	円礫	
		90	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.2)	3.4	1.2	13.3	円礫	
		91	礫片	片	閃緑岩	(5.2)	3.4	1.8	35.3	円礫	
		92	礫片	片	砂岩	4.1	3.2	1.3	25.2	円礫	
		93	礫片	片	砂岩	7.1	3.2	0.5	11.8	角礫	被熱
		94	礫	完形	凝灰岩	6.9	2.8	1.9	43.8	円礫	
		—	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.8	3.8	1.3	30.7	円礫	被熱
		—	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.6	3.8	2.1	52.3	円礫	
		—	礫	完形	火山礫凝灰岩	(5.5)	4.0	2.0	45.1	円礫	
		1	礫片	—	—	—	—	—	—	円礫	接合
		12	礫	片	火山礫凝灰岩	(6.7)	4.2	1.8	46.3	円礫	
		3	使用痕のある礫	—	—	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		51	たたき石	完形	砂岩	6.3	3.5	2.6	78.7	円礫	
		70	礫	片	スコリア	2.8	2.3	1.7	10.2	円礫	被熱　接合
		72	礫片	完形	安山岩	6.9	3.3	2.8	69.0	円礫	
UHD－38	皿層	1	礫	完形	片麻岩	6.3	4.0	1.3	56.5	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	6.9	3.8	2.7	70.0	円礫	
		3	礫	完形	安山岩	8.0	4.7	1.6	85.6	円礫	接合
		4	礫片	片	安山岩	(6.5)	(4.4)	(2.1)	72.5	円礫	
		6	礫片	片	安山岩	(7.7)	(2.9)	(2.1)	52.6	円礫	
		7	礫	完形	片麻岩	6.7	3.1	1.3	46.9	円礫	
		8	礫	完形	砂岩	52.6	3.1	1.3	32.8	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	(4.4)	23.0	1.8	24.2	円礫	
		10	礫	完形	チャート	3.7	3.1	1.7	28.3	円礫	
		11	礫	完形	泥岩	3.1	2.2	1.0	9.7	円礫	
		12	礫	完形	チャート	2.6	2.3	1.5	11.3	円礫	
		13	礫	完形	チャート	2.1	1.6	1.1	4.7	円礫	
		14	礫	完形	砂岩	6.9	3.1	2.1	69.9	円礫	
		15	たたき石	完形	砂岩	6.7	3.6	2.2	72.5	円礫	
		16	礫	完形	安山岩	5.3	3.7	1.4	31.1	円礫	
		17	礫	完形	泥岩	6.2	3.4	1.5	30.0	円礫	
		18	礫	完形	凝灰岩	6.3	2.1	1.9	24.8	円礫	
		19	礫	完形	安山岩	8.6	3.9	3.0	127.6	円礫	
		20	礫	完形	泥岩	5.3	4.0	1.8	51.0	円礫	
		21	礫	完形	チャート	2.7	2.3	1.1	8.0	円礫	
		22	礫	完形	チャート	2.6	2.2	1.4	11.7	円礫	
UHD－40	皿層	4	台石	完形	安山岩	16.3	15.7	2.6	1246.0	円礫	被熱
		5	礫	完形	泥岩	4.9	1.7	13.5	17.8	円礫	被熱
		6	礫片	片	火山礫凝灰岩	5.8	2.9	0.9	18.0	円礫	被熱
UHD－41	皿層	1	礫片	片	チャート	10.5	5.1	3.9	294.9		
UHD－43	皿層	1	礫石片	片	砂岩	(11.1)	4.9	2.5	268.8	円礫	
		2	礫	完形	片岩	(5.2)	(3.3)	2.4	65.3	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	8.5	3.3	1.2	60.7	円礫	
		4	礫	完形	砂岩	6.9	3.4	1.7	66.2	円礫	
		5	礫	片	火山礫凝灰岩	8.8	6.3	2.0	81.8	円礫	接合
		6	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		7	使用痕のある礫	片	片岩	6.4	3.3	1.7	28.8	角礫	
		8	礫	片	砂岩	2.0	1.3	0.7	1.9	円礫	
		9	加工痕のある礫	完形	泥岩	1.9	5.4	1.0	0.5	円礫	
		10	礫	完形	片麻岩	6.8	3.3	1.6	60.3	円礫	被熱
		11	礫	完形	片麻岩	6.7	3.3	1.4	58.4	円礫	被熱
		12	礫片	片	砂岩	(4.3)	(2.7)	(1.5)	17.6	円礫	
		13	礫片	片	砂岩	(3.1)	(1.3)	(0.5)	2.6	角礫	
		14	礫片	片	砂岩	(2.0)	(1.3)	(0.2)	1.1	角礫	
		15	礫片	片	砂岩	(1.3)	(0.8)	(0.3)	0.3	角礫	
		16	礫片	片	泥岩	(2.1)	(1.1)	(0.2)	0.7	角礫	
		17	礫片	片	砂岩	(2.8)	(1.1)	(1.1)	1.9	角礫	
		18	礫	完形	砂岩	5.4	3.1	1.6	27.0	角礫	
		19	礫片	片	火山礫凝灰岩	(6.2)	(5.5)	1.3	39.0	角礫	
		20	礫	完形	泥岩	(9.9)	5.5	2.3	125.2	角礫	
		21	礫	完形	砂岩	16.3	5.1	2.9	223.5	角礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（8）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UHD－46	Ⅲ層	1	礫片	片	砂岩	2.6	2.1	0.5	2.2	円礫	
		2	礫片	片	砂岩	3.2	3.0	1.1	6.2	円礫	
		4	礫片	片	砂岩	4.0	1.9	0.7	4.4	円礫	
		5	礫片	片	砂岩	2.7	2.2	3.6	1.7	円礫	接合
		6	礫片	片	砂岩	6.0	2.1	1.6	23.5	円礫	
		12	礫片	片	砂岩	4.8	2.3	0.7	6.2	円礫	
		13	礫片	片	砂岩	4.7	2.0	0.6	6.4	円礫	
		18	礫片	片	砂岩	3.8	1.5	0.4	1.8	円礫	
		19	礫片	片	砂岩	2.0	1.3	0.4	1.3	円礫	
		10	礫片	片	砂岩	8.4	3.4	1.9	93.0	円礫	被熱 10と17接合
		17	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		15	礫片	片	砂岩	7.4	2.6	5.7	181.5	円礫	被熱 15と16接合
		16	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		3	礫片	片	砂岩	8.0	6.9	4.8	318.1	円礫	被熱 3, 7～9, 11, 14, 20, 21接合
		7	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		8	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		9	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		11	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		14	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		20	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
		21	礫片	片	砂岩	—	—	—	—		
UHD－48	Ⅲ層	1	礫	完形	泥岩	5.2	1.5	1.3	11.7	円礫	
		2	礫	片	砂岩	3.8	1.6	1.3	9.4	円礫	
		3	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.0	3.8	2.7	64.9	円礫	
		4	礫	完形	砂岩	6.1	3.8	2.3	72.8	円礫	被熱
		5	礫	完形	泥岩	10.8	3.2	2.1	117.8	円礫	
		6	礫	片	安山岩	5.0	3.0	2.0	40.8	円礫	
		7	礫	片	砂岩	4.2	3.6	2.2	39.7	円礫	
		8	礫片	片	火山礫凝灰岩	(2.8)	(2.1)	(0.8)	5.1	円礫	
		9	礫	片	火山礫凝灰岩	3.0	2.7	0.4	3.1	円礫	
		10	礫	完形	泥岩	4.6	3.2	(1.9)	21.2	円礫	
		11	礫	完形	砂岩	2.3	1.9	0.9	5.3	円礫	
		12	礫	完形	泥岩	3.3	2.1	1.5	14.9	円礫	
		13	礫片	片	火山礫凝灰岩	(2.4)	(1.7)	(0.5)	2.0	円礫	
		14	礫	完形	チャート	6.5	3.5	2.8	85.6	円礫	
		15	礫片	片	火山礫凝灰岩	6.3	(3.9)	1.3	30.7	円礫	
		16	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.5)	4.7	(1.5)	32.5	円礫	
		17	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.3)	3.1	0.8	7.3	円礫	
		18	礫片	片	火山礫凝灰岩	4.1	(2.7)	(1.0)	10.1	円礫	
		19	礫	片	火山礫凝灰岩	7.4	4.6	1.4	46.4	円礫	
		20	礫	完形	泥岩	4.7	3.2	1.7	32.0	円礫	
		21	礫片	片	火山礫凝灰岩	(2.9)	(2.3)	0.6	3.7	円礫	
		22	礫片	片	安山岩	(5.1)	4.2	2.4	78.0	円礫	
		23	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.1)	1.6	1.8	11.7	円礫	
		24	礫片	片	火山礫凝灰岩	4.8	4.3	3.1	54.9	円礫	
		25	礫	完形	火山礫凝灰岩	3.8	2.5	1.0	8.0	円礫	
		26	礫	完形	砂岩	6.6	3.7	1.2	39.6	円礫	
		27	礫	完形	片麻岩	6.5	2.5	1.0	25.9	円礫	
		28	礫	完形	泥岩	2.1	1.0	0.8	2.7	円礫	
		29	礫	完形	火山礫凝灰岩	4.3	2.1	1.6	13.5	円礫	
		30	礫	完形	チャート	5.2	3.2	2.2	47.3	円礫	
		31	礫片	片	砂岩	(3.0)	(2.1)	(1.6)	8.3	円礫	
		32	礫	完形	凝灰岩	3.9	2.3	2.1	22.1	円礫	
		33	礫片	片	凝灰岩	(3.5)	(2.6)	(2.1)	25.4	円礫	
		34	礫片	片	砂岩	(3.9)	1.9	1.0	11.2	円礫	
		35	礫片	片	泥岩	(6.1)	4.1	(2.7)	89.2	円礫	
		36	礫片	片	砂岩	(3.2)	(2.6)	1.7	18.8	円礫	
		37	礫片	片	安山岩	(4.0)	(2.7)	(2.5)	26.1	円礫？	
		38	礫片	片	砂岩	(5.6)	(3.0)	(2.4)	52.6	円礫	
		39	礫	完形	凝灰岩	5.0	2.8	3.4	62.3	円礫	
		40	礫	完形	泥岩	4.5	2.8	2.1	35.2	円礫	
		41	礫	完形	泥岩	3.8	1.6	1.5	13.4	円礫	
		42	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.1	4.4	1.9	4.0	円礫	
		43	礫片	片	凝灰岩	(5.0)	(2.7)	(0.8)	7.7	円礫	
UHD－49	Ⅲ層	1	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.6	5.4	1.7	70.4	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（9）

遺構	層位	出土遺物				計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g		
UHD－49	Ⅲ層	2	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.7)	5.5	1.4	47.2	円礫	
		3	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.0)	(3.6)	(2.0)	32.6	円礫	
		4	礫片	片	火山礫凝灰岩	(5.4)	(3.3)	(1.0)	14.3	円礫	
		5	礫	完形	凝灰岩	(4.4)	(3.1)	(1.8)	25.6	円礫	
		6	礫片	片	砂岩	7.1	3.2	(1.1)	38.3	円礫	
		7	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.7)	3.5	(0.9)	12.6	円礫	
		8	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.2	6.1	1.8	59.9	円礫	
		9	礫	完形	泥岩	6.1	2.9	1.7	44.7	円礫	
		10	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.7	3.7	2.1	46.4	円礫	
		11	礫	完形	砂岩	6.1	3.8	2.0	63.8	円礫	
		12	礫	完形	砂岩	5.9	3.0	1.7	43.8	円礫	
		13	礫	完形	砂岩	5.5	3.4	2.2	64.6	円礫	
UHD－50	Ⅲ層	5	礫	完形	砂岩	6.0	3.1	1.1	32.9	円礫	
		9	礫片	片	砂岩	(3.8)	(3.4)	1.9	36.9	円礫	
		14	礫	完形	片麻岩	9.4	6.0	1.9	172.4	円礫	
		17	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	5.6	1.3	28.7	円礫	
		18	礫	片	火山礫凝灰岩	5.9	3.2	1.8	31.5	円礫	接合
		20	礫片	完形	泥岩	9.0	3.0	2.4	82.0	円礫	
		21	礫	片	砂岩	5.3	2.9	1.6	30.3	円礫	
		22A	礫	片	火山礫凝灰岩	6.0	2.9	1.6	29.6	円礫	
		22B	礫	完形	火山礫凝灰岩	(4.9)	(2.6)	(0.7)	6.0	円礫	
		24	礫片	片	砂岩	(4.4)	(2.1)	(0.6)	6.0	円礫	
		25	礫片	片	砂岩？	(1.8)	(1.0)	(0.5)	1.2	円礫	
		26	礫片	片	片麻岩	(7.0)	(3.1)	(1.8)	52.1	円礫	
		27	礫	完形	泥岩	7.0	4.0	1.5	67.9	円礫	
		—	礫	完形	砂岩	5.7	3.7	2.1	32.9	角礫	点取り
		—	礫	完形	スコリア？	3.9	2.8	1.6	18.4	円礫？	点取り
		—	礫	完形	安山岩	4.6	2.6	1.9	20.5	角礫？	点取り
		—	礫	完形	安山岩	6.1	3.9	2.2	59.7	角礫？	点取り
		—	礫	完形	火山礫凝灰岩	(4.3)	4.9	1.1	22.8	円礫	点取り
		—	礫	片	火山礫凝灰岩	9.1	(5.8)	1.4	66.0	円礫	点取り
		—	礫片	片	火山礫凝灰岩	5.7	4.9	1.3	34.2	円礫	点取り
		—	礫片	片	凝灰岩	2.1	2.0	0.8	2.5	円礫	点取り
		—	礫	完形	泥岩	6.4	3.9	1.1	50.3	円礫	点取り
		—	礫	完形	泥岩	4.2	3.1	1.5	18.6	円礫	点取り
		—	礫	完形	泥岩	6.4	1.9	2.0	44.3	円礫	点取り
		—	礫	片	泥岩	4.5	2.0	1.4	11.7	円礫	点取り
		—	礫	完形	チャート	4.7	2.9	2.7	49.5	円礫	点取り
UHD－52	Ⅲ層	1	礫	完形	砂岩	5.0	2.1	1.5	27.0	円礫	接合
		3	礫片	片	砂岩	6.8	3.4	1.3	34.4	円礫	接合
		4	礫片	片	火山礫凝灰岩	4.1	4.7	1.1	22.2	円礫	
		5	礫	完形	砂岩	6.5	2.5	1.1	24.6	円礫	
UHD－53	Ⅲ層	1	礫	完形	泥岩	6.3	3.8	0.9	38.1	円礫	
		2	礫片	片	泥岩	(3.4)	(2.1)	(1.1)	8.1	円礫	
		3	礫	完形	火山礫凝灰岩	3.7	3.0	1.0	10.1	円礫	
		4	礫片	片	凝灰岩	(3.3)	(1.5)	(0.8)	3.6	円礫	
		5	礫	完形	砂岩	6.0	3.1	1.1	35.6	円礫	
		6	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.1)	(1.3)	(0.9)	3.5	円礫	
		7	礫	完形	火山礫凝灰岩	5.5	2.9	1.8	26.8	円礫	
		8	礫	完形	スコリア	(3.2)	(2.9)	(1.3)	7.5	円礫？	
		10	礫片	片	安山岩	(4.2)	(3.5)	(2.7)	36.4	円礫	
		11	礫	完形	泥岩	5.5	2.5	1.1	28.0	円礫	
		12	礫	完形	泥岩	5.7	2.8	0.9	25.6	円礫	
		13	礫片	片	泥岩	(4.8)	(1.2)	(1.3)	10.7	円礫	
		14	礫	完形	火山礫凝灰岩	5.9	3.6	1.9	30.8	円礫	
		15	礫	完形	泥岩	3.4	2.3	2.0	20.8	円礫	
		16	礫	完形	砂岩	6.1	3.0	1.9	41.3	円礫	
		17	礫	完形	砂岩	5.0	2.4	2.0	30.0	円礫	接合
		18	礫	完形	泥岩	5.9	2.6	1.4	35.5	円礫	
		19	礫片	片	凝灰岩	2.1	1.3	0.9	4.7	円礫	
		20	礫	完形	砂岩	3.9	0.3	2.0	24.7	円礫	
		21	礫	完形	砂岩	12.4	10.1	1.8	358.7	円礫	
		22	礫片	片	砂岩	3.2	3.0	2.0	25.9	円礫	
		23	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.9	4.2	1.4	33.7	円礫	
		24	礫	完形	泥岩	5.3	3.0	1.8	44.1	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（10）

遺構	層位	出土遺物					計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g			
UHD－53	Ⅲ層	25	礫片	片	砂岩	(2.0)	3.7	2.4	21.8	円礫	
		26	礫片	片	泥岩	(4.5)	(3.2)	(1.4)	16.5	円礫？	
		27	礫	完形	凝灰岩	5.4	3.1	2.5	67.2	円礫	
UHD－53・HP－12	覆土	—	礫片	片	砂岩	(6.3)	(5.4)	(1.8)	53.7	角礫	
		—	礫	完形	泥岩	7.3	2.5	1.5	46.9	円礫	
UHD－55	Ⅲ層	1	礫片	片	火山礫凝灰岩	(2.5)	(2.3)	(0.9)	4.8	円礫	
		2	使用痕のある礫	片	砂岩	(3.7)	(3.0)	(1.8)	20.7	円礫	
		3	礫片	片	凝灰岩	3.7	1.5	11.3	4.2	円礫	
		4	礫	完形	泥岩	(4.5)	2.6	1.7	25.2	円礫	
		5	礫	完形	砂岩	5.5	3.8	1.4	33.6	円礫	
		6	礫片	片	砂岩	(4.4)	(3.8)	(2.3)	43.6	円礫	
		7	礫	完形	片麻岩	6.3	5.0	2.2	111.9	円礫	
		8	礫片	片	凝灰岩	(4.9)	(3.0)	(1.6)	17.0	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	4.5	3.6	19.2	41.1	円礫	
		10	礫片	片	凝灰岩	(3.0)	(2.9)	(2.4)	20.0	円礫	
		11	礫片	片	泥岩	(4.6)	(2.5)	(1.1)	13.2	円礫	
		12	礫片	片	砂岩	(2.6)	(1.8)	(1.2)	6.7	円礫	
		13	礫片	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	(2.7)	(1.9)	18.1	円礫	
		14	礫片	片	泥岩	(2.6)	(3.6)	2.3	25.5	円礫	
		15	礫片	片	泥岩	(3.3)	(2.5)	(2.5)	20.1	円礫	
		16	礫片	片	砂岩？	(4.1)	(3.5)	(2.4)	34.9	円礫	
		17	礫片	片	凝灰岩	(3.5)	(2.0)	(0.7)	3.0	円礫	
		18	礫	完形	砂岩	6.9	3.6	2.8	115.0	円礫	
		21	礫片	片	凝灰岩	(3.7)	(1.5)	(1.2)	8.2	円礫	
		22	礫片	片	泥岩	(3.4)	(3.2)	(1.1)	11.3	円礫	
		23	礫片	片	凝灰岩	(4.0)	(1.9)	(1.6)	11.5	円礫	
		24	礫	完形	安山岩	5.0	3.9	2.1	56.2	円礫	
		25	礫片	片	泥岩	(5.8)	3.9	1.3	35.8	円礫	
		26	礫	完形	泥岩	(5.2)	(3.2)	2.7	55.6	円礫	
		27	礫片	片	凝灰岩	(4.4)	(2.7)	(1.3)	11.8	円礫	
		28	礫片	片	砂岩	(4.8)	(4.2)	(1.2)	24.6	円礫	
		29	礫片	片	凝灰岩	(3.8)	(2.2)	(1.2)	8.1	円礫	
		30	礫片	片	砂岩	(3.9)	(1.8)	(1.2)	7.5	円礫	
		31	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.7)	(1.6)	(1.4)	9.1	円礫	
		32	礫片	片	火山礫凝灰岩	(3.9)	(3.1)	(1.7)	17.9	円礫	
		33	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.0	5.1	1.9	50.9	円礫	
		34	礫片	片	砂岩	(6.0)	(2.6)	(1.9)	36.2	円礫	
		35	礫片	片	泥岩	6.4	2.8	(1.0)	16.3	円礫	接合
		36	礫片	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		37	礫	完形	泥岩	6.6	3.8	1.6	35.9	円礫	
		38	礫	完形	泥岩	4.4	3.5	2.0	32.0	円礫	
		39	使用痕のある礫	片	泥岩	3.5	3.7	1.5	22.7	円礫	
		40	礫片	片	凝灰岩	(3.4)	(2.4)	(2.0)	18.5	円礫	
		41	礫片	片	安山岩	(5.1)	(3.3)	(2.6)	44.0	円礫	
		42	礫片	片	凝灰岩	(3.6)	(2.6)	(0.9)	5.1	円礫	
		43	礫片	片	砂岩	(3.8)	3.3	1.4	21.8	円礫	
		44	礫片	片	砂岩	(3.7)	(3.2)	(1.7)	18.9	円礫	
		45	礫片	完形	凝灰岩	6.0	(2.6)	2.0	34.2	円礫	接合
		46	礫片	片	安山岩	(3.7)	(3.8)	2.3	31.9	円礫	
		47	礫片	片	凝灰岩	(3.1)	(2.8)	3.1	31.8	円礫	
		48	礫片	片	凝灰岩	(4.4)	(1.9)	(0.7)	7.1	円礫	
		49	礫片	完形	泥岩	(4.0)	(3.1)	(3.1)	56.1	角礫	
		50	礫片	片	砂岩	(2.2)	(1.5)	(0.8)	2.5	角礫？	
		51	礫片	片	砂岩	(3.1)	(2.0)	(1.1)	4.2	円礫	
		52	礫片	完形	スコリア	(2.5)	(2.2)	(1.1)	3.3	円礫	
UHD－56	Ⅲ層	1	磨製石斧	準完形	緑色泥岩	9.7	3.7	2.2	139.8	円礫	
		2	礫	完形	片麻岩	6.1	3.1	1.3	44.3	円礫	被熱
		6	礫片	片	凝灰岩	(5.9)	3.4	1.4	28.5	円礫	被熱
		7	礫	完形	チャート	6.1	2.0	(1.5)	29.1	円礫	
		8	礫	完形	泥岩	7.0	3.0	1.8	46.8	円礫	被熱
		9	使用痕のある礫	片	安山岩	5.4	2.1	1.7	25.5	円礫	被熱
		10	礫	完形	チャート	1.8	1.2	0.7	2.2	円礫	
		12	礫	完形	火山礫凝灰岩	8.2	7.1	1.6	88.9	円礫	
		13	礫	完形	砂岩	4.5	2.8	1.4	26.2	円礫	
		15	礫片	片	火山礫凝灰岩	4.5	3.0	1.0	9.8	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（11）

遺構	層位	出土遺物					計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名		長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g		
UHD－56	皿層	16	礫	片	火山礫凝灰岩		(5.7)	(4.4)	1.6	36.8	円礫	接合
		17	礫	片	火山礫凝灰岩		—	—	—	—	円礫	
		18	礫	完形	泥岩		5.1	1.8	1.5	62.9	円礫	被熱
		19	礫	完形	砂岩		6.0	2.4	1.8	48.8	円礫	
		20	礫片	片	安山岩		(4.4)	(2.9)	(1.9)	34.6	円礫	
		21	礫片	片	砂岩		(3.0)	(1.6)	3.4	1.5	円礫	
		22	礫	完形	砂岩		8.7	3.7	3.8	143.5	円礫	
		23	礫	完形	泥岩		7.2	3.9	2.5	96.0	円礫	
		24	礫	完形	泥岩		7.6	3.3	2.7	80.5	円礫	
		25	礫片	片	火山礫凝灰岩		(5.6)	(4.7)	(1.1)	18.8	円礫	
		26	礫片	片	泥岩		(4.6)	(2.4)	(1.9)	12.2	円礫	
UA－2	灰	3	礫	片	泥岩		(4.7)	(2.3)	(0.9)	13.0	円礫	
UA－5	表土	14	礫	完形	泥岩		5.3	2.3	1.6	22.6	円礫	
		15	礫	完形	砂岩		3.9	2.2	1.8	22.3	円礫	
		16	礫	片	砂岩		(2.0)	(1.2)	(0.9)	3.9	円礫	
	灰・ロ	—	礫	完形	火山礫凝灰岩		9.6	3.9	1.7	58.4	円礫	
		—	礫	完形	凝灰岩		5.6	2.9	2.7	18.4	円礫	
	皿層	58	礫	—	火山礫凝灰岩		6.1	3.5	2.6	62.8	円礫	
		59	礫	—	泥岩		(3.5)	(1.7)	(1.1)	7.1	円礫	
		60	礫	—	玄武岩		(6.5)	(4.4)	(2.2)	45.2	角礫	
		75	礫	—	砂岩		6.9	3.8	(0.9)	42.6	円礫	
			礫	—			6.9	2.6	1.2	38.6	円礫	
UA－6	皿層	4	礫	完形	砂岩		5.5	2.6	1.2	24.7	円礫	
UA－8	皿層	—	礫	片	片岩		(3.9)	(2.1)	(1.0)	5.0	円礫	接合 被熱
	灰	2	礫	—	凝灰岩		(1.1)	(1.4)	(0.6)	0.6	円礫	
UA－14	皿層	1	礫	完形	砂岩		5.9	3.4	2.3	54.3	円礫	
		3	礫	片	砂岩		(3.3)	(1.9)	(1.6)	10.6	円礫	被熱
UA－20	皿層	1	礫	完形	砂岩		8.5	3.3	1.0	43.8	円礫	
		2	礫	片	砂岩		7.3	(2.3)	1.9	42.3	円礫	
		3	礫	片	火山礫凝灰岩		(4.8)	(3.7)	(1.0)	11.6	円礫	
		4	礫	片	砂岩		(7.3)	(3.0)	2.1	60.1	円礫	
		5	礫	完形	砂岩		5.5	2.7	2.0	39.1	円礫	
UA－21	表土1	1	礫	片	凝灰岩		(9.5)	(6.2)	(5.5)	266.5	角礫	
		5	礫	完形	砂岩		10.4	5.1	2.3	167.1	円礫	
		6	礫	完形	砂岩		11.6	4.3	2.3	192.0	円礫	
		10	礫	完形	安山岩		(3.7)	(2.3)	(2.2)	22.0	円礫	
		11	礫	完形	安山岩		(4.7)	(4.4)	(3.0)	68.1	円礫	
		12	礫	完形	泥岩		(5.8)	(3.1)	(3.0)	57.1	円礫	
		13	礫	完形	軽石		6.9	4.2	1.9	20.8	円礫	
		14	礫	片	火山礫凝灰岩		7.5	4.7	(1.6)	49.9	円礫	接合
		16	たたき石	完形	砂岩		6.8	3.5	2.7	87.8	円礫	
		17	礫	完形	凝灰岩		(5.2)	(2.9)	2.0	29.8	円礫	
		19	礫	完形	軽石		(2.4)	(1.8)	(1.5)	7.1	円礫	
		20	礫	完形	スコリア		(2.9)	(2.3)	(1.1)	4.5	円礫	
		22	礫	完形	泥岩		(23.4)	14.5	12.3	4515.0	円礫	
		23	礫	完形	泥岩		22.5	11.9	5.4	2470.0	円礫	
		28	礫	完形	火山礫凝灰岩		6.2	3.2	1.5	32.2	円礫	
		29	礫	片	凝灰岩		(3.6)	3.9	(2.5)	36.5	円礫	
		30	礫	完形	片麻岩		9.9	4.9	3.3	286.9	円礫	
		31	礫	片	砂岩		(7.9)	(4.7)	(3.7)	179.9	円礫	
		32	礫	片	火山礫凝灰岩		(4.5)	(3.1)	(1.2)	16.2	円礫	
		33	礫	完形	火山礫凝灰岩		6.4	4.0	2.0	56.1	円礫	
		34	礫	完形	砂岩		5.9	2.2	2.2	40.9	円礫	
		35	礫	完形	火山礫凝灰岩		(6.4)	4.1	2.2	6.3	円礫	
		36	礫	片	片岩		(4.5)	(2.7)	0.9	10.2	円礫	
		37	礫	完形	泥岩		7.0	3.2	1.7	54.9	円礫	
		18	礫	完形	凝灰岩		—	—	—	—	円礫	接合
		21	礫	片	凝灰岩		(6.0)	(3.3)	(1.3)	20.1	円礫	
UF－15	皿層	1	礫	平形	砂岩		(6.1)	(3.1)	(1.9)	55.3	円礫	
		3	礫	完形	泥岩		5.6	3.4	2.1	50.6	円礫	
		4	礫	完形	泥岩		5.1	1.5	1.6	18.2	円礫	
		5	礫	完形	砂岩		4.8	2.2	1.8	24.7	円礫	
		6	礫	完形	砂岩		6.0	2.7	1.5	35.7	円礫	
		7	礫	完形	火山礫凝灰岩		(5.8)	(3.6)	(1.4)	25.4	円礫	
		8	礫	片	砂岩		(3.6)	(2.6)	1.2	12.0	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（12）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UF－15	黒層	9	礫	片	火山礫凝灰岩	7.2	3.6	1.6	39.5	円礫	接合
		10	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		11	礫	完形	砂岩	4.8	2.0	1.6	23.4	円礫	
		12	礫	完形	砂岩	4.6	2.1	2.0	28.2	円礫	
		13	礫	完形	砂岩	(5.0)	3.5	2.0	51.5	円礫	
		14	礫	完形	泥岩	(6.5)	2.9	2.6	65.8	円礫	
		15	礫	完形	砂岩	7.3	4.0	1.4	79.7	円礫	
		16	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.2)	(3.2)	0.9	9.4	円礫	
		17	礫	片	火山礫凝灰岩	(5.8)	(3.4)	(1.2)	20.8	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	3.8	1.7	1.6	12.1	円礫	
		19	礫	完形	泥岩	5.0	2.5	1.3	18.9	円礫	
		20	礫	完形	軽石	6.9	4.1	1.8	32.7	円礫	
		21	礫	完形	砂岩	3.9	2.1	1.4	14.3	円礫	
		22	礫	片	軽石	5.1	2.7	1.4	13.2	円礫	
		23	礫	完形	安山岩	5.0	3.7	2.1	45.9	円礫	
		24	礫	片	火山礫凝灰岩	4.6	3.4	1.2	15.2	円礫	
		25	使用痕ある礫	片	砂岩	(5.3)	(3.0)	(1.6)	35.2	円礫	被熱
		26	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.2	4.2	(1.2)	27.7	円礫	
		27	礫	完形	火山礫凝灰岩	(5.8)	(3.5)	(1.5)	28.4	円礫	
		28	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.7	6.0	(1.2)	51.1	円礫	
		29	礫	完形	火山礫凝灰岩	4.6	(2.8)	(1.1)	11.1	円礫	
		30	礫	完形	火山礫凝灰岩	(7.3)	(4.8)	1.6	43.2	円礫	
		31	礫	完形	軽石	(3.8)	(2.6)	(2.2)	5.8	円礫	
		32	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		33	礫	片	火山礫凝灰岩	(7.6)	(4.6)	(1.7)	40.7	円礫	接合
		34	礫	完形	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		36	礫	完形	泥岩	6.6	3.8	2.3	85.4	円礫	
		37	礫	完形	砂岩	5.1	3.1	2.4	51.7	円礫	
		38	礫	完形	泥岩	5.2	2.7	1.5	31.2	円礫	
		39	礫	完形	泥岩	5.4	2.6	2.2	46.2	円礫	
		40	礫	片	火山礫凝灰岩	(2.5)	5.0	3.8	38.0	円礫	
		41	礫	完形	砂岩	6.3	3.5	2.7	78.5	円礫	
		42	礫	完形	泥岩	4.1	2.3	1.4	18.9	円礫	被熱
		43	礫	完形	砂岩	4.8	3.4	1.9	45.2	円礫	
		44	礫	完形	泥岩	(2.9)	2.0	1.1	8.8	円礫	
		45	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.9)	(3.4)	1.5	35.7	円礫	
		46	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.1	5.4	1.3	34.2	円礫	
		47	礫	片	凝灰岩	(2.4)	(1.2)	(1.2)	2.3	円礫	
		48	礫	完形	泥岩	5.5	2.8	2.2	47.7	円礫	
		49	礫	完形	凝灰岩	(6.7)	(3.6)	(2.9)	56.8	円礫	
		50	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.3)	(3.0)	3.3	32.5	円礫	
UF－16	黒層	2	礫	完形	砂岩	18.8	6.9	5.3	1264.0	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	7.5	2.7	1.8	51.4	円礫	
		4	礫	完形	砂岩	(5.9)	2.8	1.9	51.1	円礫	
		5	礫	完形	砂岩	(8.8)	4.5	2.3	100.3	円礫	
		6	使用痕ある礫	片	砂岩	(6.2)	(3.4)	2.6	83.0	円礫	
		7	礫	完形	砂岩	6.6	(4.2)	1.6	33.3	円礫	
UF－20	黒層	1	礫	完形	砂岩	4.1	2.7	1.7	26.4	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	(4.5)	(3.2)	1.7	31.7	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	4.8	2.7	1.5	28.2	円礫	
		4	礫	完形	泥岩	4.8	3.3	3.3	82.4	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	5.9	3.4	1.3	40.5	円礫	
		6	礫	完形	砂岩	4.8	3.5	2.1	41.2	円礫	
		7	礫	完形	砂岩	(6.9)	(2.5)	(2.5)	45.2	円礫	
		8	礫	完形	泥岩	8.8	4.7	4.1	221.8	円礫	
		9	使用痕ある礫	完形	砂岩	(4.4)	2.3	1.4	20.6	円礫	
		10	礫	完形	砂岩	4.3	3.2	2.1	37.2	円礫	
		11	使用痕ある礫	完形	砂岩	(4.2)	4.1	3.3	92.4	円礫	被熱
		12	礫	完形	砂岩	3.7	3.4	3.1	52.6	円礫	
		13	礫	完形	泥岩	4.8	3.1	1.7	33.6	円礫	
		14	礫	完形	泥岩	4.5	3.7	2.7	55.9	円礫	
		15	礫	完形	泥岩	4.8	2.2	1.3	20.5	円礫	
		16	礫	完形	泥岩	6.0	4.4	2.0	60.0	円礫	
		17	礫	片	チャート	(6.0)	2.6	2.3	48.9	円礫	
		18	礫	完形	火山礫凝灰岩	(7.8)	(5.5)	(2.7)	78.4	円礫	被熱

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（13）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
UF－21	堆層	1	礫	完形	凝灰岩	(4.4)	(3.3)	(2.4)	25.1	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	4.4	3.0	1.6	30.5	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	6.5	3.4	2.4	102.7	円礫	
		4	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.2)	4.5	(1.0)	15.3	円礫	被熱
		5	礫	完形	泥岩	6.2	(4.2)	2.0	62.3	円礫	
UF－22	堆層	—	礫	片	砂岩	(5.4)	3.6	(2.6)	51.1	円礫	
UF－24	堆層	1	たたき石	半形	砂岩	(8.6)	5.8	3.9	275.5	円礫	被熱
		2	使用痕ある礫	完形	砂岩	19.7	(8.6)	5.7	1351.0	円礫	
		3	礫	片	チャート	(4.9)	3.3	(3.3)	56.1	円礫	
		4	礫	片	火山礫凝灰岩	(6.3)	4.3	2.3	55.6	円礫	
		5	礫	片	火山礫凝灰岩	12.2	7.4	2.4	133.4	円礫	被熱
		5	礫	—	安山岩	(3.9)	(3.3)	(0.8)	8.2	円礫	
		6	礫	片	安山岩	(12.2)	(5.9)	3.9	235.9	円礫	
UF－27	堆層	1	礫	片	火山礫凝灰岩	(5.0)	(2.7)	(1.6)	15.7	円礫	
		2	礫	片	火山礫凝灰岩	(5.7)	(3.7)	(1.0)	23.8	円礫	
UF－28	堆層	—	礫	完形	泥岩	4.3	3.0	2.2	34.6	円礫	
UF－29	堆層	1	礫	片	砂岩	(3.9)	(2.9)	1.7	29.9	円礫	
		2	礫	片	凝灰岩	(2.0)	(2.0)	(0.6)	3.4	円礫	
		3	礫	完形	安山岩	10.2	(5.0)	(3.6)	204.0	円礫	
		4	礫	片	砂岩	8.9	3.5	1.5	59.8	円礫	
		5	礫	完形	スコリア	(3.4)	(2.9)	(1.7)	10.2	円礫	
		6	礫	完形	泥岩	(6.6)	3.3	3.2	83.5	円礫	
		7	礫	完形	砂岩	6.4	3.1	1.9	54.4	円礫	
		8	礫	完形	泥岩	4.2	2.7	1.3	23.5	円礫	
		8	礫	完形	砂岩	(2.9)	2.9	0.9	11.5	円礫	
UF－30	堆層	—	礫	完形	砂岩	6.3	(3.1)	2.1	61.7	円礫	
US－5	堆層	1	礫	完形	砂岩	5.2	4.8	1.6	60.0	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	4.1	2.7	2.7	39.6	円礫	
		3	礫	完形	砂岩	4.1	2.7	2.0	29.3	円礫	
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.8	2.7	2.6	45.6	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	4.7	3.4	2.8	54.8	円礫	
		5	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.3	5.1	1.7	54.0	円礫	
		6	礫	完形	砂岩	5.0	3.1	2.4	46.8	円礫	
		7	礫	完形	砂岩	7.6	2.9	2.2	64.1	円礫	
		8	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.6	4.1	1.3	33.5	円礫	
		9	礫	完形	泥岩	5.5	3.2	2.4	59.1	円礫	
		10	礫	完形	凝灰岩	5.7	4.0	2.4	67.8	円礫	
		11	礫	片	火山礫凝灰岩	(5.3)	(4.6)	1.9	40.5	円礫	
		12	礫	完形	砂岩	5.6	2.8	2.6	60.3	円礫	被熱
		13	礫	完形	泥岩	4.6	3.6	2.4	54.1	円礫	
		14	礫	完形	砂岩	3.8	3.7	2.9	62.0	円礫	
		15	礫	完形	泥岩	4.8	4.2	2.5	63.4	円礫	
		16	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.1)	(3.6)	(1.9)	32.3	円礫	
		17	礫	片	チャート	(3.8)	(3.5)	(2.7)	42.6	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	5.4	3.0	2.2	51.6	円礫	
		19	礫	完形	砂岩	5.6	2.9	2.2	49.8	円礫	磨製石斧転用品
US－6	堆層	1	たたき石	完形	緑色泥岩	(6.0)	3.5	2.2	90.0	円礫	
		2	礫	片	凝灰岩	(2.6)	(2.0)	(0.5)	2.2	円礫	
		3	礫	完形	安山岩	7.6	3.5	1.6	60.7	円礫	
		3	たたき石	完形	泥岩	6.3	4.3	2.3	83.3	円礫	
		4	礫	完形	泥岩	6.2	4.6	1.8	92.9	円礫	被熱
		5	礫	完形	安山岩	(6.4)	(4.8)	(1.9)	100.3	円礫	被熱
		6	礫	完形	安山岩	7.2	3.7	2.0	80.2	円礫	
		7	礫	完形	安山岩	7.7	3.6	2.4	98.0	円礫	被熱
		8	礫	片	安山岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		9	たたき石	片	安山岩	7.7	4.0	1.9	79.1	円礫	
		10	礫	完形	泥岩	6.9	(3.5)	2.0	75.9	円礫	被熱
		11	礫	完形	泥岩	7.0	4.2	2.8	122.5	円礫	
		12	礫	片	安山岩	(5.8)	(3.1)	(2.0)	62.0	円礫	被熱
		13	礫	片	安山岩	(7.1)	(3.6)	(2.3)	79.7	円礫	被熱
US－7	堆層	1	礫	片	凝灰岩	(4.1)	(3.7)	(2.5)	48.5	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	4.9	3.3	2.5	50.2	円礫	
		3	礫	完形	泥岩	3.9	2.7	1.4	23.3	円礫	
		4	礫	完形	閃緑岩	5.5	3.3	2.4	64.4	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	(5.8)	(3.2)	(2.3)	50.9	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（14）

遺構	層位	出土遺物					計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g			
US－7	重層	6	礫	完形	凝灰岩	(6.5)	(3.0)	(1.6)	40.3	円礫	被熱
		7	礫	完形	砂岩	6.9	4.1	2.7	82.0	円礫	
		8	礫	完形	泥岩	5.0	3.4	1.9	43.7	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	4.7	2.3	2.1	43.8	円礫	
		10	礫	完形	凝灰岩	5.3	3.4	2.3	33.8	円礫	接合
		11	礫	片	泥岩	5.9	2.7	(2.4)	57.0	円礫	
		12	礫	完形	礫岩	6.2	2.9	2.9	66.6	円礫	接合
		13	礫	完形	泥岩	4.8	2.0	2.1	31.8	円礫	
		14	礫	完形	泥岩	6.5	3.3	2.4	68.8	円礫	
		15	礫	完形	砂岩	6.3	4.2	2.5	95.9	円礫	
		16	礫	完形	泥岩	6.0	2.3	1.4	30.7	円礫	
		17	礫	片	泥岩	(4.3)	(3.3)	(1.6)	24.3	円礫	
		18	礫	完形	片岩	5.6	3.0	1.7	45.1	円礫	
		19	礫	片	砂岩	(4.9)	(2.6)	(2.0)	55.6	円礫	
		20	礫	完形	砂岩	6.3	3.7	2.0	77.0	円礫	
		21	礫	完形	泥岩	6.5	3.2	1.7	5.0	円礫	
		22	礫	片	砂岩	4.8	(1.8)	1.8	23.4	円礫	被熱
		23	礫	完形	泥岩	6.3	3.4	1.6	51.8	円礫	
		24	礫	完形	泥岩	4.2	2.1	1.2	16.6	円礫	
		25	礫	完形	泥岩	5.0	2.4	2.0	37.3	円礫	被熱
US－8	重層	1	礫	完形	泥岩	4.7	2.7	2.5	5.1	円礫	
		2	礫	片	泥岩	(5.1)	(3.4)	(1.4)	39.4	円礫	被熱
		3	礫	完形	泥岩	5.2	4.1	2.4	87.0	円礫	
		4	礫	完形	泥岩	5.6	3.6	1.6	6.1	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	5.7	3.0	2.1	54.2	円礫	
		6	礫	完形	片麻岩	7.0	3.3	2.1	89.8	円礫	
		7	礫	完形	砂岩	3.9	3.4	2.7	51.2	円礫	被熱
		8	礫	完形	砂岩	6.3	3.6	2.0	76.9	円礫	
		9	礫	完形	泥岩	4.5	3.8	2.0	53.2	円礫	
		11	礫	完形	片麻岩	5.6	3.8	0.9	34.6	円礫	
		12	礫	完形	泥岩	5.4	4.2	1.8	65.2	円礫	
		13	礫	片	チャート	(4.8)	(2.7)	(2.7)	42.8	円礫	
		14	礫	完形	砂岩	6.0	3.1	3.1	81.3	円礫	被熱
		15	礫	片	砂岩	(4.0)	(2.5)	2.2	33.0	円礫	
		16	礫	完形	砂岩	6.5	2.7	2.5	68.0	円礫	被熱
		17	礫	片	砂岩	(4.7)	(4.0)	(1.4)	37.8	円礫	
		18	礫	片	泥岩	5.3	2.4	1.7	29.8	円礫	被熱
		19	礫	完形	泥岩	4.9	3.2	1.5	41.8	円礫	
		21	礫	完形	泥岩	5.1	3.9	2.2	58.4	円礫	
		22	礫	完形	片麻岩	5.0	3.2	1.4	37.1	円礫	
		23	礫	完形	泥岩	6.0	3.8	2.1	69.6	円礫	
		24	礫	完形	泥岩	5.3	3.6	1.8	47.2	円礫	
		25	礫	完形	泥岩	6.4	2.7	2.3	50.8	円礫	
		26	礫	完形	泥岩	5.8	3.2	2.5	59.0	円礫	
		27	礫	完形	泥岩	5.1	3.6	1.4	42.4	円礫	
		28	礫	完形	泥岩	6.7	3.4	2.1	76.2	円礫	
		29	礫	片	安山岩	(4.9)	(3.6)	(2.8)	59.4	円礫	
		30	礫	完形	泥岩	5.9	1.9	2.4	41.7	円礫	
		31	使用痕のある礫	片	砂岩	(4.9)	(2.2)	(1.6)	29.9	円礫	
		32	礫	完形	泥岩	5.5	4.1	1.9	73.9	円礫	
		33	礫	完形	泥岩	5.9	2.9	1.8	47.2	円礫	
		34	礫	完形	泥岩	5.5	3.7	1.7	48.2	円礫	
		35	礫	片	砂岩	(4.4)	(2.3)	(1.8)	20.1	円礫	
		36	礫	片	大山礫凝灰岩	(4.9)	3.2	(1.8)	32.6	円礫	被熱
		37	礫	完形	砂岩	(6.0)	4.0	2.5	92.1	円礫	
		38	礫	完形	泥岩	6.0	3.7	2.1	78.4	円礫	
		39	礫	完形	泥岩	5.6	2.7	2.1	47.1	円礫	
		40	礫	完形	泥岩	5.9	3.5	2.1	58.7	円礫	
		41	礫	完形	泥岩	4.9	3.0	2.2	50.0	円礫	
		42	礫	完形	礫岩	5.7	3.6	2.1	58.1	円礫	
		43	礫	完形	凝灰岩	5.5	3.0	2.2	59.8	円礫	
		44	礫	完形	泥岩	6.1	3.0	2.4	78.0	円礫	
		45	礫	完形	泥岩	5.8	4.2	2.2	81.3	円礫	
		46	礫	完形	砂岩	5.1	2.3	1.8	32.0	円礫	
		47	礫	完形	凝灰岩	5.2	2.6	1.6	30.5	円礫	接合

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（15）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
US－8	単層	48	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		—	礫	片	火山礫凝灰岩	4.8	3.4	2.6	46.6	円礫	
		49	礫	完形	砂岩	5.6	3.1	1.2	30.7	円礫	
		50	礫	完形	泥岩	6.2	3.6	1.9	64.9	円礫	
		51	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		52	礫	完形	片麻岩	5.4	3.8	1.4	48.6	円礫	
		53	使用痕のある礫	完形	砂岩	5.0	2.3	2.1	31.5	円礫	
		54	礫	完形	泥岩	(4.9)	(2.4)	(1.7)	24.6	円礫	
		55	礫	完形	砂岩	5.3	3.6	1.6	46.1	円礫	
		56	礫	完形	泥岩	5.0	3.6	2.1	59.3	円礫	
		57	礫	完形	チャート	4.7	3.4	2.1	47.8	円礫	
		58	礫	完形	泥岩	4.8	2.5	1.5	29.5	円礫	
		59	礫	完形	泥岩	4.2	2.6	2.6	45.9	円礫	
		60	礫	片	砂岩	(5.4)	(3.1)	(1.1)	19.4	円礫	
		61	礫	完形	片麻岩	6.5	3.7	1.7	66.0	円礫	
		62	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		63	礫	完形	砂岩	5.1	2.9	1.7	36.8	円礫	
		64	礫	完形	泥岩	3.9	3.0	1.8	31.6	円礫	
		65	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.0	4.1	1.7	36.9	円礫	
		66	礫	完形	泥岩	4.7	2.6	1.7	29.1	円礫	
		—	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.8)	(3.0)	(1.5)	18.6	円礫	
		—	礫	完形	砂岩	5.4	3.3	2.3	51.9	円礫	
		10	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		20	礫	片	砂岩	6.4	(3.8)	(2.5)	65.9	円礫	
US－9	単層	1	礫	完形	砂岩	7.8	3.4	1.6	75.5	円礫	
		2	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.7	3.3	2.1	46.7	円礫	
		3	礫	片	泥岩	6.9	4.1	2.0	95.7	円礫	被熱
		4	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.7	3.5	2.2	61.1	円礫	
		5	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.1	3.9	2.7	67.5	円礫	
		6	礫	片	泥岩	7.9	3.9	2.4	64.3	円礫	
		8	礫	完形	砂岩	7.1	3.7	2.5	92.7	円礫	
		9	礫	完形	砂岩	7.6	3.2	2.1	83.0	円礫	
		10	礫	完形	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		—	礫	—	凝灰岩	7.2	3.2	2.6	71.9	円礫	
		11	礫	完形	泥岩	6.7	3.3	2.8	84.5	円礫	
		12	礫	片	砂岩	(3.2)	(2.4)	(0.5)	3.3	円礫	被熱
		13	加工痕のある礫	完形	泥岩	9.1	3.4	1.5	78.1	円礫	被熱 使用痕 [illegible]
		14	礫	完形	砂岩	7.2	2.9	2.6	78.0	円礫	
		16	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	接合
		—	礫	—	砂岩	(6.4)	(3.6)	(1.9)	55.4	円礫	
		17	礫	完形	砂岩	8.3	3.5	2.1	90.8	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	7.2	3.5	2.3	70.0	円礫	
		19	礫	完形	流紋岩？	7.1	2.9	2.2	55.1	円礫	接合
		22	礫	完形	安山岩	6.6	3.3	2.5	81.4	円礫	接合
		24	礫	完形	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	砂岩	6.8	3.4	1.4	57.9	円礫	
		25	礫	完形	砂岩	7.2	4.2	1.7	76.8	円礫	
		26	礫	完形	砂岩	6.3	3.9	2.1	79.3	円礫	
		27	礫	完形	砂岩	7.6	3.1	2.3	73.2	円礫	
		28	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	接合
		—	礫	—	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	砂岩	8.8	3.9	1.6	87.2	円礫	
		29	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.8	3.7	2.2	63.2	円礫	
		31	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱
		32	礫	完形	砂岩	7.1	4.0	1.3	56.7	円礫	
		33	礫	完形	砂岩	8.1	2.9	2.4	88.5	円礫	
		34	礫	完形	泥岩	8.4	2.5	3.1	90.1	円礫	被熱
		35	礫	完形	砂岩	(7.4)	(3.2)	(2.7)	71.2	円礫	
		36	礫	片	泥岩	(6.8)	(4.5)	(2.1)	82.3	円礫	被熱
		37	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.7	3.9	2.0	63.2	円礫	
		38	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.7	3.5	2.0	48.7	円礫	
		39	礫	完形	凝灰岩	(6.9)	(4.1)	1.8	61.0	円礫	被熱
		40	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.6	3.9	2.5	70.8	円礫	被熱
		41	礫	完形	砂岩	7.3	2.9	2.5	59.5	円礫	接合
		42	礫	完形	泥岩	7.2	3.6	2.2	79.0	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（16）

遺構	層位	出土遺物					計測値				形状	備考
		遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g			
US－9	Ⅲ層	43	礫	片	泥岩	(7.4)	(3.9)	(1.7)	71.5	円礫	被熱
		44	礫	完形	泥岩	6.4	2.9	2.4	76.0	円礫	
		45	礫	完形	砂岩	7.2	3.8	2.2	80.3	円礫	
		46	礫	完形	泥岩	6.1	3.2	2.5	73.2	円礫	
		49	礫	完形	泥岩	7.2	3.5	1.7	65.3	円礫	被熱
		51	礫	完形	泥岩	7.6	3.5	1.4	57.2	円礫	
		52	礫	完形	砂岩	7.5	3.9	1.4	64.2	円礫	
		53	礫	完形	砂岩	7.2	2.4	2.4	59.6	円礫	被熱
		54	礫	完形	—	—	—	—	—	円礫	接合
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	7.3	4.3	2.1	60.1	円礫	
		55	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.0	3.7	1.9	50.2	円礫	接合
		56	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	接合
		—	礫	—	泥岩	(7.3)	(4.0)	(1.2)	51.4	円礫	
		57	礫	完形	片麻岩	7.4	4.1	1.8	101.3	円礫	
		58	礫	完形	砂岩	7.7	3.1	2.6	85.5	円礫	被熱
		59	礫	片	凝灰岩？	—	—	—	—	円礫	接合　被熱
		—	礫	—	泥岩	(4.0)	(3.1)	(0.5)	6.3	円礫	
		60	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.0	3.4	2.3	56.1	円礫	被熱　接合
		61	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		68	礫	完形	砂岩	2.5	2.3	1.4	9.4	円礫	
		70	礫	完形	砂岩	7.5	3.3	2.2	58.0	円礫	被熱
		71	礫	完形	砂岩	5.7	3.4	2.3	65.4	円礫	
		72	礫	完形	火山礫凝灰岩	7.0	4.4	1.8	51.6	円礫	
		73	礫	片	砂岩	6.6	3.3	2.3	68.7	円礫	接合
		74	礫	片	輝石	—	—	—	—	円礫	
		75	礫	完形	砂岩	7.1	3.9	1.8	75.0	円礫	
		76	礫	片	火山礫凝灰岩	8.3	4.0	(1.5)	52.6	円礫	被熱　接合
		77	礫	片	砂岩	(5.0)	(2.4)	(0.7)	9.2	円礫	
		79	礫	完形	火山礫凝灰岩	6.9	4.3	2.4	75.0	円礫	接合
		80	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	接合　被熱
		—	礫	—	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	泥岩	(6.8)	(3.2)	(2.0)	4.5	円礫	
		82	礫	完形	輝石	6.1	2.6	1.4	10.7	円礫	
		84	礫	完形	砂岩	6.7	3.2	1.7	68.7	円礫	
		85	礫	完形	砂岩	7.9	3.9	2.1	88.6	円礫	
		—	礫	—	泥岩	(6.1)	2.4	2.4	58.2	円礫	
		—	礫	—	砂岩	6.6	3.4	2.6	74.0	円礫	
		—	使用痕のある礫	—	砂岩	(7.4)	(3.3)	(2.8)	82.2	円礫	
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	7.7	3.5	2.0	54.1	円礫	接合
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	7.2	3.7	2.1	62.4	円礫	被熱　接合
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	7.3	4.1	1.5	50.9	円礫	被熱
		—	使用痕のある礫	—	片麻岩？	—	—	—	—	円礫	接合
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	6.7	3.4	2.2	67.8	円礫	
		—	礫	—	砂岩	(4.6)	(1.2)	(1.0)	4.4	円礫	
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	8.2	(4.2)	2.0	50.9	円礫	
		7	礫	完形	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		48	礫	片	砂岩	(5.3)	(2.9)	(2.1)	35.5	円礫	
		15	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		21	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		—	礫	—	砂岩	(7.5)	(3.7)	(1.2)	37.0	円礫	
		20	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		30	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		47	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	接合
		50	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	泥岩	(7.5)	(3.4)	(1.5)	39.4	円礫	
		23	使用痕のある礫	完形	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		83	礫	片	安山岩	6.4	3.6	(2.6)	101.1	円礫	
		62	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		63	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		64	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		65	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	接合
		66	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		67	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		69	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	チャート	(13.8)	(5.7)	(3.4)	328.0	円礫	

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（17）

遺構	層位	出土遺物 遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	計測値 長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g	形状	備考
US－9	単層	78	礫	—	チャート	—	—	—	—	円礫	接合
		81	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	チャート	(13.8)	(9.0)	(5.3)	722.7	円礫	
US－10	単層	1	礫	完形	チャート	6.0	3.4	2.4	76.9	円礫	
		2	礫	完形	砂岩	5.1	2.9	1.8	38.4	円礫	
		4	礫	完形	泥岩	3.6	2.2	1.5	16.5	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	5.3	3.1	2.1	44.7	円礫	
		6	礫	完形	砂岩	4.9	3.2	2.0	50.7	円礫	
		17	礫	完形	チャート	6.1	3.8	2.1	74.6	円礫	
		18	礫	完形	泥岩	4.3	2.8	2.2	36.7	円礫	
		19	礫	片	砂岩	(4.1)	(3.6)	(1.4)	28.3	円礫	
		20	礫	完形	砂岩	2.7	2.3	1.0	6.2	円礫	
		21	礫	完形	泥岩	6.0	3.6	2.4	62.6	円礫	
		22	礫	完形	安山岩？	4.5	2.8	2.2	37.4	円礫	
		23	礫	完形	片岩	5.5	3.3	(2.4)	53.3	円礫	
		24	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	接合
		25	礫	片	泥岩	6.1	2.4	1.9	44.5	円礫	
		26	礫	片	砂岩	(3.7)	(2.8)	(2.2)	38.1	円礫	
		28	使用痕のある礫	完形	砂岩	(6.4)	(3.2)	1.5	46.2	円礫	
		30	礫	完形	チャート	6.9	3.2	3.1	83.5	円礫	
		31	礫	完形	泥岩	5.7	3.4	2.7	73.2	円礫	被熱
		32	礫	完形	砂岩	6.2	3.3	2.5	71.9	円礫	
		34	礫	完形	チャート	5.7	3.0	1.9	51.0	円礫	
		35	礫	完形	泥岩	5.6	3.3	3.3	52.2	円礫	
		3	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	接合
		33	礫	片	泥岩	7.1	3.0	1.7	40.4	円礫	
		7	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		8	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		9	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		10	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		11	台石	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		12	台石	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		12	台石	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		13	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		14	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		15	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	
		27	礫	片	安山岩	17.0	8.1	6.5	1400.0	円礫	
		16	礫	片	チャート	—	—	—	—	円礫	接合
		29	礫	片	チャート	5.8	3.8	2.8	72.9	円礫	
US－11	単層	1	礫	完形	片麻岩	7.6	7.1	1.8	151.5	円礫	接合
		2	礫	片	片麻岩	8.8	6.8	2.1	190.8	円礫	
		3	礫	片	片麻岩	—	—	—	—	円礫	
		4	礫	片	片麻岩	9.4	7.1	1.6	184.2	円礫	
		5	礫	完形	片麻岩	8.1	7.0	1.9	174.4	円礫	
US－12	単層	2	礫	完形	片麻岩	8.9	8.2	1.7	211.7	円礫	接合
		1	礫	片	片麻岩	—	—	—	—	円礫	
		3	礫	片	片麻岩	9.2	8.2	2.1	265.1	円礫	
US－13	単層	1	礫	片	火山礫凝灰岩	(3.7)	(3.0)	(1.0)	11.8	円礫	被熱
		2	礫	片	火山礫凝灰岩	(3.0)	(2.7)	(1.0)	6.5	円礫	被熱
		3	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		4	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.9)	(3.5)	(1.7)	21.1	円礫	
		5	礫	完形	泥岩	(10.4)	(5.7)	(2.9)	291.0	円礫	被熱
		6	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		7	礫	片	凝灰岩	(3.9)	(1.9)	(1.9)	8.4	円礫	
		8	礫	片	泥岩	(4.1)	(2.3)	(1.4)	17.2	円礫	被熱
		9	礫	片	凝灰岩	(3.0)	(1.8)	(0.8)	4.1	円礫	被熱
		11	礫	完形	凝灰岩	(3.8)	(2.8)	(2.0)	19.0	円礫	被熱
		13	礫	片	砂岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		14	礫	片	砂岩	(8.8)	(4.7)	(5.4)	327.2	円礫	
		15	礫	片	凝灰岩	(3.7)	(2.9)	(2.5)	32.8	円礫	被熱
		16	礫	片	泥岩	(4.8)	(3.5)	(2.3)	40.4	円礫	被熱
		17	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱　接合
		18	礫	片	凝灰岩	5.5	3.3	2.1	28.9	円礫	
		19	礫	片	凝灰岩	(5.3)	(3.3)	(1.7)	27.5	円礫	被熱
		20	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱　21・22接合

表Ⅵ－26　遺構出土礫三軸計測表（18）

出土遺物						計測値				形状	備考
遺構	層位	遺物番号	遺物名	残存状態	岩石名	長軸 cm	中軸 cm	短軸 cm	重量 g		
US－13	Ⅲ層	21	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		22	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱 20と接合
		—	礫	—	凝灰岩	(4.6)	(3.2)	(2.6)	28.1	円礫	
		23	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		24	礫	片	火山礫凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		25	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.9)	(3.8)	(1.6)	21.4	円礫	
		27	礫	片	泥岩	(3.3)	(2.3)	(2.1)	18.1	円礫	
		28	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		29	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		31	礫	片	凝灰岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	凝灰岩	(4.8)	(3.3)	(2.1)	20.3	円礫	
		—	礫	—	火山礫凝灰岩	(4.6)	(3.0)	(1.5)	14.1	円礫	被熱
		12	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		26	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		30	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	被熱 接合
		32	礫	片	泥岩	—	—	—	—	円礫	
		—	礫	—	泥岩	(6.3)	(4.2)	(2.7)	62.7	円礫	
見殺集中	Ⅲ層	41	礫	完形	安山岩	6.3	2.7	1.4	41.3	円礫	
		42	礫	片	チャート	(9.8)	(4.4)	3.4	238.2	円礫	
		43	礫	片	砂岩	(7.8)	(6.5)	(1.2)	97.6	円礫	被熱
		44	礫	完形	砂岩	7.5	3.3	1.9	65.5	円礫	
		45	礫	完形	泥岩	6.6	3.3	3.0	100.9	円礫	
		46	礫	片	安山岩	(4.3)	2.9	2.5	31.8	円礫	
		47	礫	完形	砂岩	5.7	3.0	1.3	30.5	円礫	
		48	たたき石	完形	安山岩	(5.8)	(4.0)	2.3	50.6	円礫	
		49	礫	完形	泥岩	6.9	2.9	3.0	82.7	円礫	
SP－236	覆土	—	礫	—	泥岩	3.5	1.9	0.7	7.6	円礫	
		—	礫	—	泥岩	3.2	1.4	0.7	5.3	円礫	
		—	礫	—	泥岩	2.3	1.1	0.9	3.0	円礫	
		—	礫	—	泥岩	2.6	1.5	0.9	5.9	円礫	
		—	礫	—	泥岩	2.8	1.6	1.0	6.3	円礫	被熱
		—	礫	—	泥岩	2.9	(1.2)	1.0	5.5	円礫	被熱
		—	礫	—	泥岩	(0.8)	1.8	(0.8)	1.5	円礫	被熱
SP－362	覆土	—	礫	完形	砂岩	6.6	3.7	2.9	107.2	円礫	
SP－695	覆土	—	礫	完形	輝石	(7.1)	4.4	1.3	45.4	円礫	
SP－849	覆土	—	礫	片	泥岩	—	—	—	0.3	—	
SP－1319	覆土	—	礫	片	砂岩	(6.3)	3.6	2.3	52.6	円礫	
SP－1457	覆土	—	礫	片	砂岩	(3.0)	2.7	1.7	17.6	円礫	
SP－1493	覆土	—	礫	完形	凝灰岩	(6.8)	3.3	(1.6)	27.0	円礫	被熱
SP－1685	覆土	—	礫	完形	砂岩	6.8	3.3	1.4	44.9	円礫	
SP－1764	覆土	—	礫	完形	砂岩	5.7	3.6	1.5	52.3	円礫	
SP－1834	覆土	—	礫	片	火山礫凝灰岩	(4.5)	4.3	1.4	32.3	円礫	
		—	礫	片	凝灰岩	(3.5)	3.1	(1.5)	18.0	円礫	
SP－1862	覆土	—	礫	片	火山礫凝灰岩	(5.5)	(2.9)	(2.3)	38.9	円礫	

表Ⅵ－27　フローテーション選別遺物（堅果・人工遺物）（1）

試料番号	遺構名	採取地点 / 種別	自然遺物						人工遺物							備考
			堅果（g）○:0.01g未満			虫等（点）	（g）○:0.01g未満		点				（g）○:あり			
			サクラ	クルミ	コナラ		骨片	貝	炭化物	土器	ブレイク（黒曜石）	磨・剥片	焼成粘土塊？	鉄片	浄 磨製片	
18	UHP－15	HF－1 焼土上面					○		0.11							
22							○		0.59							
49		HF－1 焼土					0.05		0.00							
33	UHP－17	HF－1 焼土上面		0.25					1.91							
34									1.18							
76		HF－1 上面							0.11							
86									○				0.46			
75		HF－1 焼土							0.03							
144				0.01					0.74							
97		HA－1区							0.09							
82		カマド粘土		0.45					6.41			2				
122									0.65							
146				0.15			○		1.41				2.17			
93		カマド1層		0.02					3.00				2.68			
77		カマド煙道上面		0.18	0.61				1.53							
123		カマド煙道上面							0.13				3.57			
148		カマド燃焼部		0.06			0.04		0.40				8.56			
149							○		0.56				1.25			
115		カマド袖粘土		0.39	○				0.90							
111		カマド煙道粘土		0.02			0.01		3.72				2.59			鉄水(現生)
114				0.05					1.37				25.96			
116				0.13					0.70				11.64			
118			0.03						3.39				1.41			
119				0.04					0.52				14.19			
120				0.04			0.01		0.61				6.11			
121		カマド煙道覆土		0.06					2.45							
112									1.73		1					
117				0.20					2.03				3.36			
147		HP－5内 焼土		0.25					○							
145		HP－6内 焼土		0.12					1.02							
100		粘土集中 粘土		0.03					3.66							
104				0.21					1.70							
105									0.66							
94	UHP－23	HF－1 焼土上面		0.01			○		0.08							
107		HF－1 焼土							0.03							
89	UHP－31	HF－1 焼土上面							0.19							
6	UHD－13	HF－1 焼土上面							0.04							
7									0.09							
16							○									
1	UHD－14	HF－1 上面				1	1.51		5.57		1					
8		HF－1 焼土上面					0.66		0.45							
11		HF－1 焼土					0.30		0.54	1						
17							1.26		0.38	10						
9		HF－1 区上面					0.54		0.50							
12		HF－1 区					0.30		0.10							
18							3.83	0.18	0.52	3						
10		HF－1 周辺					0.05		0.12							
13	UHD－16	HF－1 焼土上面					0.08		0.03							
20							○		0.10							
23							○		0.02							
25		HF－1 焼土					○									
26							○									
36							○		○							
56		HF－1 区					0.03									
14		HF－2 焼土上面		0.02			0.14		0.03							
21				0.02			0.07		0.21							
24							0.04		○							
29		HF－2 焼土	○				0.10									
37				○			0.12		0.01							
55		HF－2 区					0.04									
28							0.06									
69	UHD－21	HF－1 焼土					0.31									
70		HF－1 焼土 区					1.16									
54		HF－2 焼土上面		0.04		1	0.03		0.52							
59		HF－2 焼土					○		○							
68				0.04					○							
35	UHD－22	HF－1 焼土上面					0.66		35.21				0.05			
38							0.71		16.32				0.03			
86		HF－1 上面					1.27		3.40				0.01			
102							0.17		0.19							
106							0.83		6.90							
101		HF－1					0.08		○							
108		HF－1 焼土					0.34		0.84							
103		HF－1 区					0.16		0.17							
109		東					0.25		0.79							
125	UHD－24	HF－1 焼土上面					○		0.14							
126		HF－1 焼土				1			○							
127			○													
130							○		○							
135	UHD－25	HF－1 焼土上面		0.01			0.09		0.58							
141				0.05			0.04		1.53							
142		HF－1 焼土		○			0.15		○							
124	UHD－26	HF－1 焼土上面		0.65			2.27		6.41	1			7.34			
128				0.02			0.77		0.03							
129		HF－1 焼土					0.29		0.01							
131							0.05		0.01							ベンガラ?
140	UHD－37	HF－1					0.76		0.82							
132	UHD－38	HF－1 焼土上面		0.01		1	0.29		7.25							
134				○		1	0.86		7.11				0.02			
139							0.20		0.27							
136		HF－1 焼土					0.20		0.60							
143							0.15		○							
133	UHD－40	HF－1 区					0.04		0.06							
136		HF－1 焼土上面（黒色土）					0.09		3.82							
138		HF－1 焼土					0.10		0.03							

表Ⅵ－27　フローテーション選別遺物（堅果・人工遺物）（2）

試料番号	遺構名	採取地点 / 種別	堅果 (g) ○:0.01g未満			自然遺物		(g) ○:0.01g未満		人工遺物								備考
			サクラ	クルミ	コナラ	冬芽(点)	骨片	貝	炭化物	土器	点				(g)		○:あり	
											ブレイク(高度石)	磨・研(石)	焼成粘土塊?	鉄片	炭素試片			
158	UHD－41	HF－1 焼土上面		○			5.38	○	3.28									
160		HF－1 焼土					0.10		0.06									
168							0.51		0.36									
171							0.15		0.02									
161		HF－1 灰		0.01			1.29	0.01	0.48									
170							0.80		0.21									
172							3.15		0.15									
184	UHD－43	HF－1 焼土上面	0.01	0.31			19.51		36.50									
193				0.14	0.04		27.01		7.06									
197							4.92		0.16									
198						2	2.51		0.57									
195		HF－1 焼土		0.09			12.02		6.46									
196							3.15		0.04									
201							1.61		0.05									
204							3.05		0.15									
205							0.04		○									
199		HF－1 灰					0.92		0.14									
202							0.91		0.07									
207							0.46		0.28									
185		HF－2 焼土上面		0.05			3.16		1.24									
194		HF－2 焼土					0.25		0.04									
203							0.06		0.01									
208							0.04		○									
190		HF－2 焼土間灰				1	1.63		0.77									
159	UHD－44	焼土上面		0.13			2.24		12.33									
166		HF－1 焼土上面					0.76		9.24									
169		HF－1					0.27		○									
180							1.76		0.13									
167		HF－1 灰					1.36		1.38									
179				0.04			2.03	0.30	3.41									
154	UHD－45	HF－1 焼土上面					3.13		1.24									
177							0.62		0.36									
181						1	3.28		3.29			1						
186		HF－1 焼土					0.76		0.04									
191							1.09	○	0.07									
183		HF－1 灰上面					0.01		0.01									
187		HF－1 灰					2.74	0.01	0.56									
192							0.59	○	0.28									
165		HF－2 焼土上面		0.02			1.42		0.97									
178							0.20		0.11									
182		HF－2 焼土				3	0.50		0.09									
189							0.35		0.20									
188		灰上面					0.25		1.42									
200	UHD－46	HF－1 焼土上面		0.01			0.01		1.81									
213									0.13									
212		HF－1 焼土				1	○		○		1							
225									0.03									
210	UHD－49	HF－1 焼土上面		0.02			0.09		0.38									
209		HF－1 焼土					0.03		○			1						
224							○		0.01									
234							○		0.02									
211		HF－1 灰					0.03											
226							0.05		0.05									
226		灰					0.05		0.01									
238	UHD－50	HF－1 焼土上面		○			1.10		8.48		1							
243				0.01			0.35	○	5.67									
239		HF－1 焼土					0.24											
244							0.01											
253							0.85	○	○									
240		HF－1 灰					0.11		0.83									
245							0.10		0.22									
254							0.49		0.43									
250	UHD－52	HF－1 焼土上面				2	0.15		0.30									
127		HF－1 焼土					0.24		0.16									
249							0.09	0.16										
257							0.11		0.02									
263	UHD－53	HF－1 焼土上面		0.46		1	2.73		34.39		1							
265							2.58		1.39									
270		HF－1 焼土		0.01			0.36		0.09									
273			○				0.27		0.32									
275			○				0.75		0.40									
271		HF－1 灰上面					0.79		0.19									
274		HF－1 灰	0.05	○			1.39		2.38									
264		HF－2 焼土上面		0.98			0.12		13.71									
266									0.11		1							
272		HF－2 焼土					0.47		0.14									
276				○		1	○		0.48									
267		HF－1 焼土上面		1.57			1.31	○	38.17		1							
284							○		2.66									
268		HF－1 焼土上面サンプル							0.26									
277									0.02									
286		HF－1 焼土					○		0.58									
288							0.02		1.10									
280									0.01									
281		HF－1 焼土サンプル							○									
279		HF－1		0.03			0.06		1.72									
287		HF－1 灰					0.14		0.32									
289							0.02		1.47									
30	UA－5	炭層上面－焼土塊	0.05	0.13			6.84	0.07	6.64				2.00					
32				0.06			15.45	0.40	5.52									
39		炭層イ		0.16		1	9.18	0.43	12.49									
43		炭層ロ		0.10		2	6.47	0.10	20.76					0.07				
52			0.12			68	31.38	2.51	49.39							○		
45		炭層ハ		0.40			9.88	0.17	6.42			1						
44		炭層ニ		0.07		6	8.56	0.40	8.08									
47				0.15		5	18.32	0.38	8.03									鼠糞(堅果)
51				0.27			18.88	0.37	15.19		1							
40		炭層ホ		○			21.34	0.06	5.83									
46				0.03			7.93	0.08	5.66		1							
48							4.29	0.04	1.13									
50				0.03			26.02	0.13	6.96			1			○			
42		炭層ヘ					6.15	0.14	3.13									
41		炭層ト					2.24	0.06	0.83		1							
58							4.45	0.02	0.71									

表Ⅵ－27　フローテーション選別遺物（堅果・人工遺物）（3）

試料番号	遺構名	採取地点 / 種別	自然遺物							人工遺物								備考
			堅果 (g)	○:0.01g未満		炭 (点)	(g)	○:0.01g未満		点					(g)		○:あり	
			サクラ	クルミ	コナラ		骨片	貝	炭化物	土器	ブレイク(高塚石)	磨・剥片	焼成粘土塊?	鉄片		滓	磨製片	
78	UA－5	サンプル16		0.01		3	22.82	○	15.17									
79		サンプル17		1.62		1	8.95		3.85						○			
80		サンプル18	0.04	0.09			6.47	0.07	3.13						○			
81		サンプル20		2.84		4	29.58	0.01	15.07						0.03			鉄塊?鉱石
82		サンプル21	0.10	1.12	○		23.71		13.61						0.03			
83		サンプル22		0.70			10.29	0.04	8.90									
84				0.01			6.47		5.13									
85		サンプル23		0.92		5	11.36		1.31	3	1							
86		サンプル24		○			12.18		6.51									
87				○			14.02		6.49									
88		サンプル25				1	1.62		7.50									
89		サンプル26		0.01			4.57		1.09									
90		サンプル27		○			6.85		6.28						○	○		
91		サンプル28		0.02			3.08		2.52									
57	UA－6	炭層					1.03		1.39									
53	UA－7	炭層		0.14			1.17		1.14						0.13			
62				0.05			0.89	0.01	2.57						○			
60	UA－8	炭層					1.17	0.01	4.93									
92				0.89	0.05		7.67		5.87	1						○		
61		炭化物 骨片		0.02			2.85		9.41						0.08			
64	UA－9	炭層イ					0.59		0.21									
74							0.71	○	0.63									
65		炭層ロ		0.02			1.85	0.01	0.69									
72				0.01			4.86	0.03	0.71									
66		炭層ハ					0.74		1.08									
71							1.36	0.12	0.86									
67		炭層ニ					0.06		0.49									
72							0.09	0.01	0.18									
170	UA－10	炭		0.03			0.60		1.60									
162		周辺目層							0.50									
151	UA－12	炭層					0.25	0.01	1.06									
152				0.07			5.17	0.03	3.71									
150	UA－13	炭層 炭サンプル					19.09	0.12	15.74									
153						1	14.53	0.06	9.47									
158				0.01		4	16.09	0.20	7.39									
157		炭層					7.12	0.09	5.49									
154	UA－14	炭サンプル		0.15	0.11		5.69	0.12	6.30						0.26			
155				0.14	0.05		15.79	0.36	15.63						0.24			
173	UA－15	炭層 番サンプル					9.82		6.03		1							
175		炭層 炭サンプル		○			4.59		3.15									
174	UA－16	炭層 番サンプル				1	3.97		5.52									
176		炭層 炭サンプル			0.02		18.18		20.00									
206	UA－17	炭層サンプル		0.04			52.23	0.05	28.76			1						
214	UA－17(1)a	炭層サンプル					7.13		6.50									
219				0.03			7.76	○	3.66									
227							2.36		1.34									
215	UA－17(1)b	炭層サンプル					1.04	0.58	1.97									
220				0.13			9.99	0.04	8.95									
228							6.89		5.14									
218	UA－17(2)a	炭層サンプル		0.01			4.87	0.04	1.61									
222			○				11.90	0.21	5.58									
231				0.01			4.22	2.39	2.90									
236							0.29	0.03	0.34									
217	UA－17(2)b	炭層サンプル		0.27			4.04		5.60									
223				0.15			66.93	0.02	22.05									
232				0.34			18.15	3.05	19.28									
237				0.04			2.41	○	5.91									
218	UA－17(3)	炭層サンプル		0.02			1.65		0.48									
221							1.07	0.02	1.57									
259	UA－18	炭層					0.23		3.47									
252	UA－19	炭層		0.24			26.58	0.52	15.87			1						
260	UA－19(1)	炭層					2.46	0.01	3.75	1								
261	UA－19(2)	炭層		0.26			130.33	21.04	57.27			1						
229	UA－20	炭					36.53	0.07	10.83									
230							33.84	0.01	11.99									
242							2.15	○	1.03									
246				0.03		1	145.49	0.22	52.72									
239		炭周辺		○			1.29		5.09									
247	UA－20①	炭		0.06			63.73	0.60	20.32									
255				0.07			58.41	0.10	16.92									
256		炭周辺		○			18.92		10.24									
248	UA－20②	炭					0.30		○									
262	UA－20②						0.26		0.09									
251	UA－20②	炭周辺					2.82		3.04		1							
258	UA－20②						0.57		0.29									
241	UA－20周辺	目層					2.00		7.39									
31	UA－21	炭					0.08	○	0.68									
186							0.08		0.47	1								
2	UF－15	焼土	○						0.20									
18				○			○		0.03									
3	UF－16	焼土		○					0.30									
4	UF－19	焼土							0.85									
5	UF－20	焼土		○			○		0.56			2						
113	UF－47	焼土					0.08	○	0.03									
276	UF－63	焼土上面		0.33			0.01		12.98									
282							0.03		20.36									
283		焼土					○		0.05									
285									0.22									
269	骨片集中	U－33区 目層		0.03			10.19		1.75									
合計			0.40	20.66	0.88	120.00	1349.08	38.02	1125.19	33.00	11.00	10.00	97.79	8.29	○			

表Ⅵ－28　フローテーション選別　炭化種子（1）

| 試料番号 | 遺構名 | 目 | イネ目 | | |

表Ⅵ－28　フローテーション選別　炭化種子（2）

| 試料番号 | 遺構名 | 目 | イネ目 | | |

表Ⅵ－28　フローテーション選別　炭化種子（3）

試料番号	遺構名	目	イネ目												タデ目	シソ目	ウシ目		ムクロジ目			マメ目	マツムシソウ目	セリ目	ナス目	キク目	セロシレン目	ゴバキ目	不明
		科	イネ科		ボキ科							カヤツリグサ科	タケ亜科	ヒガシ科	タデ科	シソ科	ウラボシ科		ミカン科		ナデシコ科	アカザ科	マメ科	スイカズラ科	ウコギ科	ナス科	キク科	セロシレン科	マタタビ科	
		属	イネ属	ヒエ属	ヒエ属ヵ	キビ属	キビ属ヵ	エノコログサ属	—	ササ属		ブドウ属	ブドウ属	—	—	—	クマノミズキ属	—	キハダ属		—	—	—	ニワトコ属	タコノキ属	—	セロシレン属	マタタビ属	
		採取検体 / 名称	イネ属	ヒエ	—	—	—	デラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	黄柄		—	—	—	—	—	—	—	—	マタタビ	
57	UA－8	炭層			1																	1							2
62	UA－7	炭層														1													1
80	UA－8	炭層								2																			2
82					1									22												1			24
73	UA－9	炭層ロ												1															1
66		炭層ハ																											
110	UA－10	炭			4																	2							6
151	UA－12	炭層														1													1
152								1						1															2
150	UA－13	炭層 炭サンプル														1			1										2
153																1													1
156					1					1				1		1						1					1		5
154	UA－14	炭サンプル																											0
155					1														1										2
172	UA－15	炭層 巻サンプル			4					1														1					6
175		炭層 炭サンプル		1													2												3
174	UA－16	炭層 巻サンプル																											0
176		炭層 炭サンプル			2											4	4					1							11
206	UA－17	炭層サンプル												1								1		1					4
214	UA－17(1)a	炭層サンプル								1				1		1													3
219														1															1
227					1																								1
215	UA－17(1)b	炭層サンプル															1												1
220					1																								1
228					1									2		1						1							5
216	UA－17(2)a	炭層サンプル												4															4
222					1									1															2
231										1												1					1		3
217	UA－17(2)b	炭層サンプル												10															10
223														1			1												2
232														1															1
237					1									6		1													8
218	UA－17(3)	炭層サンプル												1															1
259	UA－18	炭層														4	1												15
253	UA－19	炭層			1					139						2	12												16
260	UA－19(1)	炭層			4					4						1	4												9
261	UA－19(2)	炭層			11									1	11	4	44				1			1					63
229	UA－20	炭			1					4																			5
230					1					1									1										2
248					2					1				2															5
233		炭層ロ			1		1			72					2	2					1		1						80
247															1														1
255	UA－20①	炭			7										1														8
256		炭層ロ			4					4																			8
262		炭			1																								1
251	UA－20②	炭層ロ			5					1		8	4								1								19
258					2							1																	3
241	UA－20周辺	炭層			4					4																			8
3	UF－15	焼土										1																	1
3	UF－16	焼土										1																	19
4	UF－18	焼土																											1
5	UF－20	焼土																											9
270	UF－83	焼土上面			1											1													2
262																													1
269	骨片集中	U－23区 炭層	1		11					1				1			4												17
合計			1	1	1,184	1	1	1	2	35	443	1	762	96	93	83	1	52	9	60	12	15	1	7	6	4	3	2	1	3080

表Ⅵ－29　包含層出土自然遺物

出土グリッド	層位	総重量(g)	種別	備考
F-26区	Ⅲ層	0.8	陸上哺乳類骨片 被熱	
H-26区	Ⅲ層	0.01	カワシンジュガイ	
I-23区	Ⅲ層	0.24	陸上哺乳類骨片0.22g　鮭の椎骨0.02g	
I-27区	Ⅲ層	0.04	カワシンジュガイ	
K-18区	Ⅲ層	0.48	陸上哺乳類骨片 被熱	
M-21区	Ⅲ層	0.22	陸上哺乳類骨片0.2g　魚骨片(歯あり)0.02g	
M-33区	Ⅲ層	0.8	陸上哺乳類骨片	
N-29区	Ⅲ層	0.19	カワシンジュガイ	
N-32区	Ⅲ層	0.12	陸上哺乳類骨片	
N-33区	Ⅲ層	0.07	陸上哺乳類骨片	
N-35区	Ⅲ層	0.09	鮭の歯根部分	
O-35区	Ⅲ層	2.42	カワシンジュガイ0.29g　陸上哺乳類骨片2.13g	
O-36区	Ⅲ層	1.06	カワシンジュガイ1.06g	
P-34区	Ⅲ層	0.22	陸上哺乳類骨片　鹿の指または中手足骨	
P-35区	Ⅲ層	1.56	鮭の歯0.18g　鮭の椎骨0.04g　鰊の耳石0.02g　カワシンジュガイ0.12g ウグイの椎骨0.04g　コイ科の舌顎骨(L.R)0.04g　コイ科の歯骨(L.R)0.06g コイ科の方骨(R)0.03g　コイ科の上鰓骨(L)0.03g　魚 不明(L.R)0.04g 魚骨片0.75g　陸上哺乳類骨片0.21g	
Q-27区	Ⅲ層	3.14	魚骨片1.52g　コイ科主上顎骨(L.R)0.04g　魚頭蓋骨0.13g　陸上哺乳類骨片0.02g コイ科椎骨0.2g　カワシンジュガイ殻あり0.8g　鮭の椎骨0.14g　その他椎骨0.01g 歯骨(魚のL)0.07g　方骨(R)0.02g　鮭の歯0.19g	
Q-29区	Ⅲ層	0.11	カワシンジュガイ	
Q-34区	Ⅲ層	0.07	カワシンジュガイ	
R-36区	Ⅲ層	0.02	カワシンジュガイ	
R-39区	Ⅲ層	0.02	魚骨片	
T-33区	Ⅲ層	0.15	鮭の歯根の部分0.15g　鮭の椎骨0g	
U-26区	Ⅲ層	0.15	カワシンジュガイ　殻少し残存	
骨片集中 U-33区	Ⅲ層	0.93	鮭の歯骨下顎など0.9g　鮭の椎骨0.03g	

Ⅶ章　金属製品・木製品等

Ⅲ層の遺構・包含層から出土した金属製品178点、素材別で鉄159点・銅19点、木製品（漆塗製品含む）８点・ガラス玉１点をこの章で報告する。

１．金属製品

（１）鉄製品（図Ⅶ－１～10　表Ⅶ－１　図版32～39）

鍋（図Ⅶ－１　図版32）

１は擦文期終末の住居跡ＵＨＰ－15から出土した吊耳片口鍋。底外部中央に丸形の湯口が残る。底・胴とも厚みのある鍋で、片口部の上と対する側の口唇にそれぞれ一孔の小型吊耳が鋳出されている。片口も厚みがあり、半筒形で上向きである。内径約23㎝・内寸約10.5㎝を測るが、口の内部下端を容量の限界とみて計測した容量は約2.2リットル・1.2升である。

２・３はともに口縁部片である。２は湾曲から見て内耳鍋、３はフラットな形状から吊耳鍋であろう。

刀子（図Ⅶ－２　図版33）

13点出土している。完形品は１点で破損品が多く、遺構出土が多い。使用頻度の高さが窺える。

４はＵＨＤ－38検出の長い刀子。内反り、平棟、両区で、刃部に使い減りがみられる。茎の長さと全体形状から、切先方向が折れた後も使用していたものとみられる。５はＵＨＤ－25検出の長い平棟刀子身片。切先部や区部も含めた茎側を欠く。６は擦文期竪穴ＵＨＰ－17の窪みに送られた灰集中ＵＡ－21から検出された平棟小型のマキリ。やや外反りするとみられるが、区部を欠くため詳細不明。刃部には使い減りがみられる。７は平棟刀子の切先部。刃減りからみて折れてからも使用していた可能性がある。８はＵＨＤ－25検出の平棟外反りの薄い作りのマキリ切先部片。９も平棟外反りのマキリ切先側片。10はＵＨＤ－43外検出の長い平棟刀子。刃区が中央になるように両端を折損している。この状態で使用されていたと思われる。11はＵＨＤ－40検出の平棟刀子。刃区が深くて茎は細い。身のほとんどと茎の末端を欠く。12と13は浅い刃区の平棟刀子の区部付近片。12はＵＨＤ－16外部検出。14は平棟刀子身片。15はＵＦ－16出土、茎尻から目釘孔までの破片。16はＵＨＤ－55検出の茎破片。

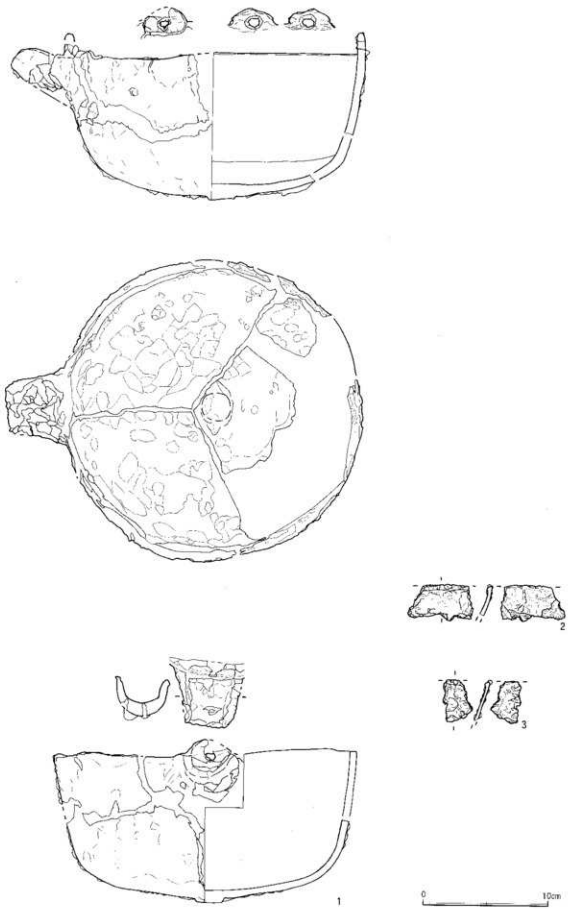
鎌（図Ⅶ－２　図版33）

６点出土している。うち３点は屋内に残されていた。特に17と18はＵＨＤ－40で鍬先23とまとまって出土したもの。農具が住居の入口付近隅に置かれていた状況がわかる。

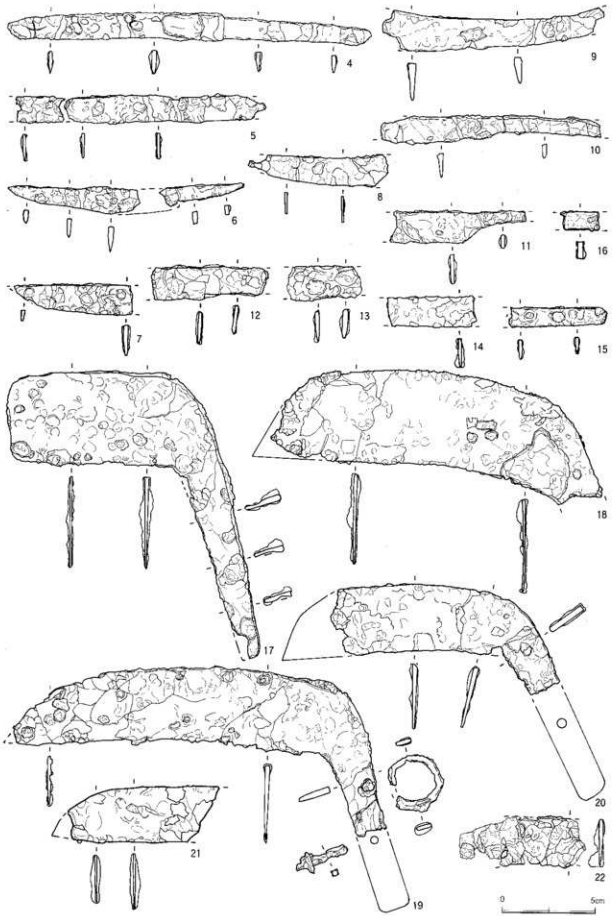
17・18は幅広・薄身の刃部の直刃の鎌。17の棟部肩付近には叩かれたような潰れがある。刃先を失っているがそのまま使用していたものと見受けられる。刃と柄の角度は約110°である。18は柄部を折損しているが、柄の首付近の刃は曲刃気味である。刃と柄の角度は約120°と開き気味。19はＵＨＤ－24検出の直刃鎌。17や18より身が厚く、棟から尻部にかけてやや張り出している。刃と柄の角度は約105°である。刃がやや曲刃に見えるのは、使い減りであろう。柄は目釘孔を含む端部が折損しているが、目釘と口金が残存している。20も厚みのある直刃鎌。刃と柄の角度は開き気味の約120°で、刃先と柄の大半を折損している。21と22は刃幅の狭い直刃鎌の刃部片。21はＵＡ－６出土。22は曲刃の可能性もある。

鍬先（図Ⅶ－３　図版34）

２点出土。23は鎌17・18とともにＵＨＤ－40から検出。24は送り場遺構ＵＡ－21からの出土である。



図Ⅶ－1　金属製品（1）



図Ⅶ－2　金属製品（2）

23は体部と刃部の幅がほぼ同じU字形鏃先。刃先の一部を失っており、銹も著しく破片接合しないが、全体幅の推定は約15㎝。風呂受け部は断面が、片側だけに開くV字形をしている。体部の上端風呂受け側は台木との固定のためやや張り出しがある。24は片方の体部の破片で、刃部の形状がわからないが、U字形鏃先と推測される。風呂受け部は断面が大きく開くV字形をしている。

鉞（図Ⅶ－３　図版34）

３点がＵＨＤ－43の入口付近隅にまとめて置かれていた状況である。いずれも柄装着孔（？）のあいた重量感のある伐木・木割用の斧である。斧頭はいずれも丸みを持つが、27は叩き潰れており、楔のように使用されたことがあるのだろう。いずれも刃近くの面に３本の樋がみられる。25は刃部が広がりながら内湾曲する形態で、正面観は長二等辺三角形。26も刃部がやや広がり、ほんの少し緩く内湾曲する形態で、正面観は柄孔部の長方形に長二等辺三角形が続く形である。刃部外側に使い減りがある。27はやや刃部が広いだけのほぼ長方形の形態。微妙に内湾曲している。正面観は26に近く、さらに絞られた長二等辺三角形が続く形。

漁獲具（図Ⅶ－６　図版35）

魚突鈎銛（マレッ）・釣針・ヤスが出土している。28のマレッはＵＨＤ－56の建物外から出土。幅が指３本弱の小さめのもので、鈎側の受けも浅い。断面正方形の棒状品を曲げて作られているが、鈎先や胴部は稜を落として丸みを持たせている。29の釣針はＵＨＤ－40から検出した細丸の鉄棒を曲げて製作したもの。30のヤスは角棒を加工したもので先端に反りがある。かえりは鉄棒本体から割り出したようにみえる。単独使用か三本ヤスの中心の一本であろう。

鈎（図Ⅶ－６　図版35）

いずれも平地住居跡から検出した３点がある。31はＵＨＤ－53外出土。断面菱形の角棒から尖端を作り出し、稜線で曲げた短寸の鈎。32はＵＨＤ－40出土。角棒を90°に曲げた大型の鈎とみられるが、鈎側と胴端側を欠損している。33はＵＨＤ－13の周囲出土。角棒を２か所鈍角に曲げたもので、鈎先と胴端側を欠損している。マレッの可能性もある。

建築部品（図Ⅶ－６　図版35）

５点中３点が平地住居跡、１点は杭穴集中部分からの出土である。34は頭巻釘で先端部を欠損。35と36は細い角釘で、35はＵＨＤ－40からの検出。37はＵＨＤ－50で検出した太めの角釘か。38はＵＨＤ－38の建物外から出土した平鎹。

針（図Ⅶ－６　図版35）

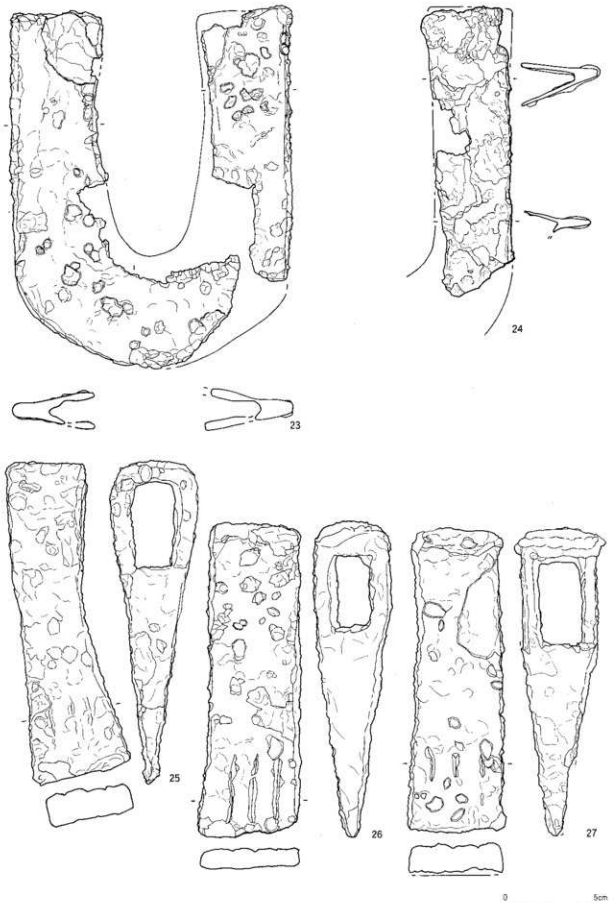
いずれも遺構から６点検出された。39～41は太めの丸針。39・40はＵＨＤ－21で２本同時に検出したもので、頭部は膨らみを持つ。41はＵＨＤ－37の炉から検出した破片。42はＵＡ－９の灰層から検出した中太の針片。43はＵＡ－14の灰層、44はＵＨＤ－14の炉から検出した細針の破片。43は尖端が残っている。

刀・小刀（図Ⅶ－６　図版35）

45は刀の切先部分の破片。銹が著しいが、延びた切先で、棟は丸棟とみてとれる。46はＵＨＤ－21付近にあった刀の茎部分の破片。尻部は幅・厚みとも減じ、片面側に鉤の手に曲がる折り返しがある。

47は外反りの大きい平棟の短刀。棟区・刃区ともに緩く、区から中央部にかけて両面に樋が入っている。茎は目釘孔部分から尻側を折損している。

48はＧＰ－１に副葬されていた平棟の短刀。全体に鞘・柄の木質が残存しており、これに銹が絡んで全体を覆っている。柄部分の樹皮や繊維巻の痕跡もある。Ｘ線撮影で観察したところ、棟区が一段入り、刃区部は緩く茎に続く。茎には区付近に目釘が１か所、茎尻は先端鋭いが、縦割れしている。



図Ⅶ－３　金属製品（３）

小札（図Ⅶ－７～９　図版36～38）

出土75点中、本小札１点、耳小札とみられるもの１点、破片で形状不明のもの２点。あとの71点で札頭の残る52点はすべて碁石頭伊予札で、札頭を欠損した19点も幅や孔の大きさ・配列などから、碁石頭伊予札といえる。伊予札は14孔を７孔ずつ２列に配置した小札で、碁石頭は札頭を中央で割って左右の山を丸く作った形をしている。75点中44点に漆が塗られた痕跡があり、すべての小札に漆塗が施されていたと推定される。75点中71点を図示した。

49は13孔が６・７の２列に穿たれた本小札の並札。札頭の左肩が緩く斜めに削がれ、右肩も丸みを持っている。札尻の左隅が鉤の手状に落とされている。**50**は縫い重ねた札板の端札である耳札の破片であろう。孔は１列、札頭の左肩が緩く斜めに削がれている。

51～119は碁石頭伊予札で、計測可能なものから札丈は6.0～6.9㎝、札幅は2.4～2.7㎝に収まる。うち半数以上は幅2.5㎝以下である。札頭の山の形状には個々に若干の差異もみられる。札尻の形状には、片側や両側とも隅を落としたもの、尻辺が弧状や斜辺になっているものもある。

51～58はＵＡ－５、111はＵＨＤ－43の出土、集中区出土については下記を参照。

小札の出土分布について（図Ⅶ－４）

75点中63点が、平地住居跡ＵＨＤ－41周辺の４か所にややまとまった状況で出土している。

ＵＡ－５とその西：**51～59**；ＵＨＤ－41の西、ＵＨ－28とＧＰ－１の北西側。灰層とその周囲の８点プラス１点。すべて完品。

小札集中区Ａ：60～72；ＵＨＤ－41とＵＨＤ－26の間、９×3.5mの範囲。ＵＨＤ－26にやや多く、全14点。うち完品だったとみられるもの８点。

小札集中区Ｂ：73～84；ＵＨＤ－41の南、ＵＨ－27の西側、畑跡などのある建物空白区にかけての6.5×2.5mの範囲。建物空白区側にやや偏り全13点。うち完品だったとみられるもの５点。

小札集中区Ｃ：50・88～110；ＵＨＤ－41の北西（入口側）に広がる９×９ｍの範囲。ＵＨＤ－41側に偏ってある全28点。うち完品だったとみられるもの６点。

ＵＨＤ－41が関与していると思われる状況で、ＵＡ－５は送り場、集中区Ａ～Ｃは撒布した状態とみられる。地鎮のような意図があったものだろうか。

鋲留板物甲（図Ⅶ－９　図版39）

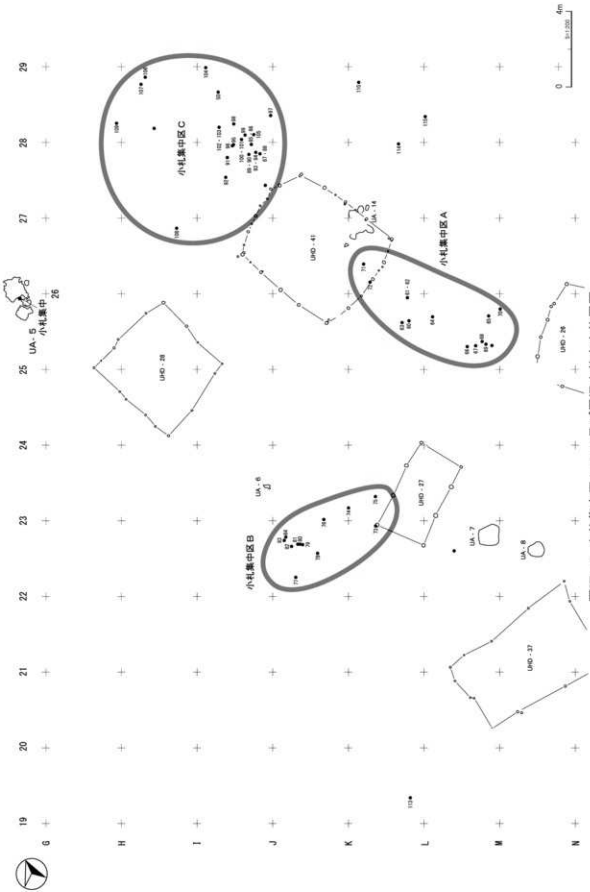
破片が35地点で出土しているが、一つの製品として扱う。鉄板の重なりと反り、鋲や孔の存在などから、星兜ではなく、鋲留の板物甲かその部品と判断した。板の重なりは、四重１点、三重７点、二重16点である。鋲は総計43個確認、孔には部位の違いによるものか大中小がある。総量から見て一領の鎧ではなく、部分か破片あるいは部品で入手したものとみられる。

鋲留板物甲片の出土分布について（図Ⅶ－５）

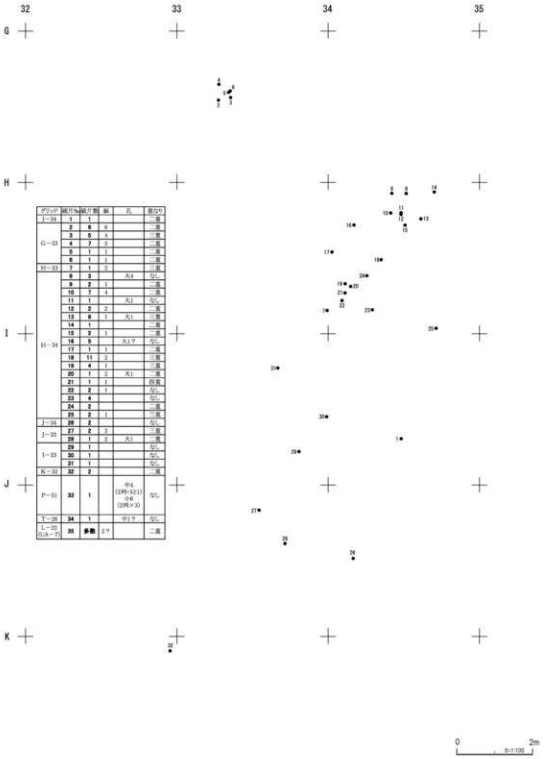
35地点中32地点がＧ～Ｋ－32～34グリッドの中の約15×６ｍの範囲に分布する。特にＨ－34区とそこに接する位置に19点の集中がみられる。この範囲は建物跡がなく、柱穴や杭穴もほとんど見られない。特にＨ－34区では１本もない。施設のない空き地に破片撒布された状況あり、土地利用との関わりを示唆しているものと思われる。

棒状品（図Ⅶ－10　図版39）

いずれも破片であるが11点を棒状品と分類した。断面方形（角棒）５点、断面円形（丸棒）４点、銹で不明が２点で、角棒５点、丸棒３点を図示した。10点中７点は平地住居跡・建物の出土である。**121**は断面正方形の太さが均一な品。**122～125**は断面が長方形かそれに近く、**123・124・125**はそれぞれＵＨ－23・ＵＨ－51・ ＵＨＤ－50からの検出である。**126～128**は断面円形で、**126**は太くＵＨＤ－

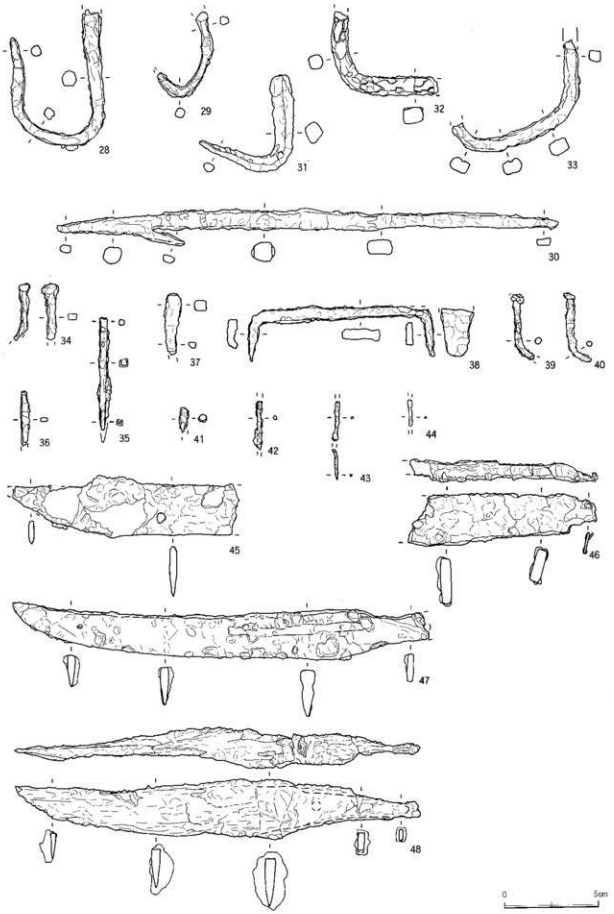


図Ⅶ-4　小札集中区A・B・C及び周辺小札出土位置図

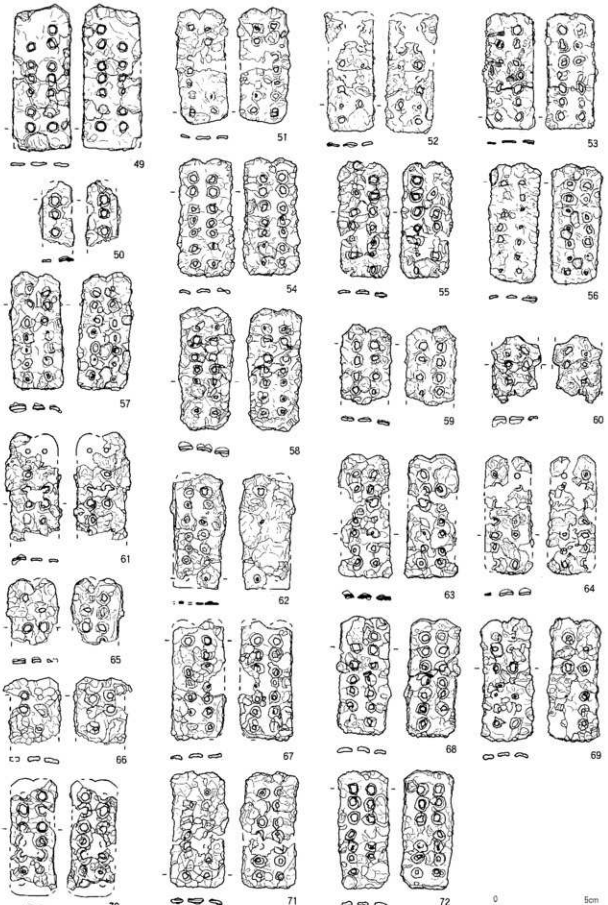


グリッド	破片No.	接合数	脚	孔	置かり
I−34	1	1			二重
	2	6	6		二重
	3	5	4		二重
G−33	4	7	6		二重
	5	1	1		二重
	6	1	1		二重
H−33	7	1	0		二重
H−34	8	3		大4	なし
	9	2	1		二重
	10	7	4		二重
	11	1		大1	なし
	12	2	2		二重
	13	8	1	大1	二重
	14	1			二重
	15	2	1		二重
	16	5		大1？	なし
	17	1	1		二重
	18	11	2		二重
	19	4	1		二重
	20	1	2	大1	二重
	21	1	1		検見
	22	2	1		なし
	23	4			なし
	24	2			二重
	25	2	1		二重
J−34	26	2			なし
J−33	27	2	3		二重
	28	1	2	大1	二重
I−33	29	1			なし
	30	1			なし
	31	1			なし
K−32	32	2			二重
F−31	33	1	小4 (2列×12) 小6 (2列×3)		なし
T−28	34	1		やり？	なし
L−22 O.L−7	35	多数	ミ？		二重

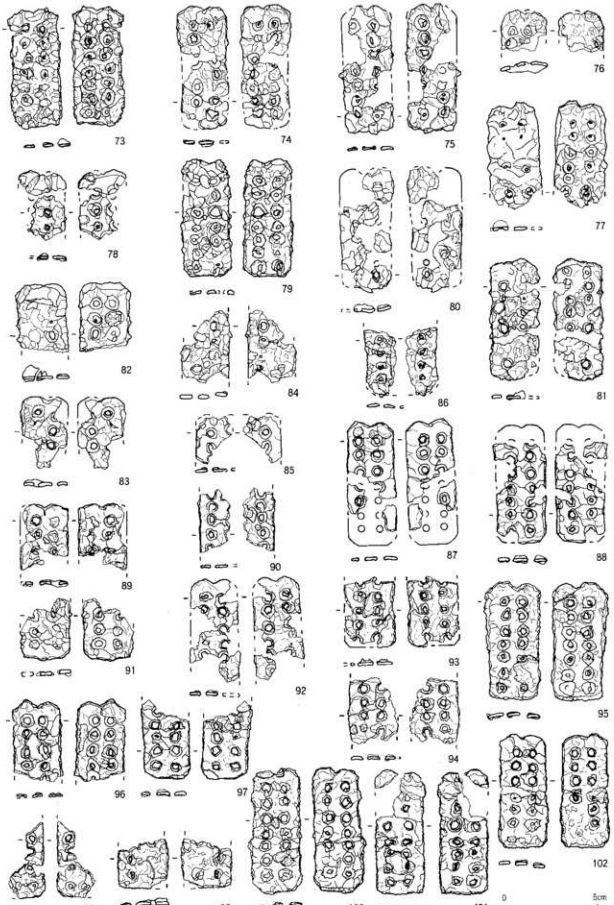
図Ⅶ-５　鋲留板物甲破片出土位置図



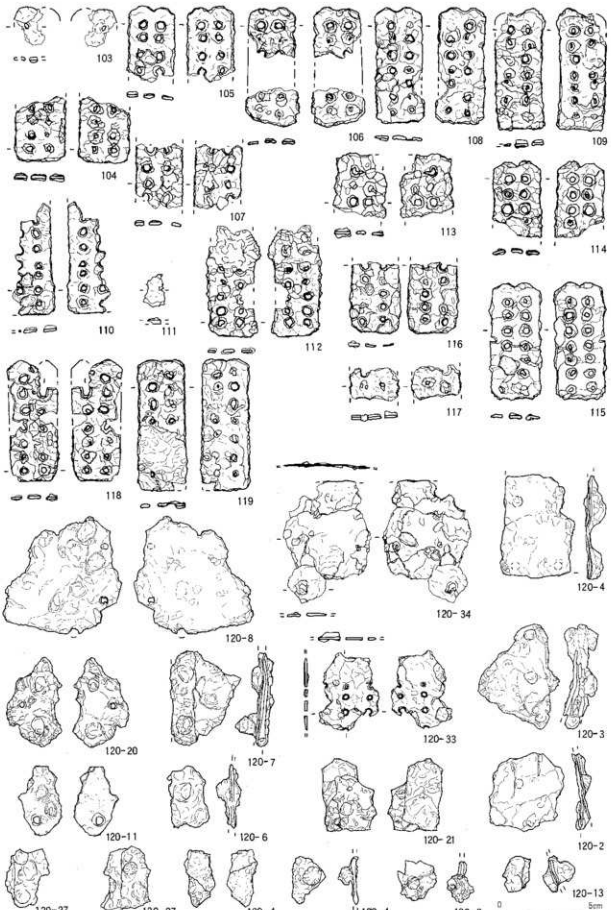
図Ⅶ－6　金属製品（4）


49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
0
5cm

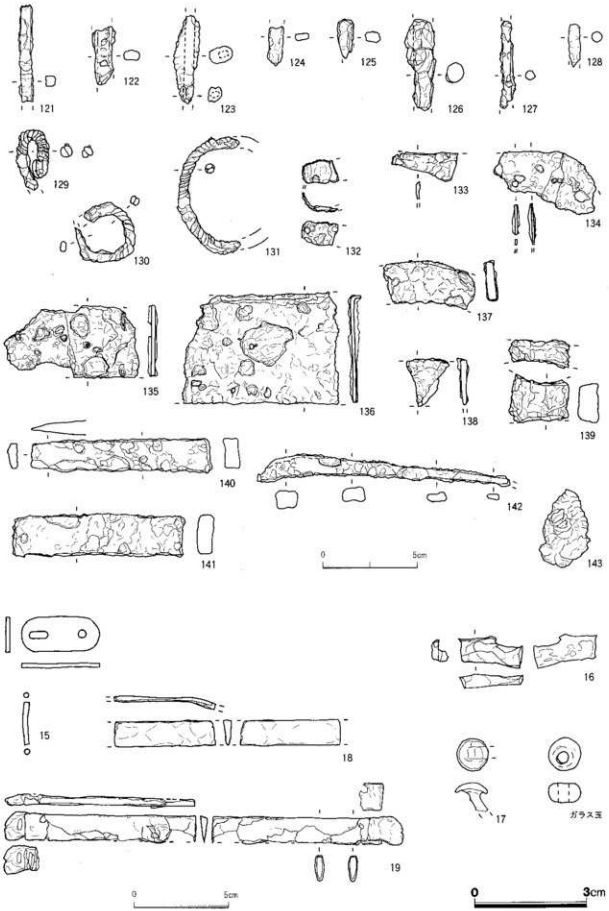
図Ⅶ－7　金属製品（5）


73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
0
5cm

図Ⅶ－8　金属製品（6）


103
105
106
108
109
104
107
113
114
110
111
112
116
115
118
119
117
120-4
120-8
120-34
120-20
120-7
120-33
120-3
120-11
120-6
120-21
120-2
120-27
120-27
120-4
120-4
120-3
120-13
0
5cm

図Ⅶ－9　金属製品（7）



図Ⅶ－10　金属製品（8）・ガラス玉

53の出土。**127・128**は細棒で、**127**はＵＨＤ－56の出土。

環状品（図Ⅶ－10　図版39）

２本の細棒を捩じり合わせ環状にした品が大小３点ある。製作方法や形態から装飾品の可能性が高い。**129**は先端を小さく曲げて輪にした破片。**130**はほぼ円形の輪で、片端が尖っている。**131**は内径５×4.５㎝と推定できる環状品の２分の１ほどで、ＵＨＤ－48の出土である。腕輪であろう。

板状品（図Ⅶ－10　図版39）

形状様々な板状の鉄製品破片11点をここで扱う。厚さ３㎜以下の薄板加工品８点、厚さ４㎜前後中厚板加工品２点、厚さ１㎝以上の厚板加工品１点があり、それぞれ５・２・１点を図示した。包含層出土が多く、**132**のみが灰集中ＵＡ－21から検出された。**132**は薄板の湾曲がある小品。**133**は大きめの板状品の小破片か。**134**には径2.５㎜の小孔が１か所開いている。**135・136**は幅がわかる帯状の薄板加工品。**136**は片縁が90°に折り曲げられている。**137・138**は幅がわかる帯状の中厚板加工品。**137**は平面形で緩いカーブがある。**139**は厚板加工品片とみられ、幅に変化のある形状をしている。

鉄製品片

製品などから分離したとみられる微小鉄片が７か所で確認された。平地住居跡の炉から３か所、送り場の灰層から４箇所である。それぞれの箇所で１点として扱った。

素材鉄等（図Ⅶ－10　図版39）

鉄鍛冶遺構は確認されなかったが、関係品が４点検出された。原材料になる素材鉄とみられるものが３点、鉄滓らしき鉄塊が１点ある。**140・141**は同一地点から出土した延べ棒状の素材鉄。単品から折り切ったものか。**142**は加工途上の製品とみられる、幅・太さに変化のある棒状品。ＵＨＤ－43からの出土。**143**は単独で出土した鉄滓で、周囲からも他の鉄滓や微細鉄片の検出はない。

（２）銅製品

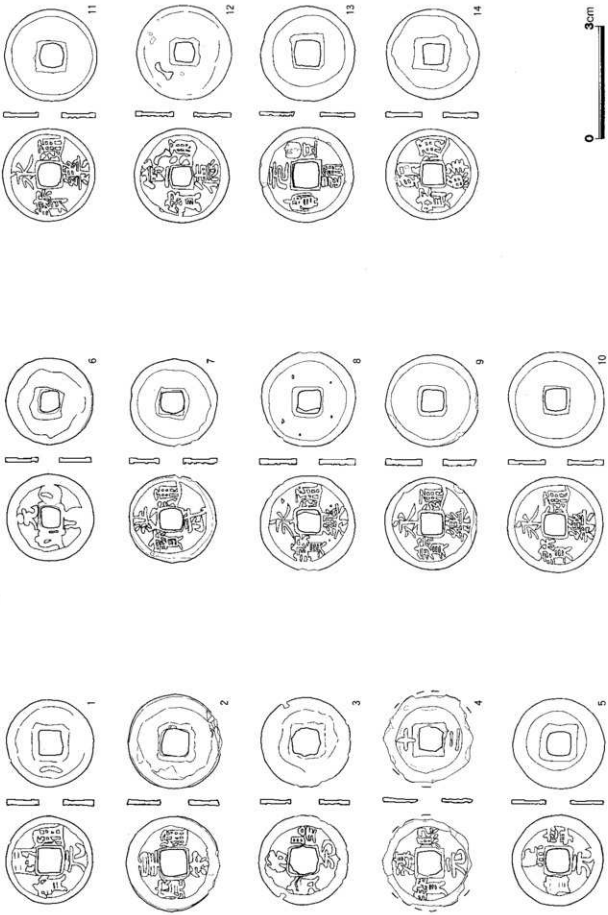
銅銭（図Ⅶ－11　図版40）

銅銭が14点出土している。**１～４**の４枚・**５**と**６**の２枚・**７～10**と**12**の５枚はまとまって出土。**１**と**３**は重なって出土、**７～10**と**12**は５枚とも明銭である。11はＵＨＤ－56、13はＵＡ－14、14は単品の包含層出土である。銭名でみると唐銭１枚・北宋銭５枚・南宋銭１枚・明銭６枚・朝鮮銭１枚とすべて渡来銭であるが、模鋳銭の可能性が高いものが多い。各品の表裏で蛍光Ｘ線分析を行って成分分析を試みた。地は緑青で覆われており不確実さも残るが、目安にはなろう。機器は日本電子㈱製のエネルギー分散蛍光Ｘ線装置（JOER JSX－3220）を使用し付属のコンピュータ定量分析プログラムによる定量分析を行った。以下、断りのない限り測定条件は電圧30kV、240秒、Ｘ線照射径13㎜である。

１は唐612年初鋳の開元通寶。径2.３㎝、背面の孔左側に外向きの三日月が鋳出されている。蛍光Ｘ線分析では表：Cu20%、Pb26%、Sn35%、裏：Cu46%、Pb30%、Ｓｎ11%などが検出された。小型で文字が太く不鮮明、鉛と錫の多さから模鋳銭とみられる。

２は北宋1039年初鋳の皇宋通寶。径2.48㎝、下部縁に錆びによる損傷がある。文字は真書で、「宋」字の木の横棒が短いもの。蛍光Ｘ線分析では表：Cu34%、Pb22%、Sn33%、裏：Cu18%、Pb25%、Sn48%などが検出された。文字の鮮明さから本銭と思われるが鉛の割合が高いのが気になる。

３は北宋1094年初鋳の紹聖元寶。径2.34㎝、周囲に数か所の損傷がある。文字は行書で、背面に星・月はない。蛍光Ｘ線分析では表：Cu43%、Pb28%、Sn９%、裏：Cu33%、Pb26%、Sn18%などが検出された。小型で文字不鮮明、鋳不足があり背面の縁が不明瞭で平滑、孔部分の鋳張りを削る目戸切が施されていないなどのことから、模鋳銭とみられる。



図Ⅶ－11　金属製品（9）

4は南宋1174年初鋳の淳熙元寶。全周が錆びで損傷を受けている。文字は真書で、背面に鋳造年の数字「十二」（淳熙12年・1185年）が鋳出されている。紐通しされていた痕跡なのか、孔の「寶」字横に切れ込みがみられる。蛍光X線分析では表：Cu49%、Pb31%、Sn６%、裏：Cu49%、Pb27%、Sn８%などが検出された。文字の一部が不鮮明、目戸切が施されていないなどのことから、模鋳銭とみられる。

5は北宋1068年初鋳の熙寧元寶。径2.38㎝で傷みは少ない。文字はやや太めの真書である。蛍光X線分析では表：Cu31%、Pb23%、Sn34%、裏：Cu36%、Pb20%、Sn36%などが検出された。文字に鋳つぶれたような不鮮明部分があり、外郭帯と文字が接着していることから、模鋳銭とみられる。

6は北宋1086年初鋳の元祐通寶。径2.32㎝で傷みは少ない。文字は行書だが太く読みにくい。蛍光X線分析では表：Cu30%、Pb27%、Sn25%、裏：Cu28%、Pb30%、Sn26%などが検出された。小型で、文字に鋳つぶれて不鮮明で外郭帯と接着している、背面の内外郭の乱れた形状から、模鋳銭とみられる。

7は明1368年初鋳の洪武通寶。径2.11㎝、周囲が錆びで損傷を受けている。文字は明瞭で、「通」字は重点で頭はマ。「洪」字の共上段の横棒が、縦２本の間で切れている。蛍光X線分析では表：Cu39%、Pb18%、Sn19%、裏：Cu42%、Pb16%、Sn23%などが検出された。小型で、表裏とも鋳ずれがあり未仕上げ、目戸切が施されていないなどのことから、模鋳銭とみられる。

8～**10**と**11**は明1408年初鋳の永楽通寶。径はそれぞれ2.42・2.52・2.51・2.43㎝である。いずれも文字は鮮明であるが**8**と**9**は周囲が錆びで損傷を受けており、**8**には３か所の微小孔が開いている。蛍光X線分析では**8**表：Cu29%、Pb26%、Sn37%・裏：Cu48%、Pb22%、Sn15%、**9**表：Cu53%、Pb17%、Sn８%・裏：Cu61%、Pb16%、Sn５%、**10**表：Cu45%、Pb17%、Sn28%・裏：Cu45%、Pb24%、Sn14%、**11**表：Cu24%、Pb24%、Sn42%・裏：Cu29%、Pb23%、Sn35%などが検出された。**10**と**11**の裏を除いてX線照射時間720秒で行った。またそれぞれの**8**表と**9**裏はX線照射径１㎜である。**8**は鋳不足で鬆孔（すあな）があり、外郭帯も不均一で目戸切が施されていないことから、模鋳銭とみられる。**9**はやや小型で鋳型のずれや鋳不足・鋳溜りが観察でき、模鋳銭とみられる。**11**もやや小型で外郭帯と文字の重なりや目戸切が施されていないことから模鋳銭とみられる。**10**は他の３枚と比較して整っており、大きさも合うことから、本銭といえよう。

12は明1433年初鋳の宣德通寶。径は2.5㎝で、文字は太い。「宣」と「通」の間には不整形の小孔がある。蛍光X線分析では表：Cu36%、Pb23%、Sn25%、裏：Cu21%、Pb24%、Sn44%などが検出された。鋳不足による小孔や鬆孔が多く、背面の外郭帯も不均一不明瞭であることから模鋳銭とみられる。

13は北宋1078年初鋳の元豊通寶。径2.52㎝、上部縁に錆びによる損傷がある。文字は篆書。蛍光X線分析では表：Cu50%、Pb14%、Sn18%、裏：Cu49%、Pb14%、Sn25%などが検出された。「豊」字の潰れはあるものの、全国で数多く出土している銭で、それらとの比較から本銭と認められよう。

14は李氏朝鮮1423年初鋳の朝鮮通寶。径は2.4㎝で、文字は太い。蛍光X線分析では表：Cu37%、Pb13%、Sn41%、裏：Cu42%、Pb９%、Sn38%などが検出された。太文字化や背面内外郭の不均一（鋳溜り）から模鋳銭とみられる。

銅製装具（図Ⅶ－10　図版40）

15は、擦文期竪穴ＵＨＰ－17の窪みに送られた灰集中ＵＡ－21から検出された、組み合わさった銅製品。厚みのある長円形の円盤と軸状の細棒からなる。長円形盤には端部付近に、軸状棒の径にあった長円と円が開けられている。太刀の鞘尻金具であろうか。蛍光X線分析では盤：Cu71%、Zn18%、

棒：Cu67%、Zn20%などが検出された。真鍮（黄銅）の成分である。

16はＵＨＤ－44で検出した、銅板を加工した品の小破片。蛍光Ｘ線分析ではCu89%が検出され、ほぼ純銅板の加工品といえる。17はＵＡ－14の灰層から検出した頭部の丸い鋲。脚の先端を欠損している。

小柄（図Ⅶ－10　図版40）

日本刀に付く三所物のひとつで、鐔のうち縁に鞘に沿って装着される刀子である。日本刀ごとではなく単品で入手したものとみられる。

18はＵＨＤ－43で検出した、銅板を加工した小柄。両端を欠損、地板に装飾や加工は見られない。蛍光Ｘ線分析ではCu98%が検出され、純銅板の加工品といえる。

19も銅板を加工した小柄で、胴張りがある。刃方の一部は欠損するが、小口から底まで残存しておりサイズがわかる。地板に装飾や加工は見られない。小口から内部に鉄の刀子身の茎が残っている。区部に繊維巻の痕跡がみられる。蛍光Ｘ線分析では外：Cu73%、Sn14%、内：Cu91%などが検出された。純銅板の加工に錫箔か錫鍍金が施されたものであろう。

（三浦）

２．木製品（表Ⅶ－３）

（１）　木製品

２点の炭化木製品と鉄銹の付着した木片１点がある。

１は擦文期竪穴ＵＨＰ－17の床面から検出。刳り物の炭化した状態で、鉢か皿のような容器とみられる。木取は横木取り、樹種はコナラ属である。**２**は平地住居跡ＵＨＤ－43の炉脇で検出した炭化した刳り物。やはり鉢か皿のような容器とみられる。木取は横木取り、樹種はニレ属である。

３は平地住居跡ＵＨＤ－26の柱穴から検出した鉄銹の付着した木片。銹の付き方や残存形状から、刀子の柄と思われる。木取は板目取り、サンプルが採れず樹種は未検。

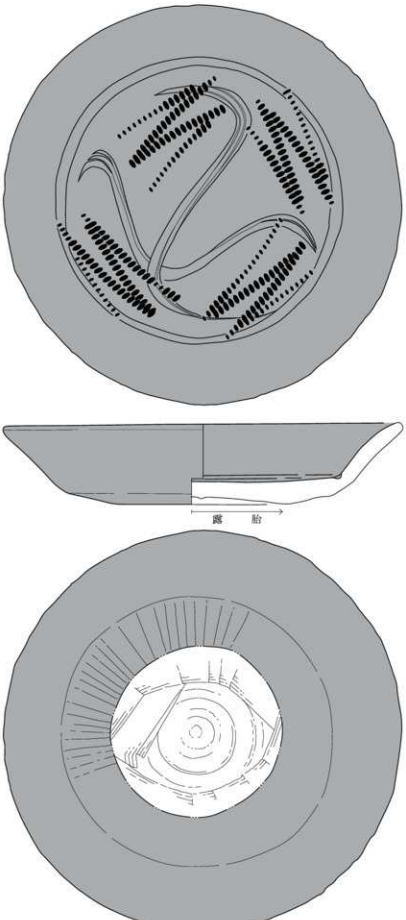
（２）　漆塗製品（口絵２）

大きめの漆膜破片２点と膜小片３点がある。

４は平地住居跡ＵＨＤ－50の柱穴ＨＰ－３から出土した漆塗椀の膜片。底部高台とそれに続く底部付近の外側の膜片である。高台の外側までは均一に朱漆が塗られている。高台底は濁った茶色をしておりやや鉄分の入った透き漆塗と思われる。膜の厚さは0.4㎜と厚い。すべての膜の裏は薄茶色を呈しており、木地の木目が転写されていることから、木糞漆を塗って木地を整えてから漆を塗り重ねた椀といえる。

５は墓坑ＧＰ－１に副葬されていた漆塗椀の膜片。12世紀後半の青磁平皿（図Ⅶ－12）や平棟の短刀（図Ⅶ－６－48）が共伴している。残存形状から木地が腐植し内外の漆膜だけになった椀とみられる。高台部外の膜片も確認できる。色は紫がかった黒褐色を呈す。厚さは0.1㎜前後と薄く、膜を透過光でみると同心円状の木地の木目が見えることから、少しの鉄分が入った透き漆を薄塗りしただけの簡素な漆塗椀とみられる。

膜小片３点はいずれも送り場灰層からの検出で、ＵＡ－５から２点、ＵＡ－８から１点である。



図Ⅶ－12　ＧＰ－１出土青磁平皿

3．ガラス玉（図Ⅶ－10　表Ⅶ－4　図版31）

送り場ＵＡ－14で検出したガラス製の丸玉。径8.6㎜・高さ5.4㎜である。表面の３分の１程度が風化剥離しており、他面も劣化が進行し白っぽく濁っているが、本来の色は半透明の浅蔥色である。蛍光Ｘ線分析（機器・条件等は銅銭に同じ、ただしＸ線照射径１㎜）を試みた結果、鉛が検出されずカルシウムが10%前後検知されたことから、アルカリ石灰ガラスといえる。

4．陶磁器（図Ⅶ－12　表Ⅶ－5　図版31）

灰集中や包含層の攪乱から出土した陶磁器の破片４点については、表Ⅶ－５に示してある。

図Ⅶ－12は「Ⅳ章３節墓坑」で報告したＧＰ－１から出土した劃花文青磁平皿である。ＧＰ－１はＵＨＤ－28に重なって検出された墓坑で、「Ⅶ章１節金属製品」で報告した短刀48や、「Ⅶ章２節木製品」で報告した漆塗椀５がこの青磁平皿とともに副葬されている。下記に示した当品の時期からも、擦文期最終末かアイヌ期初頭の所産の墓坑と考えている。

以下に当センター鈴木信が観察した当品の報告を掲載する。

劃花文青磁平皿

胎土：５Ｙ７／１・灰白色、白色細粒砂を少量含む稠密。

焼成：堅緻。

成形・調整：見込み・内外体部上部（稜より上側）は回転ナデ体部成形、外体部下部（稜より下側）はやや遅い回転速度の粗い回転ヘラ削り体部成形、外底面中心寄りは速い速度の回転ヘラ削り底面調整、畳付は粗いヘラ削り調整。

施文：見込みと内体部の境に１重圏沈線、見込みは沈線による草花文を施したのち、櫛原体の刺突による雷光文を施こす。

釉調：５ＧＹ・灰青緑色、透明感のあるガラス質、貫入のない薄い釉層、外底面は露胎。

分類：森田分類・皿Ⅰｂ（福岡市分類・同安窯系Ⅱ１ｂ）

生産地：同安窯系

時期：12世紀後半　（三浦）

表Ⅶ－１　出土鉄製品一覧（１）

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ(現存cm) 長・径	幅・高	厚・太	重(g)	整理番号	備考
	1		吊耳片口鍋	UHP－15	床面直上	24.0	13. 0	0.5	(1580)	108・109	縄文期終末
図Ⅶ－1	2	32	鍋片	Q－49区	Ⅲ層	(2.8)	(5.1)	(0.3)	(15.6)	107	
	3		鍋片	Q－49区	Ⅲ層	(3.4)	(2.4)	(0.25)	(6.4)	107	
	4		刀子	UHD－38	床面	19.3	1.5	0.24	18.4	125	
	5		刀子	UHD－25	床面	(12.9)	1.6	0.2	(5.4)	122・123	
	6		刀子	UA－21		(12.5)	1.46	0.3	(8.5)	121	
	7		刀子	D－25区	Ⅲ層	(6.3)	1.7	0.2	(8.4)	120	
	8		刀子	UHD－25	床面	(7.4)	1.7	0.2	(5.1)	122	
	9		刀子	L－43区	Ⅲ層	(11.8)	2.0	0.4	(12.3)	119	他破片あり
	10		刀子	UHD－43外	Ⅲ層	(11.7)	1.55	0.25	(9.8)	127	
	11		刀子	UHD－40	床面	(7.2)	1.75	0.2	(9.1)	124	
	12		刀子	UHD－16外	Ⅲ層	(6.2)	1.9	0.35	(9.8)	118	
図Ⅶ－2	13	33	刀子	I－27区	Ⅲ層	(4.0)	1.8	0.3	(8.5)	63	
	14		刀子	F－15区	Ⅲ層	(4.7)	1.8	0.24	(6.5)	126	
	15		刀子	UF－16		(5.2)	1.1	0.22	(3.7)	117	
	16		刀子	UHD－55	床面	(2.05)	1.05	0.34	(2.0)	128	
	17		鎌	UHD－40	床面	11.5	刃4.85	0.3	74.4	112	
	18		鎌	UHD－40	床面	(18.1)	刃5.0	0.2	(79.7)	113	
	19		鎌	UHD－24	床面	(19.7)	刃4.0	0.3	(78.5)	111	口金・目釘
	20		鎌	P－21区	Ⅲ層	(12.2)	刃3.5	0.4	(34.9)	110	
	21		鎌	UA－6	Ⅲ層	(8.1)	刃2.9	0.2	(17.7)	114	
	22		鎌	J－32区	Ⅲ層	(6.3)	刃2.5	0.22	(12.8)	88	
	23		鍬先	UHD－40	床面	19.0	推定15	0.8	(494.1)	115	
	24		鍬先	UA－21		(15.3)	受4.8	0.5	(77.8)	116	
図Ⅶ－3	25	34	鉞	UHD－43	床面	17.5	刃5.3	孔下3.5	825	131	
	26		鉞	UHD－43	床面	16.7	刃5.3	孔下3.5	1070	132	
	27		鉞	UHD－43	床面	16.2	刃5.0	孔下4.0	950	133	
	28		魚突鉤鉞	UHD－56外	Ⅲ層	(7.1)	5.0	0.9	(22.2)	135	マレッ
	29		釣針	UHD－40	床面	(4.5)	(2.9)	0.5	(3.3)	139	
	30		ヤス	I－33区	Ⅲ層	26.5	1.8	1.1	54.4	136	
	31		鉤	UHD－53外	Ⅲ層	5.1	5.0	1.15	25.8	140	
	32		鉤	UHD－40	床面	(5.7)	(4.4)	0.95	(15.7)	138	
	33		鉤	UHD－13外	Ⅲ層	(5.9)	(6.8)	1.0	(25.8)	134	マレッ？
	34		釘	T－45区	Ⅲ層相当	(3.0)	頭0.85	0.6	(2.1)	141	
	35		釘	UHD－40	床面	(6.0)	0.4	0.4	(4.9)	142	
	36		釘	Q－29区	Ⅲ層	(2.9)	0.4	0.25	(0.8)	144	
	37		釘	UHD－50	床面	(3.25)	0.8	0.6	(2.9)	146	
図Ⅶ－6	38	35	平鏃	UHD－38	床面	9.9	2.0	0.6	54.2	147	
	39		針	UHD－21外	Ⅲ層	3.5	頭0.7	0.35	(1.3)	149	
	40		針	UHD－21外	Ⅲ層	3.7	頭0.65	0.35	(1.4)	149	
	41		針	UHD－37	炉	(1.4)		0.4	(0.3)	151	
	42		針	UA－9	灰層	(2.6)		0.2	(0.6)	150	
	43		針	UA－14	灰層	(3.7)		0.15	(0.5)	154・155	
	44		針	UHD－14	炉	(1.4)		0.15	(0.1)	165	
	45		刀	L－30区	Ⅲ層	(12.0)	3.3	0.4	(28.6)	20	
	46		刀	UHD－21外	Ⅲ層	(9.9)	2.7	0.5	(53.8)	19	
	47		短刀	D－36区	Ⅲ層	(22.1)	2.8	0.8	(96.8)	129	
	48		短刀	GP－1	坑底	21.3	2.0	0.5	97.5	130	
	49		本小札	N－38区	Ⅲ層	7.5	3.1	0.15	(11.2)	85	
	50		耳札	J－27区	Ⅲ層	(3.4)	1.8	0.15	(2.4)	75	集中区C
図Ⅶ－7	51	36	碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.3	2.4	0.15	(6.1)	21	
	52		碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.1	2.4	0.15	(7.2)	22	
	53		碁石頭伊予札	UA－5	灰層	6.1	2.5	0.15	7.4	23	
	54		碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.2	2.6	0.15	12.0	24	

表Ⅶ－1　出土鉄製品一覧（2）

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ(現存cm) 長・径	幅・高	厚・太	重(g)	整理番号	備考
図Ⅶ－7	55	36	碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.1	2.6	0.15	(9.8)	25	
	56		碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.4	2.5	0.15	(11.3)	26	
	57		碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.2	2.6	0.15	17.4	27	
	58		碁石頭伊予札	UA－5	Ⅲ層	6.5	2.5	0.15	13.0	28	
	59		碁石頭伊予札	E－26区	Ⅲ層	(4.25)	2.5	0.15	(5.5)	29	UA－5付近
	60		小札	K－25区	Ⅲ層	(3.5)	2.5	0.15	(3.5)	30	集中区A
	61		碁石頭伊予札	K－25区	Ⅲ層	(5.7)	2.5	0.15	(6.9)	31	集中区A
	62		碁石頭伊予札	K－25区	Ⅲ層	(6.1)	2.5	0.15	(10.8)	32	集中区A
	63		碁石頭伊予札	K－25区	Ⅲ層	6.5	2.6	0.15	(9.7)	33	集中区A
	64		碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	6.3	2.4	0.15	(8.6)	34	集中区A
	65		碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	(4.5)	2.6	0.15	(5.4)	35	集中区A
－	－	－	小札	L－25区	Ⅲ層	(1.45)	(1.9)	0.15	(1.0)	36	集中区A
図Ⅶ－7	66	36	碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	(3.3)	2.7	0.15	(5.0)	37	集中区A
	67		碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	6.3	2.7	0.15	(10.2)	38	集中区A
	68		碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	6.3	2.55	0.15	12.5	39	集中区A
	69		碁石頭伊予札	L－25区	Ⅲ層	6.4	2.5	0.15	11.0	40	集中区A
	70		碁石頭伊予札	M－25区	Ⅲ層	(5.8)	2.4	0.15	(4.4)	41	集中区A
	71		碁石頭伊予札	K－26区	Ⅲ層	6.1	2.6	0.15	10.6	42	集中区A
	72		碁石頭伊予札	K－26区	Ⅲ層	6.2	2.5	0.15	8.7	43	集中区A
図Ⅶ－8	73	37	碁石頭伊予札	K－22区	Ⅲ層	6.2	2.5	0.15	10.4	46	集中区B
	74		碁石頭伊予札	K－23区	Ⅲ層	6.5	2.4	0.15	(8.9)	47	集中区B
	75		碁石頭伊予札	K－23区	Ⅲ層	6.7	2.5	0.15	(7.3)	48	集中区B
	76		碁石頭伊予札	J－23区	Ⅲ層	(2.1)	2.4	0.15	(3.8)	49	集中区B
	77		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	(5.5)	2.6	0.15	(10.3)	50	集中区B
	78		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	(3.6)	2.6	0.15	(3.6)	51	集中区B
	79		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	6.2	2.4	0.15	10.2	52	集中区B
	80		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	6.3	2.6	0.15	(8.1)	53	集中区B
	81		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	6.2	2.4	0.15	(7.5)	54	集中区B
	82		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	(3.6)	2.5	0.15	(9.5)	55	集中区B
	83		碁石頭伊予札	J－22区	Ⅲ層	(3.8)	2.4	0.15	(3.5)	56	集中区B
	84		小札	J－22区	Ⅲ層	(3.9)	2.5	0.15	(4.1)	57	集中区B
－	－	－	小札	L－22区	Ⅲ層	破片8片		0.15	(4.8)	58	集中区B付近
図Ⅶ－8	85	37	碁石頭伊予札	I－27区	Ⅲ層	(2.5)	(1.9)	0.15	(1.7)	59	集中区C
	86		小札	I－27区	Ⅲ層	(3.6)	(1.65)	0.15	(2.3)	59	集中区C
－	－	－	小札	I－27区	Ⅲ層	破片6片		0.15	(5.9)	60	集中区C
図Ⅶ－8	87	37	碁石頭伊予札	I－27区	Ⅲ層	(4.0)	2.45	0.15	(5.7)	61	集中区C
	88		小札	I－27区	Ⅲ層	(5.3)	2.6	0.15	(9.7)	61	集中区C
	89		碁石頭伊予札	I－27区	Ⅲ層	(3.5)	2.5	0.15	(4.8)	62	集中区C
	90		小札	I－27区	Ⅲ層	(3.3)	(1.6)	0.15	(1.5)	62	集中区C
	91		小札	I－27区	Ⅲ層	(3.2)	2.6	0.15	(4.8)	64	集中区C
	92		小札	I－27区	Ⅲ層	(5.4)	2.5	0.15	(6.3)	65	集中区C
	93		小札	I－27区	Ⅲ層	(3.5)	2.5	0.15	(5.1)	66	集中区C
	94	38	小札	I－27区	Ⅲ層	(3.4)	2.5	0.15	(3.5)	66	集中区C
	95		碁石頭伊予札	I－27区	Ⅲ層	6.1	2.6	0.15	14.7	67	集中区C
	96		碁石頭伊予札	I－27区	SP覆土	(4.2)	2.5	0.15	(5.7)	68	集中区C
	97		小札	I－28区	Ⅲ層	(4.2)	2.4	0.15	(4.6)	69	集中区C
	98		小札	I－28区	Ⅲ層	(4.0)	(1.8)	0.15	(1.9)	70	集中区C
	99		小札	I－28区	Ⅲ層	(2.6)	2.6	0.15	(3.8)	71	集中区C
	100		碁石頭伊予札	I－28区	Ⅲ層	6.5	2.5	0.15	9.3	72	集中区C
	101		碁石頭伊予札	I－28区	Ⅲ層	6.4	2.5	0.15	(7.3)	72	集中区C
	102		碁石頭伊予札	I－28区	Ⅲ層	6.0	2.4	0.15	10.1	73	集中区C
図Ⅶ－9	103		小札	I－28区	Ⅲ層			0.15		73	集中区C
	104		小札	J－27区	Ⅲ層	(3.5)	2.6	0.15	(7.2)	74	集中区C
	105		碁石頭伊予札	J－28区	Ⅲ層	(4.0)	2.4	0.15	(6.0)	76	集中区C

表Ⅶ－1　出土鉄製品一覧（3）

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ（現存cm）			重（g）	整理番号	備考
						長・径	幅・高	厚・太			
図Ⅶ－9	106	38	碁石頭伊予札	H－28区	Ⅲ層	推定6.3	2.6	0.15	(6.1)	77	集中区C
	107		小札	H－28区	Ⅲ層	(3.4)	2.4	0.15	(4.5)	78	集中区C
－	－	－	小札	H－28区	Ⅲ層	破片3片	(2.1)	0.15	(2.6)	79	集中区C
図Ⅶ－9	108	38	碁石頭伊予札	H－26区	Ⅲ層	6.1	2.5	0.15	(7.5)	80	集中区C
	109		碁石頭伊予札	G－28区	Ⅲ層	6.2	2.4	0.15	(13.0)	81	集中区C
	110		碁石頭伊予札	K－28区	Ⅲ層	(5.9)	(2.2)	0.15	(4.3)	82	集中区C付近
	111		小札	UHD－43	床面	・	・	0.15	・	96	
	112		碁石頭伊予札	R－30区	Ⅲ層	(5.8)	2.4	0.15	(8.2)	89	
	113		碁石頭伊予札	K－19区	Ⅲ層	(3.3)	2.5	0.15	(6.9)	94	
	114		碁石頭伊予札	K－27区	Ⅲ層	(4.0)	2.5	0.15	(4.6)	44	
	115		碁石頭伊予札	L－28区	Ⅲ層	6.1	2.5	0.15	10.5	45	
	116		小札	N－33区	Ⅲ層	(3.7)	2.5	0.15	(5.6)	86	
	117		小札	O－33区	Ⅲ層	(1.7)	2.5	0.15	(2.3)	87	
	118		碁石頭伊予札	P－28区	Ⅲ層	6.3	2.5	0.15	(6.5)	91	
	119		碁石頭伊予札	E－49区	Ⅲ層	6.9	2.5	0.15	13.8	84	
	120		鉄板板物甲	H－34区他	Ⅲ層	・	・	・	・	106	小破片多数
図Ⅶ－10	121	39	棒状品	P－29区	Ⅲ層	(5.1)	0.7	0.6	(3.7)	145	角棒
	122		棒状品	O－30区	Ⅲ層	(3.1)	1.0	0.5	(2.0)	157	角棒
	123		棒状品	UH－23	床面直上	(4.7)	0.6	0.4	(5.8)	153	角棒
	124		棒状品	UH－51	床面	(2.1)	0.7	0.4	(1.4)	158	角棒
	125		棒状品	UHD－50	床面	(2.1)	0.8	0.6	(2.0)	159	角棒
	126		棒状品	UHD－53	床面	(4.9)	・	1.6	(10.0)	160	丸棒
	127		棒状品	UHD－56	床面	(4.7)	・	0.5	(2.3)	152	丸棒
	128		棒状品	L－24区	Ⅲ層	(2.3)	・	0.6	(1.0)	154	丸棒
－	－	－	棒状品	D－21区	Ⅲ層	(2.6)	0.7	0.5	(2.2)	156	丸棒
	－	－	棒状品	UHD－36	床面	(2.5)	0.7	・	(1.4)	155	
	－	－	棒状品	UHD－26	炉上面	破片3片	(0.7)	(0.65)	(4.5)	166	
図Ⅶ－10	129	39	環状品	H－38区	Ⅲ層	(3.2)	1.7	0.65	(5.2)	143	
	130		環状品	O－30区	Ⅲ層	(3.2)	(3.1)	0.5	(7.4)	137	
	131		環状品	UHD－48	床面	6.2	(3.2)	0.55	(6.0)	161	腕輪？
	132		板状品	UA－21		(1.95)	(1.25)	0.2	(1.2)	100	
	133		板状品	F－48区	Ⅲ層	(3.5)	1.6	0.2	(3.5)	104	
	134		板状品	K－44区	Ⅲ層	(5.4)	(3.0)	0.15	(8.5)	102	小孔1
	135		板状品	L－42区	Ⅲ層	(7.1)	3.75	0.2	(14.6)	103	
	136		板状品	M－18区	Ⅲ層	(8.3)	5.9	0.2	(37.2)	105	
－	－	－	板状品	Q－29区	Ⅲ層	(2.0)	(1.5)	0.2	(1.1)	90	
	－	－	板状品	Q－25区	Ⅲ層	破片2片		0.2	(0.6)	93	
	－	－	板状品	Q－33区	Ⅲ層	破片4片		－	(2.4)	97	
図Ⅶ－10	137	39	板状品	O－45区	Ⅲ層相当	(4.9)	2.1	0.4	(14.2)	98	
	138		板状品	F－19区	Ⅲ層	(2.6)	(2.3)	0.4	(2.4)	101	別破片あり
	139		板状品	R－30区	Ⅲ層	(3.2)	2.0	1.1	(10.7)	99	
－	－	－	鉄製品片	UHD－22	炉	－	－	－	－	169	微小鉄片6
	－	－	鉄製品片	UHD－22	炭化物集中	－	－	－	－	170	微小鉄片2
	－	－	鉄製品片	UHD－38	炉	－	－	－	－	171	微小鉄片1
	－	－	鉄製品片	UA－5	灰層	－	－	－	－	172	微小鉄片15
	－	－	鉄製品片	UA－7	灰層	－	－	－	－	173	微小鉄片3
	－	－	鉄製品片	UA－8	灰層	－	－	－	－	174	微小鉄片3
	－	－	鉄製品片	UA－14	灰層	－	－	－	－	175	微小鉄片2
図Ⅶ－10	140	39	素材鉄	N－36区	Ⅲ層	9.6	1.8	0.8	47.8	163	延棒状
	141		素材鉄	N－36区	Ⅲ層	9.2	2.2	0.9	73.2	162	延棒状
	142		素材鉄	UHD－43	床面	13.4	1.1	1.1	44.2	148	棒状
	143		鉄滓	Q－37区	Ⅲ層	4.0	3.5	2.5	16.6	164	

表Ⅶ－２　出土銅製品一覧

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ(現存cm) 長・径	幅・高	厚・太	重(g)	整理番号	備考
図Ⅶ－11	1	40	開元通寶	M－50区	Ⅲ層	2.30		0.15	3.3	3	唐・模
	2		皇宋通寶	M－50区	Ⅲ層	2.48		0.13	3.0	2	北宋・本
	3		紹聖通寶	M－50区	Ⅲ層	2.35		0.11	2.3	4	北宋・模
	4		淳熙元寶	M－50区	Ⅲ層	2.32		0.14	(1.7)	1	南宋・模
	5		熙寧元寶	H－54区	Ⅲ層	2.38		0.12	3.1	6	北宋・模
	6		元祐通寶	H－54区	Ⅲ層	2.28		0.10	3.4	5	北宋・模
	7		洪武通寶	S－41区	Ⅲ層	2.33		0.14	2.5	11	明・模
	8		永楽通寶	T－41区	Ⅲ層	2.52		0.15	2.7	8	明・模
	9		永楽通寶	S－41区	Ⅲ層	2.44		0.14	2.9	9	明・模
	10		永楽通寶	S－41区	Ⅲ層	2.52		0.13	2.3	10	明・模
	11		永楽通寶	UHD－56外	Ⅲ層	2.43		0.13	3.1	14	明・本
	12		宣德通寶	S－41区	Ⅲ層	2.51		0.12	2.6	12	明・模
	13		元豊通寶	UA－14	攪乱灰層	2.52		0.12	3.5	13	北宋・本
	14		朝鮮通寶	N－31区	Ⅲ層	2.40		0.17	3.8	7	李氏朝鮮・模
図Ⅶ－10	15		装具/長円盤 装具/軸棒	UA－21		4.18 2.27	1.9	0.25 0.27	13.4 1.5	15	
	16		装具片	UHD－44外	Ⅲ層	(1.66)	(0.64)	0.05	(1.1)	16	
	17		鋲	UA－14	灰層	(0.75)	頭径0.85	脚幅0.2	(0.8)	167	
	18		小柄	UHD－43	床面	(5.31)	1.35	0.4	(6.3)	17	
	19		小柄	L－34区	Ⅲ層	9.1	1.4	0.5	鉄とも15.6	18	

表Ⅶ－３　出土木製品・漆塗製品一覧

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ(現存cm) 長・径	幅・高	厚・太	重(g)	整理番号	備考
－	1	口絵1	刳り物	UHP－17	床面直上	(13.5)	(9.0)	0.7～	－		炭化・撥文期
	2	－	刳り物	UHD－43	床面・炉脇	15.6	(12.0)	2.6～	－		炭化
	3	31	刀子柄	UHD－26	柱穴	(1.5)	(1.7)	(0.75)	(1.36)		鉄銹付着
	4	口絵2	漆塗椀	UHD－50	柱穴	底内径5.0		0.04	－		膜のみ
	5	口絵3	漆塗椀	GP－1	坑底付近	底内径推定6.5		0.01	－		膜のみ
－	－	－	漆膜片	UA－5	灰層	－	－	－	－		
	－	－	漆膜片	UA－5	土壌	－	－	－	－		
	－	－	漆膜片	UA－8	灰層	－	－	－	－		

表Ⅶ－４　出土ガラス玉一覧

挿図番号	掲載番号	図版	分類	遺構・グリッド	層位	大きさ(現存cm) 長・径	幅・高	厚・太	重(g)	整理番号	備考
図Ⅶ－10	－	31	ガラス丸玉	UA－14	灰層	0.85	0.5	孔径0.25	0.6		浅葱色

表Ⅶ－５　出土陶磁器一覧

出土地点		層位	遺物番号	点数	窯	種類	時期	備考
図Ⅶ－12 口絵2	**墓坑 GP－1**	**坑底**	**1**	**1個体**	**同安系**	**青磁平皿**	**12世紀後半**	
－	灰集中 UA－14	攪乱	2	1	肥前系	灰釉小皿	近世	同一個体
	J－23区	攪乱	—	1				
	L－27区	攪乱	—	1				
	R－41区	攪乱	—	1	備前系	無釉小瓶	近世	

Ⅷ章　旧石器時代の遺物（Ⅴ～Ⅶ層）

1．概要（図Ⅷ－１～10　表Ⅷ－１・２）

（１）調査の経緯と方法

・調査の経緯

平成18（2006）年度の本遺跡の調査時に、後期旧石器時代の細石刃石器群の石器集中（ブロック）を２か所（ブロック１・２）確認し、調査を行った。ブロック２は今回の調査区に隣接する位置で検出されたため、今回の調査でも旧石器時代の遺物の出土を想定し、26ラインより南側のⅤ～Ⅶ層を旧石器時代の調査範囲とした。ただし、旧石器時代の遺物が一部調査範囲の北側に広がったため、D～Mラインについては27ラインまで調査範囲を広げた。なお、平成18（2006）年度の調査内容については『千歳市　祝梅川上田遺跡・梅川２遺跡』（2007　北埋調報238）Ⅱ章４節を参照されたい。

・調査の方法

現場では、遺物包含層調査時に旧石器が出土した調査区は原則的に遺物を残して掘り下げ、遺物の分布を把握しながら調査を行った。遺物がまとまって出土した場合は隣接する調査区も順次調査を行い、遺物の分布と密度によりブロックを認定した。ブロックの調査は遺物の平面分布及び層位を確認しながら、順次点取りで取り上げて面的に掘り下げた。最終的に遺物が出土しなくなった面から10㎝程度掘り下げて、遺物が出土しないことを確認して調査を終了した。ブロック外の遺物は、遺物を残してⅦ１層上位まで掘り下げ、遺物の分布を確認した後、出土位置を記録し取り上げた。旧石器の主な出土層位は恵庭ａ軽石層上位のⅤ１層上面からⅦ２層上位にかけてであり、ブロックではこれらの層位から連続的に出土した。旧石器の本来的な包含層はⅦ層と考えられるが、縄文時代の遺物包含層であるⅤ１～Ⅵ層からも相当数が出土している。これは、土壌の凍上現象等の自然の営力による移動と推測される。このため、旧石器が縄文時代の遺物と混在する出土状況がみられたが、石器の石材・形態的特長や石器表面の風化の度合いなどから、縄文時代の石器と区別した。

遺物の取り上げは、出土位置を記録したもの（以下「点取り遺物」）と、調査区単位ほかで一括して取り上げたもの（以下「一括遺物」）がある。原則的に遺物は、出土位置を記録して取り上げた。点取り遺物の中には小規模な風倒木痕出土のものも含まれる。

一次整理の方法はⅢ章４節に記載しているので、参照されたい。また、黒曜石・頁岩に関しては石質別の分類を行った。黒曜石は肉眼観察で白滝産と推定されるものがほとんどであったため、当センターで調査している「白滝遺跡群」の石質分類を踏襲し、以下の様に５種類に細分した。

黒曜石１：黒色、黒曜石２：黒色の梨肌（今回は出土していない）、黒曜石３：黒色に茶色が混じる（黒＞茶）、黒曜石４：（茶＞黒）、黒曜石５：黒色に紫がかった茶色が混じる（黒＞紫・茶）

また、頁岩については１種類の石質を設けた（頁岩１）。

二次整理は主に接合・実測作業を行った。接合作業は、定型的な石器類については、まず折れ面接合を試み、次に同じ石質と考えられる石器類や剥片等を探すようにした。剥片等は石質ごとに集めて接合作業を行った。接合作業の実際は、折れ面接合の場合は瞬間接着剤を使用し、剥離面接合の場合は両面テープで仮止めしながら作業を進め、必要に応じて瞬間接着剤を使用した。ただし、最終的な収納段階では瞬間接着剤を使用している。ある程度接合作業が進行した段階で、剥離過程を記録した接合カードを作成し、接合番号をつけた。接合番号は剥離面接合が「１」から、折れ面接合は「1001」

からとした。そのため、剥離面接合資料に折れ面接合資料が含まれている場合は、１個体の接合資料に複数の接合番号をもつことがある。さらにこれらの作業で得られた接合資料やその他の石器の内、特徴的で同一母岩と認識できるものを母岩別資料として抽出した。また、実測・接合作業と平行して、点取り遺物等の分布図作成を行った。実測図に関しては、定型的な石器類は全形のわかるものを中心に実測・掲載するように努めた。また、石器等の掲載番号の下には、石材の略号（黒曜石以外）、母岩番号・接合番号、黒曜石産地推定試料番号を示した。接合資料に関しては良好に復元されたものや特徴的なものを中心に実測・掲載し、構成する個別の石器も掲載するように努めた。接合資料模式図内の矢印は打点の方向、数字は各石器等の実測図掲載番号を示す。また、石器等の実測図の縮尺は原則的に１／２とした。また、石器等の写真の縮尺は約１／２で掲載した。

・遺物の分類

当センターで調査を行っている「白滝遺跡群」の器種分類を基本的に踏襲しているが、一部追加・改変している。（括弧内は略号）

細石刃「ＭＢ」（Micro Blade）

細石刃核より剥離されたと考えられ、長さが幅の２倍以上で、両側縁がほぼ平行しそれに平行する稜があり、幅が約１㎝以下の石器。

細石刃核「ＭＣ」（Micro Core）

細石刃を剥離したと考えられる石器。

削片「ＳＰ」（Spall）

細石刃核の打面作出、ないし彫器の彫刃面作出・再生時に剥離されたと考えられる剥片。

彫器 「ＢＵ」（Burin）

素材の端部に一条から数条の樋状剥離を施した石器。

両面調整石器「ＢＦ」（Biface）

素材の両面を加工したもので、細石刃核、尖頭器、斧型石器以外の石器。

掻器「ＥＳ」（End Scraper）

素材の端部に連続的な二次加工を施した石器。

削器「ＳＳ」（Side Scraper）

素材の側縁に連続的な二次加工を施した石器。

錐形石器「ＤＲ」（Drill）

素材の端部に錐状の尖頭部を作り出した石器。

二次加工ある剥片「ＲＦ」（Retouched Flake）

素材に二次加工を施したもので、定形的な石器に分類されない石器。

石核「ＣＯ」（Core）

剥片を剥離したと考えられるもので、細石刃核以外の石器。

剥片「ＦＫ」（Flake）

石核・細石刃核・石器（トゥール）から剥離されたもので細石刃・削片以外の石器。

細片「ＣＰ」（Chip）

剥片の中で1.5㎝以下の小型のもの。

砥石「ＷＳ」（Whet Stone）

礫の片面もしくは両面に磨痕が観察される石器。

礫「ＰＢ」（Pebble）

石器の素材として利用されない石で、剥離、敲打痕、潰打痕、磨痕などが観察されないもの。

（２）調査の概要

旧石器時代の調査の結果、恵庭ａ降下軽石層（Ⅷ層）より上位の土層から、後期旧石器時代の細石刃等の遺物がⅤ～Ⅶ層にかけて出土した。焼土等の遺構は検出していない。遺物は全て石器等で、総点数は1,981点、総重量は2405.67ｇである。取り上げ方法別の内訳は、点取り遺物1,979点（2399.63ｇ）、一括遺物２点（6.04ｇ）である。器種別の内訳は細石刃206点、細石刃核２点、削片24点、彫器11点、両面調整石器１点、掻器10点、削器35点、錐形石器３点、二次加工ある剥片24点、石核１点、剥片533点、細片1,119点、砥石１点、礫11点である。削片は全て彫器削片で、細石刃核削片は出土していない。石器等の石材は黒曜石、頁岩、珪岩、砂岩、安山岩がある。黒曜石は肉眼観察では、白滝産と推定されるものが多く、産地推定を行った20点についても全て白滝産という結果が出ている。

出土した石器等の平面分布、接合関係及び石器類の特徴等から、石器集中（ブロック）を３か所設定した。ブロック番号は平成18年度調査のものの連番とし、「ブロック３～５」とした。ブロック３～５は調査区南側、標高13ｍの平坦面に位置する。ブロック外の遺物はブロック周辺に薄く分布する。石器等の接合は各ブロック内で認められるが、一部ブロック間での接合もみられる。

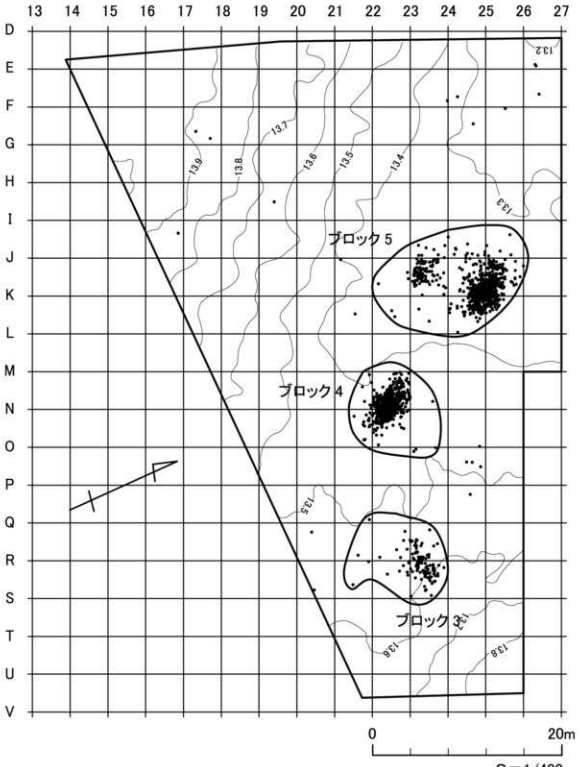
出土した石器類は後期旧石器時代の細石刃石器群であり、ブロック３～５は「湧別技法札滑型細石刃核を伴う石器群（以下「札滑型細石刃核石器群」）」である。ブロック外の石器も多くは札滑型細石刃核石器群と判断されるが、一部不明なものもある。

（３）石器ブロックの設定と遺物の分布（図Ⅷ－１～10）

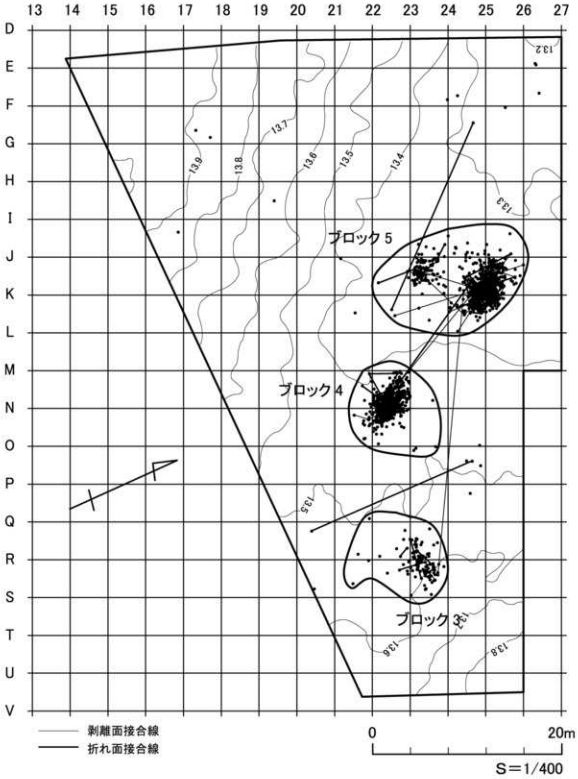
Ⅴ～Ⅶ層調査範囲内の地形はほぼ平坦で、Ⅶ１層上面の標高は約13.2～14.0ｍである。細かく見ると東側及び西側がやや高く、その間が緩やかに低くなる地形である。旧石器時代の遺物の多くはＩ～Ｓ－21～26区から多く出土し、遺物の平面分布等から現地調査段階でブロックを３か所（ブロック３～５）設定した。その後二次整理段階で、遺物の接合関係や平面分布の再検討等を行い、ブロック範囲の修正を行った。ブロックは比較的近接し、ブロック間の距離はブロック３・４間で約６ｍ、ブロック４・５間で約４ｍ、最も離れたブロック３・５間で約20ｍである。ブロック出土の遺物は総点数1,959点、総重量2319.93ｇである。ブロック別の出土点数は、ブロック３が115点、ブロック４が888点、ブロック５が956点である。また、ブロック外からは22点出土した。接合関係は折れ面、剥離面共に同じブロック内が多いが、ブロック間の接合も少量認められた。調査区ごとの遺物点数分布はブロック４のＭ－22区が501点と最も高く、Ｎ－22区の361点が次ぐ。どちらも剥片、細片が95％以上を占める。重量分布ではブロック３のＲ－23区が306.48ｇと最も高く、ブロック５のＪ－23区の284.50ｇが次ぐ。ブロック３～５はいずれも細石刃石器群で、ブロック５から札滑型細石刃核が出土し、札滑型細石刃核石器群であることが判明した。ブロック３・４は細石刃核が出土していないが、石器組成や定型的な石器の形態や石材の特徴がブロック５と共通する点や、ブロック間の接合関係等から、札滑型細石刃核石器群と判断される。

・器種別分布状況（図Ⅷ－３～６）

石器は各石器ブロックの集中域に多く分布するが、定型的な石器はブロックごとに出土点数が異なるものが多い。


13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27
D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
13.9
13.8
13.7
13.6
13.5
13.4
13.3
13.2
13.5
13.6
13.8
ブロック5
ブロック4
ブロック3
0
20m
S＝1/400

図Ⅷ－1 ブロック設定図


13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27
D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
13.9
13.8
13.7
13.6
13.5
13.4
13.3
13.2
13.5
13.6
13.6
ブロック5
ブロック4
ブロック3
剥離面接合線
折れ面接合線
0
20m
S＝1/400

図Ⅷ－2　全接合分布図

表Ⅷ－1　旧石器出土地点・層位別点数一覧

出土場所	取り上げ方法	層位	細石刃		細石刃核		彫器削片		剥片		両面調整石器		磨製		削器		微形石器	
			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
ブロック3	点取り	Ⅴ	1	0.24											2	10.67		
		Ⅵ	4	0.74									1	20.79	1	13.96		
		Ⅶ	10	1.79			3	0.58	3	19.87			2	65.77	6	185.33		
ブロック3 合計			15	2.77			3	0.58	3	19.87			3	86.56	9	209.96		
ブロック4	点取り	Ⅴ	1	0.02											5	28.29	2	6.7
		Ⅵ	2	0.41			3	0.54			1	110.09						
		Ⅶ	5	0.55			8	1.93	1	6.39					6	47.22	1	24.34
ブロック4 合計			8	0.98			11	2.47	1	6.39	1	110.09			11	75.51	3	31.04
ブロック5	点取り	Ⅴ	17	3.22	1	58.13	3	1.35					1	4.87	3	28.56		
		Ⅵ	44	10.67	1	146.6	3	1.08	1	7.63			3	33.38	5	35.19		
		風倒木Ⅵ層																
		Ⅶ					4	1.41	6	46.77			2	17.06	4	48.24		
ブロック5 合計			122	23.83			10	3.84	7	54.4			6	55.31	12	131.99		
ブロック外	点取り	Ⅴ	183	37.72	2	204.73									2	6.81		
		風倒木Ⅴ層																
		Ⅵ											1	24.76	1	13.77		
	点取り 合計												1	24.76	3	20.58		
	一括	風倒木Ⅴ層																
		風倒木Ⅵ層																
	一括 合計																	
ブロック外 合計													1	24.76	3	20.58		
総計			206	41.47	2	204.73	24	6.89	11	80.66	1	110.09	10	166.63	35	438.04	3	31.04

出土場所	取り上げ方法	層位	加工のある剥片		石核		剥片		細片		砥石		礫		総計	
			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
ブロック3	点取り	Ⅴ	1	6.44			8	12.75	1	0.13					13	30.23
		Ⅵ	2	25.53			21	46.9	3	0.53			3	42.81	35	151.26
		Ⅶ	1	0.54			21	45.97	16	1.29			5	70.98	67	392.12
ブロック3 合計			4	32.51			50	105.62	20	1.95			8	113.79	115	573.61
ブロック4	点取り	Ⅴ	2	6.79			43	87.44	41	3.52					94	132.76
		Ⅵ					35	75.74	100	5.12					141	191.90
		Ⅶ	1	0.31			118	93.36	510	22.44			3	59.19	653	255.73
ブロック4 合計			3	7.1			196	256.54	651	31.08			3	59.19	888	580.39
ブロック5	点取り	Ⅴ	2	3.68			44	63.9	34	2.26					105	165.37
		Ⅵ	4	7.72			94	238.26	56	4.31					211	504.84
		風倒木Ⅵ層					2	2.44							2	2.44
		Ⅶ	5	6.92	1	184.36	137	142.43	357	22.26					638	493.28
ブロック5 合計			11	18.32	1	184.36	277	446.43	447	28.83					956	1165.93
ブロック外	点取り	Ⅴ	5	14.67			6	5.31	1	0.01					14	26.80
		風倒木Ⅴ層					1	1.55							1	1.55
		Ⅵ					2	9.78			1	3.04			5	51.35
	点取り 合計		5	14.67			9	16.64	1	0.01	1	3.04			20	79.70
	一括	風倒木Ⅴ層	1	3.59											1	3.59
		風倒木Ⅵ層					1	2.45							1	2.45
	一括 合計		1	3.59			1	2.45							2	6.04
ブロック外 合計			6	18.26			10	19.09	1	0.01	1	3.04			22	85.74
総計			24	76.19	1	184.36	533	827.68	1119	61.87	1	3.04	11	172.98	1981	2403.67

表Ⅷ－２　旧石器出土地点・石材別点数一覧

出土場所	石材	石質	細石刃		細石刃核		剥器剥片		剥器		両面調整石器		楔器		削器		雑形石器	
			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
ブロック3	黒曜石	黒曜石1													1	1.09		
		黒曜石3	9	1.6											3	42.75		
		黒曜石4	4	0.49														
		黒曜石5	2	0.68														
	黒曜石 合計		15	2.77											4	43.84		
	頁岩	頁岩1					3	0.58	3	19.87			3	86.56	5	166.12		
	珪岩	—																
	砂岩	—																
	安山岩	—																
ブロック3 合計			15	2.77			3	0.58	3	19.87			3	86.56	9	209.96		
ブロック4	黒曜石	黒曜石1																
		黒曜石3	5	0.61							1	110.09			7	38.24		
		黒曜石4	2	0.21														
		黒曜石5	1	0.16													2	6.7
	黒曜石 合計		8	0.98							1	110.09			7	38.24	2	6.7
	頁岩	頁岩1					10	2.29	1	6.39					2	17.03		
		石質なし															1	24.34
	頁岩 合計						10	2.29	1	6.39					2	17.03	1	24.34
	珪岩	—					1	0.18							2	20.24		
	砂岩	—																
	安山岩	—																
ブロック4 合計			8	0.98			11	2.47	1	6.39	1	110.09			11	75.51	3	31.04
ブロック5	黒曜石	黒曜石1	6	1.11														
		黒曜石3	104	21.65	1	58.13									3	28.91		
		黒曜石4	13	1.7									1	10.84	1	8.48		
		黒曜石5	60	13.26	1	146.6									2	19.26		
	黒曜石 合計		183	37.72	2	204.73							1	10.84	6	56.65		
	頁岩	頁岩1					6	2.61	5	41.19			2	22.54	5	50.25		
		石質なし					4	1.23	1	7.63			2	11.27				
	頁岩 合計						10	3.84	6	48.82			4	33.81	5	50.25		
	珪岩	—							1	5.58			1	10.66	1	25.09		
	砂岩	—																
ブロック5 合計			183	37.72	2	204.73	10	3.84	7	54.4			6	55.31	12	131.99		
ブロック外	黒曜石	黒曜石1																
		黒曜石3																
		黒曜石4																
		黒曜石5													2	6.81		
	黒曜石 合計														2	6.81		
	頁岩	—											1	24.76	1	13.77		
	砂岩	—																
ブロック外 合計															3	20.58		
総計			206	41.47	2	204.73	24	6.89	11	80.66	1	110.09	10	166.63	35	438.04	3	31.04

出土場所	石材	石質	二次加工ある剥片		石核		剥片		細片		砥石		礫		総計	
			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
ブロック3	黒曜石	黒曜石1													1	1.09
		黒曜石3					24	35.75	19	1.91					55	82.01
		黒曜石4					9	21.86	1	0.04					14	22.39
		黒曜石5					6	25.15							8	25.83
	黒曜石 合計						39	82.76	20	1.95					78	131.32
	頁岩	頁岩1	4	32.51			6	18.31							24	325.95
	珪岩	—					5	4.55							5	4.55
	砂岩	—											6	78.98	6	78.98
	安山岩	—											2	34.81	2	34.81
ブロック3 合計			4	32.51			50	105.62	20	1.95			8	113.79	115	573.61
ブロック4	黒曜石	黒曜石1							1	0.02					1	0.02
		黒曜石3	1	0.31			100	85.06	397	18.87					511	253.18
		黒曜石4	1	0.46			74	86.49	233	10.7					310	97.86
		黒曜石5					1	1.08	4	0.14					8	8.08
	黒曜石 合計		2	0.77			175	172.63	635	29.73					830	359.14
	頁岩	頁岩1	1	6.33			19	83.19	9	1.23					42	116.46
		石質なし					1	0.55	6	0.08					8	24.97
	頁岩 合計		1	6.33			20	83.74	15	1.31					50	141.43
	珪岩	—					1	0.17	1	0.04					5	20.63
	砂岩	—											1	2.1	1	2.1
	安山岩	—											2	57.09	2	57.09
ブロック4 合計			3	7.1			196	256.54	651	31.08			3	59.19	888	580.39
ブロック5	黒曜石	黒曜石1							1	0.11					2	1.22
		黒曜石3	3	1.47			192	324.61	400	23.45					703	458.22
		黒曜石4	2	4.65			11	19.81	12	0.71					40	46.19
		黒曜石5	4	6.45			47	48.29	23	3.32					137	237.18
	黒曜石 合計		9	12.57			250	392.71	436	27.59					887	742.81
	頁岩	頁岩1	2	5.75	1	184.36	10	17.25	3	0.26					34	324.21
		石質なし					16	30.37	8	0.98					31	51.48
	頁岩 合計		2	5.75	1	184.36	26	47.62	11	1.24					65	375.69
	珪岩	—													3	41.33
	砂岩	—					1	6.1							1	6.1
ブロック5 合計			11	18.32	1	184.36	277	446.43	447	28.83					956	1165.93
ブロック外	黒曜石	黒曜石1					1	1.55							1	1.55
		黒曜石3	1	2.13			4	11.95							5	14.08
		黒曜石4	2	5.93			3	3.92	1	0.01					6	9.86
		黒曜石5	2	3.82			2	1.67							6	12.3
	黒曜石 合計		5	11.88			10	19.09	1	0.01					18	37.79
	頁岩	—	1	6.38											3	44.91
	砂岩	—									1	3.04			1	3.04
ブロック外 合計			6	18.26			10	19.09	1	0.01	1	3.04			22	85.74
総計			24	76.19	1	184.36	533	827.68	1119	61.87	1	3.04	11	172.98	1981	2408.67

細石刃（図Ⅷ－３）

206点出土している。ほとんどが折損し、幅は約0.３～1.0㎝で、後述する札滑型細石刃核から剥離された細石刃と考えられる。出土地点別では、ブロック３が15点、ブロック４が８点、ブロック５が183点で、ブロック５が非常に多い。石材は全て黒曜石である。

細石刃核（図Ⅷ－３）

ブロック５から２点出土している。共にその特徴から札滑型細石刃核に分類されるものである。石材は全て黒曜石である。

彫器削片（図Ⅷ－４）

24点出土している。全て彫器削片である。出土地点別ではブロック３が３点、ブロック４が11点、ブロック５が10点である。石材は全て頁岩である。

彫器（図Ⅷ－４）

11点出土している。剥片素材で左斜刃のものが多い。出土地点別では、ブロック３が３点、ブロック４が１点、ブロック５が７点である。石材は頁岩が10点、珪岩が１点である。

両面調整石器（図Ⅷ－４）

ブロック４から１点出土している。折損しており、細石刃核母型の素材の可能性がある。石材は黒曜石である。

掻器（図Ⅷ－４）

10点出土している。剥片素材で大型と小型がある。出土地点別ではブロック３が３点、ブロック５が６点、ブロック外１点である。石材は黒曜石が１点、頁岩が８点、珪岩が１点と頁岩製が多い。

削器（図Ⅷ－５）

35点出土している。定型的な石器の中では出土点数が多い。出土地点別では、ブロック３が９点、ブロック４が11点、ブロック５が12点、ブロック外が３点である。石材は黒曜石が19点、頁岩が13点、珪岩３点と黒曜石が多い。

錐形石器（図Ⅷ－５）

ブロック４から３点出土している。石材は黒曜石が２点、頁岩が１点である。

二次加工ある剥片（図Ⅷ－５）

24点出土している。出土地点別ではブロック３が４点、ブロック４が３点、ブロック５が11点、ブロック外が６点である。石材は黒曜石が16点、頁岩が８点である。

石核（図Ⅷ－５）

ブロック５から１点出土している。石材は頁岩である。

剥片・細片（図Ⅷ－６）

剥片が533点、細片が1,119点出土している。出土地点別ではブロック３が剥片50点、細片20点、ブロック４が剥片196点、細片651点、ブロック５が剥片277点、細片447点、ブロック外が剥片10点、細片１点である。

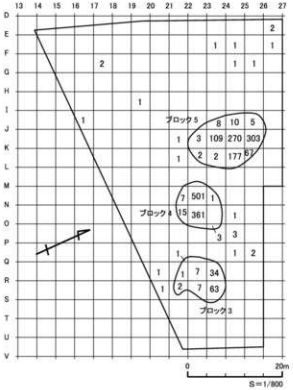
砥石（図Ⅷ－６）

ブロック外から１点出土している。ブロックとの関係は不明である。石材は砂岩である。

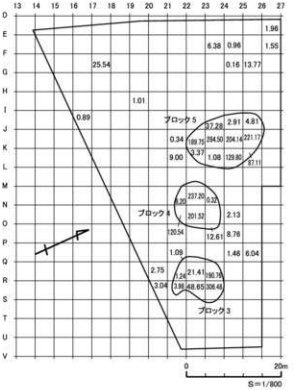
礫（図Ⅷ－６）

11点出土している。出土地点別ではブロック３が８点、ブロック４が３点である。石材は砂岩が７点、安山岩が４点である。

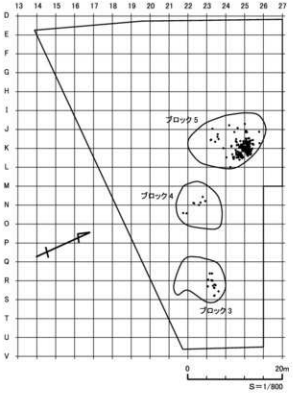
遺物点数分布図



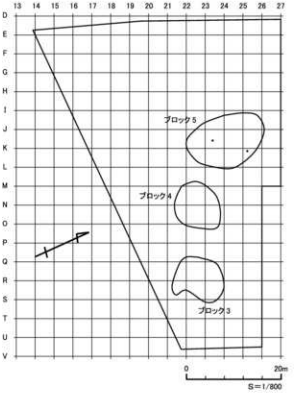
遺物重量分布図



細石刃

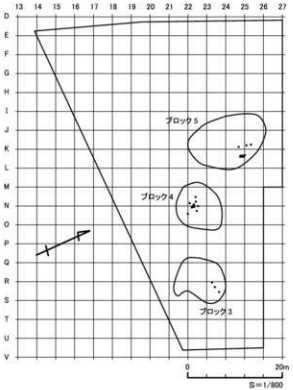


細石刃核

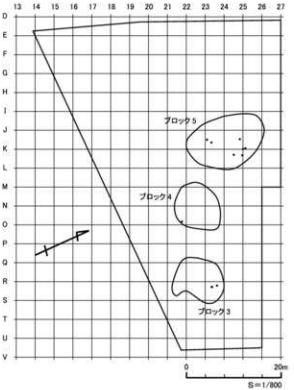


図Ⅷ－3　遺物点数分布図・遺物重量分布図・器種別分布図（1）

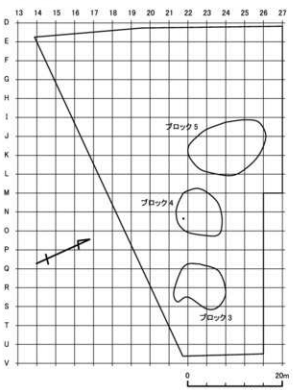
彫器削片



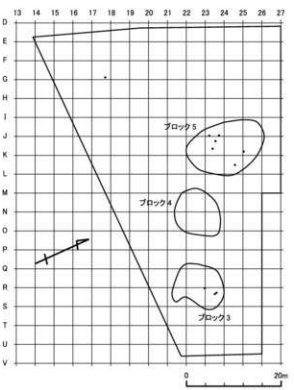
彫器



両面調整石器

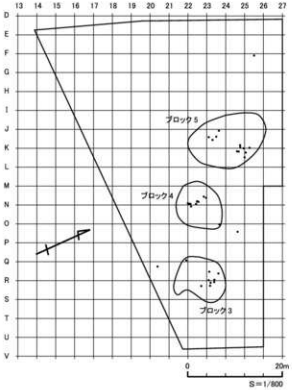


掻器

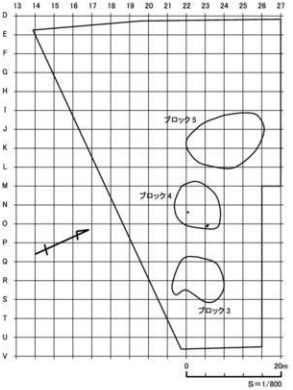


図Ⅷ－4　器種別分布図（2）

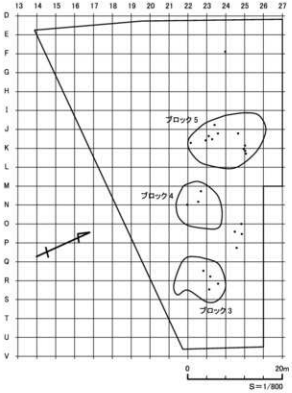
削器



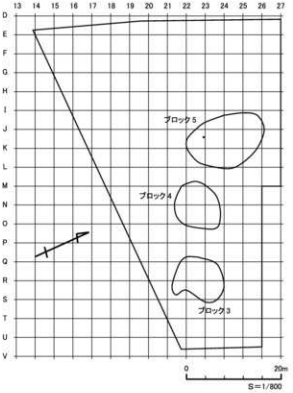
錐形石器



二次加工ある剥片

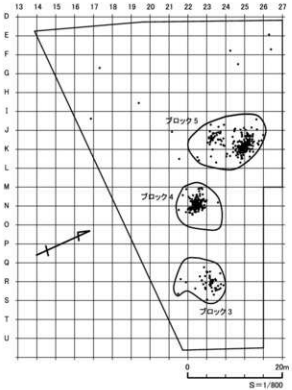


石核

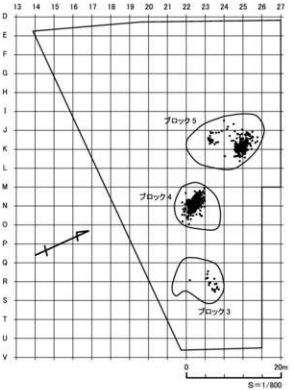


図Ⅷ－5　器種別分布図（3）

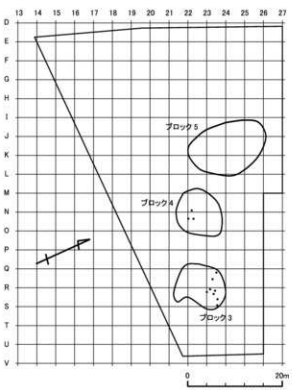
剥片



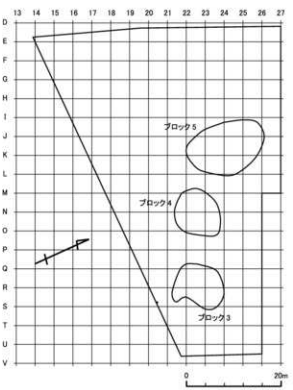
細片



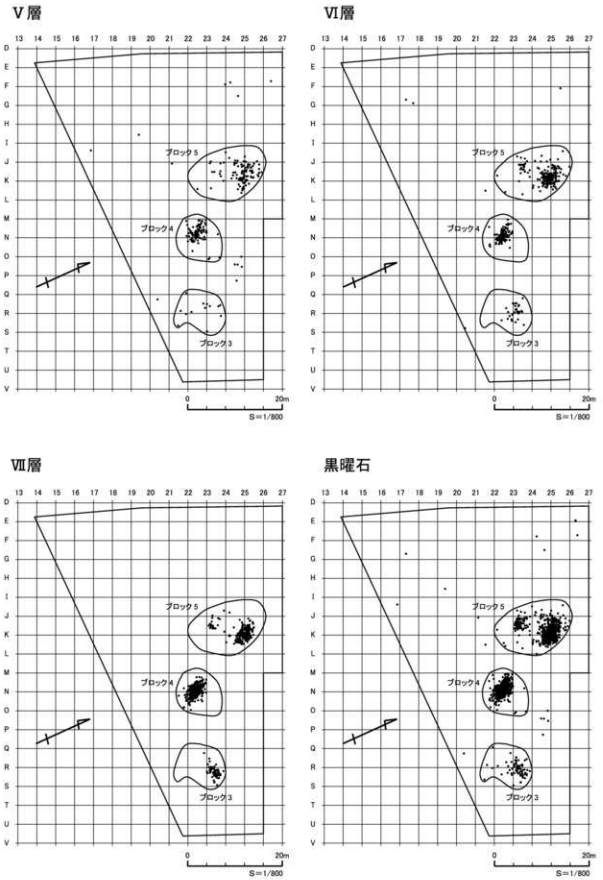
礫



砥石



図Ⅷ－6 器種別分布図（4）



図Ⅷ－7　層位別分布図・石材別分布図（1）

・層位別分布状況（図Ⅷ－７）

Ⅴ～Ⅶ層にかけて出土している。本来的な出土層位であるⅦ層が1,358点（68.6%）で最も多く、次いでⅥ層が395点（19.9%）、Ⅴ層が228点（11.5%）となる。平面分布は層位による大きな違いはみられないが、下位の層になるにつれ石器の分布範囲が狭く、集中する傾向がみられる。

・石材別分布状況（図Ⅷ－７・８）

石器の石材は、黒曜石、頁岩、珪岩、砂岩、安山岩がある。点数は、黒曜石が1,813点（91.5%）と最も多く、次いで頁岩142点（7.2%）、珪岩13点（0.7%）、砂岩９点（0.4%）、安山岩４点（0.2%）である。重量では、黒曜石が1271.1ｇ（52.8%）と最も多く、次いで頁岩886.0ｇ（36.8%）、砂岩90.2ｇ（3.8%）、安山岩91.9ｇ（3.8%）、珪岩66.5ｇ（2.8%）となる。平面分布は全体の分布と同様で、石材による違いはあまりみられない。

黒曜石（図Ⅷ－７）

1,813点（1271.1ｇ）で、点数・重量共に最も多い。出土地点別にみると、ブロック３が78点、ブロック４が830点、ブロック５が887点、ブロック外が18点である。

頁岩（図Ⅷ－８）

142点（886.0ｇ）で、点数・重量共に黒曜石に次いで多く、彫器、彫器削片、掻器等に多く利用される。出土地点別では、ブロック３が24点、ブロック４が50点、ブロック５が65点、ブロック外が３点である。

珪岩（図Ⅷ－８）

13点（66.5ｇ）と少量である。彫器、彫器削片、掻器、削器等に利用される。出土地点別では、ブロック３が５点、ブロック４が５点、ブロック５が３点である。

砂岩（図Ⅷ－８）

９点（90.2ｇ）と少量で、礫が多い。出土地点別では、ブロック３が６点、ブロック４が１点、ブロック５が１点、ブロック外が１点である。

安山岩（図Ⅷ－８）

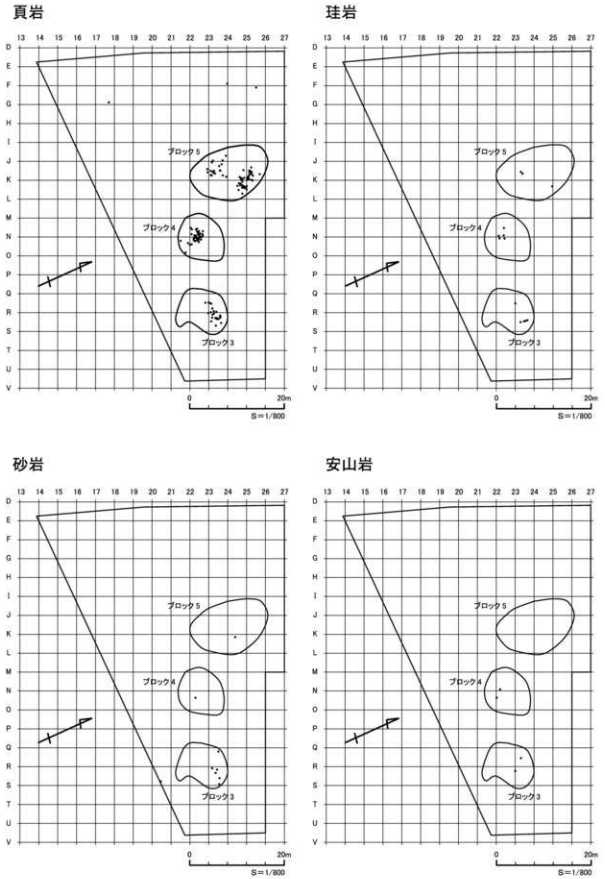
４点（91.9ｇ）と少量で、全て礫である。出土地点別では、ブロック３が２点、ブロック４が２点である。

・被熱石器（図Ⅷ－９）

全遺物1,981点中167点（8.4%）が被熱している。石材別では黒曜石161点、頁岩４点、珪岩２点で、ほとんどが黒曜石である。出土地点別では、ブロック３が５点（4.3%）、ブロック４が64点（7.2%）、ブロック５が97点（10.1%）、ブロック外が１点（4.5%）である。各ブロックの遺物総点数に対する被熱石器の割合は、ブロック５が約10%と最も高く、ブロック３が約４%で最も低い。平面分布は全体の分布傾向とほぼ同じで、大きな違いはみられない。

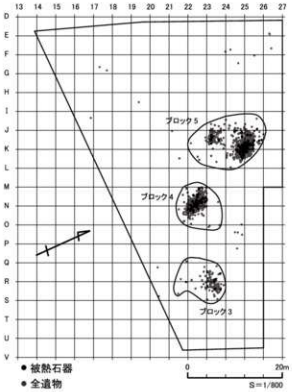
・原礫面の残存する石器（図Ⅷ－９）

全遺物点数1,981点中66点（3.3%）に原礫面が残存している。石材別では１点のみ頁岩で他は全て黒曜石である。出土地点別では、ブロック３が３点（2.6%）、ブロック４が22点（2.5%）、ブロック５が41点（4.3%）、ブロック外はない。各ブロックの遺物総点数に対する原礫面の残存する石器の割合は、約２～４%と低いが、ブロック３・４が約２%であるのに対し、ブロック５は約４%と高い。

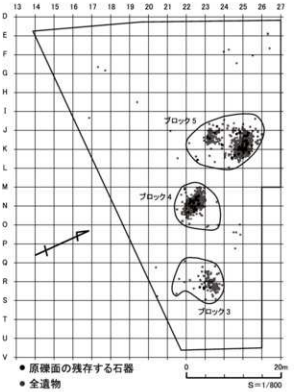


図Ⅷ－8　石材別分布図（2）

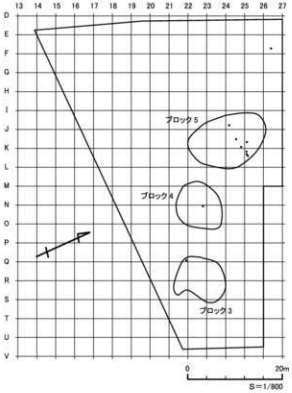
被熱石器



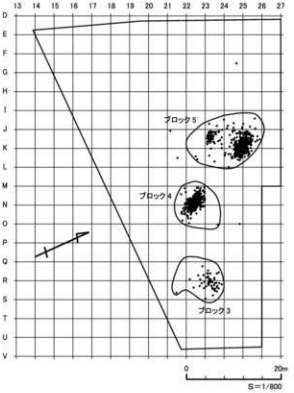
原礫面の残存する石器



黒曜石 1

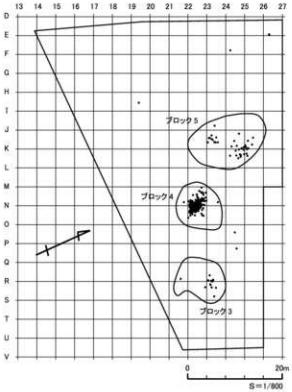


黒曜石 3

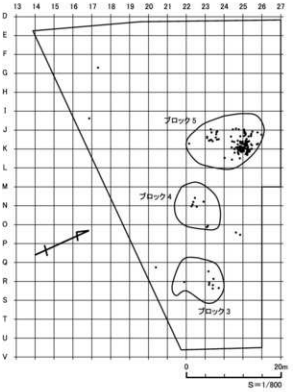


図Ⅷ－9 被熱石器・原礫面の残存する石器・石質別分布図（1）

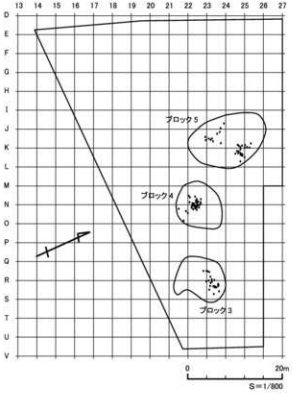
黒曜石 4



黒曜石 5



頁岩 1



図Ⅷ－10　石質別分布図（2）

平面分布は全体の分布傾向とほぼ同じで、特に違いはみられない。

・石質別分布状況（図Ⅷ－９・10）

今回出土した石器石材の内、黒曜石と頁岩について石質分類を行った。１節の調査の方法で述べた様に、黒曜石は５種類の石質（黒曜石１～５）を設定した。ただし、黒曜石２（黒色・梨肌）は出土していない。黒曜石は1,813点全てについて石質分類を行った。石質別の点数は黒曜石３（黒＞茶）が1,274点（70.3％）と最も多く、以下、黒曜石４（茶＞黒）の370点（20.4％）、黒曜石５（黒＞紫・茶）の159点（8.8％）、黒曜石１（黒色）の10点（0.6％）の順となっている。平面分布は石質ごとの違いはあまりみられない。

頁岩は１種類の石質（頁岩１）を設定した。頁岩１は薄い灰白色で珪質分が低く、縞状の模様が入る石質で、他の頁岩の特徴と大きく異なり分離性が高い。頁岩142点中100点を頁岩１として抽出した。平面分布は全体の分布傾向とほぼ同じで、特に違いはみられない。

２．石器ブロック（図Ⅷ－11～34　表Ⅷ－５　図版26・41～43）

・ブロック３（図Ⅷ－11～16　図版26・41）

位置　Ｐ－21、Ｑ－21～23、Ｒ－21～23区　北西側約７ｍにブロック４が位置する。

地形　調査範囲の南東側の平坦面に位置する。標高は約13.2～13.8ｍである。

調査　Ｑ－23区のⅤ１層調査時に細石刃等が出土し、周辺の調査区も含めさらに掘り下げたところ、旧石器がまとまって検出されたため、ブロックと判断し調査を行った。遺物はⅤ１層上位からⅦ２層下位にかけて連続的に出土した。遺構は検出していない。

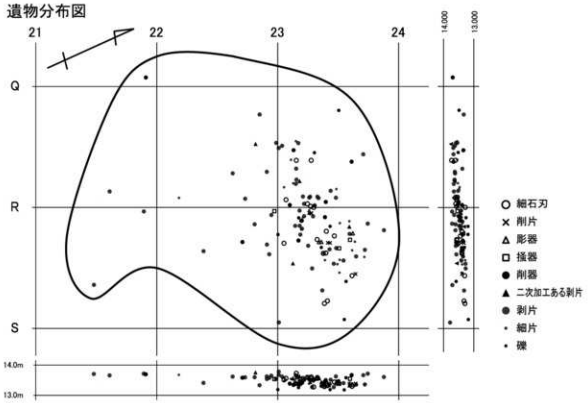
分布　遺物の平面分布範囲は、南北約11ｍ、東西約９ｍを測る。平面分布の密度は全体的に低いが、その中ではＱ・Ｒ－23区が比較的高い。グリッド別の出土点数は、Ｒ－23区が63点、Ｑ－23区が34点で他のグリッドは10点以下となる。器種ごとの分布には大きな違いはなく、多くがＱ・Ｒ－23区から出土している。垂直分布は南西側がやや高く、北東側が緩やかに低くなる傾向がみられる。遺物の層位別出土点数は、Ⅴ層13点（11％）、Ⅵ層35点（31％）、Ⅶ層67点（58％）となり、下位の層になるにつれ点数が多くなる。各器種をみても層位別の偏りはあまりなく、出土点数にほぼ比例して下位の層ほど多くなる傾向がみられる。

石器・石材組成　総点数115点、総重量573.61ｇの石器類が出土した。取上げ方法は全て点取りである。器種別の内訳は、細石刃15点、彫器削片３点、彫器３点、掻器３点、削器９点、二次加工ある剥片４点、剥片50点、細片20点、礫８点である。石器組成の特徴は、定型的な石器が多く、剥片・細片が比較的少ない。削片は全て彫器削片である。

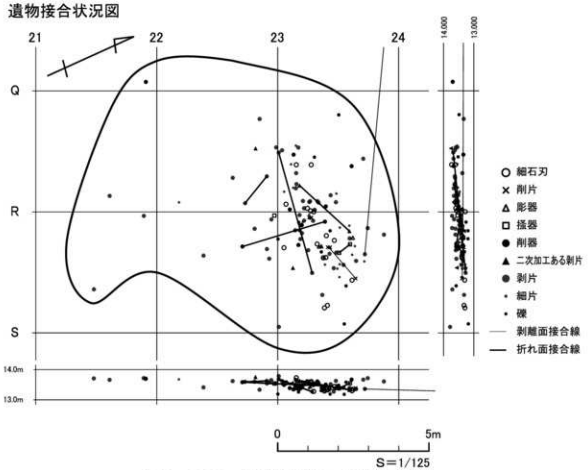
石材別の内訳は、黒曜石78点、頁岩24点、珪岩５点、砂岩６点、安山岩２点である。石材組成の特徴は黒曜石が約68％、頁岩が約21％で他のブロックに比べて頁岩の割合が比較的多い点が挙げられる。黒曜石製の石器５点について産地推定を行った結果、全て白滝産と判定されている。器種と石材利用の関係は、黒曜石は細石刃、削器、頁岩は削片、彫器、削器、二次加工ある剥片であり、細石刃や彫器等の特定の器種の石材利用に選択性がみられる。また、珪岩は全て剥片で、砂岩は全て礫である。分布は石材ごとの違いはあまりなく、ほとんどがＱ・Ｒ－23区から出土している。

接合状況　剥離面接合資料２例、折れ面接合資料７例が得られた。接合点数は、剥離面接合、折れ面接合共に２点と少量である。剥離面接合資料の内訳は削片１例、剥片１例である。折れ面接合資料の内訳は彫器１例、掻器１例、削器１例、二次加工ある剥片１例、剥片３例である。接合範囲はブロッ

遺物分布図

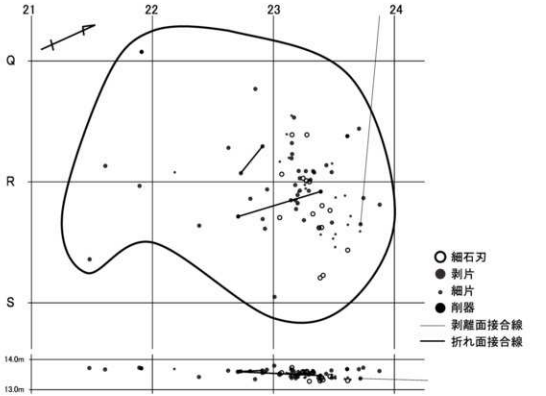


遺物接合状況図

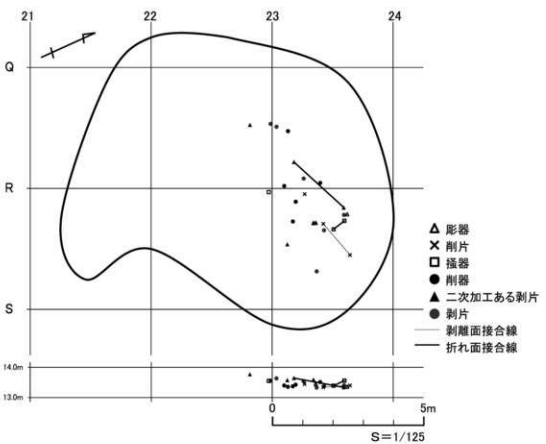


図Ⅷ－11　ブロック3遺物分布図・遺物接合状況図

黒曜石

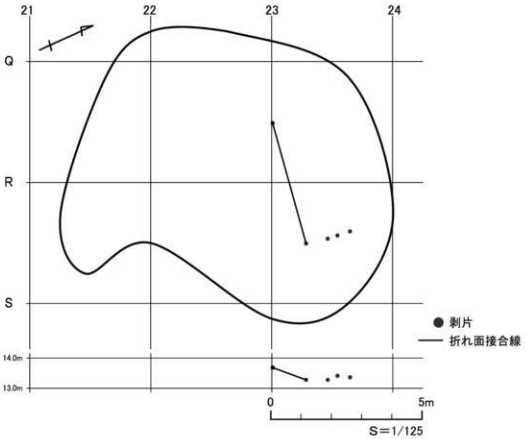


頁岩

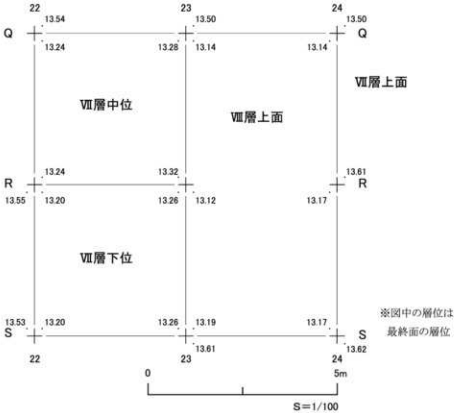


図Ⅷ－12 ブロック3石材別分布図（1）

珪岩



Ⅶ層調査範囲図



図Ⅷ－13　ブロック3石材別分布図（2）・Ⅶ層調査範囲図

ク３内で接合するものが多いが、ブロック間接合としてブロック３・５出土の剥片が剥離面接合する（実測図未掲載）。

出土石器（図Ⅷ－14～16　表Ⅷ－５　図版41）

細石刃（図Ⅷ－14－１～７　図版41）

15点（15個体）出土し、その内７点図示している。完形のものはなく、幅0.7～0.8㎝、厚さ0.2～0.3㎝を測る。背面の稜は側縁にほぼ平行し、側面観は直線的なものが多い。１～７の石材は全て黒曜石で、３・４について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。１～６は末端部側を折損する。４～６は背面に細石刃核側面を取り込むもので、４・５は左側面、６は右側面を取り込むものである。７は中間部で上下を折損する。右側縁に連続する微細な剥離痕がみられる。

彫器削片（図Ⅷ－14－８・９　図版41）

３点（３個体）出土し、その内２点（２個体）図示している。８・９は彫器の二次削片で、石材は頁岩である。共に細かい調整が施された打面から剥離される。

彫器（図Ⅷ－14－10・11　図版41）

３点（２個体）出土し、全点図示している。10・11は剥片素材で、石材は共に頁岩である。10は左斜刃型で、背面周縁部及び腹面基部側に細かい二次加工が施される。彫刀面は素材の末端側に作出され、腹面側に傾く。11は節理面で折れたもので、左右両側縁に彫刀面が作出される。彫刀面はわずかに腹面側に傾く。背面周縁部と腹面基部側には細かい二次加工が施される。

掻器（図Ⅷ－14－12・13　図版41）

３点（２個体）出土し、全点図示した。12・13は縦長剥片素材で、石材は共に頁岩である。12は急角度の二次加工により平面形が弧状の薄い刃部が作出される。背面両側縁には軽微な二次加工が施され、基部は背腹両面に平坦な剥離が施される。13はやや大型で、刃部の平面形はごく緩い弧状を呈する。刃部付近で折れ、基部側は一部再加工が施される。背面右側縁には軽微な二次加工がみられ、基部には比較的大きい平坦な剥離が施される。

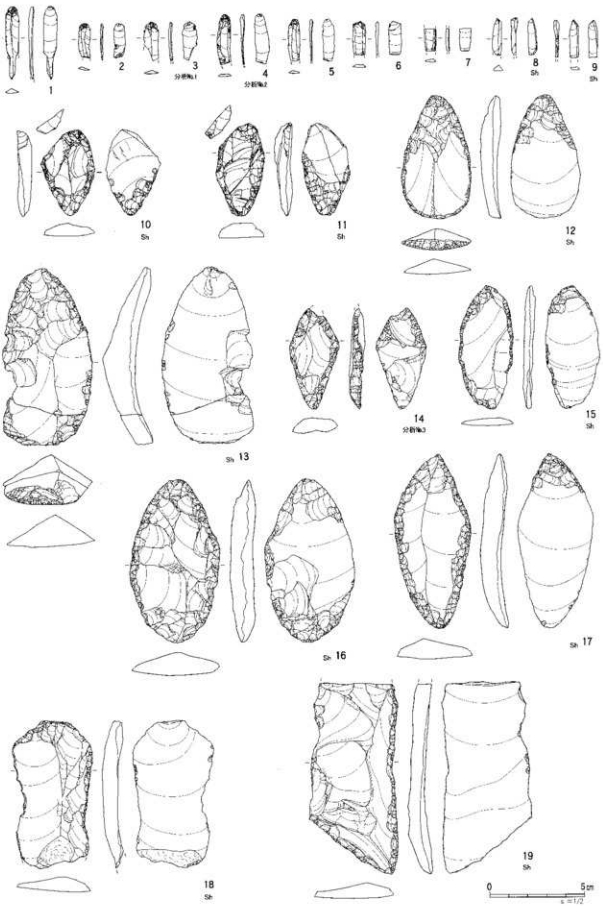
削器（図Ⅷ－14－14～19　図版26・41）

９点（８個体）出土し、６点（６個体）図示した。縦長剥片を素材とし、両側縁に刃部が作出されるものが多い。腹面側に平坦な剥離が施されるものもみられ、両面調整石器と分類した方が良いかもしれないものもここに含めた。石材は14が黒曜石、15～19は頁岩である。14について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。14は上部をわずかに折損し、背面周縁部は急角度の、腹面は平坦な剥離が施される。末端部側がやや尖る形状である。15は背面両側縁に緩やかに外湾する刃部が作出される。腹面にも一部細かい二次加工が施される。16は平面が木葉形で、背面全体と腹面の打点側と末端部側に平坦な剥離が施される。17は打点側と末端部側がやや尖り、14と平面形が類似する。背面周縁部には連続する細かい二次加工が、腹面打点側には平坦な剥離が施される。18は末端部側を折損する。両側縁の軽微な二次加工により刃部が作出される。19は大型で、基部側を折損する。背面右側縁及び末端部への急角度の二次加工により刃部が作出される。

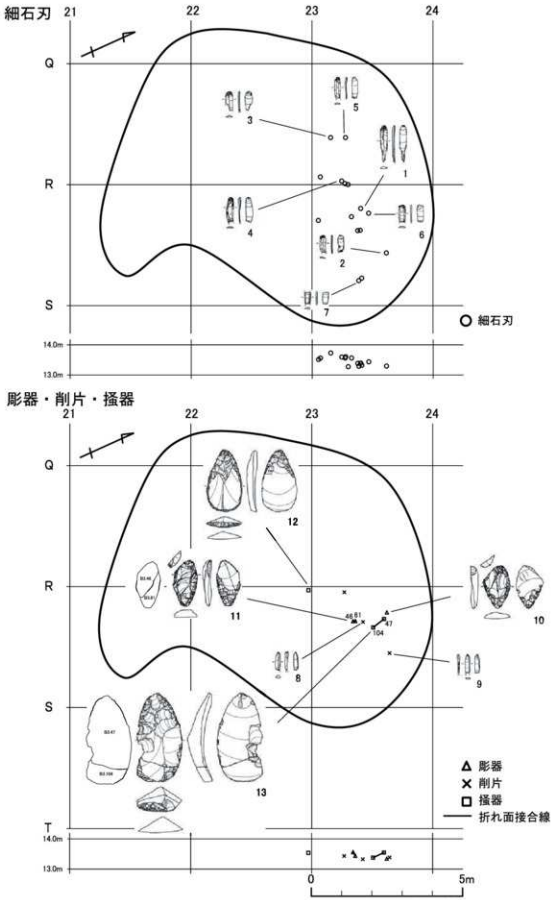
・ブロック４（図Ⅷ－17～22　図版26・41）

位置　Ｍ－21～23、Ｎ－21・22、Ｏ－23区　南東側約７ｍにブロック３、北西側約４ｍにブロック５が位置する。

地形　調査範囲の中央付近の平坦面に位置する。標高は約13.0～13.7ｍである。

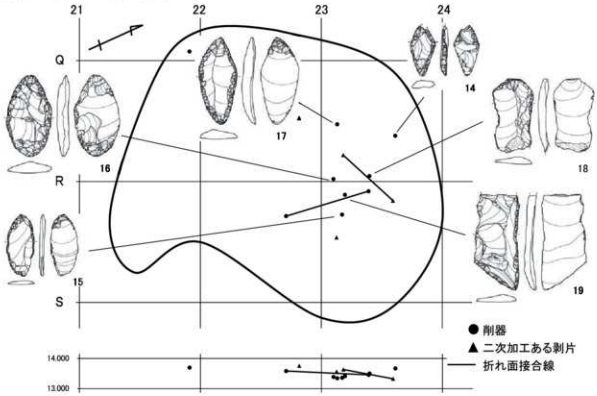


図Ⅷ－14　ブロック３の石器

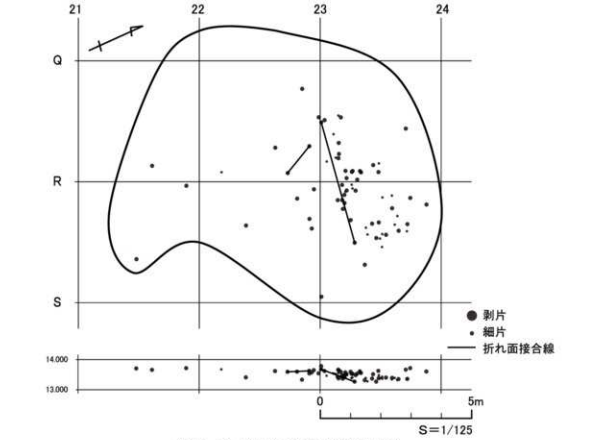


図Ⅶ－15 ブロック3器種別分布図（1）

削器・二次加工ある剥片



剥片・細片



図Ⅷ－16　ブロック3器種別分布図（2）

調査　M－22区のⅤ１層調査時に細石刃等が出土し、周辺の調査区も含めさらに掘り下げたところ、旧石器がまとまって検出されたため、ブロックと判断し調査を行った。遺物はⅤ１層上位からⅦ２層下位にかけて連続的に出土した。遺構は検出していない。

分布　遺物の平面分布範囲は、東西約11ｍ、南北約９ｍを測る。平面分布の密度はM・N－22区が高く、遺物はM－22区南東側からN－22区北西側の範囲に最も集中する。グリッド別の出土点数は、M－22区が501点、N－22区が361点で他のグリッドは20点以下となる。器種ごとの分布には大きな違いはなく、多くがM・N－22区から出土している。垂直分布は、北側がやや高く南側がやや低くなる傾向がみられる。遺物の層位別出土点数は、Ⅴ層94点（11%）、Ⅵ層141点（16%）、Ⅶ層653点（73%）となり、Ⅶ層出土が最も多い。各器種をみても層位別の偏りはあまりなく、出土点数にほぼ比例して下位の層ほど多くなる傾向がみられる。

石器・石材組成　総点数888点、総重量580.39ｇの石器類が出土した。取上げ方法は全て点取りである。器種別の内訳は、細石刃８点、削片11点、彫器１点、両面調整石器１点、削器11点、錐形石器３点、二次加工ある剥片３点、剥片196点、細片651点、礫３点である。石器組成の特徴として、細片が約70%を占め定型的な石器が少量である点が挙げられる。また、削片は全て彫器削片である。

石材別の内訳は、黒曜石830点、頁岩50点、珪岩５点、砂岩１点、安山岩２点である。石材組成の特徴は黒曜石が最も多く90%以上を占め、次いで頁岩が約６%で他はごく少量である。黒曜石製の石器６点について産地推定を行った結果、全て白滝産と判定されている。剥片・細片以外では、黒曜石は細石刃、両面調整石器、削器、錐形石器、二次加工ある剥片、頁岩は削片、彫器、錐形石器、二次加工ある剥片、珪岩は削片、削器がある。砂岩・安山岩は全て礫である。他のブロック同様、細石刃や彫器等の特定の器種の石材利用に選択性がみられる。分布は石材ごとの違いはあまりなく、ほとんどがM・N－22区から出土している。

接合状況　剥離面接合資料６例、折れ面接合資料22例が得られた。接合点数は、剥離面接合２～12点、折れ面接合は２～５点である。剥離面接合資料の内訳は削片１例、剥片５例である。折れ面接合資料の内訳は削片１例、削器４例、錐形石器１例、剥片16例である。接合範囲はブロック４内で接合するものが多いが、ブロック間接合としてブロック４・５で、剥片の折れ面接合及び剥離面接合が１例ずつみられた。

出土石器（図Ⅷ－20～22　表Ⅷ－５　図版41）

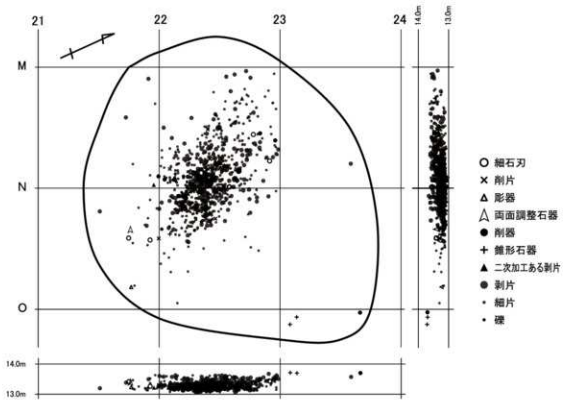
細石刃（図Ⅷ－20－20・21　図版41）

８点（８個体）出土し、その内２点図示している。20・21は末端部側を折損する。石材は黒曜石で、21について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。20は長さ1.5㎝、幅0.7㎝、厚さ0.2㎝で、左側縁に微細な剥離痕がみられる。21は長さ2.0㎝、幅0.7㎝、厚さ0.2㎝で、右側縁に連続する微細な剥離痕がみられる。

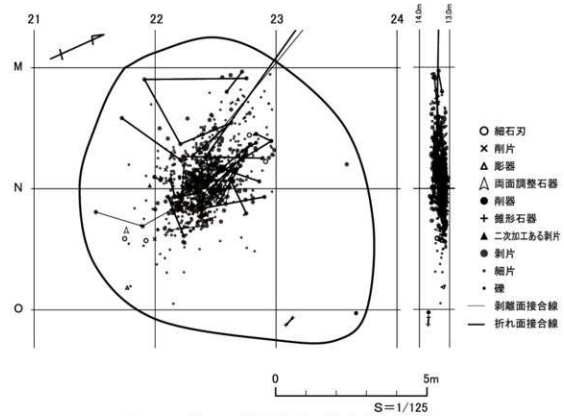
削片（図Ⅷ－20－22～25　図版41）

11点（10個体）出土し、その内４点（４個体）図示している。全て彫器削片で、剥離に伴い細かい打面調整が施される。石材は全て頁岩である。22は一次削片で、側面に急角度の二次加工が施された素材から剥離されている。削片剥離面はやや素材腹面側に傾く。23～25は二次削片で、いずれも末端部側を折損する。23は先行する削片剥離面から素材背面に細かい二次加工が施される。24は先行する削片剥離が最低３回行われ、削片剥離面はやや素材腹面側に傾く。25は先行する削片剥離が最低２回行われる。

遺物分布図

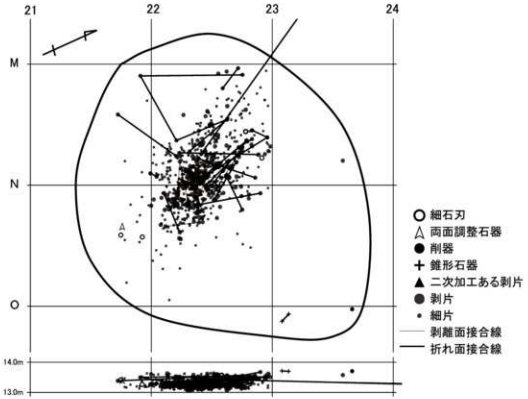


遺物接合状況図

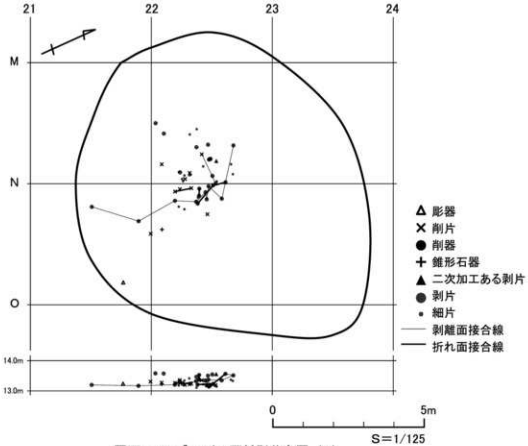


図Ⅷ－17　ブロック4遺物分布図・遺物接合状況図

黒曜石

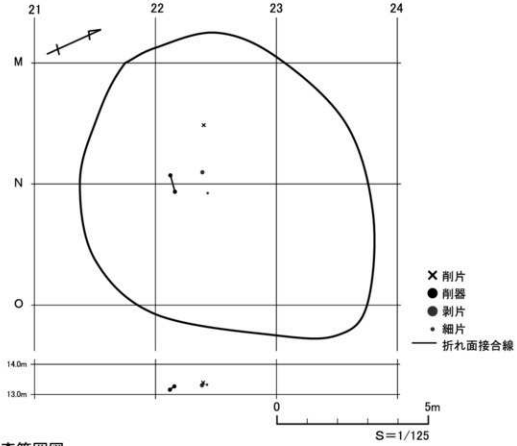


頁岩

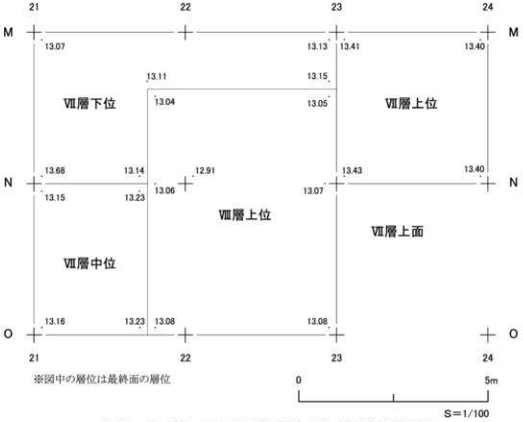


図Ⅷ－18 ブロック4石材別分布図（1）

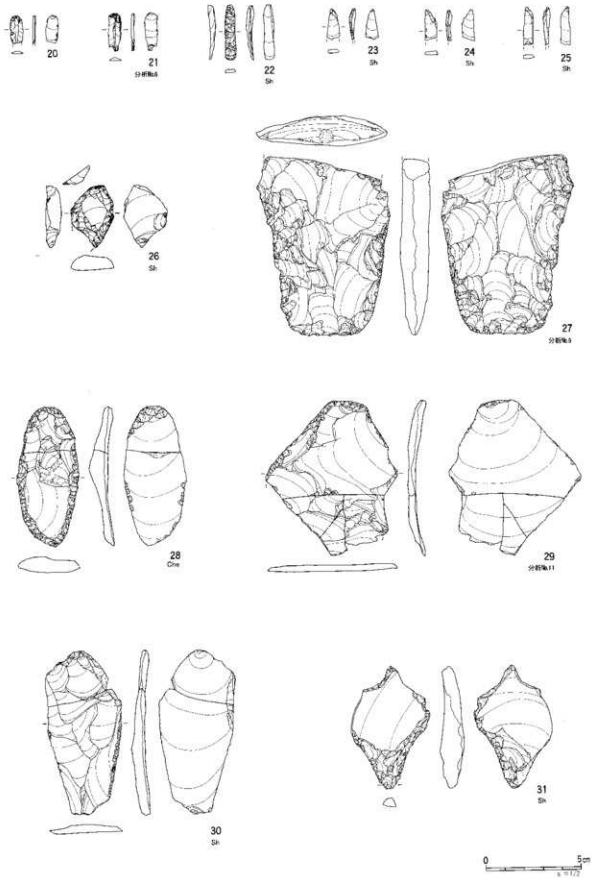
珪岩



Ⅶ層調査範囲図

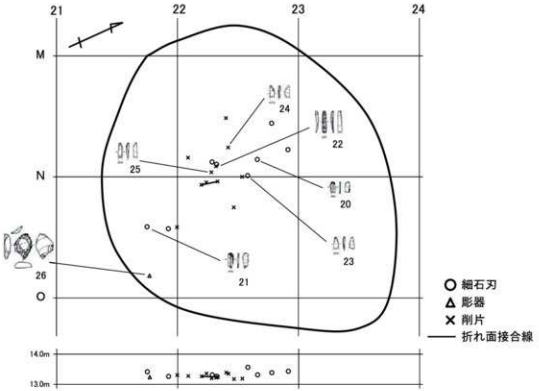


図Ⅷ－19　ブロック4石材別分布図（2）・Ⅶ層調査範囲図

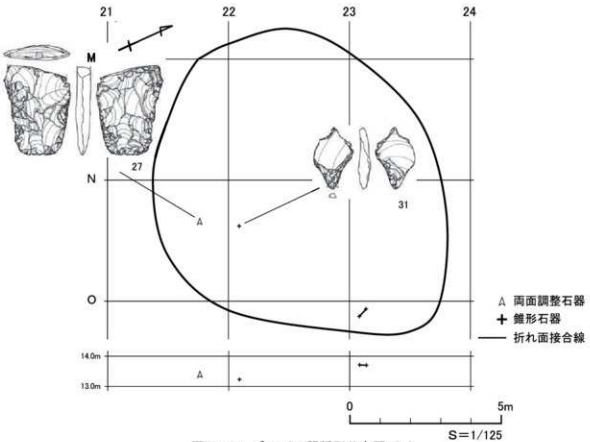


図Ⅷ－20　ブロック４の石器

細石刃・彫器・削片

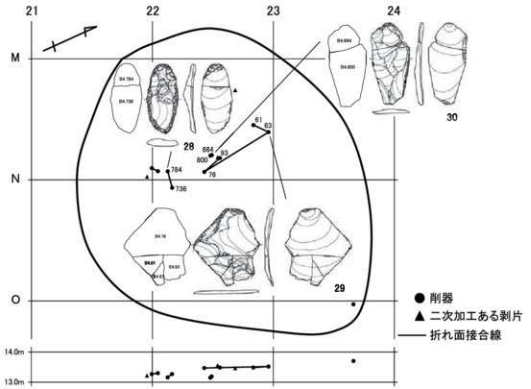


両面調整石器・錐形石器

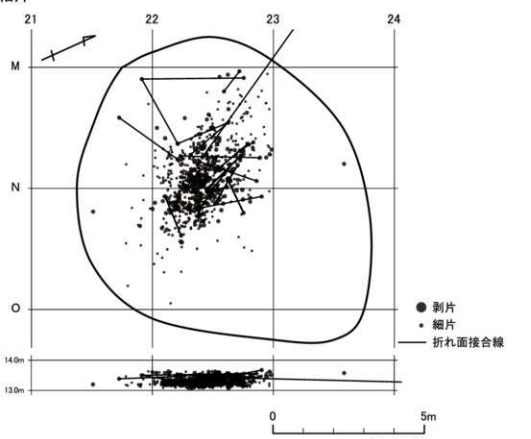


図Ⅷ－21　ブロック4器種別分布図（1）

削器・二次加工ある剥片



剥片・細片



図Ⅷ－22 ブロック4器種別分布図（2）

彫器（図Ⅷ－20－26　図版41）

1点出土し、図示している。26は左斜刃型で、基部側を一部折損する。剥片素材で石材は頁岩である。彫刀面は素材の末端部側に作出され、腹面側に傾く。背面周縁部には急角度の剥離が、腹面基部側にはやや平坦な剥離が施される。また、彫刀面から背面に細かい二次加工が施される。

両面調整石器（図Ⅷ－20－27　図版41）

1点出土し、図示している。27は上部を折損するもので、長さ9.5㎝、幅7.1㎝、厚さ1.5㎝を測る。石材は黒曜石である。産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。平面形は基部が直線状で表面右側縁は器体長軸にほぼ平行し、左側縁は直線状にやや広がる形状である。表裏面共に平坦剥離と縁辺部の細かな加工で構成されている。厚みがあまりないものの、形状から細石刃核母型の素材の可能性がある。

削器（図Ⅷ－20－28～30　図版41）

11点（5個体）出土し、8点（3個体）図示した。全て剥片素材で、石材は28が珪岩、29が黒曜石、30が頁岩である。29について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。28は背面周縁部に連続的な二次加工が施され刃部が作出される。腹面打点側には平坦剥離が施される。29は幅広のポイントフレイク状の剥片を素材とし、背面左側縁に軽微な二次加工を施し直線的な刃部が作出される。右側縁には部分的に微細な剥離痕がみられる。30は背面右側縁中央から下部にかけて細かい二次加工を施し直線的な刃部が作出される。

錐形石器（図Ⅷ－20－31　図版41）

3点（2個体）出土し、1点（1個体）図示した。31は厚手の剥片を素材とし、背腹両面からの二次加工により上下に尖頭部を作出する。背面側は急角度の、腹面側は平坦な剥離が施される。石材は頁岩である。

・ブロック5（図Ⅷ－23～33　図版42・43）

位置　Ⅰ－23～25、Ｊ－22～25、Ｋ－22～25区　南東側約4ｍにブロック4が位置する。

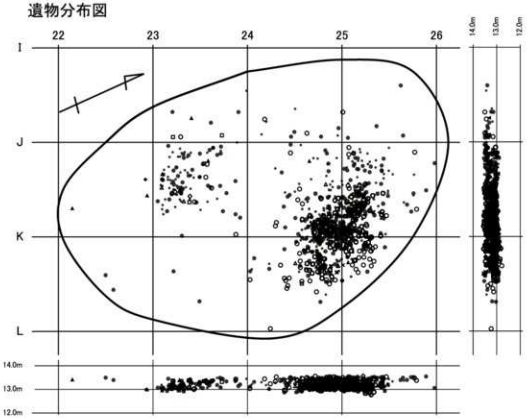
地形　調査範囲の中央付近よりやや北側の平坦面に位置する。標高は約12.8～13.6mである。

調査　Ｋ－25区のⅤ層上面精査時に細石刃核等が出土し、周辺の調査区も含めさらに掘り下げたところ、旧石器がまとまって検出されたため、ブロックと判断し調査を行った。遺物はⅤ1層上面からⅦ2層下位にかけて連続的に出土した。遺構は検出していない。

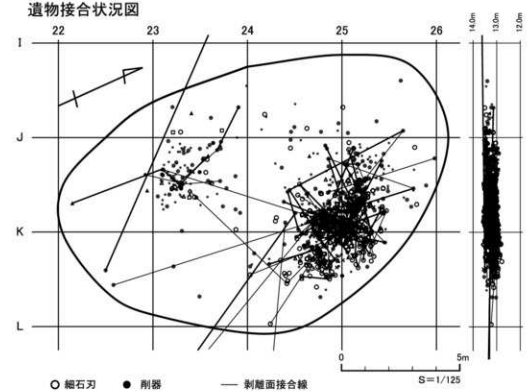
分布　遺物の平面分布範囲は、南北約16m、東西約10mを測る。平面分布はＪ・Ｋ－24・25区と、Ｊ－23区の2か所に遺物が集中する。グリッド別の出土点数は多い順にＪ－25区303点、Ｊ－24区270点、Ｋ－24区177点、Ｊ－23区109点となる。垂直分布は特に傾斜等はみられないが、遺物の集中するＪ・Ｋ－24・25区は他に比べてやや遺物の標高の高低差が大きい。遺物の層位別出土点数は、Ⅴ層105点（11%）、Ⅵ層213点（22%）、Ⅶ層638点（67%）となり、Ⅶ層出土が最も多い。各器種をみても層位別の偏りはあまりなく、出土点数にほぼ比例して下位の層ほど多くなる傾向がみられるが、細石刃核はⅤ・Ⅵ層から出土している。

石器・石材組成　総点数956点、総重量1165.93ｇの石器類が出土した。取上げ方法は全て点取りである。器種別の内訳は、細石刃183点、細石刃核2点、削片10点、彫器7点、掻器6点、削器12点、二次加工ある剥片11点、石核1点、剥片277点、細片447点である。石器組成の特徴として、細石刃核など器種が比較的多く、各種の定型的な石器もややまとまって出土している点が挙げられる。また、削片は全て彫器削片である。

遺物分布図



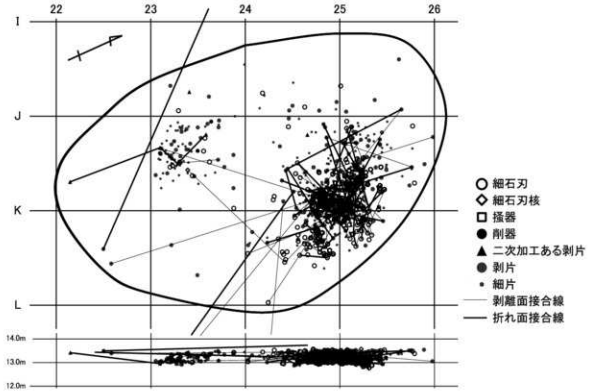
遺物接合状況図



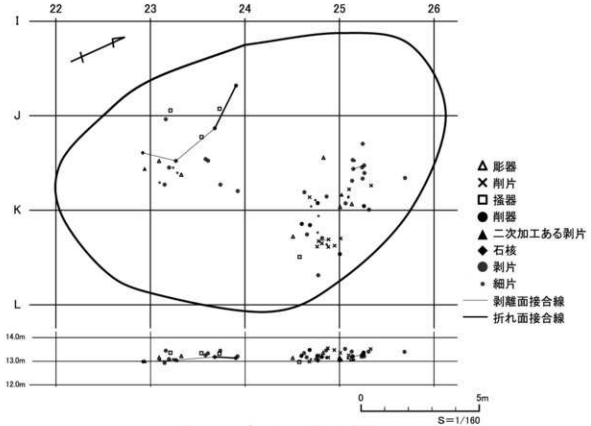
○ 細石刃　● 削器　— 剥離面接合線
◇ 細石刃核　▲ 二次加工ある剥片　━ 折れ面接合線
× 削片　◆ 石核
△ 彫器　● 剥片
□ 掻器　・ 細片

図Ⅷ－23 ブロック5遺物分布図・遺物接合状況図

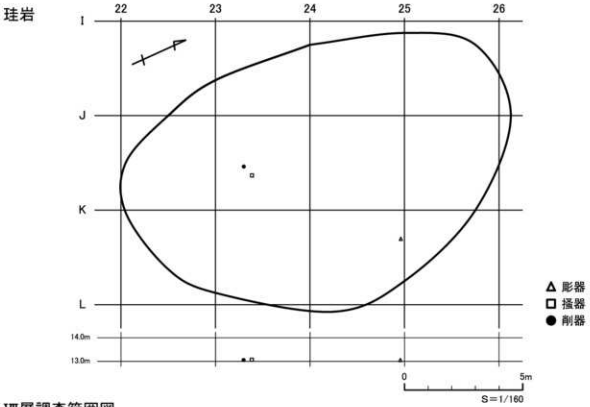
黒曜石



頁岩



図Ⅷ－24　ブロック5石材別分布図（1）



図Ⅷ－25 ブロック5石材別分布図（2）・Ⅶ層調査範囲図・土層断面図

石材別の内訳は、黒曜石887点、頁岩65点、珪岩３点、砂岩１点である。石材組成の特徴は黒曜石が最も多く90%以上を占め、次いで頁岩が約７%で、他はごく少量である点が挙げられる。また、黒曜石製の石器９点について産地推定を行った結果、全て白滝産と判定されている。剥片・細片以外では、黒曜石は細石刃、細石刃核、掻器、削器、二次加工ある剥片、頁岩は削片、彫器、掻器、削器、二次加工ある剥片、石核、珪岩は彫器、掻器、削器がある。砂岩は剥片である。他のブロック同様、細石刃や彫器等の特定の器種の石材利用に選択性がみられる。分布は石材ごとの違いはあまりなく、ほとんどがＪ・Ｋ－24・25区とＪ－23区の２か所の集中域から出土している。

接合状況　剥離面接合資料25例、折れ面接合資料42例が得られた。剥離面接合の点数は２～12点で、２～４点の接合が多い。折れ面接合の点数は２～13点で、２点の接合がほとんどである。剥離面接合資料の内訳は細石刃核と細石刃の接合１例、細石刃12例、削片１例、石核と剥片の接合１例、剥片10例である。折れ面接合は細石刃23例、削器１例、二次加工ある剥片１例、剥片17例である。接合範囲はブロック５内で接合するものが多いが、ブロック間接合として、ブロック４・５で剥片の折れ面接合及び剥離面接合が１例ずつ、ブロック３・５で剥片の折れ面接合が１例みられた。

出土石器（図Ⅷ－26～33　表Ⅷ－５　図版42・43）

細石刃（図Ⅷ－26－32～70　図版42）

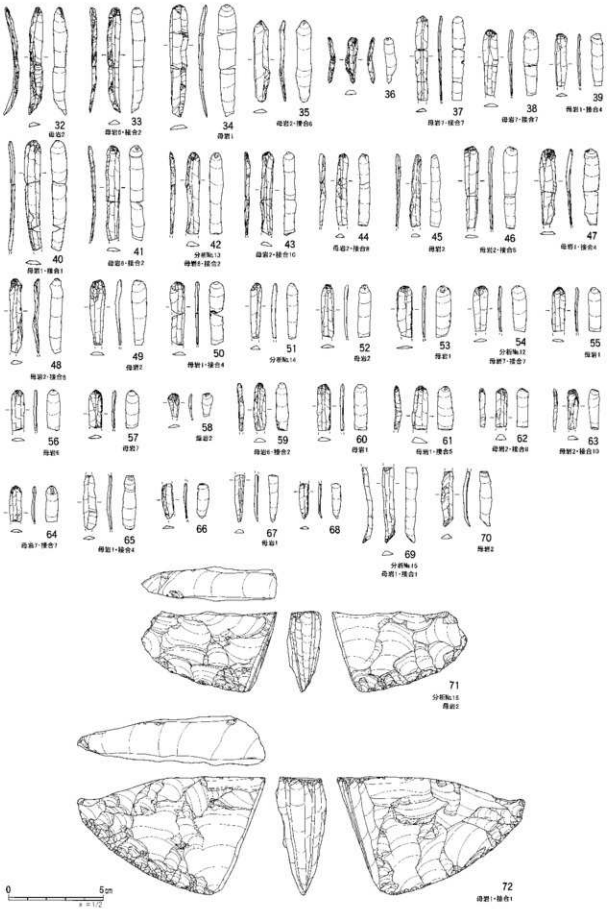
183点（156個体）出土し、その内54点（39個体）図示している。折損するものが多い。完形のものは、長さ2.4～5.9㎝を測る。幅は0.5～1.0㎝、厚さは0.1～0.3㎝で、その中では幅0.6～0.8㎝、厚さ0.2～0.3㎝のものが多い。背面の稜は側縁にほぼ平行し、側面観は直線的なものや腹面側に緩やかに湾曲するものがみられる。石材は全て黒曜石で、４点（42・51・54・69）について産地推定を行った結果、全て白滝産と判定されている。32～36は完形のもので、背面に細石刃核側面を取り込んでいる。32・33は細石刃核の左側面、34・35は右側面、36は両側面がみられる。37～49は末端部をわずかに折損するものである。40～49は背面に細石刃核側面を取り込むもので、40～45は左側面、46～49は右側面が背面にみられる。45は被熱により表面が曇りガラス状になる。50～64は末端部側を折損するものである。53・57は右側縁に連続する微細な剥離痕がみられる。59～64は背面に細石刃核側面を取り込むもので、59～63は左側面、64は右側面がみられる。65・66は打点側と末端側を折損するもので、65は右側面、66は左側面を取り込んでいる。67～70は打点側を折損するものである。68は右側縁に連続する微細な剥離痕がみられる。69・70は背面に細石刃核左側面を取り込んでいる。

細石刃核（図Ⅷ－26－71・72　図版42）

２点（２個体）出土し、全点図示した。石材はどちらも黒曜石で、71は産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。71・72は左右両面ともに平坦剥離が施され、下縁は細かい調整により緩やかな弧状に整形される。71は打面に削片を１回剥離した痕跡があり、削片剥離後に細石刃を剥離している。細石刃剥離作業面は長さ4.5㎝、幅1.6㎝を測る。72は打面に削片を１回剥離した痕跡があり、削片剥離後に細石刃を剥離している。打面縁辺部には部分的に微細な剥離痕がみられる。細石刃剥離作業面は長さ6.4㎝、幅2.6㎝を測る。

削片（図Ⅷ－27－73～80　図版42）

10点（10個体）出土し、その内８点（８個体）図示している。全て彫器削片で、打面が残るものは打面に細かい調整がみられる。石材は全て頁岩である。73は一次削片で、横断面は三角形状を呈する。側面に細かい加工が施された素材から剥離されている。削片剥離面と素材腹面はほぼ直角をなす。74～80は二次削片で、75は打点側を、77・79・80は末端部側を折損する。削片剥離面は素材腹面側に傾



図Ⅷ－26　ブロック５の石器（１）

くものが多い。74は先行する削片剥離が最低２回行われる。75は背面に短く細い削片剥離面がみられる。77・79・80は先行する削片剥離面から素材背面に細かい二次加工が施される。80は削片剥離面が素材背面側に傾く。

彫器（図Ⅷ－27－81～87　図版42）

７点（７個体）出土し、全点図示している。剥片素材が多く、石材は81～86が頁岩、87が珪岩である。83以外は左斜刃型で、背面周縁部と腹面基部側に二次加工が施される。彫刀面は腹面側にやや傾くものが多く、打面には細かい調整が施される。81・82は彫刀面が素材の打点側に作出されるもので、共に先行する削片剥離は最低１回行われている。81は縦長剥片もしくは石刃を素材とする。82は彫刀面から背面に細かい調整が施される。83～87は彫刀面が素材の末端部側に作出されるものである。85を除き彫刀面から背面に細かい調整が施される。83は交叉刃型で、右側面の彫刀面はやや背面側に傾き、左側面の彫刀面を切って作出される。85は彫刀面と腹面の角度がほぼ直角である。腹面の左側縁上部には連続する微細な剥離痕がみられる。87は小型で、器体長軸と彫刀面のなす角度が鈍角で、横刃型に近い形状である。

掻器（図Ⅷ－27－88～92　図版43）

６点（６個体）出土し、５点（５個体）図示した。全て剥片素材で、石材は88～90が頁岩、91は珪岩、92は黒曜石である。92について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。平面形は寸詰まりの小型で、刃部は厚みのあるものが多い。背面周縁部には細かい二次加工が施され、腹面基部側には平坦剥離がみられる。88・89は刃部の幅が広く、基部にかけてすぼまる平面形である。刃部は共に素材の末端側に作出される。90は刃部の幅が狭く、中央付近がやや張り出す平面形である。刃部は素材の打点側に作出される。91は平面形が左右非対称で、右側縁がやや角張る。92は幅が広く薄い剥片を素材とし、薄く幅のある刃部が作出される。基部はやや尖る形状である。

削器（図Ⅷ－27・28－93～100　図版43）

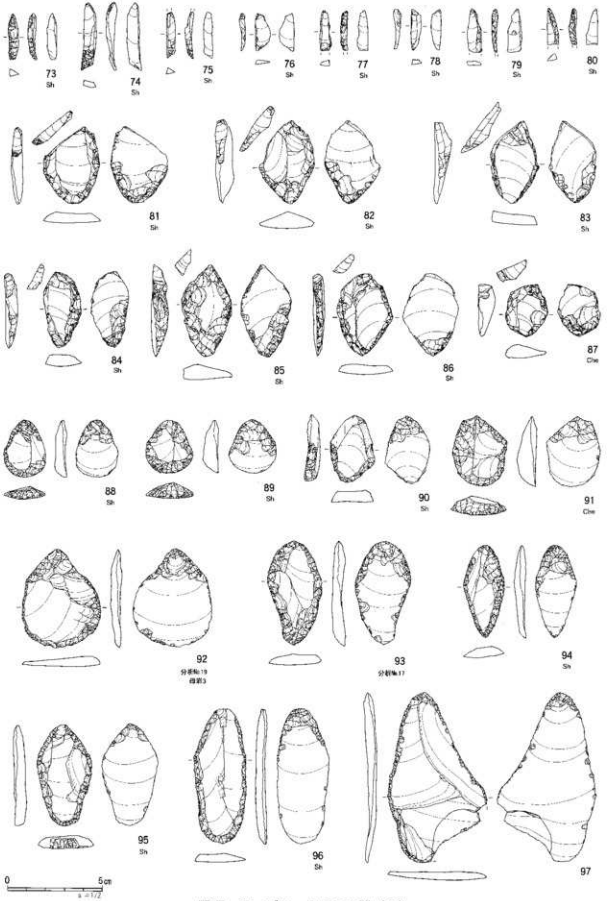
12点（11個体）出土し、９点（８個体）図示した。縦長剥片を素材とするものが多い。石材は93・97・100が黒曜石、94～96・99が頁岩、98が珪岩である。93・100について産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。93～99は両側縁に刃部が作出されるもので、背面の周縁部全体に二次加工が施される。腹面の打点側には平坦剥離がみられる。93は腹面周縁部に不連続な細かい剥離痕がみられる。94は平面形が上下共に細くやや尖る形状である。95は末端部が急角度の二次加工により刃部状になるため掻器の可能性もある。97は幅が広く薄い剥片を素材とするもので、軽微な二次加工により刃部を作出する。腹面打点側には平坦剥離が施される。98・99は一部折損するもので、98・100は末端部側を、99は打点側を折損する。98は背面に周縁から大きな剥離が施され、腹面基部側にも平坦な剥離がみられる。99は両側縁中央付近に刃部が作出され、腹面末端部には細かい二次加工が施される。100は背面右側縁に細かい加工により刃部が作出されるもので、左側縁には部分的に微細な剥離痕がみられる。

石核（図Ⅷ－28－101　図版43）

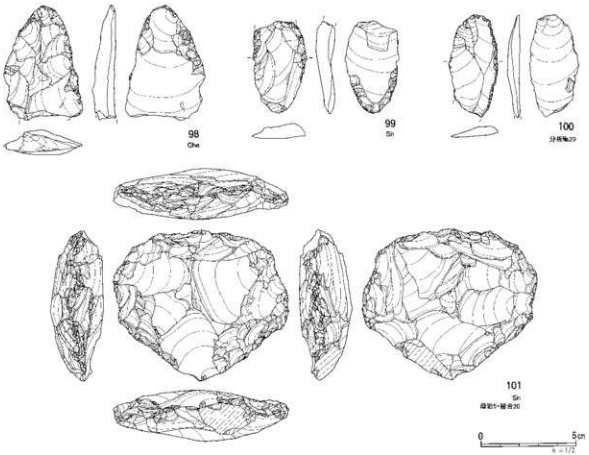
１点（１個体）出土し、図示した。101は頁岩製で、表裏面の剥離構成から両面調整石器と分類することもできるものである。平面形は、上縁部が直線状で、両側縁は弧状になり下縁が直線的にすぼまる形状で、左右がほぼ対称となる。表裏両面を作業面とし、求心状に剥片剥離が行われる。周縁部には細かい調整が施される。

・ブロック外出土の石器（図Ⅷ－34　図版43）

ブロック外からは総点数22点、総重量85.74ｇの石器が出土している。内訳は掻器１点、削器３点



図Ⅷ－27　ブロック５の石器（２）



図Ⅷ－28　ブロック５の石器（３）

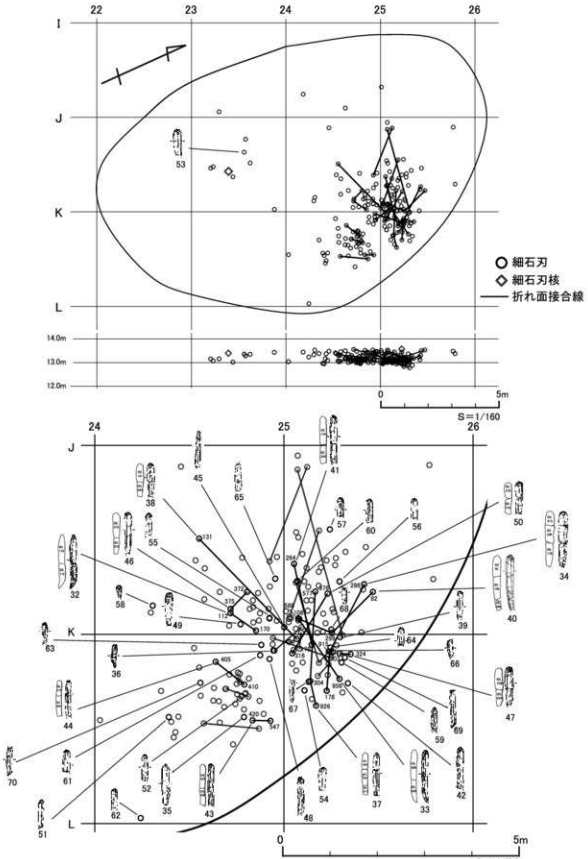
（２個体）、二次加工ある剥片６点、剥片10点、細片１点、砥石１点である。層位別では、Ⅴ層16点、Ⅵ層６点で、Ⅶ層出土はない。石材別では黒曜石18点、頁岩３点、砂岩１点である。

平面分布はブロック３～５周辺と調査範囲北西側に大きく分かれる。ブロック外の石器等の性格は、ブロック３～５周辺出土のものはブロックに関連するものと考えられ、調査範囲北西側のものは不明であるが、ブロック３～５及び過年度調査のブロック２に関連する可能性がある。

出土石器（図Ⅷ－34－102・103　表Ⅷ－５　図版43）

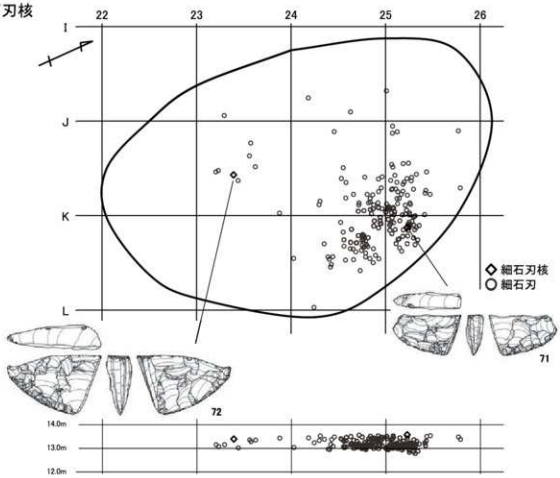
102はＦ－17区Ⅵ層出土の掻器である。石刃素材で、石材は頁岩である。平面形は基部から刃部にかけて直線的に広がる形状で、刃部は左肩下がりになる。両側縁は急角度の二次加工により直線的に仕上げられる。103はＦ－25区Ⅵ層出土の削器である。石材は頁岩である。石刃素材で、背面右側に原礫面を残す。両側縁中央付近から末端部にかけて二次加工が施され、刃部が作出される。

細石刃

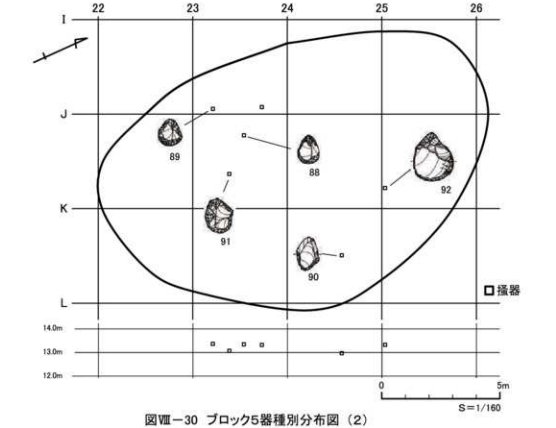


図Ⅶ－29 ブロック5器種別分布図（1）

細石刃核

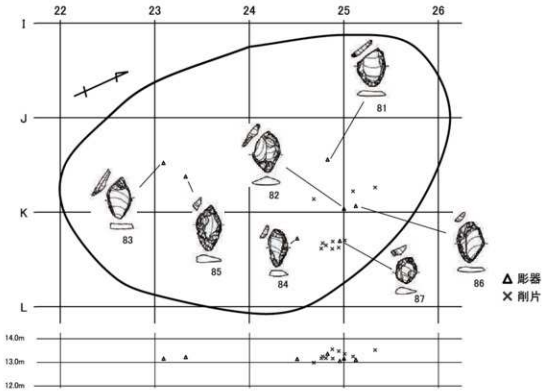


掻器

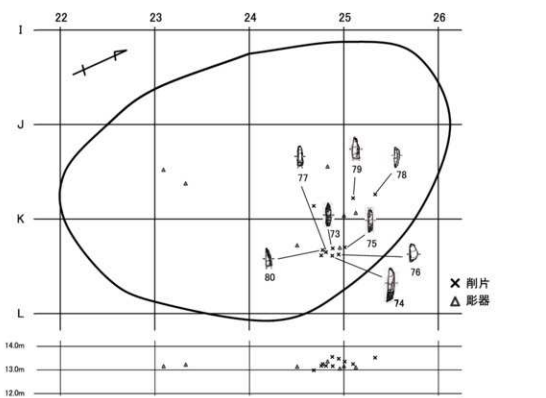


図Ⅷ－30　ブロック5器種別分布図（2）

彫器

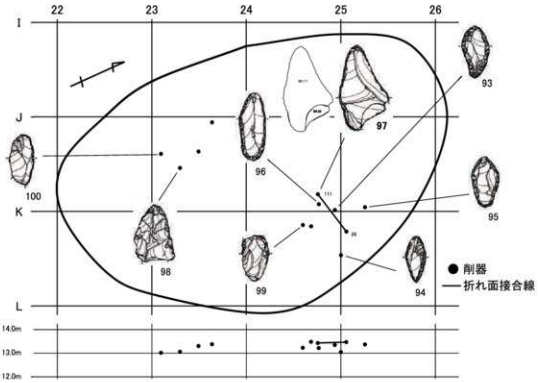


削片

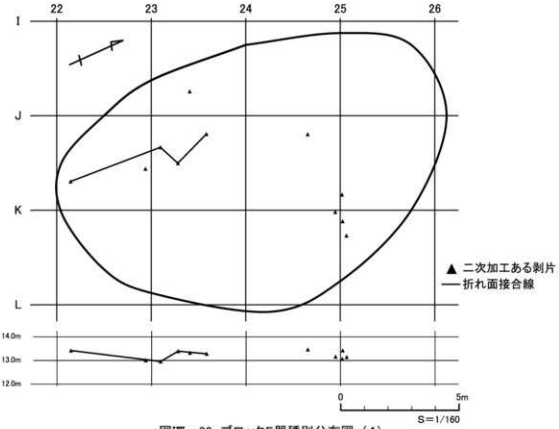


図Ⅷ－31 ブロック5器種別分布図（3）

削器

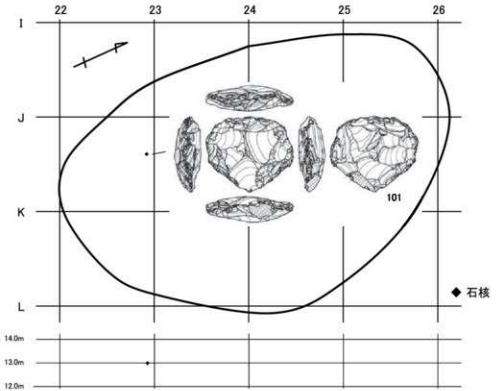


二次加工ある剥片

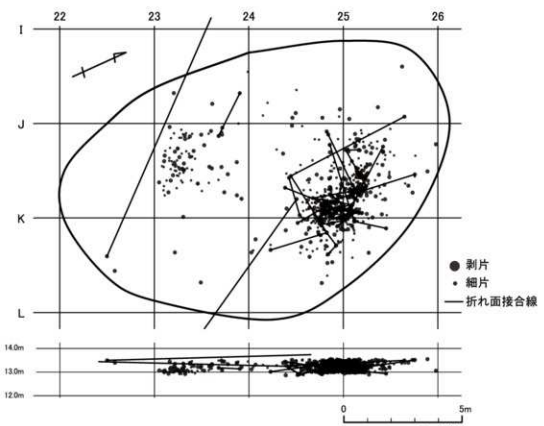


図Ⅷ－32　ブロック5器種別分布図（4）

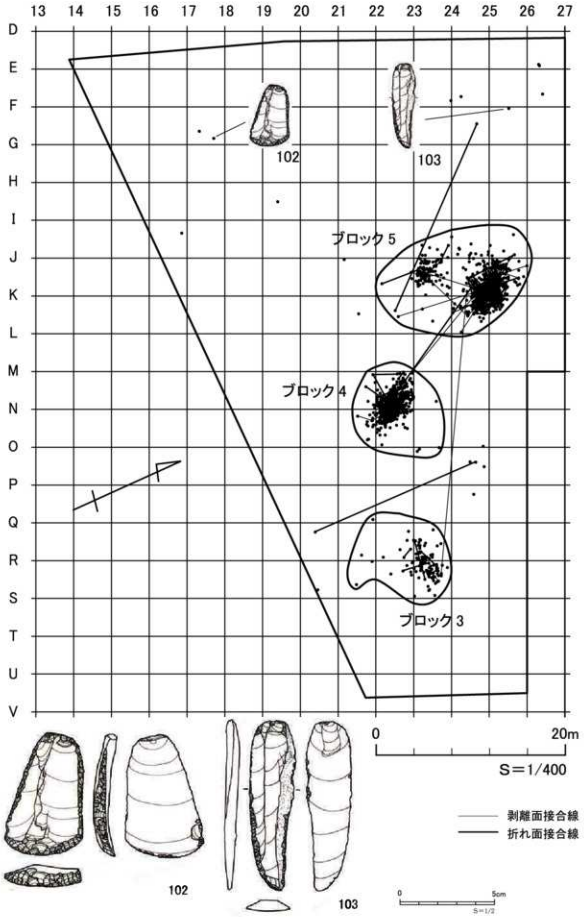
石核



剥片・細片



図Ⅷ－33 ブロック5器種別分布図（5）



図Ⅷ－34　ブロック外の石器分布図・出土石器

3．母岩別接合資料（図Ⅷ－35～39　表Ⅷ－3・4・6　図版44）

石器の接合作業の結果、剥離面接合31例、折れ面接合72例の接合資料が得られた。接合番号は、剥離面接合は「1」から、折れ面接合は「1001」からそれぞれ接合順に番号を付した。接合に関わる点数は245点（折れ面接合のみ107点、折れ面接合を含む剥離面接合138点）で、遺物総点数1,981点に対し12.4%の接合率となる。剥離面接合資料の内訳は、細石刃12例、細石刃と細石刃核1例、彫器削片3例、石核と剥片1例、剥片14例である。剥片の接合を除けば、細石刃の接合が最も多い。接合点数は2～12点と全体的に少なく、その内、2～6点が約80%を占める。石材別でみると、黒曜石26例、頁岩5例で黒曜石が80%以上を占める。

接合資料を基に未接合資料も含めて母岩別の分類を行い、最終的に6つの母岩別資料を抽出した（母岩1～6）。母岩別資料の点数は242点で、遺物総点数1,981点に対して12.2%の母岩抽出率である。接合資料は全31個体の内15個体を図示し、母岩別に記載した。また、接合資料を構成する個別の石器については、定型的な石器を中心にできるだけ図示するように努めた。接合資料の呼称は、「母岩名」と「接合番号」を組み合わせて、「母岩1・接合1」というように表示した。

6つの母岩別資料は細石刃剥離に関わるもの（母岩1・2・6・7）、両面調整石器製作または素材剥片剥離に関わるもの（母岩3・4・5）、の2種類に大きく分かれる。前者は遺跡内で細石刃剥離を行い、後者は両面調整石器製作を行い、製作時の剥片を石器の素材とするものが多い。また、両面調整石器は細石刃核母型である可能性が高い。石材は母岩1～4・6・7が黒曜石で、母岩5が頁岩である。

・母岩別資料1（図Ⅷ－35・36　表Ⅷ－6　図版44）

細石刃製作に関わるもので、総点数57点、重量159.52gである。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。石材は黒曜石5で、接合資料5個体（接合1・4・5・9・11）と未接合の細石刃33点で構成される。図示した未接合の細石刃として図Ⅷ－27－34・53・55・60・67がある。接合1の細石刃1点（69）について黒曜石産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。

接合資料　接合1は細石刃と細石刃核、接合4・5・9・11は細石刃の接合資料である。

母岩1・接合1（図Ⅷ－35　図版44）

細石刃9点（5個体）、細石刃核1点（1個体）で構成され、総点数10点、総重量は148.98gである。細石刃核側面を取り込んだ細石刃が多い。細石刃（40・69等）を剥離した後、最終的に細石刃核（72）は遺棄されている。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。

母岩1・接合4（図Ⅷ－35　図版44）

細石刃6点（4個体）で構成され、総重量は1.74gである。細石刃核右側面を取り込んだ細石刃が含まれる。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。

母岩1・接合9（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃3点（3個体）で構成され、総重量は0.48gである。細石刃は全て打点側を折損し、左側面に細石刃核左側面を取り込んでいる。出土層位はⅦ層である。

母岩1・接合11（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃3点（2個体）で構成され、総重量は0.23gである。細石刃は打点側と末端部側を折損している。出土層位はⅦ層である。

母岩1・接合5（図Ⅷ－36　図版44）

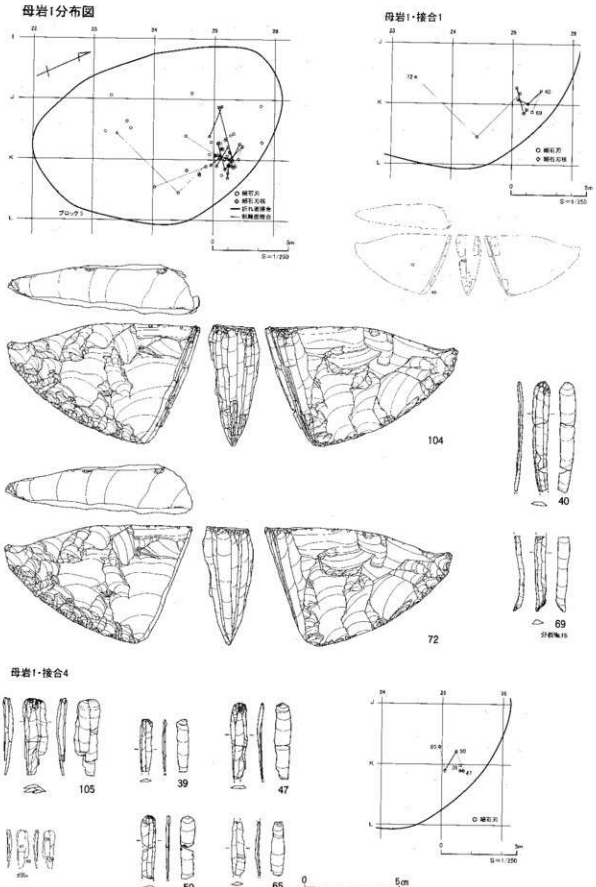
細石刃2点（2個体）で構成され、総重量は0.96gである。細石刃核左側面を取り込んだ細石刃が

表Ⅷ－３　接合資料一覧

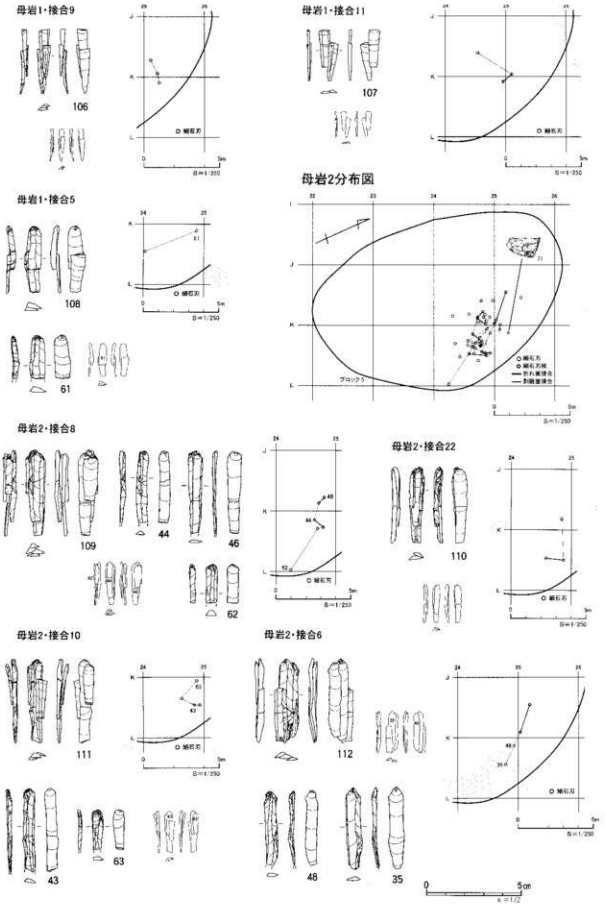
母岩番号	石材・石質	剥離面接合番号	出土地点	細石刃		細石刃核		削片		石核		剥片		合計	
				点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
母岩1	黒曜石5	1	ブロック5	9	2.38	1	146.6							10	148.98
		4	ブロック5	6	1.74									6	1.74
		5	ブロック5	2	0.96									2	0.96
		9	ブロック5	3	0.48									3	0.48
		11	ブロック5	3	0.23									3	0.23
母岩1 合計				23	5.79	1	146.6							24	152.39
母岩2	黒曜石3･4	6	ブロック5	4	1.9									4	1.9
		8	ブロック5	6	2.01									6	2.01
		10	ブロック5	4	1.09									4	1.09
		22	ブロック5	3	0.9									3	0.9
		31	ブロック5	2	0.71									2	0.71
母岩2 合計				19	6.61									19	6.61
母岩3	黒曜石4	13	ブロック4									3	2.91	3	2.91
		14	ブロック4									9	9.42	9	9.42
		15	ブロック4									2	4.76	2	4.76
母岩3 合計												14	17.09	14	17.09
母岩4	黒曜石3･5	16	ブロック5									12	38.67	12	38.67
		17	ブロック5									2	3.71	2	3.71
		19	ブロック5									2	6.65	2	6.65
		27	ブロック4									1	3.11	1	3.11
			ブロック5									2	1.96	2	1.96
母岩4 合計												19	54.1	19	54.1
母岩5	頁岩1	20	ブロック5							1	184.36	3	13.62	4	197.98
		21	ブロック4									12	63.54	12	63.54
母岩5 合計										1	184.36	15	77.16	16	261.52
母岩6	黒曜石3	2	ブロック5	6	2.96									6	2.96
母岩7	黒曜石3	3	ブロック5	4	1.01									4	1.01
		7	ブロック5	7	1.42									7	1.42
母岩7 合計				11	2.43									11	2.43
母岩分類外	黒曜石3	18	ブロック5									2	18.5	2	18.5
		30	ブロック5									10	9.91	10	9.91
	黒曜石3･4	12	ブロック5									5	25.82	5	25.82
	黒曜石5	28	ブロック3									1	9.38	1	9.38
			ブロック5									1	1.09	1	1.09
		29	ブロック5									2	2.3	2	2.3
	頁岩1	24	ブロック3					2	0.44					2	0.44
		25	ブロック4					2	0.42					2	0.42
		26	ブロック5					2	0.72					2	0.72
	頁岩	23	ブロック5									2	1.54	2	1.54
母岩分類外 合計								6	1.58			23	68.54	36	71.54
総計				59	17.79	1	146.6	6	1.58	1	184.36	71	216.89	138	567.22

表Ⅷ－４　母岩別資料一覧

母岩番号	出土地点	細石刃		細石刃核		掻器		削器		二次加工ある剥片		石核		剥片		総計	
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
母岩1	ブロック5	56	12.92	1	146.6											57	159.52
母岩2	ブロック5	47	12.78	1	58.13											48	70.88
母岩3	ブロック4									1	0.46			41	65.09	42	65.55
	ブロック5					1	10.84	1	8.48					1	2.18	3	21.50
母岩3 合計						1	10.84	1	8.48	1	0.46			42	67.27	45	87.05
母岩4	ブロック4													1	3.11	1	3.11
	ブロック5							1	13.1	4	6.45			53	98.22	58	117.77
	ブロック外							2	6.81	1	3.59					3	10.40
母岩4 合計								3	19.91	5	10.04			54	101.33	62	131.28
母岩5	ブロック4													12	63.54	12	63.54
	ブロック5											1	184.36	4	14.45	5	198.81
母岩5 合計												1	184.36	16	77.99	17	262.35
母岩6	ブロック5	7	3.22													7	3.22
母岩7	ブロック5	12	2.7													12	2.70
総計		122	31.59	2	204.73	1	10.84	4	28.39	6	10.5	1	184.36	112	246.59	248	717.00



図Ⅷ－35　母岩1（1）



図Ⅷ－36　母岩1（2）・母岩2

接合する。Ⅴ～Ⅶ層にかけて出土し、Ⅶ層出土が最も多い。

作業内容　細石刃剥離作業が行われる。細石刃はほとんどが折れ、幅0.4～1.0㎝、厚さ0.1～0.2㎝のものが多い。接合点数は２～９点である。細石刃核削片や調整剥片が出土していないことから、削片を剥離した状態もしくは細石刃をある程度剥離した状態の細石刃核が遺跡内に搬入されている。遺跡内で細石刃を剥離し尽くし、細石刃核（72）は最終的に遺棄されている。

分布　全てブロック５出土で、多くの細石刃は、接合資料も含めブロック５のＪ・Ｋ－25区から出土している。細石刃核は集中からやや離れたＪ－23区から出土している。

・母岩別資料２（図Ⅷ－36　表Ⅷ－６　図版44）

細石刃製作に関わるもので、総点数48点、重量70.88ｇである。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。石材は黒曜石３・４で、接合資料５個体（接合６・８・10・22・31）と、未接合の細石刃核１点（71）、細石刃28点で構成される。図示した未接合の細石刃として図Ⅷ－27－32・49・52・58・71がある。細石刃核（71）について黒曜石産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。

接合資料　全て細石刃の接合資料である。接合31は未掲載で、細石刃２点で構成される。

母岩２・接合８（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃６点（４個体）で構成され、総重量は2.01ｇである。細石刃核左側面を取り込んだ細石刃が接合する。細石刃は全て末端部側を折損する。出土層位はⅦ層である。

母岩２・接合22（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃３点（２個体）で構成され、総重量は0.9ｇである。細石刃核右側面を取り込んだ細石刃が接合する。細石刃は共に末端部側を折損する。出土層位はⅦ層である。

母岩２・接合10（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃４点（３個体）で構成され、総重量は1.09ｇである。細石刃核左側面を取り込んだ細石刃が接合する。細石刃は全て末端部側を折損する。出土層位はⅦ層である。

母岩２・接合６（図Ⅷ－36　図版44）

細石刃４点（３個体）で構成され、総重量は1.9ｇである。細石刃核右側面を取り込んだ細石刃が接合する。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。

作業内容　細石刃剥離作業が行われる。細石刃はほとんどが折損し、幅0.5～0.8㎝、厚さ0.1～0.2㎝のものが多い。接合点数は２～６点である。細石刃核削片や調整剥片が出土していないことから、削片を剥離した状態もしくは細石刃をある程度剥離した状態の細石刃核が遺跡内に搬入されている。遺跡内では細石刃剥離が行われ、細石刃核（71）は最終的に遺棄されている。

分布　全てブロック５出土で、多くの細石刃は、接合資料も含めブロック５のＪ・Ｋ－24区に集中する。細石刃核は集中付近のＪ－25区から出土している。

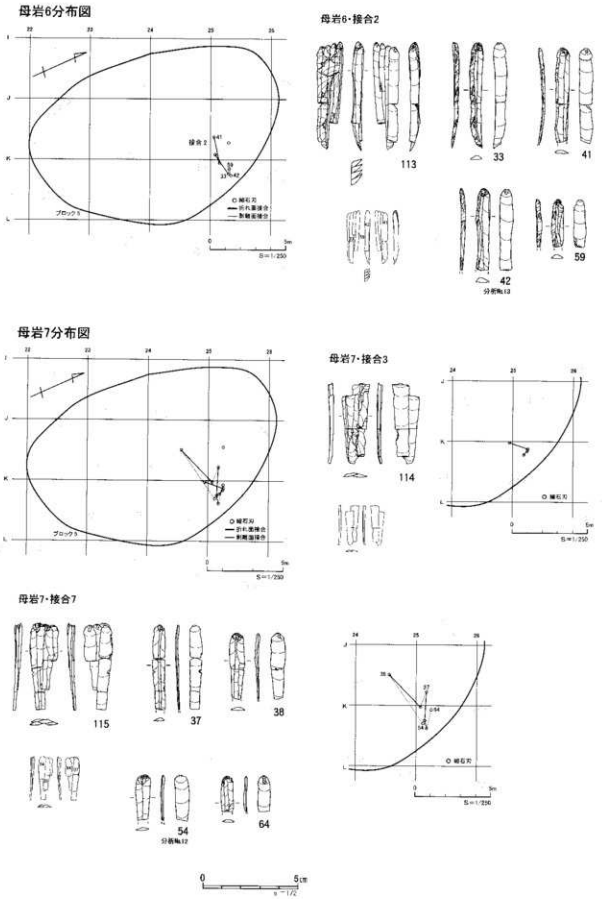
・母岩別資料６（図Ⅷ－37　表Ⅷ－６　図版44）

細石刃製作に関わるもので、総点数７点、重量3.22ｇである。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。石材は黒曜石３で、接合資料１個体（接合２）と、未接合の細石刃１点（図Ⅷ－26－56）で構成される。接合２の細石刃１点（42）について黒曜石産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。

接合資料　細石刃の接合資料である。

母岩６・接合２（図Ⅷ－37　図版44）

細石刃６点（４個体）で構成され、総重量は2.96ｇである。細石刃核左側面を取り込んだ細石刃が


母岩6分布図
接合2
ブロック1
S=1/250
母岩6・接合2
113
33
41
42
59
分析No.12
母岩7分布図
ブロック1
S=1/250
母岩7・接合3
114
S=1/250
母岩7・接合7
115
37
38
54
64
分析No.12
S=1/250
0
5cm
s=1/2

図Ⅷ－37　母岩６・７

接合する。細石刃は末端部側を折損するものが多い。出土層位はⅦ層である。

作業内容　細石刃剥離作業が行われる。細石刃はほとんどが折損し、幅0.6～0.7㎝、厚さ0.1～0.2㎝のものが多い。細石刃のみ出土していることから、削片を剥離した状態もしくは細石刃をある程度剥離した細石刃核が遺跡内に搬入され、遺跡内では細石刃が剥離される。細石刃核が出土していないため、細石刃核は遺跡外に持ち出されたと考えられる。

分布　全てブロック５のＪ・Ｋ－25区から近接して出土する。

・母岩別資料７（図Ⅶ－37　表Ⅶ－６　図版44）

細石刃製作に関わるもので、総点数12点、重量2.7ｇである。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。石材は黒曜石１・３で、細石刃の接合資料である接合３・７と、未接合の細石刃１点（図Ⅶ－26－57）で構成される。接合７の細石刃１点（42）について黒曜石産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。

接合資料　細石刃の接合資料である。

母岩７・接合３（図Ⅶ－37　図版44）

細石刃４点（２個体）で構成され、総重量は1.01ｇである。細石刃核右側面を取り込んだ細石刃が接合する。細石刃は上下部を折損する。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。

母岩７・接合７（図Ⅶ－37　図版44）

細石刃７点（４個体）で構成され、総重量は1.42ｇである。細石刃核右側面を取り込んだ細石刃が接合する。細石刃は全て末端部側を折損する。出土層位はⅥ・Ⅶ層である。

作業内容　細石刃剥離作業が行われる。細石刃はほとんどが折損し、幅0.6～0.8㎝、厚さ0.1～0.2㎝のものが多い。細石刃のみ出土しているため、削片を剥離、もしくは細石刃をある程度剥離した細石刃核が遺跡内に搬入され、遺跡内では細石刃剥離が行われる。細石刃核が出土していないため、細石刃核は遺跡外に持ち出されたと考えられる。

分布　全てブロック５から出土し、ブロック５のＫ－25区付近に近接して分布する。

・母岩別資料３（図Ⅶ－38　表Ⅶ－６　図版44）

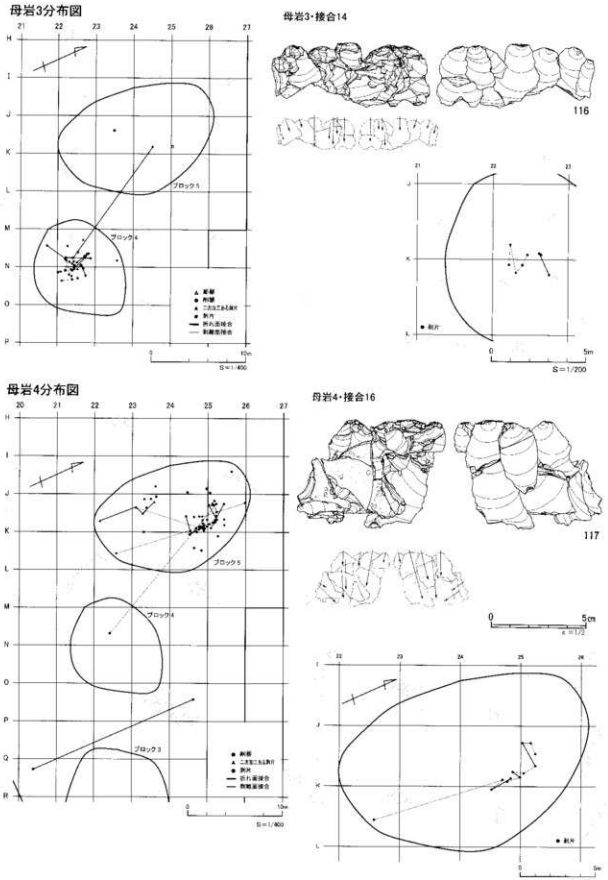
両面調整石器製作または素材剥片剥離に関わるもので、総点数45点、重量87.05ｇである。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。石材は黒曜石４が多く、黒曜石３が少量みられる。接合資料３個体（接合13～15）と、未接合の掻器１点（図Ⅶ－27－92）、削器１点、二次加工ある剥片１点、剥片31点で構成される。剥片の中にはポイントフレイク状のものが多数含まれる。また、接合15は一部原礫面を残すものである。未接合の掻器１点、剥片１点について黒曜石産地推定を行った結果、白滝産と判定されている。

接合資料　全て剥片の接合資料である。接合13・15は未掲載で、接合13は剥片３点、接合15は剥片２点で構成される。

母岩３・接合14（図Ⅶ－38　図版44）

剥片９点（８個体）で構成され、総重量は9.42ｇである。ほぼ同じ高さの打点から連続的に剥片が剥離される。剥片は薄手で、背面が多方向からの剥離面で構成される。また打面に逆面の剥離面がみられることから、両面調整石器製作に伴う剥片の接合資料と考えられる。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。

作業内容　両面調整石器製作を目的とした剥片剥離作業が行われる。原礫面を残す剥片がほとんどみられないため、原礫面をほぼ除去した状態で遺跡内に搬入され、遺跡内で両面調整石器製作が行われ、


母岩3分布図
ブロック5
ブロック4
S=1/400
母岩3・接合14
116
S=1/200
母岩4分布図
ブロック5
ブロック4
ブロック3
S=1/400
母岩4・接合16
117
S=1/250

図Ⅷ－38　母岩３・４

剥離した剥片を素材として掻器、削器、二次加工ある剥片が製作される。両面調整石器は出土していないため、最終的に遺跡外に搬出されたものと推定される。両面調整石器の形状等は不明だが、接合14の大きさから細石刃核母型の可能性がある。

分布　ブロック４・５に分布する。ブロック４のM・N－22区に集中するが、ブロック５から掻器１点、削器１点、剥片１点が出土する。また、ブロック５出土の剥片１点とブロック４の出土の剥片１点が折れ面接合している。

・母岩別資料４（図Ⅶ－38　表Ⅶ－６　図版44）

両面調整石器製作または素材剥片剥離に関わるもので、総点数62点、重量131.28ｇである。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。石材は黒曜石３・５である。接合資料４個体（接合16・17・19・27）と、未接合の削器３点（２個体）、二次加工ある剥片５点（２個体）、剥片35点で構成される。剥片の中には原礫面を残すものが14点含まれる。

接合資料　全て剥片の接合資料である。接合17・19・27は未掲載で、接合17・19は剥片２点、接合27は剥片３点で構成される。また、接合27はブロック４・５のブロック間で折れ面接合するものである。

母岩４・接合16（図Ⅶ－38　図版44）

剥片12点（８個体）で構成され、総重量は38.67ｇである。打点方向がほぼ同じで、剥片が連続的に剥離される。剥片は打面に逆面の剥離面がみられるものがあるため、両面調整石器製作に伴うものと考えられる。また、背面に原礫面を大きく残すものがあり、原礫面がある程度残る状態で遺跡内に搬入されている。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。

作業内容　両面調整石器製作を目的とした剥片剥離作業が行われる。接合資料以外でも原礫面を残す剥片が含まれるため、原礫面をある程度残した素材の状態で遺跡内に搬入されている。遺跡内では両面調整石器製作が行われ、剥離した剥片を素材として削器、二次加工ある剥片が製作される。両面調整石器は出土していないため、最終的に遺跡外に搬出されたものと推定される。両面調整石器の形状等は不明だが細石刃核母型の可能性がある。

分布　ブロック４・５とブロック外に分布する。ブロック５から多く出土するが、ブロック４から剥片１点、ブロック外から削器２点（１個体）、二次加工ある剥片が１点（一括遺物）出土している。

・母岩別資料５（図Ⅶ－39　表Ⅶ－６　図版44）

素材剥片剥離または両面調整石器製作に関わるもので、総点数17点、重量262.35ｇである。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。石材は頁岩１である。接合資料２個体（接合20・21）と、未接合の剥片１点で構成される。

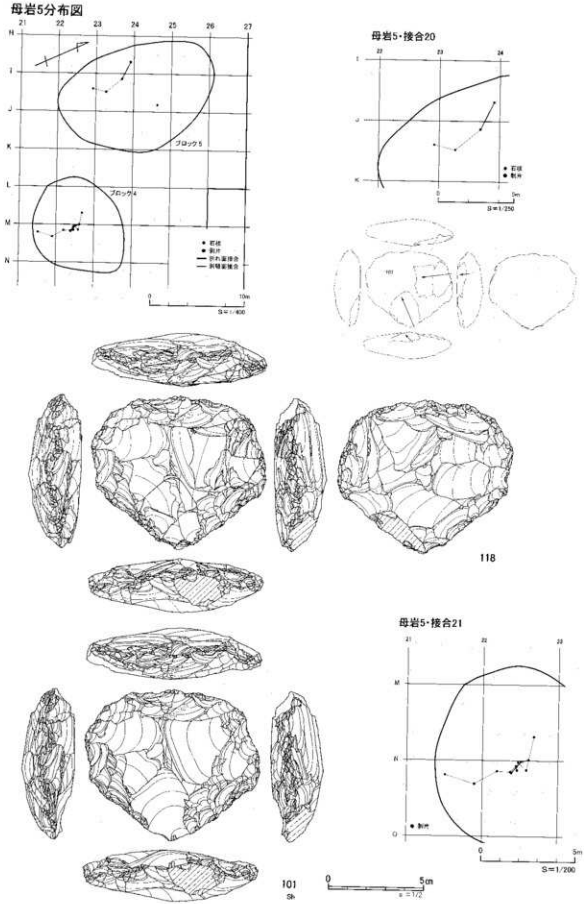
接合資料　接合20は石核と剥片の接合資料で、接合21は剥片の接合資料である。

母岩５・接合20（図Ⅶ－39　図版44）

石核１点、剥片３点（２個体）で構成され、総重量は197.98ｇである。細かい調整が施された周縁部を打面とし、求心状に平坦な剥離が施される。最終的に石核（両面調整石器）は遺棄されている。出土層位はⅦ層である。

母岩５・接合21（図Ⅶ－39分布図のみ　図版44）

剥片12点（10個体）で構成され、総重量は63.54ｇである。写真掲載のみで実測図は掲載していない。ポイントフレイク状の剥片が連続的に剥離される。剥片は打面が大きく、厚みのあるものが多い。出土層位はⅤ～Ⅶ層である。


母岩5分布図
ブロック5
ブロック4
S＝1/400
母岩5・接合20
S＝1/250
118
母岩5・接合21
S＝1/200
101
Sh
S＝1/2

図Ⅷ－39　母岩5

作業内容　石核（101）から剥片が剥離される。遺跡内に剥片剥離がある程度進行した両面加工の石核が持ち込まれ、遺跡内で剥片剥離が行われる。最終的に石核（両面調整石器）は遺跡内に遺棄される。素材剥片の剥離が目的と考えられるが、剥離された剥片を素材とした石器は出土していない。ただし頁岩１の石器は彫器や掻器などの定型的な石器も含めて石質が非常に類似しており、未接合ではあるが母岩５を含めた頁岩１の石器は同一母岩の可能性がある。また、残核（101）の形状から素材剥片生産と両面調整石器製作を兼ねている可能性がある。

４．まとめ

・ブロック３～５の石器群について

ブロック３～５は湧別技法札滑型細石刃核石器群で、定型的な石器として細石刃・細石刃核（ブロック５のみ）・彫器・彫器削片・両面調整石器（ブロック４のみ）・掻器（ブロック３・５）・削器・錐形石器（ブロック４のみ）が出土している。ブロック別の組成の特徴は、ブロック３は定型的な石器が多く、剥片・細片が比較的少ない。ブロック４は定型的な石器が比較的少量で、剥片・細片が多い。ブロック５は定型的な石器、剥片・細片が共に多い。石器の石材は黒曜石が全体の約92％を占め、次いで頁岩７％となる。他の石材として珪岩、砂岩、安山岩があるが、それぞれ１％以下とごく少量である。黒曜石のブロック別の割合をみると、ブロック３は68％、ブロック４が94％、ブロック５が93％となり、ブロック４・５に比べブロック３がやや低くなる。頁岩のブロック別の割合は、ブロック３は21％、ブロック４が６％、ブロック５が７％でブロック３が高く、ブロック４・５は低くなっている。定型的な石器と石材の関係は、黒曜石は細石刃・細石刃核・両面調整石器・削器等の石材、頁岩は彫器・彫器削片・掻器・削器・錐形石器・石核等の石材、珪岩は彫器・彫器削片・削器等の石材として利用されている。彫器・掻器は頁岩が最も多い等、器種の石材利用に選択性がみられるものがある。

母岩別接合資料等から石器製作作業内容をみると、遺跡内では細石刃剥離（母岩１・２・６・７）、両面調整石器製作または素材剥片剥離（母岩３～５）が主に行われている。ブロックごとにみると、ブロック３では、彫器削片の接合資料１個体（未掲載）がみられるのみである。ブロック４は両面調整石器製作（母岩３、母岩５・接合21）が行われ、製作時の剥片を素材として掻器、削器等が製作される。ブロック５は、細石刃剥離（母岩１・２・６・７）、両面調整石器製作または素材剥片剥離（母岩４ほか）、彫器削片剥離（未掲載）等が行われる。

細石刃製作の工程順でみると、細石刃核素材と考えられる両面調整石器製作（母岩３・４）、細石刃剥離（母岩１・２・６・７）に分かれ、母岩ごとに細石刃製作の段階が異なっている点が大きな特徴である。母岩５の両面調整石器は細石刃核母型の可能性もあるが、頁岩製の細石刃が出土していないため可能性の指摘にとどめておく。全体としては、細石刃核母型の作成、細石刃剥離という工程が確認できるが、細石刃核母型作成を行う母岩と細石刃剥離を行う母岩に分かれる。これは、剥片石器の石材が見られない千歳周辺地域で石材を計画的に消費する石材の「消費地」での様相を表している可能性が高い。

周辺の札滑型細石刃核石器群の類例として、千歳市オルイカ２遺跡が挙げられる。オルイカ２遺跡は本遺跡の北東約2.5㎞に位置し、札滑型細石刃石器群の石器集中が４か所検出されている。細石刃・細石刃核・彫器・掻器等の石器組成、白滝産を主体とした黒曜石や頁岩等の石材、細石刃製作の各工程が母岩ごとに行われる石器製作作業内容等共通する部分が多い。オルイカ２遺跡と本遺跡出土の札滑型細石刃石器群の比較・検討を行うことにより、石狩低地帯における札滑型細石刃核石器群の様相

がより明らかになると考えられる。

・黒曜石製遺物産地推定について

黒曜石製の遺物は平成18年度に6,333点、平成20年度に1,818点出土し、２か年の合計点数は8,151点になる。全遺物点数に対する割合は、平成18年度が98.6%、平成20年度が96.9%である。この様に出土した石器石材のほとんどを占める黒曜石について、その産地を確認し石器群ごとの利用の実態を把握するために産地推定を行った。分析点数は平成18年度が53点（内縄文時代の石器５点）、平成20年度は20点である。対象試料は原則的にブロック出土のものとし、石質分類ごとに抽出するようにした。ブロック１・２の黒曜石は５種類の石質に分け、その内黒曜石１～３は肉眼観察では赤井川産に類似するものである。分析は主に黒曜石１・２について行った。ブロック３～５の黒曜石は５種類の石質に分け、肉眼観察ではいずれも白滝産に類似するものである。分析はできるだけ各石質について行った。なお、両年度分について分析資料一覧を掲載した（表Ⅷ－７・８）。

結果報告は付篇２・３に年度ごとに分けて掲載した。平成18年度の結果は、ブロック１は赤井川エリア11点、赤井川または秩父別エリア２点で、ブロック２は赤井川エリア16点(赤井川？１点を含む)、赤井川または秩父別エリア９点、測定不能９点と判定された。石質別では、黒曜石１は赤井川エリア15点、赤井川または秩父別エリア７点で、黒曜石２は赤井川エリア11点（赤井川？１点を含む）、赤井川または秩父別エリア２点で、黒曜石３は赤井川エリア２点である。石質のないものは赤井川または秩父別エリア２点である。以上の結果から黒曜石１～３は概ね赤井川産と判定されており、肉眼観察の所見と一致することからブロック１・２の黒曜石の多くは赤井川産と考えられる。赤井川または秩父別産と判定されたものも、同一石質内に赤井川産と判定されたものが多く認められることから赤井川産の可能性が高い。平成20年度の結果は、20点全てが白滝エリアと判定されている。肉眼観察の所見とも一致することからブロック３～５の黒曜石のほとんどは白滝産と考えられる。

各石器群と黒曜石の原産地の関係をみると、赤井川産の黒曜石はブロック１の「峠下型細石刃核と札滑型細石刃核を含む石器群」とブロック２の「忍路子型細石刃核石器群」、白滝産の黒曜石はブロック３～５の「札滑型細石刃核石器群」であり、石器群により利用する黒曜石の原産地に違いがみられる。（広田）

表Ⅲ－5　旧石器掲載石器観察表

神保	図版	掲載番号	出土地点	分類	遺物番号	層位	点数	石材	石質	母岩番号	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	剥離面積分類番号	剥離面積分類番号	黒曜石分析番号	分析結果
図Ⅲ－14	41	1	ブロック2	細石刃	92	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(3.6)	0.8	0.3	(0.53)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	2	ブロック2	細石刃	113	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(1.8)	0.7	0.2	(0.17)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	3	ブロック2	細石刃	1	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(2.1)	0.8	0.3	(0.24)	－	－	1	白滝1
図Ⅲ－14	41	4	ブロック2	細石刃	26	V1	1	黒曜石	黒曜石3	－	(2.7)	0.6	0.3	(0.29)	－	－	2	白滝1
図Ⅲ－14	41	5	ブロック2	細石刃	21	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(2.0)	0.7	0.2	(0.19)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	6	ブロック2	細石刃	62	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(1.8)	0.7	0.2	(0.41)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	7	ブロック2	細石刃	114	層	1	黒曜石	黒曜石4	－	(1.0)	0.7	0.2	(0.10)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	8	ブロック2	剥片	111	層	1	頁岩	頁岩1	－	(2.0)	0.5	0.4	(0.23)	24	－	－	－
図Ⅲ－14	41	9	ブロック2	剥片	90	層	1	頁岩	頁岩1	－	(2.0)	0.6	0.4	(0.31)	24	－	－	－
図Ⅲ－14	41	10	ブロック2	剥離	109	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.6	2.9	0.8	9.15	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	11	ブロック2	剥離	46	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.9	2.6	1.0	10.72	－	1063	－	－
図Ⅲ－14	41	12	ブロック2	剥離	61	層	1	頁岩	頁岩1	－	6.5	3.7	0.9	20.79	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	13	ブロック2	剥離	104	層	1	頁岩	頁岩1	－	9.4	4.8	1.8	65.77	－	1047	－	－
図Ⅲ－14	41	14	ブロック2	剥離	47	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(5.4)	2.7	0.8	(9.18)	－	－	3	白滝1
図Ⅲ－14	41	15	ブロック2	剥離	107	層	1	頁岩	頁岩1	－	6.6	3.9	0.8	8.51	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	16	ブロック2	剥離	105	層	1	頁岩	頁岩1	－	8.6	4.8	1.3	47.49	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	17	ブロック2	剥離	106	層	1	頁岩	頁岩1	－	9.2	4.6	1.4	57.19	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	18	ブロック2	剥離	42	層	1	頁岩	頁岩1	－	(7.9)	4.3	0.9	(25.74)	－	－	－	－
図Ⅲ－14	41	19	ブロック2	剥離	75	層	1	頁岩	頁岩1	－	(10.0)	6.8	1.1	(49.20)	－	－	－	－
図Ⅲ－20	41	20	ブロック4	細石刃	269	層	1	黒曜石	黒曜石4	－	(1.8)	0.7	0.2	(0.19)	－	－	－	－
図Ⅲ－20	41	21	ブロック4	細石刃	151	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(2.0)	0.7	0.2	(0.20)	－	－	6	白滝1
図Ⅲ－20	41	22	ブロック4	剥片	728	層	1	頁岩	頁岩1	－	2.9	0.6	0.4	5.45	－	－	－	－
図Ⅲ－20	41	23	ブロック4	剥片	719	層	1	頁岩	頁岩1	－	(2.7)	0.7	0.3	(0.21)	23	－	－	－
図Ⅲ－20	41	24	ブロック4	剥片	201	V1	1	頁岩	頁岩1	－	(1.7)	0.7	0.3	(0.21)	23	－	－	－
図Ⅲ－20	41	25	ブロック4	剥片	691	層	1	頁岩	頁岩1	－	(2.0)	0.6	0.4	(0.30)	－	－	－	－
図Ⅲ－20	41	26	ブロック4	剥離	862	層	1	頁岩	頁岩1	－	(5.5)	3.3	0.8	(6.39)	－	－	－	－
図Ⅲ－20	41	27	ブロック4	剥離剥片石器	1	V	1	黒曜石	黒曜石3	－	(6.8)	3.1	1.5	(15.09)	－	－	9	白滝1
図Ⅲ－20	41	28	ブロック4	削器	784	層	1	珪質	－	－	7.4	3.4	1.0	20.24	－	1053	－	－
図Ⅲ－20	41	29	ブロック4	削器	736	V	1	黒曜石	黒曜石3	－	(8.2)	8.0	0.6	(22.36)	－	1028	－	－
					61	V											－	－
					63	V											11	白滝1
					76	V												
					93	V												
図Ⅲ－20	41	30	ブロック4	削器	694	層	1	頁岩	頁岩1	－	6.7	4.1	0.7	17.75	－	1050	－	－
図Ⅲ－20	41	31	ブロック4	剥離石器	850	層	1	頁岩	－	－	6.1	4.2	1.1	24.34	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	32	ブロック3	細石刃	738	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	1.7	0.7	0.3	1.14	－	1091	－	－
					112	V												
					170	V												
図Ⅲ－26	42	33	ブロック3	細石刃	588	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	3.6	0.8	0.3	6.93	2	1096	－	－
					606	層												
					128	V												
図Ⅲ－26	42	34	ブロック3	細石刃	286	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	5.9	1.0	0.3	1.26	－	1008	－	－
図Ⅲ－26	42	35	ブロック3	細石刃	784	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	4.4	0.9	0.2	0.76	6	－	－	－
図Ⅲ－26	42	36	ブロック3	細石刃	282	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	2.4	0.7	0.2	0.26	－	－	－	－
					304	層												
図Ⅲ－26	42	37	ブロック3	細石刃	522	層	1	黒曜石	黒曜石3	7	(4.5)	0.7	0.2	(0.48)	7	1007	－	－
					526	層												
図Ⅲ－26	42	38	ブロック3	細石刃	415	層	1	黒曜石	黒曜石3	7	(3.5)	0.8	0.2	(0.47)	7	1011	－	－
図Ⅲ－26	42	39	ブロック3	細石刃	494	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(2.8)	0.7	0.2	(0.27)	4	－	－	－
図Ⅲ－26	42	40	ブロック3	細石刃	598	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(5.8)	0.9	0.2	(0.96)	1	1015	－	－
					42	V												
					108	V												
					599	V												
図Ⅲ－26	42	41	ブロック3	細石刃	179	V1	1	黒曜石	黒曜石3	6	(5.0)	0.8	0.2	(0.81)	2	1020	－	－
図Ⅲ－26	42	42	ブロック3	細石刃	264	層	1	黒曜石	黒曜石3	6	(4.3)	0.8	0.2	(0.77)	2	－	13	白滝1
図Ⅲ－26	42	43	ブロック3	細石刃	283	層	1	黒曜石	黒曜石3	6	(4.4)	0.7	0.3	(0.67)	10	1005	－	－
					450	層												
					542	層												
図Ⅲ－26	42	44	ブロック3	細石刃	415	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(3.8)	0.6	0.3	(0.46)	8	1002	－	－
					518	層												
図Ⅲ－26	42	45	ブロック3	細石刃	253	層	1	黒曜石	－	2	(3.8)	0.6	0.2	(0.37)	33	－	－	－
図Ⅲ－26	42	46	ブロック3	細石刃	372	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(4.4)	0.8	0.3	(0.63)	8	1003	－	－
					375	層												
					524	層												
図Ⅲ－26	42	47	ブロック3	細石刃	701	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(4.0)	0.9	0.2	(0.62)	4	1014	－	－
図Ⅲ－26	42	48	ブロック3	細石刃	528	V1	1	黒曜石	黒曜石3	2	(4.0)	0.7	0.3	(0.67)	6	－	－	－
図Ⅲ－26	42	49	ブロック3	細石刃	611	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(3.5)	0.9	0.3	(0.59)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	50	ブロック3	細石刃	515	層	1	黒曜石	黒曜石5	1	(3.4)	0.8	0.2	(0.49)	4	1009	－	－
					578	層												
図Ⅲ－26	42	51	ブロック3	細石刃	896	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	(5.0)	0.6	0.3	(0.54)	－	－	14	白滝1
図Ⅲ－26	42	52	ブロック3	細石刃	775	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(2.8)	0.7	0.2	0.39	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	53	ブロック3	細石刃	119	V1	1	黒曜石	黒曜石3	2	(2.7)	0.6	0.2	(0.27)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	54	ブロック3	細石刃	706	層	1	黒曜石	黒曜石1	2	(2.5)	0.8	0.2	(0.26)	－	－	15	白滝1
図Ⅲ－26	42	55	ブロック3	細石刃	169	V1	1	黒曜石	黒曜石3	2	(4.8)	0.6	0.3	(0.59)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	56	ブロック3	細石刃	265	層	1	黒曜石	黒曜石3	6	(2.0)	0.7	0.2	0.26	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	57	ブロック3	細石刃	480	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(2.0)	0.7	0.1	(0.27)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	58	ブロック3	細石刃	64	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(1.0)	0.6	0.1	(0.09)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	59	ブロック3	細石刃	704	層	1	黒曜石	黒曜石3	6	(5.0)	0.7	0.3	(0.45)	2	－	－	－
図Ⅲ－26	42	60	ブロック3	細石刃	903	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(3.0)	0.6	0.3	(0.41)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	61	ブロック3	細石刃	174	V1	1	黒曜石	黒曜石3	1	(3.0)	0.9	0.3	(0.66)	5	－	－	－
図Ⅲ－26	42	62	ブロック3	細石刃	807	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(3.1)	0.6	0.3	(0.41)	4	－	－	－
図Ⅲ－26	42	63	ブロック3	細石刃	659	層	1	黒曜石	黒曜石3	2	(2.2)	0.6	0.2	(0.20)	10	－	－	－
図Ⅲ－26	42	64	ブロック3	細石刃	327	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(1.8)	0.7	0.3	(0.31)	4	－	－	－
図Ⅲ－26	42	65	ブロック3	細石刃	143	V1	1	黒曜石	黒曜石3	1	(2.0)	0.8	0.2	(0.36)	4	－	－	－
図Ⅲ－26	42	66	ブロック3	細石刃	916	層	1	黒曜石	黒曜石5	1	(1.0)	0.6	0.1	(0.07)	4	－	－	－
図Ⅲ－26	42	67	ブロック3	細石刃	609	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(2.0)	0.5	0.2	(0.19)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	68	ブロック3	細石刃	199	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(3.0)	0.6	0.3	(0.41)	－	－	－	－
図Ⅲ－26	42	69	ブロック3	細石刃	323	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	(4.0)	0.7	0.3	(0.73)	1	－	16	白滝1
図Ⅲ－26	42	70	ブロック3	細石刃	536	V1	1	黒曜石	黒曜石3	2	(5.0)	0.9	0.3	0.84	31	－	－	－
図Ⅲ－26	42	71	ブロック3	細石刃剥離	1	V	1	黒曜石	黒曜石3	2	7.3	1.9	0.2	(6.1)	－	－	18	白滝1
図Ⅲ－26	42	72	ブロック3	細石刃剥離	1	V	1	黒曜石	黒曜石3	2	(10.7)	2.0	0.3	(16.60)	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	73	ブロック3	剥片	413	層	1	頁岩	頁岩1	－	3.1	0.6	0.4	0.39	26	－	－	－
図Ⅲ－27	42	74	ブロック3	剥片	19	V	1	頁岩	頁岩1	－	3.6	0.8	0.6	0.81	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	75	ブロック3	剥片	253	V1	1	頁岩	－	－	(6.0)	0.5	0.4	(0.32)	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	76	ブロック3	剥片	30	層	1	頁岩	頁岩1	－	6.0	0.8	0.3	0.39	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	77	ブロック3	剥片	416	層	1	頁岩	頁岩1	－	(2.1)	0.6	0.4	(0.42)	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	78	ブロック3	剥片	84	V	1	頁岩	頁岩1	－	2.8	0.6	0.4	0.30	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	79	ブロック3	剥片	313	V1	1	頁岩	－	－	(3.0)	0.8	0.3	(0.43)	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	80	ブロック3	剥片	971	層	1	頁岩	頁岩1	－	(3.0)	0.7	0.3	(0.33)	26	－	－	－
図Ⅲ－27	42	81	ブロック3	剥離	130	V1	1	頁岩	－	－	4.1	3.0	0.6	7.43	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	82	ブロック3	剥離	470	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.4	3.0	0.7	10.27	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	83	ブロック3	剥離	652	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.4	2.6	0.9	8.05	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	84	ブロック3	剥離	427	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.5	2.6	0.9	8.50	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	85	ブロック3	剥離	447	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.9	2.7	0.9	9.65	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	86	ブロック3	剥離	697	層	1	頁岩	頁岩1	－	4.4	3.0	0.7	9.67	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	87	ブロック3	剥離	646	層	1	頁岩	－	－	2.8	2.3	0.9	5.38	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	88	ブロック3	剥離	120	V1	1	頁岩	頁岩1	－	2.9	2.5	0.9	5.81	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	89	ブロック3	剥離	110	V	1	頁岩	－	－	2.9	2.5	0.9	4.87	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	90	ブロック3	剥離	960	層	1	頁岩	－	－	3.1	2.6	0.9	5.84	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	91	ブロック3	剥離	918	層	1	頁岩	－	－	3.5	2.9	1.0	10.66	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	92	ブロック3	剥離	314	層	1	黒曜石	黒曜石4	3	4.7	2.9	0.6	5.81	－	－	19	白滝1
図Ⅲ－27	42	93	ブロック3	剥離	552	層	1	黒曜石	黒曜石3	1	4.3	2.9	0.6	5.43	－	－	17	白滝1
図Ⅲ－27	42	94	ブロック3	剥離	256	層	1	頁岩	頁岩1	－	5.1	3.0	0.7	11.32	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	95	ブロック3	剥離	384	V1	1	頁岩	頁岩1	－	5.1	3.0	0.7	11.32	－	－	－	－
図Ⅲ－27	42	96	ブロック3	剥離石器	1	V	1	頁岩	頁岩1	－	7.4	3.0	0.8	15.92	－	－	－	－
図Ⅲ－27	43	97	ブロック3	削器	38	V	1	黒曜石	黒曜石3	－	(10.0)	5.3	0.5	(18.38)	－	1013	－	－
					111	V												
図Ⅲ－27	43	98	ブロック3	剥離	919	層	1	頁岩	－	－	(6.1)	4.2	1.2	(25.09)	－	－	－	－
図Ⅲ－27	43	99	ブロック3	剥離	412	層	1	頁岩	－	－	(4.8)	3.9	1.0	(13.46)	－	－	－	－
図Ⅲ－28	43	100	ブロック3	剥離	845	層	1	黒曜石	黒曜石3	－	3.1	2.6	0.6	5.10	－	－	20	白滝1
図Ⅲ－28	43	101	ブロック3	石核	972	層	1	頁岩	頁岩1	5	8.5	6.3	4.8	318.76	5	－	－	－
図Ⅲ－43	43	102	表土	剥離	1	V1	1	頁岩	－	－	6.1	4.7	1.6	34.70	－	－	－	－
図Ⅲ－43	43	103	表土	剥離	1	V1	1	頁岩	－	－	(4.8)	3.9	1.0	(13.46)	－	－	－	－

表Ⅷ－６　旧石器掲載接合資料一覧

母岩1-接合1(図版－35～104 図版44)**総点数10点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合1	ブロック名	J-X-25	Ⅴ, Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B		46.88	10/10以上	15	104
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	82	黒曜石	黒曜石B		0.47	1015	—	40
	ブロック名	K-25	Ⅴ	108				0.38			
	ブロック名	J-25	Ⅵ	259				0.11			
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	259	黒曜石	黒曜石B	1	0.14	1016	—	—
	ブロック名	J-25	Ⅵ	302				0.24			
	ブロック名	K-25	Ⅵ	323				0.16			
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	323	黒曜石	黒曜石B	1	0.73	—	15	69
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	844	黒曜石	黒曜石B	1	0.08	—	—	—
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	878	黒曜石	黒曜石B	1	0.07	—	—	—
縦石刃剥片	ブロック名	J-23	Ⅵ	2	黒曜石	黒曜石B	1	46.60	—	—	72

母岩1-接合4(図版－35～105 図版44)**総点数5点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合4	ブロック名	K-25	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B		1.74	10/10以上	—	105
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	316	黒曜石	黒曜石B		0.21	1009	—	50
	ブロック名	J-25	Ⅵ	578				0.28			
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	324	黒曜石	黒曜石B		0.28	1014	—	47
	ブロック名	K-25	Ⅵ	703				0.44			
縦石刃	ブロック名	J-24	Ⅵ	143	黒曜石	黒曜石B		0.36	—	—	65
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	598	黒曜石	黒曜石B		0.27	—	—	39

母岩1-接合9(図版－36～106 図版44)**総点数2点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合9	ブロック名	J-K-25	Ⅵ	—	黒曜石	黒曜石B		0.48	—	—	106
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	335	黒曜石	黒曜石B		0.08	—	—	—
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	899	黒曜石	黒曜石B		0.20	—	—	—
	ブロック名	K-25	Ⅵ	925	黒曜石	黒曜石B		0.20	—	—	—

母岩1-接合11(図版－36～107 図版44)**総点数2点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合11	ブロック名	K-24	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B		0.22	1017	—	107
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	173	黒曜石	黒曜石B		0.07	1017	—	—
	ブロック名	J-25	Ⅵ	329				0.06			
縦石刃	ブロック名	J-24	Ⅵ	132	黒曜石	黒曜石B		0.10	—	—	—

母岩1-接合5(図版－36～108 図版44)**総点数1点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合5	ブロック名	K-24	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B		1.08	—	—	108
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	174	黒曜石	黒曜石B		0.66	—	—	61
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	742	黒曜石	黒曜石B		0.30	—	—	—

母岩1-接合8(図版－36～109 図版44)**総点数6点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合8	ブロック名	K-24	Ⅵ	—	黒曜石	黒曜石B	2	2.01	10/10以上	—	109
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	405	黒曜石	黒曜石B	2	0.35	1002	—	44
	ブロック名	K-24	Ⅵ	410				0.25			
縦石刃	ブロック名	J-24	Ⅵ	372	黒曜石	黒曜石B	2	0.20	1003	—	46
	ブロック名	K-24	Ⅵ	375				0.43			
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	734	黒曜石	黒曜石B	2	0.37	—	—	—
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	807	黒曜石	黒曜石B	2	0.41	—	—	62

母岩2-接合22(図版－36～110 図版44)**総点数2点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合22	ブロック名	J-K-24	Ⅵ	—	黒曜石	黒曜石B	2	0.90	1004	—	110
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	651	黒曜石	黒曜石B	2	0.27	1004	—	—
	ブロック名	K-24	Ⅵ	806				0.21			
縦石刃	ブロック名	J-24	Ⅵ	380	黒曜石	黒曜石B	2	0.42	—	—	—

母岩2-接合10(図版－36～111 図版44)**総点数4点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合10	ブロック名	K-24	Ⅵ	—	黒曜石	黒曜石B	2	1.08	1005	—	111
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	420	黒曜石	黒曜石B	2	0.35	1005	—	43
	ブロック名	K-24	Ⅵ	847				0.42			
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	424	黒曜石	黒曜石B	2	0.16	—	—	—
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	409	黒曜石	黒曜石B	2	0.26	—	—	63

母岩2-接合6(図版－36～112 図版44)**総点数4点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合6	ブロック名	J-D24-P	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B	2	1.90	1021	—	112
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	789	黒曜石	黒曜石B	2	0.22	1021	—	—
	ブロック名	J-25	Ⅵ	912				0.25			
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	228	黒曜石	黒曜石B	2	0.67	—	—	48
縦石刃	ブロック名	K-24	Ⅵ	784	黒曜石	黒曜石B	2	0.76	—	—	35

母岩5-接合2(図版－37～113 図版44)**総点数6点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合2	ブロック名	J-K-25	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B	5	2.96	10/10以上	—	113
縦石刃	ブロック名	J-25	Ⅵ	588	黒曜石	黒曜石B	5	0.65	1005	—	33
	ブロック名	K-25	Ⅵ	956				0.28			
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	179	黒曜石	黒曜石B	5	0.54	1020	—	41
	ブロック名	J-25	Ⅵ	284				0.27			
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	794	黒曜石	黒曜石B	5	0.45	—	—	59
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	943	黒曜石	黒曜石B	5	0.77	—	—	42

母岩7-接合3(図版－37～114 図版44)**総点数7点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合3	ブロック名	J-K-25	Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B	7	1.42	10/10以上	—	114
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	364	黒曜石	黒曜石B	7	0.18	1007	—	37
	ブロック名	J-25	Ⅵ	577				0.07			
	ブロック名	K-25	Ⅵ	926				0.23			
縦石刃	ブロック名	J-24	Ⅵ	131	黒曜石	黒曜石B	7	0.32	1011	—	38
	ブロック名	K-25	Ⅵ	694				0.15			
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	222	黒曜石	黒曜石B	7	0.21	—	—	64
縦石刃	ブロック名	K-25	Ⅵ	706	黒曜石	黒曜石B	7	0.26	—	—	54

母岩7-接合14(図版－38～116 図版44)**総点数3点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合14	ブロック名	N-M-22	Ⅴ, Ⅵ, Ⅶ	—	黒曜石	黒曜石B	3	3.42	1036	—	116
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	369	黒曜石	黒曜石B	3	1.28	1036	—	—
	ブロック名	M-22	Ⅵ	380				0.93			
剥片	ブロック名	M-22	Ⅴ	40	黒曜石	黒曜石B	3	0.52	—	—	—
剥片	ブロック名	M-22	Ⅵ	112	黒曜石	黒曜石B	3	1.39	—	—	—
剥片	ブロック名	M-22	Ⅵ	130	黒曜石	黒曜石B	3	1.65	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	216	黒曜石	黒曜石B	3	1.52	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	249	黒曜石	黒曜石B	3	0.52	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	345	黒曜石	黒曜石B	3	0.23	—	—	—
剥片	ブロック名	M-22	Ⅵ	793	黒曜石	黒曜石B	3	1.38	—	—	—

母岩4-接合16(図版－38～117 図版44)**総点数7点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合16	ブロック名	J-24	Ⅴ, Ⅵ	—	黒曜石	黒曜石B	4	33.67	10/10以上	—	117
剥片	ブロック名	J-24	Ⅵ	146	黒曜石	黒曜石B	4	2.84	1037	—	—
	ブロック名	J-24	Ⅵ	244				5.50			
剥片	ブロック名	J-25	Ⅴ	100	黒曜石	黒曜石B	4	1.63	1038	—	—
	ブロック名	J-25	Ⅴ	101				0.85			
	ブロック名	J-25	Ⅵ	357				0.84			
剥片	ブロック名	J-24	Ⅵ	247	黒曜石	黒曜石B	4	0.70	1060	—	—
	ブロック名	K-24	Ⅵ	959				2.52			
剥片	ブロック名	J-24	Ⅴ	33	黒曜石	黒曜石B	4	4.22	—	—	—
剥片	ブロック名	J-24	Ⅵ	164	黒曜石	黒曜石B	4	12.67	—	—	—
剥片	ブロック名	J-25	Ⅵ	292	黒曜石	黒曜石B	4	0.78	—	—	—
剥片	ブロック名	J-25	Ⅵ	561	黒曜石	黒曜石B	4	3.02	—	—	—
剥片	ブロック名	K-22	Ⅵ	962	黒曜石	黒曜石B	4	3.10	—	—	—

母岩1-接合20(図版－39～118 図版44)**総点数2点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合20	ブロック名	J-22-23	Ⅵ	—	頁岩	頁岩1	5	197.88	1045	—	118
石核	ブロック名	J-22	Ⅵ	972	頁岩	頁岩1	5	184.36	—	—	101
剥片	ブロック名	J-23	Ⅵ	455	頁岩	頁岩1	5	3.88	1045	—	—
	ブロック名	J-23	Ⅵ	457				3.75			
剥片	ブロック名	J-23	Ⅵ	815	頁岩	頁岩1	5	5.99	—	—	—

母岩1-接合21(図版－41～119 写真のみ)**総点数12点**

分類等	ブロック名	発掘区	層位	ﾁｪｯｸ	石材	石質	母岩	重量(g)	折れ面 剥離分量	黒曜石 分析番号	掲載番号
接合21	ブロック名	N-22	Ⅴ, Ⅵ	—	頁岩	頁岩1	5	63.54	1046	—	119
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	17	頁岩	頁岩1	5	6.60	1046	—	—
	ブロック名	N-22	Ⅵ	519				0.16			
	ブロック名	N-22	Ⅵ	720				5.60			
剥片	ブロック名	M-22	Ⅴ	14	頁岩	頁岩1	5	14.54	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	178	頁岩	頁岩1	5	10.00	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	209	頁岩	頁岩1	5	19.55	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	239	頁岩	頁岩1	5	2.08	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	302	頁岩	頁岩1	5	1.49	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	643	頁岩	頁岩1	5	0.74	—	—	—
剥片	ブロック名	N-22	Ⅵ	648	頁岩	頁岩1	5	0.31	—	—	—
剥片	ブロック名	N-21	Ⅵ	896	頁岩	頁岩1	5	2.46	—	—	—
剥片	ブロック名	N-21	Ⅵ	901	頁岩	頁岩1	5	0.60	—	—	—

表Ⅲ－7　平成18（2006）年度黒曜石産地推定分析試料一覧

試料番号	図番号	掲載番号	写真図版	出土地点	遺物番号	層位	器種名	石質	点数	判別群名	エリア	点数	重量(g)	備考
1	Ⅱ-64	19	Ⅱ-34	ブロック1	B1,44	Ⅴ	縄石刃横剥片	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	3.25	
2	Ⅱ-64	18	Ⅱ-34	ブロック1	B1,5	(Ⅴ)	縄石刃横剥片	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	2.49	
3	Ⅱ-64	7	Ⅱ-34	ブロック1	B1,27	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.06	
4	Ⅱ-64	6	Ⅱ-34	ブロック1	B1,38	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.06	
5	Ⅱ-64	5	Ⅱ-34	ブロック1	B1,29	Ⅵ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.10	
6	Ⅱ-64	3	Ⅱ-34	ブロック1	B1,36	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.36	
7	Ⅱ-64	4	Ⅱ-34	ブロック1	B1,56	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.31	
8	Ⅱ-64	8	Ⅱ-34	ブロック1	B1,23	Ⅶ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	0.30	
9	Ⅱ-64	2	Ⅱ-34	ブロック1	B1,39	Ⅶ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	0.63	
10	Ⅱ-64	1	Ⅱ-34	ブロック1	B1,42	(Ⅴ)	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.30	
11	Ⅱ-64	9	Ⅱ-34	ブロック1	B1,45	Ⅵ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	0.94	
12	Ⅱ-65	40	Ⅱ-34	ブロック1	B1,28	Ⅵ	縦長剥片	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	4.69	
13	Ⅱ-65	41	Ⅱ-34	ブロック1	B1,13	Ⅵ	剥片	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	1.40	
14	Ⅱ-69	53	Ⅱ-35	ブロック2	K57,446	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	一括
15	Ⅱ-69	14	Ⅱ-35	ブロック2	K57,445	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.01	一括
16	Ⅱ-69	40	Ⅱ-35	ブロック2	K57,444	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.03	一括
17	Ⅱ-69	19	Ⅱ-35	ブロック2	K57,443	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	一括
18	Ⅱ-69	7	Ⅱ-35	ブロック2	K57,442	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.03	一括
19	Ⅱ-69	13	Ⅱ-35	ブロック2	K57,441	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	一括
20	Ⅱ-69	12	Ⅱ-35	ブロック2	K57,440	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	一括
21	Ⅱ-69	37	Ⅱ-35	ブロック2	K57,439	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.04	一括
22	Ⅱ-69	10	Ⅱ-35	ブロック2	K57,438	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.02	一括
23	未掲載			ブロック2	K57,437	Ⅶ	剥片	－	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.042	一括
24	Ⅱ-69	41	Ⅱ-35	ブロック2	K57,436	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.02	一括
25	未掲載			ブロック2	K57,435	Ⅶ	剥片	－	1	測定不能	不明	1	0.023	一括
26	Ⅱ-69	51	Ⅱ-35	ブロック2	K57,434	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.04	一括
27	Ⅱ-69	2	Ⅱ-35	ブロック2	K57,433	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.10	一括
28	Ⅱ-69	9	－	ブロック2	K57,432	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.07	一括
29	Ⅱ-69	6	Ⅱ-35	ブロック2	K57,448	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.028	一括
30	Ⅱ-69	16	－	ブロック2	K57,7.29	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	フルイ1.0mm
31	Ⅱ-69	36	Ⅱ-35	ブロック2	K57,7.28	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.01	フルイ1.0mm
32	Ⅱ-69	23	Ⅱ-35	ブロック2	B2,270	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.03	
33	Ⅱ-69	4	Ⅱ-35	ブロック2	B2,264	Ⅵ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.06	
34	Ⅱ-69	35	Ⅱ-35	ブロック2	L57,7.32	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	測定不能	不明	1	0.01	フルイ1.0mm
35	Ⅱ-69	1	Ⅱ-35	ブロック2	L57,7.55	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.03	フルイ1.0mm
36	未掲載			ブロック2	L57,7.67	Ⅶ	剥片	－	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.043	フルイ1.0mm
37	Ⅱ-72	111	Ⅱ-36	ブロック2	B2,101	Ⅴ	剥片	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	1.84	接合No.1
38	Ⅱ-71	98	Ⅱ-35	ブロック2	B2,85	Ⅴ	石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	26.82	
39	Ⅱ-71	82	Ⅱ-35	ブロック2	B2,55	Ⅴ	石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	0.84	
40	Ⅱ-71	81	Ⅱ-35	ブロック2	B2,170	Ⅵ	石刃	黒曜石2	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	2.12	
41	未掲載			K-56	K56,7	Ⅵ	石核	－	1	名寄	名寄	1	17.60	
42	未掲載			L-56	L56,5	Ⅴ	剥片	－	1	所山	置戸	1	1.00	
43	未掲載			K-57	K57,1	Ⅵ	尖フレイク	－	1	上士幌	上士幌	1	5.92	
44	未掲載			K-57	K57,2	Ⅴ	石鏃	－	1	上士幌	上士幌	1	1.20	
45	未掲載			K-57	K57,3	Ⅴ	石鏃	－	1	白滝2	白滝	1	1.41	
46	未掲載			K-57	K57,7.249	Ⅶ	縄石刃	黒曜石3	1	赤井川	赤井川	1	0.092	フルイ1.0mm
47	未掲載			ブロック2	L57,239	Ⅶ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川or秩父SB1	赤井川or秩父SB1	1	0.03	一括
48	未掲載			ブロック2	B2,252	Ⅵ	縄石刃	黒曜石3	1	赤井川	赤井川	1	0.069	
49	未掲載			ブロック2	B2,616	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.053	
50	未掲載			ブロック2	L57,7.87	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.036	フルイ1.0mm
51	未掲載			ブロック2	K57,7.45	Ⅶ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川？	赤井川？	1	0.021	フルイ1.0mm
52	未掲載			ブロック2	K57,7.52	Ⅶ	縄石刃	黒曜石1	1	赤井川	赤井川	1	0.035	フルイ1.0mm
53	未掲載			ブロック2	B2,418	Ⅵ	縄石刃	黒曜石2	1	赤井川	赤井川	1	0.043	

※図番号・掲載番号・写真図版は北理調報238のものである。

表Ⅲ－8　平成20（2008）年度黒曜石産地推定分析試料一覧

試料No.	図番号	掲載番号	写真図版	出土地点	番号	層位	器種名	母岩番号	石質	判別群名	エリア	点数	重量(g)	備考
1	図98-14	3	41	ブロック3	6	Ⅵ	縄石刃	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.24	
2	図98-14	4	41	ブロック3	26	Ⅵ	縄石刃	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.28	
3	図98-14	14	41	ブロック3	6	Ⅵ	削器	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	9.58	
4	－	－	－	ブロック3	51	Ⅵ	剥片	－	黒曜石4	白滝2	白滝	1	3.2	
5	－	－	－	ブロック3	93	Ⅶ	剥片	－	黒曜石5	白滝1	白滝	1	9.38	
6	図98-20	21	41	ブロック4	152	Ⅵ	縄石刃	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.25	
7	－	－	－	ブロック4	241	Ⅶ	剥片	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.37	
8	－	－	－	ブロック4	340	Ⅶ	削器	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	6.08	
9	図98-20	27	41	ブロック4	1	Ⅵ	両面調整石器	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	110.1	
10	－	－	－	ブロック4	95	Ⅴ	剥片	母岩3	黒曜石4	白滝1	白滝	1	13.8	
11	図98-20	29	41	ブロック4	76	Ⅴ	削器	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	16.36	
12	図98-26	54	42	ブロック5	706	Ⅶ	縄石刃	－	黒曜石1	白滝1	白滝	1	0.26	
13	図98-26	42	42	ブロック5	943	Ⅶ	縄石刃	母岩6	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.77	
14	図98-26	51	42	ブロック5	896	Ⅶ	縄石刃	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	0.34	
15	図98-26	69	42	ブロック5	323	Ⅶ	縄石刃	母岩1	黒曜石5	白滝1	白滝	1	0.73	母岩1-接合1
16	図98-26	71	42	ブロック5	2	Ⅴ	縄石刃横	母岩2	黒曜石3	白滝1	白滝	1	145	
17	図98-27	93	43	ブロック5	252	Ⅵ	削器	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	10.53	
18	－	－	－	ブロック5	212	Ⅵ	剥片	－	黒曜石3	白滝1	白滝	1	3.68	
19	図98-27	92	43	ブロック5	312	Ⅵ	掻器	母岩3	黒曜石4	白滝1	白滝	1	10.84	
20	図98-28	100	43	ブロック5	940	Ⅵ	二次加工ある剥片	－	黒曜石5	白滝1	白滝	1	6.16	

Ⅸ章 成果と問題点

1．調査区接合点検について（図Ⅸ－1・2　表Ⅸ－1・2）

異なる基準点と基線から設定した両年度の調査区（Ⅲ章1節 参照）を接合するため、境界付近のグリッド杭の平面直角座標値を回転座標系で計算（表Ⅸ－1）し、ＣＡＤで作図した（図Ⅸ－1）。計算の原点は、平成18（2006）年度は梅川2遺跡のＭ－25杭（ＳＰ 5400）、平成20（2008）年度は本遺跡のＭ－25杭（ＳＰ 5700）である（Ⅲ章1節）。

この回転座標計算による接合では、調査区境界が一致せずに約1.8mの誤差（図上の測定）が生じた。そこで「一般国道337号 千歳市 新千歳空港関連用地測量調査 用地平面図」（4葉の内4号1：1,000 札幌開発建設部 平成15年2月調査）を基図とし再点検を行った。

基図から、調査区の境界は用地幅杭の「Ｌ33－1」と「Ｒ38－1」を結んだ直線と判明し、座標値が基図に示されていた。これらの値と各年度の「測量成果簿」にある座標値から、図Ⅸ－2の線形図を作成した。線形図、用地図、各年度の測量成果の図上で、両年度の基線と調査区境界の結ぶ直線の交点までの長さを計測したが、いずれも値が一致せず、平成18（2006）年度のＳＰ5400は約257.7～約261m、平成20（2008）年度のＳＰ5700は約26.7～約28mであった。いずれの図もその中で整合が確保されており、要因を特定できなかった。

主たる原因は、曲線を直線とみなして調査グリッドを設定したことや、平成18（2006）年度は、基点が250m以上離れていること等により生じる誤差が累積したと考える。

最終的な調査区境界線は、現場で作成した図や遺構の位置関係等、調査現場での情報、整理作業での点検結果を総合し、方向角にずれが生じないように調整し、図Ⅲ－1と定めた。

2．分析の目的と結果の評価

分析の目的と結果の評価について、記述する。なお、黒曜石の産地推定（付篇2・3）は、Ⅷ章を参照願いたい。

（1）微細遺物 動物遺存体同定 種子同定（付篇1　Ⅵ章1節）

目的

両年度の調査で確認した、擦文文化期後半～アイヌ文化期の遺構、平地住居跡、灰集中、焼土から動植物の遺存体を検出し、当時の利用された動植物を特定しそのあり方を考察し、また周辺の同時期の遺跡（図Ⅱ－4　表Ⅱ－1）と比較・検討する。

条件として、調査時期、調査方法、試料採取の方法、同定の方法・精度を考慮する必要がある。また、選別作業では土器、フレイク、石片、鉄製品の小破片等の人工遺物もみられ、これらも回収しその数量を示した。

結果と評価

動物遺存体

確認した動物遺存体を記す。

動物骨：シカ・ヒグマ・ウサギ・ネズミ
　　ハタネズミ亜科・ネズミ科
　　哺乳類・陸上哺乳類

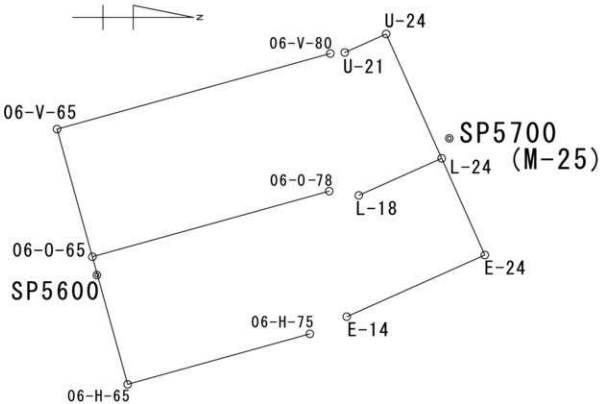
表区－1　調査区接合　座標計算表（世界測地系）

平面直角座標 X系　日本測地系（m）			X	Y
平成18(2006)年度 調査区	与点	SP 5400	−128,903.321	−45,563.466
平成20(2008)年度 調査区	与点	SP 5700	−128,618.818	−45,469.183

方向角		°	′	″	10進法換算（°）	ラジアン換算 (Rad)	sin θ	cos θ
平成18(2006)年度 調査区	θ1	15	28	13	15.47022	0.27001	0.26674	0.96377
平成20(2008)年度 調査区	θ2	24	3	52	24.06442	0.42000	0.40776	0.91309

			与点を(0,0)とした時の相対的な座標値		三角関数 計算 θ1：平成18(2006)年度 調査区				θ2：平成20(2008)年度 調査区			
			x	y	x·sin θ	y·sin θ	x·cos θ	y·cos θ	x·sin θ	y·sin θ	x·cos θ	y·cos θ
平成18(2006)年度 調査区 5mグリッド	与点	M−25（鶴川2遺跡）(SP 5400)	0	0	0	0	0	0				
	グリッド杭	06−H−75	250	−25	66.684	−6.668	240.942	−24.094				
		06−H−65	200	−25	53.348	−6.668	192.754	−24.094				
		06−O−78	265	10	70.685	2.667	255.399	9.638				
		06−O−65	200	10	53.348	2.667	192.754	9.638				
		06−V−80	275	45	73.353	12.003	265.037	43.370				
		06−V−65	200	45	53.348	12.003	192.754	43.370				
	SP 付近グリッド杭	06−M−45（≒SP 5500 ?）	100	0	26.674	0	96.377	0				
		06−N−65（≒SP 5600 ?）	200	5	53.348	1.334	192.754	4.819				
平成20(2008)年度 調査区 4mグリッド	与点	M−25 (SP 5700)	0	0					0	0	0	0
	グリッド杭	E−14	−44	−32					−17.942	−13.048	−40.176	−29.219
		E−24	−4	−32					−1.631	−13.048	−3.652	−29.219
		L−18	−28	−4					−11.417	−1.631	−25.566	−3.652
		L−24	−4	−4					−1.631	−1.631	−3.652	−3.652
		U−21	−16	32					−6.524	13.048	−14.609	29.219
		U−24	−4	32					−1.631	13.048	−3.652	29.219
	SP 付近グリッド杭	M−50（≒SP 5800 ?）	100	0					40.776	0	91.309	0

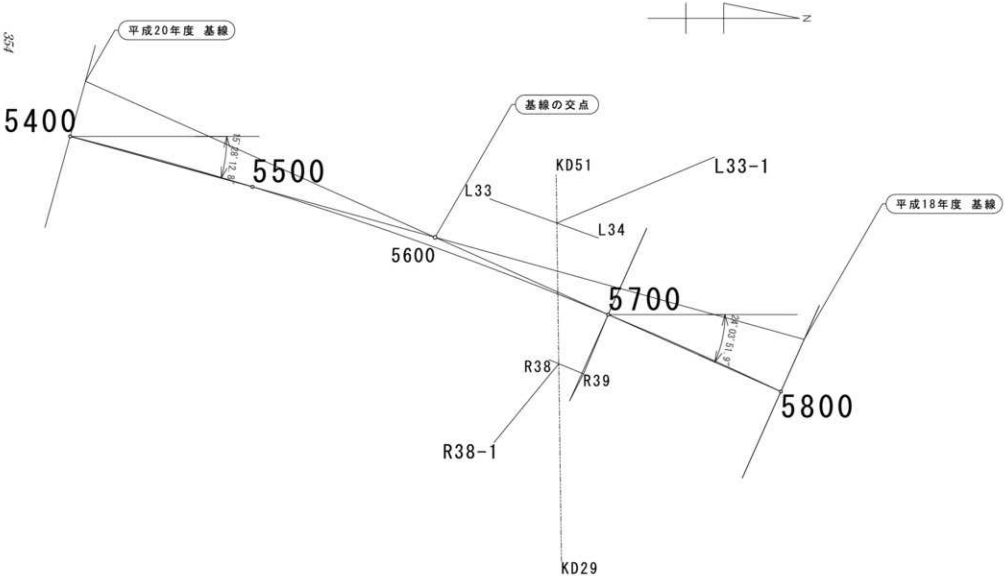
			回転座標系の計算 X'= −y·sin θ +x·cos θ Y' = x·sin θ +y·cos θ		平面直角座標（X系）世界測地系（m） X=原点+X'	Y=原点+Y'
			X'	Y'	X	Y
平成18(2006)年度 調査区 5mグリッド	与点	M−25（鶴川2遺跡）(SP 5400)	0	0	−128,903.321	−45,563.466
	グリッド杭	06−H−75	247.611	42.590	−128,655.710	−45,520.876
		06−H−65	199.422	29.253	−128,703.899	−45,534.213
		06−O−78	252.731	80.323	−128,650.590	−45,483.143
		06−O−65	190.086	62.985	−128,713.235	−45,500.481
		06−V−80	253.033	116.722	−128,650.288	−45,446.744
		06−V−65	180.751	96.717	−128,722.570	−45,466.749
	SP 付近グリッド杭	06−M−45（≒SP 5500 ?）	96.377	26.674	−128,806.944	−45,536.792
		06−N−65（≒SP 5600?）	191.420	58.166	−128,711.901	−45,505.300
平成20(2008)年度 調査区 4mグリッド	与点	M−25 (SP 5700)	0	0	−128,618.818	−45,469.183
	グリッド杭	E−14	−27.127	−47.160	−128,645.945	−45,516.343
		E−24	9.396	−30.850	−128,609.422	−45,500.033
		L−18	−23.935	−15.070	−128,642.753	−45,484.253
		L−24	−2.021	−5.283	−128,620.839	−45,474.466
		U−21	−27.658	22.695	−128,646.476	−45,446.488
		U−24	−16.701	27.588	−128,635.519	−45,441.595
	SP 付近グリッド杭	M−50（≒SP 5800 ?）	91.309	40.776	−128,527.509	−45,428.407



図Ⅸ－1　調査区接合座標図　1:1000

Ⅸ－2　工事基準杭・道路中心杭と基線設定杭の誤差計算表

杭名	種類	数値根拠	平面直角座標 (m) X	平面直角座標 (m) Y	誤差 (m) Δx	誤差 (m) Δy	備　考
L33	用地幅杭(L)	用地図 成果	−128681.435	−45530.363	—	—	与点
L34	用地幅杭(L)	用地図 成果	−128623.983	−45509.688	—	—	基図 与点
L33-1	用地幅杭(L－枝番)	用地図 成果	−128645.965	−45517.598	—	—	基図 与点
KD51	用地境界仮杭(整界点)	用地図 成果	−128,646.320	−45,543.907	—	—	L33-1の根拠となる整界点
R38	用地幅杭(R)	用地図 成果	−128650.085	−45445.276	—	—	基図 与点
R39	用地幅杭(R)	用地図 成果	−128631.901	−45437.801	—	—	基図 与点
R38-1	用地幅杭(R－枝番)	用地図 成果	−128644.96	−45443.169	—	—	基図 与点
KD29	筆界点	用地図 成果	−128643.548	−45338.608	—	—	R38-1の根拠となる整界点
SP 5400 梅川2連跨 M－25杭	道路中心杭	「測量成果簿」	−128,903.321	−45,563.466	基線：SP5400→5500 基線直線長：99.997 方向角：15°28′13″		平成18(2006)年度基線杭
SP 5500	道路中心杭	「測量成果簿」	−128,806.954	−45,536.795			SP5500 ≠ 06－M－45杭
06－M－45杭	発掘区グリッド杭(遺跡範囲外)	「座標計算」	*−128,806.944*	*−45,536.792*	*−0.010*	*−0.003*	
SP 5600	道路中心杭	「測量成果簿」	−128,712.041	−45,505.341			SP5600 ≠06－N－65杭
06－N－65杭	発掘区グリッド杭	「座標計算」	*−128,711.901*	*−45,505.300*	*−0.140*	*−0.041*	
SP 5700 平成20年度 M－25	道路中心杭	「測量成果簿」	−128,618.818	−45,469.183	基線：SP5700→5800 基線直線長：99.997 方向角：24°03′52″		平成18(2006)年度基線杭
SP 5800	道路中心杭	「測量成果簿」	−128,527.519	−45,428.411			SP5800 ≠ M－50杭
M－50杭	発掘区グリッド杭	「座標計算」	*−128,527.509*	*−45,428.407*	*−0.010*	*−0.004*	



図Ⅸ－２　調査区線形図　1:2000

魚　骨：サケ・イトウ・サメ
　　サケ属
　　コイ科・ニシン科？
貝　類：カワシンジュガイ
　　フタバシラガイ科・イガイ科？
　　巻貝類

擦文文化期の遺構からは同定可能な量は検出できず、得られたのはアイヌ文化期のものである。

ヒグマは脛骨がＵＡ－13から出土し、ヒグマの骨はアンカリトー７遺跡・美々８遺跡でも見つかっており、「熊送り」の儀礼が行われたと考える。シカはアイヌ文化期の灰集中（ＵＡ－５・６・13・41）から出土し、同期の住居跡や擦文文化期ではみられない。足・指骨が多く、近くのアンカリトー７遺跡では骨角器が出土している。食肉目は、陸上動物以外にアシカ科、アザラシ科、セイウチ科等の海棲動物も含まれるが、特定できなかった。

魚骨はサケが圧倒的に多く、コイ科もあり、擦文文化期～アイヌ文化期の他の遺跡と同様なあり方である。

貝類は、他の周辺の遺跡同様、カワシンジュガイが多い。個々の詳細な観察は行ってないが、食用にされた後、穂摘具として利用された可能性がある。魚骨のサメ・ニシン科（推定）、貝類のイガイ科（推定）・フタバシラガイ科があることから、海までの活動圏や交易があったと推測する。

また、上記以外に（エゾ）マイマイ、コウラナメクジ等の遺骸もみつかったが、これらは遺構に残った食滓を求め集まったものと考えられ、表Ⅱ－１にも記載していない。

植物遺存体

確認した動物遺存体を記す。

堅　果：サクラ・オニグルミ・クルミ・クリ・コナラ
種　子：イネ・キビ・ヒエ・アワ
　　キハダ・エゾニワトコ・マタタビ・エノキグサ・エゴマ

　　コナラ属・キイチゴ属・スゲ属・イネ属・ヒエ属・キビ属・エノコログサ属・ササ属
　　ブドウ属・クサノオウ属・ニワトコ属・タデ属・タラノキ属・モクレン属・マタタビ属
　　アカザ属・ソラマメ属・ヒシ属？・キラシンソウ属・ホタルイ属？

　　イネ科・カヤツリグサ科・シソ科・ケシ科・マメ科・ナス科・キク科・マタタビ科
　　シダ植物

栽培種では、擦文文化期は量が少ないが、竪穴住居跡ＵＨＰ－15・17からヒエ属が出土し、後者からはイネも得られた、焼土ＵＦ－１・５・７からは栽培種は出土していない。

アイヌ文化期では、平地住居跡からヒエ属が出土した。ＵＨＤ－１からはアワ・エゴマ・キビ等、ＵＨＤ－22からはイネ、ＵＨＤ－26ではアワの各栽培種が得られた。灰集中も同様で多くのものからヒエ属がみられ、ＵＡ－３からはイネ・アワ、ＵＡ－５からはイネ、ＵＡ－20からはキビ属が得られた。

試料の採取方法や同定方法を考慮して所見を述べると、両文化期では栽培種は大きく変わらないが、アイヌ文化期になるとヒエ属等、出土量が増える特徴が指摘できる。

（2）放射性炭素年代測定（ＡＭＳ）（付篇１　北埋調報238 Ⅵ章１節）

目的

遺構の年代を知り、これらの新旧の判断、および住居跡を中心に集落のあり方について考察する。

結果と評価

両年度の放射性炭素年代測定を、本遺跡の北側のアンカリトー７遺跡（北埋調報268）と南側の梅川２遺跡（北埋調報225）の結果も合わせて表Ⅸ－３にまとめた。測定結果の暦較正年代２標準偏差の最古値、確率60%以上のものを採用した。

擦文文化期は、ＵＨＰ－23が10世紀後半で最も古く、11世紀前半では古いものから、ＵＨＰ－15、ＵＨＰ－31、ＵＨＰ－17、ＵＨＤ－48である。ＵＨＰは竪穴住居跡で、平成20（2008）年度調査区の東西数字ライン39～47間にまとまっている。ＵＨＤ－48は調査時点では13世紀以降年代を予想したが、より古い測定結果であり、11世紀前半頃に、竪穴住居跡から平地式住居跡へ移行し始めたと考える。

12世紀後半は梅川２遺跡の建物跡ＵＨ－１の柱穴があり、13世紀後半では、アンカリトー７遺跡の灰集中ＵＡ－１、ＵＨＤ－16・21で、住居は概ね平面が長方形でやや大型化する。

15世紀前半はＵＨＤ－24・22・26・52・53・38・41・43・45・44・50、ＵＨ－10の多くの住居跡とアンカリトー７遺跡のＵＨ－１・９がある。祝梅川の右岸、アンカリトー７遺跡から本遺跡、梅川２遺跡まで一連の大きな集落で本遺跡の主たる時期と考える。住居は以前と同様な規模（ＵＨＤ－22等）や小さいもの（ＵＨＤ－52）もあるが、外周の柱穴数が増え、内部が推定できる柱穴がみられる大型の住居跡（ＵＨＤ－41・43・50・53等）やセム構造を持つ住居跡（ＵＨＤ－38等）がみられ多様化する。

15世紀中頃では、ＵＨＤ－14・25、ＵＨ－11、アンカリトー７遺跡のＵＨ－７がある。住居は大型のものが一般的になる。

15世紀後半では、ＵＨＤ－56、ＵＨ－10、貝殻集中、アンカリトー７遺跡のＵＨ－２・５・６があり、長方形で大型の住居跡（アンカリトー７遺跡ＵＨ－５）と、柱穴の配置が多角形状で中規模のもの（ＵＨＤ－56・アンカリトー７遺跡ＵＨ－２等）がみられる。

最新値は、19世紀前半を示す柱穴ＵＳＰ－458がある。包含層や遺構の攪乱土から、近世の肥前焼の小皿や備前焼の小瓶の破片が出土しており、遺跡はこの年代頃まで営まれた可能性がある。

以上、本遺跡の集落は、10世紀後半の擦文文化期後半から、連続してアイヌ文化期まで営まれ、15世紀代（中世）が最盛期であったと推測する。また、近世にも利用されたと考えられる。

（末光）

３．コタン跡について

平成18（2006）年・20（2008）年度合わせて約19,000㎡の発掘調査を行った結果、アイヌ文化期の集落跡（コタン跡）の存在が明らかになった。

今回の報告では、前回調査分の再検討を含めて平地住居跡27軒・建物跡21軒・送り場跡17か所などを扱ったが、年度別調査数を整理すると平成18（2006）年度は№が打たれなかった遺構も含め、平地住居跡５軒・建物跡15軒・送り場跡３か所、平成20（2008）年度は平地住居跡25軒・建物跡20軒・送り場跡17か所である。合計で平地住居跡30軒・建物跡35軒・送り場跡20か所となる。柵・柵・干し場などの施設や祭祀場を形成していたものとみられる柱穴・杭穴も、住居跡等に取り込まれたものを除いても約1,400か所が見つかっている。また、畑跡１か所や錘石・自然遺物の集積、大小様々な焼土も検出しており、総合的にコタン跡と判断できた。

表Ⅸ－３　放射性炭素年代測定一覧

調査年度	遺跡	測定番号	種別	遺構	層位・採集地点	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲	型式・時代
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91792	炭化材	UHP－23	HP－1第上層	990AD－1033AD (68.2%)	**972AD－1040AD (82.8%)**	11世紀後半～鞍文北部
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91793	炭化材	UHP－15	HP－1第上層	1007AD－1122AD (51.2%)	**1018AD－1155AD (95.4%)**	12世紀前半～鞍文北部
		IAAA-91794	炭化材		流出	1225AD－1273AD (68.2%)	1217AD－1280AD (95.4%)	
		IAAA-91795	炭化材		流出	1077AD－1133AD (68.2%)	1025AD－1186AD (95.4%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91809	炭化材	UHP－31	HP－1第上層	1063AD－1125AD (57.4%)	**1025AD－1155AD (95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91797	繊維	UHP－17	HP－1第上層	1080AD－1132AD (58.2%)	**1028AD－1155AD (95.4%)**	
		IAAA-91798	炭化材		表採(鞍鞍北)上層	1175AD－1228AD (68.2%)	1158AD－1284AD (95.4%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91822	炭化材	UHP－48	HP－1第上層	1081AD－1128AD (39.3%)	**1028AD－1158AD (95.4%)**	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6854	炭化材(ヤ)	UHP－456	層上	1040AD(36.7%)1090AD	**1040AD(95.4%)1210AD**	11世紀後半～鞍文北部
平成18年度	梅川2	PLD－6862	炭化材(ハシノキ属属)	UH－1	3SP－1 覆土	1210AD(68.2%)1255AD	**1175AD(95.4%)1265AD**	12世紀後半～鞍文北部
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6856	炭化材(コナラ節)	UHP－488	層上	1215AD(68.2%)1255AD	**1175AD(95.4%)1265AD**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91799	繊維	UHP－16	HP－2第上層	1114AD－1167AD (53.3%)	1096AD－1237AD (69.0%)	13世紀前半～アイヌ文化期
		IAAA-91796	炭化材		HP－1第上層	1206AD－1232AD (27.2%)	**1191AD－1240AD (95.4%)**	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92663**	**木炭**	**UA－1**	炭・焼土	1302AD－1329AD(27.2%)	**1295AD－1455AD(95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91799	繊維	UHP－21	HP－2第上	1111AD－1159AD (53.3%)	**1299AD－1370AD (88.7%)**	
		IAAA-91800	炭化材		HP－2第上層	1306AD－1389AD (40.0%)	1241AD－1396AD (53.9%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91810	炭化材	UHP－37	HP－1	1406AD－1435AD (68.2%)	**1391AD－1443AD (78.4%)**	14世紀後半～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91804	炭化材	UHP－24	HP－1第上層	1415AD－1437AD (68.2%)	**1402AD－1448AD (95.4%)**	15世紀前半～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91801	炭化材	UHP－22	HP－1第上層	1417AD－1446AD (68.2%)	**1408AD－1448AD (95.4%)**	
		IAAA-91802	炭化材		炭	1436AD－1462AD (68.2%)	1415AD－1474AD (95.4%)	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92662**	**木炭**	**UH－9**	HP－1(東上)	1420AD-1445AD(68.2%)	**1408AD-1461AD(95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91807	繊維	UHP－28	HP－1第上層	1445AD－1492AD (68.2%)	1436AD－1522AD (77.2%)	
		IAAA-91808	炭化材		HP－2第上層	1426AD－1448AD (68.2%)	**1411AD－1463AD (95.4%)**	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92655**	**木炭**	**UH－1**	HP－1(東)	1426AD-1452AD(68.2%)	**1411AD-1477AD(95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91834	繊維	UA－5	炭層	1429AD－1462AD (68.2%)	**1414AD－1474AD (95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91826	炭化材	UHP－52	HP－1第上	1426AD－1456AD (68.2%)	**1415AD－1485AD (95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91831	繊維	UA－5	サンプル21	1429AD－1465AD (68.2%)	**1417AD－1481AD (95.4%)**	
		IAAA-91832	繊維		炭層(1)	1374AD－1427AD (35.2%)	1340AD－1435AD (51.4%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91827	炭化種子	UHP－53	HP－1第上層	1433AD－1464AD (68.2%)	**1418AD－1481AD (93.8%)**	15世紀前半～アイヌ文化期
		IAAA-91828	炭化材		HP－2第上層	1457AD－2016AD (68.0%)	1449AD－1522AD (57.2%)	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92665**	**木炭**	**UA－2**	炭4	1434AD-1470AD(68.2%)	**1420AD-1500AD(90.6%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91811	炭化材	UHP－38	HP－1第上層	1434AD－1518AD (56.4%)	1416AD－1528AD (66.4%)	16世紀前半～アイヌ文化期
		IAAA-91812	炭化材		HP－1第	1436AD－1466AD (68.2%)	**1421AD－1488AD (92.3%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91814	炭化材	UHP－41	HP－1第	1436AD－1476AD (68.2%)	**1427AD－1515AD (88.5%)**	
		IAAA-91815	炭化材		HP－1第上層	1476AD－1522AD (37.4%)	1440AD－1610AD (98.0%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91816	繊維	UHP－43	HP－1第上層	1436AD－1461AD (68.2%)	**1428AD－1518AD (87.3%)**	
		IAAA-91817	炭化材		HP－2第上層	1535AD－1594AD (68.2%)	1517AD－1622AD (71.1%)	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6850	炭化材(コナラ節)	UH－10	HP－1・16 覆土	1435AD(68.2%)1460AD	**1420AD(95.4%)1485AD**	16世紀後半～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91820	炭化材	UHP－45	HP－1第上層	1444AD－1495AD (68.2%)	**1434AD－1521AD (83.0%)**	
		IAAA-91821	炭化材		HP－2第上	1448AD－1495AD (55.6%)	1441AD－1522AD (79.9%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91818	繊維	UHP－44	第上層	1448AD－1495AD (59.1%)	**1438AD－1522AD (78.8%)**	
		IAAA-91819	繊維		HP－1床	1473AD－1522AD (36.1%)	1461AD－1610AD (68.0%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91824	炭化材	UHP－50	HP－1第上層	1440AD－1496AD (49.1%)	1433AD－1522AD (65.3%)	
		IAAA-91825	炭化材		HP－1第上層	1448AD－1495AD (57.7%)	**1438AD－1522AD (78.8%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91837	炭化材	UA－13	炭層	1448AD－1493AD (59.1%)	**1438AD－1522AD (78.8%)**	15世紀中頃～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91840	繊維	UA－17	炭層サンプル	1455AD－1516AD (56.3%)	1448AD－1526AD (56.8%)	
		IAAA-91841	繊維		炭層サンプル	1447AD－1495AD (56.1%)	**1441AD－1523AD (71.3%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91836	繊維	UA－12	炭層	1447AD－1496AD (56.2%)	**1441AD－1523AD (72.3%)**	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6851	炭化材(コナラ節)	UH－11	3SP－3 覆土	1445AD(68.2%)1485AD	**1440AD(88.2%)1520AD**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91805	繊維	UHP－25	HP－1第上層	1449AD－1496AD (50.3%)	**1442AD－1524AD (86.4%)**	
		IAAA-91808	炭化材		HP－1第上層	1450AD－1496AD (49.0%)	1443AD－1524AD (66.1%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91790	炭化材	UHP－14	HP－1上面	1450AD－1512AD (55.4%)	**1445AD－1524AD (85.3%)**	
		IAAA-91791	炭化材		HP－1床	1467AD－1522AD (38.7%)	1441AD－1610AD (48.0%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91844	繊維	UA－20A	炭	1558AD－1631AD (41.7%)	**1485AD－1638AD (95.4%)**	
		IAAA-91845	繊維		炭	1572AD－1630AD (38.0%)	1451AD－1638AD (95.4%)	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92660**	**木炭**	**UH－7**	HP－2(東上)	1537AD-1632AD(44.4%)	**1486AD-1640AD(95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91829	繊維	UHP－56	HP－1第上層	1470AD－1522AD (37.4%)	1441AD－1610AD (48.0%)	15世紀後半～アイヌ文化期
	祝梅川上田	IAAA-91830	炭化材		HP－1床	1506AD－1603AD (31.3%)	**1472AD－1640AD (95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91838	繊維	UA－14	炭サンプル	1443AD－1489AD (63.3%)	1435AD－1522AD (80.6%)	
		IAAA-91839	繊維		炭サンプル	1506AD－1603AD (31.3%)	**1472AD－1640AD (95.4%)**	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91846	炭化材	貝塚集中	貝層	1540AD－1601AD (29.0%)	**1478AD－1643AD (95.4%)**	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92666**	**木炭**	**UA－2**	貝層(C－16)	1318AD-1394AD(53.3%)	**1481AD-1647AD(95.4%)**	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92658**	**木炭**	**UH－5**	HP－2(東)	1321AD-1391AD(53.3%)	**1467AD-1647AD(95.4%)**	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6849	炭化材(ブナ属)	UH－10	HP－3 覆土	1520AD(53.7%)1590AD	**1490AD(95.4%)1650AD**	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6852	炭化材(球子葉類)	USP－399	覆土	1520AD(54.5%)1590AD	**1490AD(95.4%)1650AD**	
平成20年度	**アンカリッジ**	**IAAA-92659**	**木炭**	**UH－6**	HP－3 覆土	1531AD-1637AD(44.3%)	**1491AD-1655AD(95.8%)**	19世紀～近現
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6855	炭化材(針葉樹)	USP－458	覆土	1885AD(42.4%)1920AD	**1810AD(74.6%)1920AD**	
平成20年度	アンカリッジ	IAAA-92656	木炭	UH－2	HP－1(東上)	1350AD-1387AD(36.9%)	1341AD－1396AD (52.0%)	14世紀中頃～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91823	炭化材	UHD－49	HP－1第上層	1365AD－1396AD (35.0%)	1350AD－1391AD(46.9%)	
平成18年度	祝梅川上田	PLD－6863	炭化材(クマ類)	USP－407	層上	1260AD(28.5%)1385AD	1350AD(46.4%)1390AD	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91833	繊維	UA－7	炭層	1405AD－1516AD (51.3%)	1447AD－1525AD (57.1%)	15世紀中頃～アイヌ文化期
平成20年度	アンカリッジ	IAAA-92661	木炭	UH－8	HP－2(東上)	1405AD-1520AD(68.2%)	1447AD-1526AD(53.8%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91835	繊維	UA－8	炭層(1)	1406AD－1518AD (68.0%)	1446AD－1526AD (55.4%)	
	祝梅川上田	IAAA-91842	繊維		炭層	1406AD－1520AD (67.0%)	1449AD－1527AD (54.1%)	
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91843	繊維	UA－18	炭層	1574AD－1627AD (35.0%)	1506AD－1635AD (61.0%)	
平成20年度	アンカリッジ	IAAA-92664	木炭	UA－2	層層(炭)－4	1402AD-1522AD(68.2%)	1400AD-1530AD(94.3%)	16世紀中頃～アイヌ文化期
平成20年度	祝梅川上田	IAAA-91813	炭化材	UHD－46	HP－1第上層(黒色土)	1472AD－1522AD (20.3%)	1440AD－1635AD (50.4%)	17世紀前半頃～アイヌ文化期
平成20年度	アンカリッジ	IAAA-92657	木炭	UH－4	HP－1(東)	1633AD-1665AD(62.2%)	1617AD-1670AD(48.1%)	

このコタンは、石狩低地帯の南端部に位置し、この低地帯を通る太平洋－日本海ルートの沿線にある。すなわち、美々越えをして石狩低地帯南端の祝梅川上流部に取り付き、北上する際に通る祝梅川・アンカリトー・オサットーの舟運ルートに接し、陸路ではこの水系に起因する低位河岸段丘に立地するのである。そのため人的物的交流が盛んで、交易者が行き交う発展的集落であった。それは出土した遺物や検出した遺構が物語っている。また道路建設による細長い調査区であったゆえ、東西の調査区外にも遺構・遺物の続く様相が見え、コタン全域の面積は祝梅川までの距離を考慮しても30,000㎡以上になると推定できる。

交易で得られたとみられる出土遺物には、工具・農具・漁獲具・建築部品や武具反故品などの鉄製品や古銭・刀装具などの銅製品、漆塗椀・ガラス玉などがあり、住居跡や送り場から顕著に発見される。わずかではあるがコメ粒も炉跡や送り場から検出されている。出土した鉄製農具で農作業を行ったと推定される畑跡も検出している。また、鎧小札や鋲留板物甲片といった武具反故品は、交流によるアイヌと和人の両文化の接触によるものか、まとまった特殊な出土状況を呈している。これらと共存して錘石・木工品・金属再利用品などの自家製品や、獣骨・魚骨・貝殻・種子などの食料系自然遺物が出土する。

このコタンの時期と継続性は、① 調査時の層序認定や、② 遺構の重複・近接関係、あるいは、③ 大小平地住居の組み合わせや、④ 倉庫・送り場等の付属関係、⑤ 平地住居軸方向の統計、⑥ 前項で取りまとめた放射性炭素年代測定から、14世紀～16世紀前半に想定され、15世紀を盛行期としておよそ150～200年間にわたって営まれたと捉えることができる。

①は当該期遺構がⅢ層を削り込んだ位置にあることや柱穴にＴａ－ａテフラの混入がみられないことから、上層のＴａ－ａ層の降下年1739年よりも200年は遡るとみられたこと。②からは平地住居跡等の各項で示したＵＨＤ－36・40・60などの敷地重複や、ＵＨＤ－24・25とＵＨ－30 、ＵＨＤ・ＵＨ－43～48・50～53・55・57・58などの敷地重複・近接の状況から敷世代にわたる営みが想定できる。③はＵＨＤ－13と14や、53と22、41と48などのような同じ軸方向を持つ大小平地住居の存在が、コタンの継続性を示すものと捉えられること。④も平地住居跡等の各項で示した平地住居と付属する倉庫・送り場等の関係や、他遺構との重複・近接から幾世代かにわたる状況を見て取れることがある。また大型の倉庫とみられる建物や大型の送り場の存在は、コタンが共同生活体として存在することを示している。⑤は30軒の平地住居と長軸方向が北方向を基準として、西へ最大89°、東へ最大55°、振れ幅144°の範囲にあり、６通りほどに分類収束できることである。コタン内の住居が同じ時期に同じような方向を向くものとすれば、新築・修理・廃用を繰り返して６～７世代にわたるコタンが形成されていたとみることができる。⑥は、②～⑤の内容とは必ずしも一致しない状況であるが、前項のとおり数世代にわたるコタンの継続を表しているものと考える。

遺構の状況では、畑跡の発見と畑に隣接する住居ＵＨＤ－38に作業スペースと捉えられる入口小屋（セム）構造が付随することは重要な発見であった。鉄製品や錘石などの道具が住居の入口付近コーナーに置かれていたＵＨＤ－40・43のような例や、ＵＨＤ－26・28・41・43・50・53などのように全体や一部で住居の内部構造を検出できたことも、住居建物の構成や構造を検証する上で意義深い。住居や檻様の小型４本柱建物は差し込み柱を基本とし、倉庫とみられる建物は掘立柱・掘り差し柱が主であるものの差し込み柱も使われるなど、建築方法を見据えた柱の立て方も以後の検討課題である。

今後これらの要素がどう組み合わされ細分・検討されるのかで、このコタン跡の発展終息の時期と継続のありかた、交易活動を含めた人々の生活の状況が明かされることになろう。畝立てした畑の存在や、武具反故品の撒布とみられる状況、金属製品の普及、集落跡としては枚数の多い古銭の出土、

コメ粒の出土など、調査した遺構・遺物・動植物遺存体から、交易や農耕・祭祀の面で本州文化との関係を検討する素地が生まれたことも、日本史における中世段階から存在した「シュクバイコタン」を認識できた大きな意義である。

（三浦）

付　　篇

自然科学的手法による分析結果

1．平成18（2006）年度 水洗選別微細遺物について

中村　賢太郎（パレオ・ラボ）
動物遺体：樋泉　岳二（早稲田大学）
貝類同定：黒住耐二氏（千葉県立中央博物館）
植物遺体：佐々木由香（パレオ・ラボ）
植物遺体：パンダリ スダルシャン（パレオ・ラボ）

（1）選別作業の概要

祝梅川上田遺跡のⅢ層、擦文文化期からアイヌ文化期の遺構の土壌は水洗選別が行われた。これら選別試料により回収された微細遺物について報告する。

遺構は平地住居跡、焼土、灰集中、柱穴等で、これらの土壌試料は「番号１～82」（82単位）である。水洗作業は㈶北海道埋蔵文化財センターにより行なわれ、浮遊した試料（浮遊物）は2.0ｍｍメッシュと0.425㎜メッシュ、沈降した試料（残渣）は1.41㎜メッシュで回収された。微細遺物は浮遊物試料と残渣から回収し、肉眼および実体顕微鏡下で観察を行なった。

（2）人工遺物

残渣から鉄片と石片が検出され、浮遊物ではみられなかった。

石片は人為的なものを判別し、抽出基準は二面以上の剥離面があり、かつ剥離面間の稜が明瞭なものとし、大きさは最大長１㎝以上と１㎝未満に区別した。それぞれ計数を行い、結果を表１・２にまとめた。表１は試料単位での集計結果を示し、表２では遺構ごとに集計し報告書（北埋調報238）の内容と照合した。

鉄片は、アイヌ文化期のＵＨ－４の炉跡ＨＦ－１から２点、同ＵＨ－１の灰集中ＨＡ－１から１点、計３点が検出された。前者からは平面が三角形を呈する板状の鉄片（20×13㎜）が回収された。

石片は、最大長１㎝以上のものがアイヌ文化期のＵＨ－２の炉跡ＨＦ－１から１点、同ＵＨ－１ＨＡ－１周辺から１点、計２点が検出された。最大長１㎝未満の石片はＵＨ、ＵＦ、ＵＡ等から計63点である。石片の約半数は赤色化が見られ、被熱していると考えられる。石片の石材は泥岩や安山岩が多い。

鉄片は鉄製品の破片と考えられ、石片は、被熱していることから人為的なものであろう。

表１　水洗選別試料中の微細遺物（１）

No.	遺構名	時期	処理番号	試料重量(g)	鉄片	石片 1㎝≦	石片 1㎝＞	備考
1	UA-1	アイヌ文化期?	1	195				
2	UA-1	アイヌ文化期?	2	160				
3	UA-1	アイヌ文化期?	6	291				
4	UA-2	アイヌ文化期?	26	260			1	
5	UA-2	アイヌ文化期?	19	100				
6	UA-3	アイヌ文化期?	59	200				
7	UA-3	アイヌ文化期?	60	340			1	
8	UA-4	擦文文化期	20	28				
9	UA-4	擦文文化期	23	41				
10	UF-1	擦文文化期	27	374				

表１　水洗選別試料中の微細遺物（２）

No.	遺構名	時期	処理番号	試料重量(g)	鉄片	石片 1cm≦	石片 1cm＞	備考
11	UF-1	擦文文化期	28	312				
12	UF-1	擦文文化期	29	301				
13	UF-1	擦文文化期	30	385			1	
14	UF-1	擦文文化期	58	1085				
15	UF-2	アイヌ文化期?	64	705			2	
16	UF-2	アイヌ文化期?	65	599			2	
17	UF-3	アイヌ文化期?	66	122			1	
18	UF-4	アイヌ文化期?	14	782				
19	UF-4	アイヌ文化期?	15	464				
20	UF-4	アイヌ文化期?	16	596			2	
21	UF-4	アイヌ文化期?	17	530				
22	UF-5	擦文文化期	18	382				
23	UF-6	アイヌ文化期?	67	589			3	
24	UF-7	擦文文化期	21	48				
25	UF-7	擦文文化期	25	106				
26	UF-8	不明	24	49				
27	UF-8 骨片集中-1	不明	22	68				
28	UF-9	不明	73	295				
29	UF-9	不明	78	60				
30	UF-10	不明	74	201				
31	UF-10	不明	79	87				
32	UF-12	アイヌ文化期?	75	175			2	
33	UF-13	アイヌ文化期?	68	1580			5	
34	UF-13	アイヌ文化期?	69	2170				
35	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	7	662				
36	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	8	142				
37	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	9	110				
38	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	10	180				
39	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	11	171				
40	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	12	183				
41	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	13	385				
42	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	31	319			4	
43	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	32	160				
44	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	33	105				
45	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	34	246				
46	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	35	289	1			

表１　水洗選別試料中の微細遺物（３）

No.	遺構名	時期	処理番号	試料重量(g)	鉄片	石片 1cm≦	石片 1cm＞	備考
47	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	36	326				
48	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	37	118				
49	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	38	184				
50	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	39	215			2	
51	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	40	228			1	
52	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	41	—			1	
53	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	42	113				
54	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	43	253				
55	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	44	229			1	
56	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	45	152			1	
57	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	46	235				
58	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	55	260				
59	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	56	215				
60	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	57	265			1	
61	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	47	421			1	
62	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	48	532			2	
63	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	49	400		1		
64	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	50	368			1	
65	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	51	397				
66	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	52	560			1	
67	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	53	494				
68	UH-1 HA-1周辺	アイヌ文化期	54	455				
69	UH-1 HSP-1 覆土1層	アイヌ文化期	61	1125			6	
70	UH-2 HF-1	アイヌ文化期	5	651			8	
71	UH-2 HF-1	アイヌ文化期	62	920			2	
72	UH-2 HF-1	アイヌ文化期	63	1162		1	1	
73	UH-2 HF-2	アイヌ文化期	3	160				
74	UH-2 HF-2	アイヌ文化期	4	2093				
75	UH-4 HF-1	アイヌ文化期	70	210			1	
76	UH-4 HF-1	アイヌ文化期	71	390	2		7	三角形板状鉄片(20×13mm)あり
77	UH-5 HF-1	アイヌ文化期	72	62				
78	UH-6 HF-1	アイヌ文化期	80	55			1	
79	UH-7 HSP-7 覆土1層	アイヌ文化期	76	245			1	
80	UH-10 HF-1	アイヌ文化期	77	610				
81	UH-10 HF-1	アイヌ文化期	81	240				
82	UH-10 HF-1	アイヌ文化期	82	60				

表２　微細遺物の遺構別集計

遺構名	時期	試料重量(g)	鉄片	石片 1cm≦	石片 1cm＞	遺構出土遺物(北埋調報238 より)
UF-1	擦文文化期	2457			1	Ⅲ層から擦文土器片と礫
UH-2 HF-1	アイヌ文化期	2733		1	11	鉄鍋,角釘,すり石,礫器
UH-4 HF-1		600	2		8	鉄鍋,板状鉄製品,加工鉄製品,棒状礫
UH-1 HA-1		5745	1		11	鉄製品,たたき石,礫,包含層から被熱礫
UH-1 HA-1周辺		3627		1	5	
UH-1 HSP-1 覆土1層		1125			6	
UH-6 HF-1		55			1	—
UH-7 HSP-7 覆土1層		245			1	礫
UA-2	アイヌ文化期?	360			1	—
UA-3		540			1	—
UF-2		1304			4	—
UF-3		122			1	—
UF-4		2372			2	礫,Ⅲ層から擦文土器片と礫
UF-6		589			3	礫
UF-12		175			2	—
UF-13		3750			5	—

（３）動物遺体同定

試料は、現場採集試料と水洗選別試料で、前者は動物遺体として取り上げられた試料「Ｐ１～Ｐ10」（10単位）である。後者は水洗選別により得られた動物遺体で、試料数は「１～82」（82単位）である。

動物遺体は、沈降物（残渣）から多数の微小骨片（おもに魚骨）と貝類遺体が検出された。浮遊物（2.0mm・0.425mm）からは殻の大きさが数mmほどの陸産巻貝が多数検出された。

沈降物のサケ類の椎骨破片は、夥しい数の微小骨片が含まれていたので、抽出された骨片を再度2.0mmメッシュで篩い、2.0mm以上のものを同定した。その他はすべて対象とした。浮遊物検出の微小貝類は量を定性的に記録した。

同定は現生標本と比較し行なった。魚類遺体のうち産出数の多いサケ属の歯と椎骨およびコイ科椎骨は、これらが多く出土した遺構の試料を焼骨とそうでないものを計数し、量比を記録した。

表３に現場採集試料の結果、表４に水洗選別試料の同定結果、表５に水洗選別試料の遺構別集計、表６に焼骨の量比を示す。

貝類はイガイ科?、フタバシラガイ科、カワシンジュガイ、エゾマイマイ、コウラナメクジ類（広義のコウラナメクジ科）の五分類群、魚類はニシン科?、サケ属、コイ科（ウグイの可能性あり）の三分類群、哺乳類はハタネズミ亜科、食肉目、シカの三分類群が確認された。

以下、特徴を述べる。

1．　擦文文化期の遺構では動物遺体が極めて少なく、アイヌ文化期の遺構では全体的に動物遺体の検出量が多い。特にＵＨ－１　ＨＡ－１とＵＨ－１　ＨＡ－１周辺、ＵＨ－２　ＨＦ－１、ＵＨ－４　ＨＦ－１、アイヌ文化期と推測されたＵＡ－１とＵＡ－３でも骨類(おもに魚骨)が多く産出している。またＵＨ－１　ＨＡ－１とＵＨ－１　ＨＡ－１周辺、ＵＡ－１では貝類も多い。

2．　動物骨の大半は魚骨であり、獣骨（とくにシカなどの大型種）がきわめて少ない。

3．　魚骨の内容はサケ属が大半を占め、次いでコイ科（ウグイの可能性あり）が多い。

4．　魚骨の産出量が多いUH－2　HF－1、UH－4　HF－1、UH－1　HA－1、UA－1、UA－3で、サケ属の歯・椎骨およびコイ科椎骨を対象とし焼骨の割合を算出したところ、遺構・種類・部位による差がみられた。サケ属の歯と椎骨は、UH－2　HF－1やUA－3ではほとんどが焼けているが、UA－1やUH－1　HA－1では焼けていないものが多い。サケ属の歯と椎骨では、全般的に歯の方が焼骨の割合が高い。UH－1　HA－1のサケ属椎骨とコイ科椎骨では、コイ科椎骨の焼骨の割合が高い。

5．　貝類遺体は、UH－1　HA－1とUH－1　HA－1周辺でコウラナメクジ類の殻とエゾマイマイが、UA－1でカワシンジュガイの貝殻破片が多数検出されている。特筆されるのは、UH－1　HA－1とその周辺から集中して検出されたコウラナメクジ類の殻である。ここで「コウラナメクジ類」としたものは広義のコウラナメクジ科（コウラナメクジ科 Limacidaeまたはノナメクジ科Agriolimacidae）で、体内に小型の痕跡的な貝殻をもつ。ナメクジ類の遺跡からの産出は、国内では初例と思われる。

6．　微小な陸産巻貝は、UH－1　HA－1、UA－1、UA－2に特に多く検出されている。それらに次いでUH－1　HA－1周辺、UA－3に多い。その他、UA－4、UH－2　HF－1、UH－2　HF－2、UH－4　HF－1、UH－5　HF－1、UH－1　HPS－7覆土1層、UH－10　HF－1に若干見られた。

表3　現場採集試料同定結果

No.	遺構名	時期	試料名	魚骨	カワシンジュガイ破片	カワシンジュガイ類?破片	エゾマイマイ殻頂	エゾマイマイ体層破片	エゾマイマイ臍	エゾマイマイ殻口破片	備考
P1	UA-1	アイヌ文化期?	UA-1-1	○							
P2			UA-1-3	○							
P3			UA-1-4	○							
P4			UA-1-5		2	70<					カワシンジュガイ破片は比較的大型
P5			UA-1-6			12					
P6			UA-1-7			14					
P7	HA-1	不明	HA-1-1					28	1		
P8	UH-1 HA-1	アイヌ文化期	UH-1 HA-1-6			100<					カワシンジュガイ類?破片は殻皮あり，1個体に由来?
P9			UH-1 HA-1-8				1	58	2		エゾマイマイ殻頂内に植物根
P10			UH-1 HA-1-9					40	1	1	

○:有

表6　焼骨の割合

遺構名	時期	サケ属歯			サケ属椎骨			コイ科椎骨			備考
		非焼骨	焼骨	焼骨の割合(%)	非焼骨	焼骨	焼骨の割合(%)	非焼骨	焼骨	焼骨の割合(%)	
UH-2 HF-1	アイヌ文化期	0	39	100	1	47	98	0	0	—	処理番号62
UH-4 HF-1	アイヌ文化期	5	44	90	22	74	77	0	1	—	処理番号71
UH-1 HA-1	アイヌ文化期	22	233	91	106	179	63	6	73	92	処理番号31, 34, 35, 38, 39, 40, 41, 56, 57
UA-1	アイヌ文化期?	3	18	86	42	40	49	0	1	—	処理番号1
UA-3	アイヌ文化期?	0	76	100	10	160	94	0	11	100	処理番号60

表４　水洗選別試料同定結果

| No. | 遺構名 | 時期 | 試料重量（ｇ） | 貝類 | | |

表７－１　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（括弧は破片を示す）

		溝-1	溝-2			溝-3						溝-4							
		No. 4	No. 6	No. 10	No. 16	No. 28	No. 30	No. 32	No. 34	No. 36	No. 38	No. 40	No. 42	No. 44	No. 46	No. 48	No. 50	No. 52	No. 54
分類群	部位	アイヌ文化期								縄文文化期							アイヌ文化期		
オニグルミ	炭化核						(4)						(2)						
クリ	炭化子葉						(4)												
ツチ属＋ケヤキ属属？	炭化子葉										(4)		(4)						
ザルガシ	種子															(1)			
ブドウ属	炭化種子							1											
タラノキ	核	1 (1)			(1)														
ニワトコ属	核										1							(1)	
	炭化核													1					
イヌタデ	果実	1																	
アカザ属	炭化種子	(1)						1					3			1	(1)	2 (1)	1
ウラジロ属	炭化種子											3 (2)							
ヤナギ科	炭化種子								1	2									
キランソウ属	炭化果実		2										1						
ヒエ	炭化種子						(2)												
アワ	炭化種子						1									1			
スゲ属	果実																		
ホタルイ属？	炭化果実		3							2									
ギボウシ	炭化果実																		
ギボウシ	炭化種子	(1)																	
ギボウシ	炭化核		(1)																
ギボウシ	炭化種子								1										
ギボウシ	炭化果実									1									
ギボウシ	炭化種子										1								1
ギボウシ	炭化核												1						
ギボウシ	炭化種子													(2)					
ギボウシ	炭化核																		1 (1)
国定不能	炭化種子	(1)				(2)	(6)	(1)	(3)	2 (1)		(1)	(4)						
不明	種実															(1)			
不明	炭化子						(1)		2	10		3	4				2	1	3
虫えい							1			(2)				(2)				2	3
土壌量	炭化子葉	2	1				1	(1)				5	5	13		2			

表７－２　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（括弧は破片を示す）

		溝-3	溝-4	溝-7	溝-8	溝-9-1				溝-10-1			
		No. 54	No. 57	No. 59	No. 61	No. 63	No. 7	No. 9	No. 9	No. 11	No. 11	No. 13	No. 13
部位	分類群	縄文文化期	アイヌ文化期	縄文文化期	不明				アイヌ文化期				
オニグルミ	炭化核		(3)					(4)	(2)	(3)		(8)	
キハダ	炭化種子											1	
ブドウ属	炭化種子										1		
アカザ属	炭化種子		2 (1)		3		1						
ミヒ属？	炭化果実	(16)											
ケラマツ属	炭化果実						2		2				
キビ	炭化種子								1				
アワ	炭化種子								1			(2)	
ムギ属＋	果実				9					1	1		
ムギ属＋	炭化頴果											(1)	
不明種子	炭化種子									(1)			
不明	炭化核								(1)				
不明	炭化種子												(1)
国定不能	炭化種子		(1)					(3)		(1)		1	
芽	炭化芽	2							1				
虫えい			(1)					(4)				2	
土壌量	炭化子葉		6	1		1	3 (1)	(2)					

表７－３　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（括弧は破片を示す）

		溝-11-1															
		No. 31	No. 32	No. 33	No. 34	No. 36	No. 38	No. 39	No. 41	No. 43	No. 45	No. 47	No. 49	No. 51	No. 53	No. 55	No. 57
部位	分類群	アイヌ文化期															
オニグルミ	炭化核	(34)	(7)	(1)	(14)	(2)		(10)		(3)	(4)	(3)	(20)		(10)		(2)
イヌエンジュ	炭化子葉		(3)												(1)		1
キハダ	炭化種子																
アカザ属	炭化種子																2 (2)
タラノキ	核					(6 (3))											
ニワトコ属	核							1									
	炭化核									1							
アカザ属	炭化種子												1				
ヤブタデ	炭化種子									(1)							
ヒメタデ	炭化種子																
キランソウ属	炭化果実	1	1		2	3	6	3			4	3	1			4	
キビ	炭化種子			1											2		
アワ	炭化種子	6		4	(6)		1	1	1	1		1		1			(2)
アワ＋キビ	炭化種子																
イネ科	炭化果実						1										
スゲ属	果実					1		1			2	2					
	炭化果実					1											
不明1	炭化種実								1								
不明2	炭化種実												1				
不明3	炭化種実					1						1				1	
不明	炭化種実							(1)									
国定不能	炭化種実	(1)		(3)	(2)			(2)		(1)	(3)	(6)	(3)		(8)		(4)
芽	炭化芽					2									1		
虫えい						1		1 (1)			1						
土壌量	炭化子葉	4				1		2 (2)				1			3		

表７－４　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（括弧は破片を示す）

		No. 64	No. 66	No. 68	No. 67	No. 69	No. 49	No. 50	No. 51	No. 52	No. 54	No. 56	No. 58	No. 60	No. 62	No. 64	No. 66
部位	分類群	アイヌ文化期															
オニグルミ	炭化核	(3)	(12)		(3)		(1)	(4)	(3)	(4)	(4)	(12)	(2)				
クリ	炭化子葉														1		
タラノキ	核	1					19 (1)	1 (1)				1 (1)					
アワ属	炭化果実											1					
ハコベ属	果実									1							
アカザ属	炭化種子					1		2									
キランソウ属	炭化果実	1		3		1	3	2			3	11	1				
アワ	炭化種子		1					1				2 (1)					
キビ	炭化種子								1						1		
アワ＋キビ	炭化種子														2 (2)		
スゲ属	果実	1		1	1	1	2	3			2	2	2		1		
	炭化果実				1				1								
カヤツリグサ科	炭化種実							1									
不明1	炭化種実											1					
不明2	炭化種実	2								7 (2)	1						
不明3	炭化種実				1												
不明	炭化種実															(1)	
国定不能	炭化種実	(6)			(3)		(1)		(3)	2 (26)	(14)	18 (16)		8 (12)			
芽	炭化芽				1		(7)		1			(5)					
土壌量	炭化子葉	1					4	2	19	1		8					

表７－５　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（括弧は破片を示す）

		溝-11	溝-11	溝-11		溝-9	溝-9	溝-9	溝-9	溝-9	溝-9	溝-9	溝-9
		No. 67	No. 69	No. 71		No. 1	No. 1	No. 1	No. 1	No. 1	No. 1	No. 1	No. 1
分類群	部位	アイヌ文化期											
オニグルミ	炭化核	(1)	(2)					(1)			(1)	(2)	
イヌエンジュ	炭化子葉	(1)											
クリ	炭化子葉						(7)						
キイチゴ属	炭化核		1										
ブドウ属	炭化種子										(3)	1	
タラノキ	核		1										
ニワトコ属	炭化核		1										
ヤブタデ	炭化種子												
ヤブタデ・オオイヌタデ	炭化種子	1											
アカザ属	炭化種子	13								1			
キランソウ属	炭化果実	(2)											
ホゴウ	炭化果実	1											
キビ	炭化果実	2											
アワ	炭化種子	8					2						
スゲ属	果実		3										
	炭化果実	1											
不明1	炭化種実		1										
不明2	炭化種実	(3)	(6)	(2)									
虫えい									2				
土壌量	炭化子葉	8	2			1	1 (1)						

（4）大型植物遺体

水洗選別で回収された種実を主体とする大型植物遺体を同定し、利用された植物や古植生について検討した。

同定結果を試料番号別に表７－１～５に示す。ただし、炭化種実または虫えい、子嚢菌等が全く得られなかった試料番号は表からは除いてある。

木本植物ではオニグルミ炭化核と、クリ炭化子葉（？を含む）、コナラ属コナラ亜属？、炭化子葉、クリーコナラ属炭化子葉、キイチゴ属炭化核、キハダ炭化種子、ブドウ属炭化種子、ニワトコ属炭化核の八分類群、草本植物では、タデ属炭化果実、アカザ属炭化種子、ソラマメ属炭化種子、マメ科炭化種子、エノキグサ炭化種子、ヒシ属？炭化果実、キランソウ属炭化果実、エゴマ炭化果実、イネ炭化種子、キビ炭化果実、アワ炭化種子、イネ科炭化果実、スゲ属炭化果実、ホタルイ属？炭化果実、カヤツリグサ科炭化種実、ユリ科？炭化鱗茎の十六分類群が得られた。

この他にシダ植物炭化羽片、科以下の同定ができなかった不明ＡからＯの炭化種実または炭化核と、炭化芽、虫えい、子のう菌が見いだされた。これら以外に未炭化のサルナシ種子と、タラノキ核、ニワトコ属核、イヌタデ果実、サナエタデーオオイヌタデ果実、ハコベ属種子、スゲ属果実、不明果実が得られたが、遺跡の立地から当時の生の種実は残存しないと判断されるため、現生種実と考えられ表に示すのみとした。

以下に時期別・遺構別に炭化種実の産出状況を概観する（未炭化の種実と不明炭化種実、同定不能炭化種実、炭化芽、植物以外は除く）。

・［擦文文化期］

ＵＦ－１：オニグルミと、コナラ亜属？、ニワトコ属、アカザ属、ソラマメ属、マメ科、キランソウ属、ホタルイ属？がわずかに得られた。

ＵＦ－５：ヒシ属？がわずかに得られた。

ＵＦ－７：アカザ属がわずかに得られた。

・［アイヌ文化期 平地住居跡］

ＵＨ－１ ＨＡ－１：オニグルミと、キランソウ属、アワがやや多く、クリ（？を含む）、キハダ、ブドウ属、ニワトコ属、タデ属、アカザ属、エノキグサ、エゴマ、キビ、アワーキビ、イネ科、スゲ属、カヤツリグサ科、ユリ科？、シダ植物がわずかに得られた。

ＵＨ－１ ＨＳＰ－１：アカザ属がやや多く、オニグルミ、キイチゴ属、ニワトコ属がわずかに得られた。

ＵＨ－２ ＨＦ－１：オニグルミ、クリーコナラ属、タデ属、アワがわずかに得られた。

ＵＨ－２ ＨＦ－２：同定可能な植物は得られなかった。

ＵＨ－４ ＨＦ－１：オニグルミ、ブドウ属、アカザ属がわずかに得られた。

ＵＨ－５ ＨＦ－１：オニグルミとブドウ属がわずかに得られた。

・［アイヌ文化期と考えられる遺構］

ＵＡ－１：アカザ属とキランソウ属がわずかに得られた。

ＵＡ－２：同定可能な植物は得られなかった。

ＵＡ－３：オニグルミ、クリ？、ブドウ属、アカザ属、イネ、アワがわずかに得られた。

ＵＦ－４：アカザ属、アワがわずかに得られた。

ＵＦ－６：オニグルミがわずかに得られた。

・［時期不明の遺構］

ＵＦ－８：アカザ属がわずかに得られた。

以下に主要な炭化種実遺体の記載を行い、また図版に写真を示して同定の根拠とする。

（１）オニグルミ　*Juglans ailanthifolia* Carr.　炭化核　クルミ科

破片であるが、完形ならば側面観は広卵形。壁は緻密で硬く、ときどき空隙がある。表面に縦方向の縫合線があり、浅い溝と凹凸が不規則に入る。割れている破断面は角が尖るものが多い。最大で残存長14.9㎜、残存幅10.1㎜程度。

（２）クリ　*Castanea crenata Sieb.* et Zucc.　炭化子葉　ブナ科

側面は広卵形。表面縦方向にしわ状の溝が一面にある。しわ以外の面は平坦でやや光沢があり、硬質。長さ7.4㎜、幅7.0㎜程度といずれもごく小さい。破片はクリ？とした。

（３）コナラ属コナラ亜属？　*Quercus subgen. Lepidobalanopsis?*　炭化子葉　ブナ科

側面観は広卵形。先端は突出する。表面は平滑であることから、コナラ属以外の種の可能性も残る。半割れのものは断面内部が凹む。長さ12.0㎜、幅10.5㎜程度と小さい。

（４）キイチゴ属　*Rubus* sp.　炭化核　バラ科

上面観は幅広の両凸レンズ形、側面観は先端が湾曲した腎形。表面には不定形な多角形状の稜による網目模様がある。長さ2.0㎜、幅1.5㎜。

（５）キハダ　*Phellodendron amurense* Rupr.　炭化種子　ミカン科

上面観は両凸レンズ形、側面観は三日月形。表面に亀甲状で大きさのやや揃った網目模様がある。壁は厚く硬い。長さ4.5㎜、幅2.6㎜。

（６）ブドウ属　*Vitis* spp.　炭化種子　ブドウ科

上面観は楕円形、側面観は先端が尖る卵形。背面に中央もしくは基部寄りに匙状の着点があり、腹面は縦方向に２本の深い溝がある。種皮は薄く硬い。長さ3.6㎜、幅3.0㎜。

（７）ニワトコ属　*Sambucus* spp.　炭化核　スイカズラ科

上面観は扁平、側面観は倒卵形で基部が尖る。基部に小さな着点があり、縦方向にやや反る。波状の凹凸が横方向に走る。長さ2.0㎜、幅1.5㎜程度。

（８）タデ属　*Polygonum* spp.　炭化果実　タデ科

上面観は円形、側面観は卵形。先端は突出する。下端にはやや突出した楕円形の大きな着点がある。表面は平滑。長さ1.6㎜、幅1.3㎜。

（９）アカザ属　*Chenopodium* spp.　炭化種子　アカザ科

上面観はやや扁平、側面観は円形。種皮は強い光沢があり、硬い。着点の一端がやや突起し、中心部方向にむかって浅い溝がある。長さ1.2㎜、幅1.1㎜。

（10）ソラマメ属　*Vicia* spp.　炭化種子　マメ科

いびつな球形で、へそは長楕円形、ほぼ全長の長さがある。表面は平滑。長さ3.2㎜、幅3.2㎜。ヤハズエンドウなどの野生種に近いが、へそが残存しておらず、属までの同定にとどめた。

（11）マメ科　*Leguminosae* spp.　炭化種子

破片であるが上面観・側面観は楕円形か。楕円形で扁平な小さなへそがある。発泡しており、状態が悪い。長さ2.4㎜、幅1.8㎜。

（12）エノキグサ　*Acalypha australis* L.　炭化種子　トウダイグサ科

上面観は円形、側面観は倒卵形。表面には細かい網目模様があり、光沢がなくざらつく。種皮の断面は柵状で薄く硬い。残存長1.4㎜、幅1.1㎜程度。

(13) ヒシ属？　*Trapa* sp.？　炭化果実　ヒシ科

ほとんどが破片であり（各破片の最大径は3.5㎜程度）、角（おそらく上位角）の部分が含まれた。その他は、微細であることもあり、どこの部位かは不明であった。角が太く短く、角の先端が小さく突出することが多い。微細な破片のため、外形の推定は難しい。表面はざらつき、ゆがんでいる個体が多い。ただしヒシ属にしては壁が薄いため、ヒシ属？とした。

(14) キランソウ属　*Ajuga* sp.　炭化果実　シソ科

上面観は円形、側面観は楕円形。腹面に大きな着点を持ち、その周囲は畝状に隆起する。表面には網目模様がある。長さ2.0㎜、幅1.0㎜。

(15) エゴマ　P*erilla frutescens* var. *frutescens*　炭化果実　シソ科

いびつな球形。端部に着点がある。表面には不規則で多角形の浅い網目模様がある。網目部分はわずかに凹む。発泡している個体は着点が突出し、内部は空洞。長さ2.2㎜、幅1.8㎜。

(16) イネ　*Oryza sativa* L.　炭化種子　イネ科

上面観は両凸レンズ形、側面観は楕円形。一端に胚が脱落した凹みがあり、両面に中央がやや盛り上がる縦方向の２本の浅い溝がある。残存長4.0㎜、幅3.0㎜程度。

(17) キビ　*Panicum miliaceum* L.　炭化種子　イネ科

側面観は卵形で先端が窄まってやや尖り気味となる。断面は片凸レンズ形で厚みがある。胚の長さは全長の１／２程度と短い。胚は幅が広いうちわ型。長さ1.9㎜、幅1.9㎜。

(18) アワ　*Setaria italica* Beauv.　炭化種子　イネ科

上面観は楕円形、側面観は円形に近く、先端がやや突出することがある。腹面下端中央の窪んだ位置に細長い楕円形の胚があり、長さは全長の２／３程度。長さ1.6㎜、幅1.6㎜。

(19) イネ科　Gramineae sp.　炭化種子

上面観は両凸レンズ形、側面観は先端が尖る卵形。表面は平滑。胚の形状が不明のため、属以下の同定ができなかった。長さ1.7㎜、幅1.0㎜。

(20) スゲ属　*Carex* spp.　炭化果実　カヤツリグサ科

側面観は両端が突出する楕円形で、断面観は３稜形。縦方向に浅い筋がある。長さ1.8㎜、幅1.0㎜。

(21) ホタルイ属？　*Scirpus* spp.？　炭化果実　カヤツリグサ科

上面観は両凸レンズ形、側面観は短倒卵形。頂部が尖り、基部は狭まって着点がある。壁は硬い。光沢がある。発泡しており、裂けて種子がでている形状を呈する。長さ2.5㎜、幅1.8㎜程度。

(22) カヤツリグサ科　Cyperaceae sp.　炭化果実

上面観は両凸レンズ形、側面観は倒卵形だがゆがんでいる。先端が太くやや突出する。表面は平滑で硬く、光沢がある。長さ1.7㎜、幅1.1㎜。

(23) ユリ科？　Liliaceae sp.？　炭化鱗茎

残存が悪いが元の形状は球形と想定される。鱗片葉が密に層状に重なることからユリ科の鱗茎に類似する。残存長4.1㎜、残存幅3.7㎜。

(24) シダ植物　Fern　炭化羽片

鋸歯はなく全縁か。葉脈ははっきりとみえない。形状からシダ植物としたが、科以下の同定はできなかった。数枚が不規則方向に重なっていると思われる。残存長7.2㎜、残存幅4.2㎜。

(25) 不明Ａ　Unknown A　炭化種実

破片で元々の側面観は卵形か。表面は微細なクラックが多数あり、下端に大きな着点？がみえる。科以下の同定はできなかった。長さ2.8㎜、幅2.4㎜。

(26) 不明B　Unknown　B　炭化種実

破片で元々の側面観は倒卵形か。表面は平滑だが、緩やかな縦方向の稜線が何条かみえる。着点は突出する。科以下の同定はできなかった。残存長2.5㎜、残存幅2.1㎜。

(27) 不明C　Unknown　C　炭化核

完形だが、発泡しているか。上面観・側面観は楕円形で、表面は平滑。科以下の同定はできなかった。長さ3.3㎜、幅2.6㎜。

(28) 不明D　Unknown　D　炭化種実

球形。先端は尖る。壁が厚い。表面に微細な凹凸があるが、表面構造なのかは不明。科以下の同定はできなかった。長さ2.5㎜、幅2.2㎜。

(29) 不明E　Unknown　E　炭化種実

上面観は円形、側面観は狭卵形。表面は縦方向に浅い溝が複数本ある。光沢がややある。科以下の同定はできなかった。長さ1.7㎜、幅1.1㎜。

(30) 不明F　Unknown　F　炭化種実

上面観は円形、側面観は長楕円形。先端が尖る。表面は光沢が強く、微細な皺が全面にある。下端にやや突出した円形の着点がある。科以下の同定はできなかった。長さ2.2㎜、幅1.1㎜。

(31) 不明G　Unknown　G　炭化種実

上面観は楕円形、側面観は両端が突出する楕円形。表面は縦方向の明瞭な隆起がある。セリ科に類似するが、科以下の同定はできなかった。長さ2.2㎜、幅1.1㎜。

(32) 不明H　Unknown　H　炭化種実

上面観・側面観は楕円形。表面はざらつく。マメ科の子葉とも思われたが、特徴がなく、科以下の同定はできなかった。長さ3.3㎜、幅2.6㎜。

(33) 不明I　Unknown　I　炭化種実

上面観・側面観は楕円形。表面は強い光沢があり、縦方向に微細な皺があり隆起している。下端には突出する着点がある。科以下の同定はできなかった。長さ2.3㎜、幅1.6㎜。

(34) 不明J　Unknown　J　炭化種実

上面観は楕円形、側面観は円形。表面は平滑で、下端側面に突出した着点がある。科以下の同定はできなかった。長さ2.1㎜、幅1.5㎜。

(35) 不明K　Unknown　K　炭化種実

上面観は狭楕円形、側面観は半円形。先端はやや尖る。表面は平滑で、腹面は反る。科以下の同定はできなかった。長さ2.7㎜、幅1.6㎜。

(36) 不明L　Unknown　L　炭化種実

上面観・側面観はいびつな円形。表面は平滑で、側面中央にへその痕跡？がある。ソラマメ属に類似するが、へそが確認できず、残りが悪いため、科以下の同定はできなかった。長さ2.9㎜、幅2.7㎜、厚さ2.2㎜。

(37) 不明M　Unknown　M　炭化種実

上面観は扁平、側面観は楕円形。表面は平滑で、中央部がやや凹む。側面の一辺は平坦になる。科以下の同定はできなかった。長さ1.2㎜、幅1.3㎜。

(38) 不明N　Unknown　N　炭化種実

上面観は狭楕円形、側面観は円形。表面は平滑で、下端側面に円形のへそがある。科以下の同定はできなかった。長さ1.8㎜、幅1.7㎜。

（39）不明Ｏ　Unknown　Ｏ　炭化種実

上面観は楕円形、側面観は破片であるが元々は楕円形か。表面は平滑で、下端側面に楕円形で肥厚するへそがある。科以下の同定はできなかった。残存長3.6㎜、幅2.5㎜。

（６）植物遺体同定からの所見

ここでは各遺構の性格は不明のため、時代別に利用植物や植生について概観する。

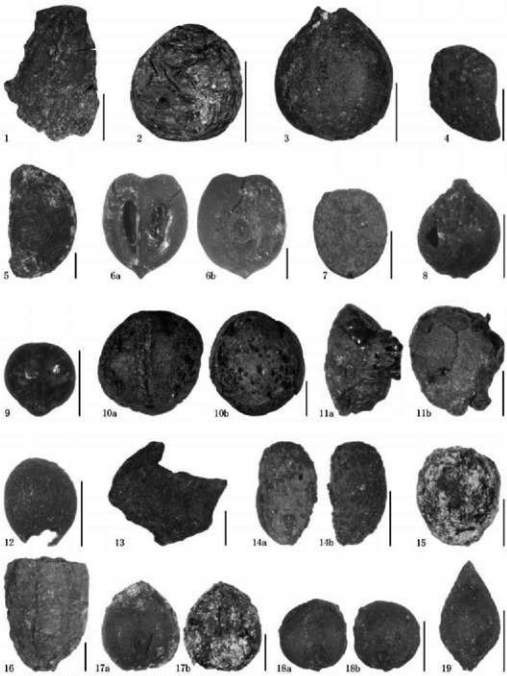
擦文文化期では３遺構（ＵＦ－１・５・７）について検討した。栽培植物は全く得られず、いずれもわずかな量であった。オニグルミやコナラ亜属？、ニワトコ属、ヒシ属？は食用可能なため、利用後の残渣の可能性がある。オニグルミは利用部位ではない核の破片が産出したため、残渣を遺構内あるいは周辺で燃やしたものが堆積したと考えられる。そのほか、ソラマメ属とマメ科は大きさから野生種に近いが利用可能な種かどうかは不明であった。アカザ属は種によっては食用可能である。これに対して、利用できないキランソウ属などがみられることから偶発的に炭化した雑草が混入して堆積したと考えられる。

アイヌ文化期では、６遺構（ＵＨ－１　ＨＡ－１、ＵＨ－１　ＨＳＰ－１、ＵＨ－２　ＨＦ－１、ＵＨ－２　ＨＦ－２、ＵＨ－４　ＨＦ－１、ＵＨ－５　ＨＦ－１）について検討した。検討量に反映して、分類群数および産出数が多いが、全体的に草本植物が多い。栽培植物として、エゴマと、キビ、アワが得られた。利用可能な植物として、オニグルミと、クリ、キイチゴ属、キハダ、ブドウ属、ニワトコ属、ユリ科？がある。キハダは薬用としての利用、ユリ科？は鱗茎の利用が推定される。木本植物は利用可能な分類群に限られるため、利用のために持ち込まれた可能性がある。そのほか、タデ属やアカザ属も種によっては食用可能である。エノキグサと、イネ科、スゲ属、カヤツリグサ科は周辺に生育していたと考えられる。シダ植物の羽片は通常単独で羽片のみが炭化することは希であるが、わずかな出土のため、人間による利用を示すのかは不明であった。堆積状況や他の残渣等とあわせて検討する必要がある。

アイヌ文化期と考えられる時期では、栽培植物としてイネとアワが得られ、利用可能な植物としてオニグルミとクリ？、ブドウ属が得られた。アカザ属は種によっては食用可能である。時期不明ではアカザ属のみが得られた。

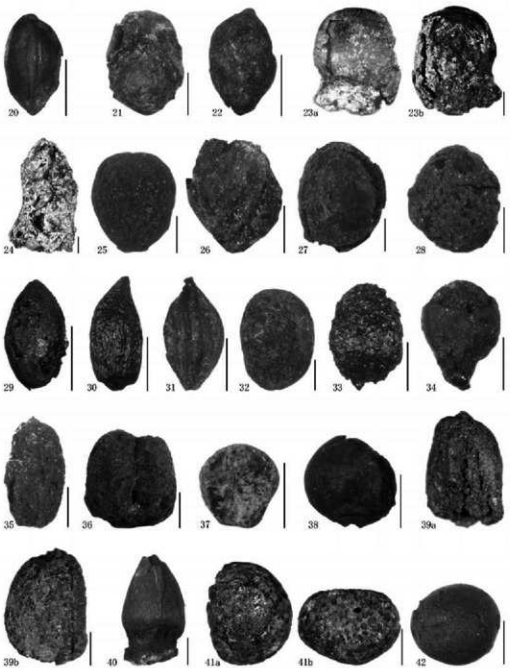
このように擦文文化期では明確な栽培植物は得られず、アイヌ文化期で畠作作物のエゴマとアワ、キビ、アイヌ文化期の可能性があるものでは水田作物のイネと畠作作物のアワが得られた。ただし、すべての時期の試料において現生種実と思われる未炭化の種実が混入していたことや、各遺構からの産出数はまとまりがないことを考慮すると、現生種実が混入している遺構の栽培植物の評価に関しては慎重に検討する必要がある。

（平成22年３月17日　受領）
（平成23年度　内容点検・編集　末光）



図版1　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（1）　　スケール 1-3:5㎜, 4-19:1㎜

1. オニグルミ炭化核（UH-1 HA-1、No.38）、2. クリ炭化子葉（UH-1 HA-1、No.56）、3. コナラ属コナラ亜属？炭化子葉（UF-1、No.29）、4. キイチゴ属炭化核（UH-1 HSP-1、No.61）、5. キハダ炭化種子（UH-1 HA-1、No.12）、6. ブドウ属炭化種子（UH-5 HF-1、No.72）、7. ニワトコ属炭化核（UF-1、No.30）、8. ダデ属炭化果実（UH-1 HA-1、No.55）、9. アカザ属炭化種子（UF-4、No.17）、10. ソラマメ属炭化種子（UF-1、No.29）、11. マメ科炭化種子（UF-1、No.27）、12. エノキグサ炭化種子（UH-1 HA-1、No.38）、13. ヒシ属？炭化果実（UF-1、No.18）、14. キランソウ属炭化果実（UF-1、No.30）、15. エゴマ炭化果実（UH-1 HA-1、No.57）、16. イネ炭化種子（UA-3、No.59）、17. キビ炭化種子（UF-4、No.14）、18. アワ炭化種子（UH-1 HA-1、No.37）、19. イネ科炭化果実（UH-1 HA-1、No.36）



図版２　祝梅川上田遺跡から出土した大型植物遺体（２）　　スケール20~42:1mm

20. スゲ属炭化果実（UH-1　HA-1、No.47）、21. ホタルイ属？炭化果実（UF-1、No.27）、22. カヤツリグサ科炭化果実（UH-1　HA-1、No.50）、23. ユリ科？炭化鱗茎（UH-1　HA-1、No.12）、24. シダ植物炭化羽片（UH-1　HA-1、No.11）、25. 不明A炭化種実（UA-1、No.2）、26. 不明B炭化種実（UA-1、No.6）、27. 不明C炭化核（UH-1　HA-1、No.9）、28. 不明D炭化種実（UH-1　HA-1、No.13）、29. 不明E炭化種実（UF-1、No.27）、30. 不明F炭化種実（UF-1、No.28）、31. 不明G炭化果実（UF-1、No.30）、32. 不明H炭化種実（UF-1、No.30）、33. 不明I炭化種実（UH-1　HA-1、No.38）、34. 不明J炭化種実（UH-1　HA-1、No.41）、35. 不明K炭化種実（UH-1　HA-1、No.47）、36. 不明L炭化種実（UF-4、No.17）、37. 不明M炭化種実（UH-1　HSP-1、No.61）、38. 不明N炭化種実（UH-1　HA-1、No.40）、39. 不明O炭化種実（UF-1、No.30）、40. 不明炭化芽（UF-1、No.27）、41. 虫えい（UF-4、No.17）、42.子のう菌（UF-1、No.29）

2．祝梅川上田遺跡出土黒曜石の産地推定（平成18年度）

竹原弘展（パレオ・ラボ）

1．　はじめに

祝梅川上田遺跡出土黒曜石について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2．　試料と方法

対象試料は祝梅川上田遺跡より出土した黒曜石計53点である（表3）。時期はブロック1、ブロック2出土黒曜石が旧石器時代、それ以外の黒曜石が旧石器時代または縄文時代と推定されている。試料は、測定前にメラミンフォーム製のスポンジを用いて、測定面表面の洗浄を行った。

分析装置は、㈱セイコーインスツルメンツ社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA－2001Lを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウムRh、X線検出器はSi（Li）半導体検出器である。測定条件は、測定時間300sec、照射径10mm、電流自動設定（1～63μA、デッドタイムが20%未満になるよう自動的に設定）、電圧50kV、試料室内雰囲気真空に設定した。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた（望月2004など）。本方法は、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム（K）、マンガン（Mn）、鉄（Fe）とルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の合計7元素のX線強度（cps；count per second）について、以下に示す指標値を計算する。

1）. Rb分率＝Rb強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）
2）. Sr分率＝Sr強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）
3）. Mn強度×100／Fe強度
4）. log（Fe強度／K強度）

そしてこれらの指標値を用いた2つの判別図（横軸Rb分率－縦軸Mn強度×100／Fe強度の判別図と横軸Sr分率－縦軸log（Fe強度／K強度）の判別図）を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推定するものである。

表1　北海道黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地
北海道	白滝	白滝1	赤石山山頂(43)、八号沢露頭(15)、7の沢川支流(2)、IK露頭(10)、十勝石沢露頭直下河床(11)、アジサイの滝露頭(10)、赤石山山頂、八号沢露頭、八号沢、黒曜の沢、幌加林道(36)
		白滝2	
	赤井川	赤井川	曲川・士木川(12)
	上士幌	上士幌	十勝三股(10)
	置戸	置戸山	置戸山(5)
		所山	所山(5)
	豊浦	豊浦	豊泉(10)
	旭川	旭川	近文台(7)
	名寄	名寄	忠烈布川　(10)
	秩父別	秩父別1	中山(75)
		秩父別2	
		秩父別3	
	遠軽	遠軽	社名瀬川河床(2)
	生田原	生田原	仁田布川河床(10)
	留辺蘂	留辺蘂	ケショマップ川河床(6)
	釧路	釧路	釧路市営スキー場(9)、阿寒川右岸(2)、阿寒川左岸(6)
青森	木造	出来島	出来島海岸(10)
	深浦	八森山	岡崎浜(7)、八森山公園(8)
秋田	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉(10)
		脇本	脇本海岸(4)
岩手	北上川	北上折居2	北上川(9)
山形	羽黒	月山	月山荘前(10)
宮城	宮崎	湯ノ倉	湯ノ倉(40)
	色麻	根岸	根岸(40)
	仙台	秋保1	土蔵(18)
		秋保2	
	塩釜	塩竈	塩竈(10)

この方法は、指標値に蛍光X線のエネルギー差ができる限り小さい元素同士を組み合わせて算出しているため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊である出土遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。なお、厚みについては、かなり薄くても測定可能であるが、それでも0.5mm以下では影響をまぬかれないといわれる（望月1999）。極端に薄い試料の場合、K強度が相対的に強くなるため、log（Fe強度／K強度）の値が減少する。また、風化試料の場合でも、log（Fe強度／K強度）の値が減少する（同上）。そのため、試料の測定面はなるべく奇麗で平坦な面を選び、測定した。測定結果が判別群からかけ離れた値を示した場合は、測定面を変更するか、あるいはメラミンフォーム製スポンジで再度表面の洗浄を行った後、何回か再測定を行って検証した。

図1　北海道・東北地方黒曜石原石採取エリア

原石試料も、採取原石を割って新鮮な面を表出させた上で産地推定対象試料と同様の条件で測定した。表1に判別群一覧とそれぞれの原石採取地点及び点数を、図1に各原石のエリアの位置を示す。

3．分析結果

図2および図3に、黒曜石原石の判別図にブロック1、ブロック2より出土した旧石器時代のものと見られる遺物（№1～№40、№46～53）をプロットした図を、図4、図5にそれ以外の遺物（№41～№45）をプロットした図を示す。なお、№46～53の試料は、他の試料より数ヶ月後に測定を行い、装置の検出感度が変化していたため、それぞれ測定時に同時に測定した原石試料の指標値を基に補正を加え、図示している。補正は、指標値ごとに最小二乗法による回帰直線を求め、それを補正式とした。各図は視覚的にわかりやすくするため、各判別群を楕円で取り囲んである。

図2、図3では試料48点中、赤井川群の範囲に28点、赤井川群と秩父別1群の重複領域に10点が、それぞれプロットされた。また、№51は図2では赤井川の範囲内にプロットされたが、図3において赤井川よりやや下方にプロットされた。これは、K（カリウム）が他より高く検出されたことを意味しており、先述した遺物の風化による影響と考えられ（望月1999）、赤井川に属する可能性が高い。一方、分析№14、№17、№19、№20、№25、№26、№30、№32、№34の9点は遺物が微小すぎたため、測定不能であった。

図4、図5では、試料5点が上士幌群の範囲に2点、白滝2群に1点、所山群に1点、名寄群に1点、それぞれプロットされた。なお図上では、煩雑になるのを防ぐために、北海道・東北地方の原石のみの判別図となっているが、他の東日本の黒曜石原石のデータとの比較も実施済みである。各遺物の測定値及び推定結果一覧を表3に示す。

遺構別の産地推定エリアを見てみると（表2）、包含層出土黒曜石では、分析点数が少ないにもかかわらず4ヶ所の産地が示されバラエティに富む結果となった。それに対し、旧石器時代に推定され

表3　祝梅川上田遺跡分析対象遺物および測定値・産地推定結果一覧

試料No.	遺物番号	遺構名等	器種名	グリッド	層位	備考	検出値(cps) K強度	Mn強度	Fe強度	Rb強度	Sr強度	Y強度	Zr強度	Rb分率	Mn×100/Fe	Sr分率	log(Fe/K)	判別群名	エリア	試料No.
1	B1, 44	ブロック1	縄石刃接剥片	I-75	V		12.59	2.99	69.95	8.93	3.59	3.91	8.14	36, 34	4.28	14, 61	0.74	赤井川	赤井川	1
2	B1, 5	ブロック1	縄石刃接剥片	H-75	(V)		12.40	3.14	72.36	8.99	3.96	3.90	8.25	36, 11	4.35	15, 62	0.77	赤井川	赤井川	2
3	B1, 27	ブロック1	縄石刃	H-76	Ⅶ		17.56	3.89	92.40	10.75	4.52	3.93	7.85	39, 75	4.21	16, 70	0.72	赤井川	赤井川	3
4	B1, 38	ブロック1	縄石刃	H-76	Ⅶ		20.51	4.14	103.13	12.13	4.56	4.42	9.59	39, 53	4.01	14, 84	0.70	赤井川	赤井川	4
5	B1, 29	ブロック1	縄石刃	H-76	Ⅵ		20.29	4.76	106.65	16.93	4.30	4.79	8.35	38, 53	4.50	15, 16	0.72	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	5
6	B1, 36	ブロック1	縄石刃	H-76	Ⅶ		17.92	3.63	88.74	10.34	3.87	3.64	8.92	38, 64	4.10	14, 46	0.69	赤井川	赤井川	6
7	B1, 56	ブロック1	縄石刃	I-75	Ⅶ		14.48	3.74	79.64	9.46	4.03	3.94	8.02	37, 17	4.70	15, 85	0.74	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	7
8	B1, 33	ブロック1	縄石刃	H-75	Ⅶ		13.98	3.25	80.28	9.90	3.95	3.87	9.86	36, 06	4.05	14, 02	0.76	赤井川	赤井川	8
9	B1, 20	ブロック1	縄石刃	H-75	Ⅶ		14.03	3.27	81.26	10.16	3.70	3.40	9.10	38, 53	4.02	14, 05	0.76	赤井川	赤井川	9
10	B1, 42	ブロック1	縄石刃	I-75	(V)		15.91	3.27	84.53	10.65	3.56	4.42	8.17	39, 73	3.87	13, 29	0.73	赤井川	赤井川	10
11	B1, 45	ブロック1	縄石刃	I-75	Ⅵ		13.03	3.00	72.35	8.99	3.74	3.96	7.90	36, 82	4.16	16, 22	0.74	赤井川	赤井川	11
12	B1, 28	ブロック1	縦長剥片	H-76	Ⅵ		13.18	3.11	74.36	9.70	4.30	3.89	8.24	37, 11	4.18	16, 47	0.75	赤井川	赤井川	12
13	B1, 13	ブロック1	剥片	H-76	Ⅵ		15.48	3.07	78.13	9.64	4.09	3.54	8.70	37, 13	3.93	15, 76	0.70	赤井川	赤井川	13
14	K57, 446	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	14
15	K57, 445	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	17.33	4.17	98.23	10.21	4.14	3.63	7.20	40, 55	4.25	16, 45	0.75	赤井川	赤井川	15
16	K57, 444	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	15.56	3.87	94.43	8.76	3.59	3.27	6.37	39, 81	4.10	16, 32	0.78	赤井川	赤井川	16
17	K57, 443	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	17
18	K57, 442	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	16.35	4.27	93.98	11.23	4.42	4.08	8.34	40, 00	4.54	15, 75	0.76	赤井川	赤井川	18
19	K57, 441	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	19
20	K57, 440	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	20
21	K57, 439	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	17.17	4.12	98.51	10.61	3.91	4.00	8.35	39, 49	4.18	14, 55	0.76	赤井川	赤井川	21
22	K57, 438	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	19.16	4.81	107.89	11.05	4.08	3.92	9.08	39, 29	4.46	14, 49	0.75	赤井川	赤井川	22
23	K57, 437	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	21.15	5.26	112.79	10.95	4.74	4.06	8.73	38, 44	4.67	16, 64	0.73	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	23
24	K57, 436	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	16.97	3.80	87.95	9.87	3.82	3.73	7.15	40, 18	4.32	15, 54	0.71	赤井川	赤井川	24
25	K57, 435	ブロック2	剥片	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	25
26	K57, 434	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	26
27	K57, 433	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	一括	19.39	4.62	101.04	11.21	4.62	4.33	9.02	38, 15	4.58	16, 41	0.72	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	27
28	K57, 432	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ	一括	20.49	4.89	103.29	11.42	4.43	4.42	9.34	38, 57	4.73	14, 97	0.70	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	28
29	K57, 448	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ	一括	24.71	5.72	118.90	10.58	4.04	4.10	8.48	38, 91	4.81	14, 87	0.68	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	29
30	K57, 7, 29	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	フルイ1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	30
31	K57, 7, 28	ブロック2	縄石刃	L-57	Ⅶ	フルイ1.0	14.98	3.62	83.17	8.41	3.66	3.30	6.88	37, 80	4.35	16, 46	0.74	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	31
32	B2, 670	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	32
33	B2, 264	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ		17.11	3.92	94.18	11.33	4.95	4.61	8.64	38, 36	4.16	16, 76	0.74	赤井川	赤井川	33
34	L57, 7, 32	ブロック2	縄石刃	L-57	Ⅶ	フルイ1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	測定不能	不明	34
35	L57, 7, 55	ブロック2	縄石刃	L-57	Ⅶ	フルイ1.0	21.55	5.41	119.88	10.61	4.49	3.91	7.84	39, 52	4.51	16, 71	0.75	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	35
36	L57, 7, 67	ブロック2	刃部再生剥片	L-57	Ⅶ	フルイ1.0	20.27	4.78	106.52	10.87	4.53	3.72	9.24	38, 33	4.49	15, 97	0.72	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	36
37	B2, 101	ブロック2	剥片	K-57	V	接合No.1	14.45	3.20	80.19	10.09	4.06	3.28	8.72	38, 57	3.99	15, 54	0.74	赤井川	赤井川	37
38	B2, 85	ブロック2	石刃	K-57	V		11.93	3.02	71.03	8.31	3.28	3.21	8.12	36, 23	4.20	14, 31	0.76	赤井川	赤井川	38
39	B2, 55	ブロック2	石刃	K-57	V		18.41	3.56	92.27	10.54	3.90	4.26	7.94	39, 96	3.85	14, 64	0.70	赤井川	赤井川	39
40	B2, 170	ブロック2	石刃	K-56	Ⅵ		17.80	3.78	86.10	9.24	3.57	3.98	8.38	36, 72	4.39	14, 18	0.69	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	40
41	K56, 7	包含層	石核	K-56	Ⅵ		7.98	1.81	77.30	6.63	5.71	2.39	9.69	27, 16	1.95	25, 37	0.99	名寄	名寄	41
42	L56, 5	包含層	剥片	L-56	V		13.40	2.05	80.53	10.38	5.38	3.66	10.95	34, 18	2.55	17, 73	0.78	美川	美川	42
43	K57, 1	包含層	Rフレイク	K-57	Ⅵ		12.35	2.32	70.09	8.53	3.34	3.83	7.21	39, 68	3.31	13, 97	0.75	上士幌	上士幌	43
44	K57, 2	包含層	石核	K-57	V		11.65	2.69	75.21	10.79	3.55	4.88	8.31	39, 19	3.57	12, 89	0.81	上士幌	上士幌	44
45	K57, 3	包含層	石核	K-57	V		13.54	2.95	72.22	13.29	0.26	4.92	5.36	55, 76	4.08	1, 09	0.73	白滝	白滝	45
46	L57, 7, 249	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ	フルイ1.0	12.81	3.69	87.38	12.08	4.90	4.46	8.86	39, 87	4.22	16, 17	0.83	赤井川	赤井川	46
														39, 28	4.19	15, 20	0.78			
47	L57, 239	ブロック2	縄石刃	L-57	Ⅶ	一括	20.21	5.14	115.67	10.93	4.84	3.93	9.35	37, 61	4.44	16, 68	0.76	赤井川or秋父別1	赤井川or秋父別1	47
														38, 41	4.38	15, 34	0.71			
48	B2, 252	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ		14.33	4.01	93.32	11.48	4.40	3.86	9.68	39, 04	4.30	14, 95	0.81	赤井川	赤井川	48
														39, 94	4.26	14, 87	0.76			
49	B2, 616	ブロック2	縄石刃	L-56	Ⅶ		13.85	3.86	87.58	11.45	4.21	4.95	9.21	38, 40	4.41	14, 11	0.80	赤井川	赤井川	49
														38, 70	4.35	14, 65	0.75			
50	L57, 7, 87	ブロック2	縄石刃	L-57	Ⅶ	フルイ1.0	15.32	3.95	98.45	11.77	4.62	4.87	8.98	38, 92	4.01	15, 29	0.81	赤井川	赤井川	50
														38, 90	4.01	14, 97	0.76			
51	K57, 7, 45	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	フルイ1.0	26.13	4.56	106.88	10.55	4.01	3.89	7.67	40, 38	4.26	15, 36	0.61	赤井川?	赤井川?	51
														39, 45	4.23	14, 99	0.59			
52	K57, 7, 52	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅶ	フルイ1.0	14.93	3.88	93.77	10.35	4.10	4.11	8.84	37, 77	4.14	14, 98	0.80	赤井川	赤井川	52
														38, 47	4.12	14, 88	0.75			
53	B2, 418	ブロック2	縄石刃	K-57	Ⅵ		15.87	4.57	104.18	11.07	4.47	4.11	8.29	39, 62	4.39	16, 00	0.82	赤井川	赤井川	53
														39, 16	4.33	15, 16	0.77			

※試料No.46～53の下段の値は補正値

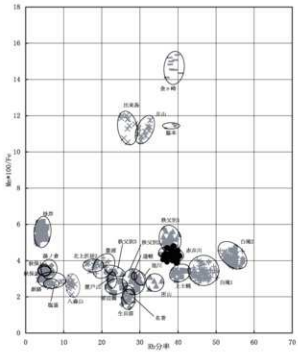


図2　祝梅川上田遺跡出土黒曜石判別図（ブロック1･2出土品のみ）（1）

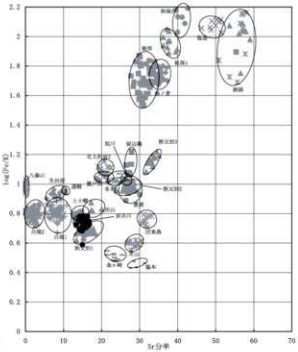


図2　祝梅川上田遺跡出土黒曜石判別図（ブロック1･2出土品のみ）（2）

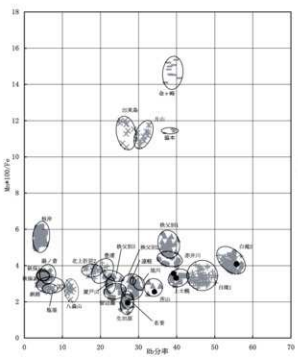


図2　祝梅川上田遺跡出土黒曜石判別図（ブロック1･2出土品以外）（1）

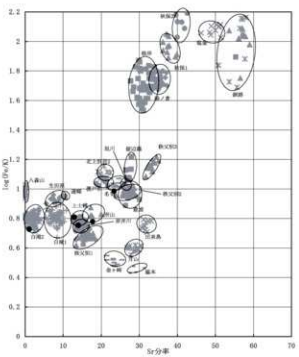


図2　祝梅川上田遺跡出土黒曜石判別図（ブロック1･2出土品以外）（2）

るブロック１、ブロック２出土黒曜石では、包含層出土品とは産地が異なる上に、測定不能９点を除く39点もの分析試料が赤井川エリアのみ、あるいは赤井川エリアと秩父別エリアの２ヶ所に限定されており、対照的な結果となった。

４．終わりに

祝梅川上田遺跡出土黒曜石53点について、蛍光Ｘ線分析による産地推定を行った結果、29点が赤井川エリア産、２点が上士幌エリア産、１点が白滝エリア産、１点が置戸エリア産、１点が名寄エリア産、10点は赤井川エリアあるいは秩父別エリア産と推定された。残り９点は測定不能であった。

引用文献・参考文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定.
「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書２　―上和田城山遺跡篇―」：172－179, 大和市教育委員会.

望月明彦（2004）用田大河内遺跡出土黒曜石の産地推定.
かながわ考古学財団調査報告167　用田大河内遺跡, 511－517, 財団法人 かながわ考古学財団

表２　出土遺構別産地推定エリア

	赤井川	赤井川 or 秩父別	上士幌	白滝	置戸	名寄	測定不能	計
ブロック1	11	2	—	—	—	—	—	13
ブロック2	17	9	—	—	—	—	9	35
包含層	—	—	2	1	1	1	—	5
計	28	11	2	1	1	1	9	53

（平成19年９月７日 受領）
（平成20年度 内容点検　広田・末光）

3．祝梅川上田遺跡出土黒曜石の産地推定（平成20年度）

竹原弘展　（パレオ・ラボ）

1．はじめに

祝梅川上田遺跡より出土した黒曜石について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2．試料と方法

分析対象資料は祝梅川上田遺跡より出土した黒曜石20点である。試料は、測定前にメラミンフォーム製のスポンジを用いて、測定面表面の洗浄を行った。

分析装置は、㈱セイコーインスツルメンツ社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA－2001Lを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウムRh、X線検出器はSi（Li）半導体検出器である。測定条件は、測定時間300sec、照射径10㎜、電流自動設定（1～63μA、デッドタイムが20%未満になるよう自動的に設定）、電圧50kV、試料室内雰囲気真空に設定した。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた（望月, 1999など）。本方法は、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム（K）、マンガン（Mn）、鉄（Fe）とルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の合計7元素のX線強度（cps；count per second）について、以下に示す指標値を計算する。

1）Rb分率＝Rb強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）
2）Sr分率＝Sr強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）
3）Mn強度×100／Fe強度
4）log（Fe強度／K強度）

そしてこれらの指標値を用いた2つの判別図（横軸Rb分率－縦軸Mn強度×100／Fe強度の判別図と横軸Sr分率－縦軸log（Fe強度／K強度）の判別図）を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推定するものである。

この方法は、指標値に蛍光X線のエネルギー差ができる限

表1　北海道・東北地方黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地	
北海道	白滝	白滝1	赤石山山頂(43)、八号沢露頭(15)	赤石山山頂、八号沢露頭、八号沢、黒曜の沢、幌加林道(36)
		白滝2	7の沢川支流(2)、IK露頭(10)、千勝石沢露頭直下河床(11)、アジサイの滝露頭(10)	
	赤井川	赤井川	曲川・土木川(12)	
	上士幌	上士幌	十勝三股(10)	
	置戸	置戸山	置戸山(5)	
		所山	所山(5)	
	豊浦	豊浦	豊泉(10)	
	旭川	旭川	近文台(7)	
	名寄	名寄	忠烈布川（19）	
	秩父別	秩父別1	中山(74)	
		秩父別2		
		秩父別3		
	遠軽	遠軽	社名淵川河床(2)	
	生田原	生田原	仁田布川河床(10)	
	留辺蘂	留辺蘂	ケショマップ川河床(6)	
	釧路	釧路	釧路市営スキー場(9)、阿寒川右岸(2)、阿寒川左岸(6)	
青森	木造	出来島	出来島海岸(10)	
	深浦	八森山	岡崎浜(7)、八森山公園(8)	
秋田	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉(10)	
		脇本	脇本海岸(4)	
岩手	北上川	北上折居2	北上川(9)	
山形	羽黒	月山	月山荘前(10)	
宮城	宮崎	湯ノ倉	湯ノ倉(40)	
	色麻	根岸	根岸(40)	
	仙台	秋保1	土蔵(18)	
		秋保2		
	塩竈	塩竈	塩竈(10)	

り小さい元素同士を組み合わせて算出しているため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊である出土遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。なお、厚みについては、かなり薄くても測定可能であるが、それでも0.5㎜以下では影響をまぬかれないといわれる（望月, 1999）。極端に薄い試料の場合、K強度が相対的に強くなるため、log（Fe強度／K強度）の値が減少する。また、風化試料の場合でも、log（Fe強度／K強度）の値が減少する（同上）。そのため、試料の測定面はなるべく奇麗で平坦な面を選び、測定した。測定結果が判別群からかけ離れた値を示した場合は、測定面を変更するか、あるいはメラミンフォーム製スポンジで再度表面の洗浄を行った後、何回か再測定を行って検証した。

図１　北海道・東北地方黒曜石原石分布図

原石試料も、採取原石を割って新鮮な面を表出させた上で産地推定対象試料と同様の条件で測定した。表１に判別群一覧とそれぞれの原石採取地点及び点数を、図１に各原石の分布図を示す。

３．分析結果

図２および図３に黒曜石原石の判別図に遺物をプロットした図を示す。各図は視覚的にわかりやすくするため、各判別群を楕円で取り囲んである。試料20点のうち、分析№４を除く19点が白滝１群、分析№４が白滝２群の範囲にプロットされた。産地推定結果を表２に示す。

４．終わりに

祝梅川上田遺跡出土黒曜石20点について、蛍光Ｘ線分析による産地推定を行った結果、20点すべてが白滝エリア産と推定された。

引用文献・参考文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定.「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書２　―上和田城山遺跡篇―」：172－179, 大和市教育委員会.

（平成22年３月 受領）
（平成23年度 内容点検　広田）

表２　分析対象資料および産地推定結果

分析No.	遺構	遺物番号	層位	種別	重量(g)	判別群	エリア
1	ブロック3	1	Ⅴ	細石刃	0.24	白滝1	白滝
2	ブロック3	26	Ⅵ	細石刃	0.28	白滝1	白滝
3	ブロック3	6	Ⅴ	削器	9.58	白滝1	白滝
4	ブロック3	51	Ⅵ	剥片	3.20	白滝2	白滝
5	ブロック3	93	Ⅶ	剥片	9.38	白滝1	白滝
6	ブロック4	152	Ⅵ	細石刃	0.25	白滝1	白滝
7	ブロック4	241	Ⅶ	剥片	0.37	白滝1	白滝
8	ブロック4	340	Ⅶ	削器	6.08	白滝1	白滝
9	ブロック4	1	Ⅵ	両面調整石器	110.09	白滝1	白滝
10	ブロック4	95	Ⅴ	剥片	13.80	白滝1	白滝
11	ブロック4	76	Ⅴ	剥片	16.36	白滝1	白滝
12	ブロック5	706	Ⅶ	細石刃	0.26	白滝1	白滝
13	ブロック5	943	Ⅶ	細石刃	0.77	白滝1	白滝
14	ブロック5	896	Ⅶ	細石刃	0.34	白滝1	白滝
15	ブロック5	323	Ⅶ	細石刃	0.73	白滝1	白滝
16	ブロック5	2	Ⅴ	細石刃核	145.00	白滝1	白滝
17	ブロック5	252	Ⅵ	削器	10.53	白滝1	白滝
18	ブロック5	212	Ⅵ	剥片	3.68	白滝1	白滝
19	ブロック5	312	Ⅵ	掻器	10.84	白滝1	白滝
20	ブロック5	940	Ⅶ	二次加工ある剥片	6.16	白滝1	白滝

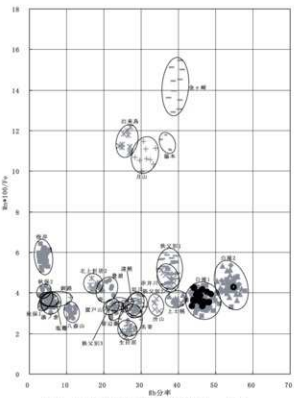


図2　黒曜石産地推定判別図　(1)

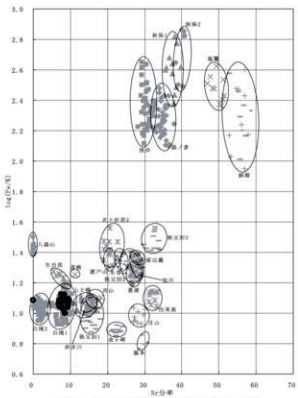


図3　黒曜石産地推定判別図　(2)

4．祝梅川上田遺跡における放射性炭素年代（ＡＭＳ測定）

㈱加速器分析研究所

1　測定対象試料

祝梅川上田遺跡は、北海道千歳市祝梅614ほか（北緯42°50′27″、東経141°41′38″）に所在し、標高約14mの祝梅川の河岸段丘上に立地する。測定対象試料は、竪穴住居跡（ＵＨＰ）及び平地住居跡（ＵＨＤ）、灰集中、貝殻集中から出土した木炭や炭化堅果など、合計57点である。いずれの遺構も樽前ａ降下軽石堆積層（1739年降下）下の黒色土層（Ⅲ層）上位で検出され、下位に樽前ｃ降下軽石層（約2300年前降下）が堆積している。

竪穴及び平地住居跡出土試料は、**ＵＨＤ－14**出土（１：IAAA－91790、２：IAAA－91791）、**ＵＨＰ－15**出土（３：IAAA－91792～５：IAAA－91794）、**ＵＨＤ－16**出土（６：IAAA－91795、７：IAAA－91796）、**ＵＨＰ－17**出 土（８：IAAA－91797、９：IAAA－91798）、**ＵＨＤ－21**出 土（10：IAAA－91799、11：IAAA－91800）、**ＵＨＤ－22**出 土（12：IAAA－91801、13：IAAA－91802）、**ＵＨＰ－23**出土（14：IAAA－91803）、**ＵＨＤ－24**出土（15：IAAA－91804）、**ＵＨＤ－25**出土（16：IAAA－91805、17：IAAA－91806）、**ＵＨＤ－26**出 土（18：IAAA－91807、19：IAAA－91808）、**ＵＨＰ－31**出土(20：IAAA－91809)、**ＵＨＤ－37**出土(21：IAAA－91810)、**ＵＨＤ－38**出土(22：IAAA－91811、23：IAAA－91812)、**ＵＨＤ－40**出 土（24：IAAA－91813）、**ＵＨＤ－41**出 土（25：IAAA－91814、26：IAAA－91815）、**ＵＨＤ－43**出土(27：IAAA－91816、28：IAAA－91817)、**ＵＨＤ－44**出土(29：IAAA－91818、30：IAAA－91819)、**ＵＨＤ－45**出土（31：IAAA－91820、32：IAAA－91821）、**ＵＨＤ－48**出 土（33：IAAA－91822）、**ＵＨＤ－49**出 土（34：IAAA－91823）、**ＵＨＤ－50**出 土（35：IAAA－91824、36：IAAA－91825）、**ＵＨＤ－52**出土（37：IAAA－91826）、**ＵＨＤ－53**出土（38：IAAA－91827、39：IAAA－91828）、**ＵＨＤ－56**出土（40：IAAA－91829、41：IAAA－91830）の41点である。

灰集中出土試料は、**ＵＡ－５**出土(42：IAAA－91831、43：IAAA－91832)、**ＵＡ－７**出土(44：IAAA－91833)、**ＵＡ－８**出 土（45：IAAA－91834）、**ＵＡ－９**出 土（46：IAAA－91835）、**ＵＡ－12**出 土（47：IAAA－91836）、**ＵＡ－13**出土（48：IAAA－91837）、**ＵＡ－14**出土（49：IAAA－91838、50：IAAA－91839）、**ＵＡ－17**（２）ｂ出土（51：IAAA－91840）、**ＵＡ－17**（１）ｂ出土（52：IAAA－91841）、**ＵＡ－19**出 土（53：IAAA－91842）、**ＵＡ－19**（２）出 土（54：IAAA－91843）、**ＵＡ－20**①出土（55：IAAA－91844、56：IAAA－91845）の15点である。

貝殻集中出土試料は57（IAAA－91846）１点である。

2　測定の意義

住居跡、灰集中、貝殻集中の年代を測定し、各遺構と集落の時期を推定する。

3　化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。

（２）酸処理、アルカリ処理、酸処理（AAA：Acid Alkali Acid）により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では１Ｎの塩酸（80℃）を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では１Ｎの水酸化ナトリウム水溶液（80℃）を用いて数時間処理する。なお、ＡＡＡ処理において、アルカリ濃度が１Ｎ未満の場合、表中にAaAと記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では１Ｎの塩酸（80℃）を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。

（3）試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で2時間加熱する。
（4）液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素（CO_2）を精製する。
（5）精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出（水素で還元）し、グラファイトを作製する。
（6）グラファイトを内径1㎜のカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

4　測定方法

測定機器は、3MVタンデム加速器をベースとした^{14}C－AMS専用装置（NEC Pelletron 9SDH－2）を使用する。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5　算出方法

（1）年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。
（2）^{14}C年代（Libby Age：yRbP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0 yRbP）として遡る年代である。この値は、$\delta^{13}C$によって補正された値である。^{14}C年代と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±1σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
（3）$\delta^{13}C$ は、試料炭素の^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差（‰）で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により$^{12}C/^{12}C$を測定した場合には表中に（AMS）と注記する。
（4）pMC（percent Modern CaRbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。
（5）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差（1σ=68.2%）あるいは2標準偏差（2σ=95.4%）で表示される。暦年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal04データベース（Reimer et al 2004）を用い、OxCalv4.1較正プログラム（Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001）を使用した。

6　測定結果

竪穴及び平地住居跡出土試料の14C年代は、**ＵＨＤ－14**出土の1が380±30yRbP、2が360±30yRbP、**ＵＨＰ－15**出土の3が960±30yRbP、4が770±30yRbP、5が930±30yRbP、**ＵＨＤ－16**出土の6が590±30yRbP、7が620±30yRbP、**ＵＨＰ－17**出土の8が940±30yRbP、9が840±30yRbP、**ＵＨＤ－21**出土の10が590±30yRbP、11が640±30yRbP、**ＵＨＤ－22**出土の12が490±30yRbP、13が450±30yRbP、**ＵＨＰ－23**出土の14が1010±30yRbP、**ＵＨＤ－24**出土の15が500±30yRbP、**ＵＨＤ－25**出土の16が390±30yRbP、17が380±30yRbP、**ＵＨＤ－26**出土の18が400±30yRbP、19が460±30yRbP、**ＵＨＰ－31**出土の20が950±30yRbP、**ＵＨＤ－37**出土の21が530±30yRbP、**ＵＨＤ－38**出土の22が370±30yRbP、23が430±30yRbP、**ＵＨＤ－40**出土の24が360±30yRbP、**ＵＨＤ－41**出土の25が420±30yRbP、26が360±30yRbP、**ＵＨＤ－43**出土の27が420±30yRbP、28が880±30yRbP、**ＵＨＤ－44**

出土の29が400±30yRbP、30が360±30yRbP、**ＵＨＤ－45**出土の31が410±30yRbP、32が390±30yRbP、**ＵＨＤ－48**出土の33が940±30yRbP、**ＵＨＤ－49**出土の34が660±30yRbP、**ＵＨＤ－50**出土の35が380±30yRbP、36が400±30yRbP、**ＵＨＤ－52**出土の37が460±30yRbP、**ＵＨＤ－53**出土の38が440±30yRbP、39が370±30yRbP、**ＵＨＤ－56**出土の40が360±30yRbP、41が340±30yRbPである。

３～５（ＵＨＰ－15）、８、９（ＵＨＰ－17）、14（ＵＨＰ－23）、20（ＵＨＰ－31）、28（ＵＨＤ－43）、33（ＵＨＤ－48）は、^{14}Ｃ年代で1010±30ｙRbＰ（14）から770±30ｙRbＰ（４）、暦年較正年代（１σ）で**10世紀末から13世紀後葉頃の範囲に含まれ、おおよそ擦文文化期に相当する**年代値と見られる。

１、２（ＵＨＤ－14）、６、７（ＵＨＤ－16）、10、11（ＵＨＤ－21）、12、13（ＵＨＤ－22）、15（ＵＨＤ－24）、16、17（ＵＨＤ－25）、18、19（ＵＨＤ－26）、21（ＵＨＤ－37）、22、23（ＵＨＤ－38）、24（ＵＨＤ－40）、25、26（ＵＨＤ－41）、27（ＵＨＤ－43）、29、30（ＵＨＤ－44）、31、32（ＵＨＤ－45）、34（ＵＨＤ－49）、35、36（ＵＨＤ－50）、37（ＵＨＤ－52）、38、39（ＵＨＤ－53）、40、41（ＵＨＤ－56）は、660±30yRbP（34）から340±30yRbP（41）、暦年較正年代（１σ）で**13世紀末から17世紀前葉頃の範囲に含まれ、おおよそアイヌ文化期**に当たると考えられる。

同じ住居跡で複数測定した試料を見ると、多くは誤差（±１σ）の範囲で重なり合う部分を持ち、近い年代であることを示している。複数試料の測定結果の間に年代差が認められる住居跡を検討すると、ＵＨＰ－15では、ＨＦ－１焼土上面出土の３と床面出土の５はおおよそ同じ年代と見られるが、床面出土の４はこれらよりも新しい年代値となっている。ＵＨＰ－17ではＨＦ－１焼土上面出土の８とかまど燃焼部上面出土の９の間にわずかな差が見られる。ＵＨＤ－43では、ＨＦ－１焼土上面出土の27とＨＦ－２焼土上面出土の28の間で明らかな年代差が認められる。

灰集中出土試料の^{14}Ｃ年代は、**ＵＡ－５**出土の42が450±30yRbP、43が350±30yRbP、**ＵＡ－７**出土の44が370±30yRbP、**ＵＡ－８**出土の45が450±30yRbP、**ＵＡ－９**出土の46が370±30yRbP、**ＵＡ－12**出土の47が390±30yRbP、**ＵＡ－13**出土の48が400±30yRbP、**ＵＡ－14**出土の49が400±30yRbP、50が340±30yRbP、**ＵＡ－17**（２）ｂ出土の51が370±30yRbP）、**ＵＡ－17**（１）ｂ出土の52が390±30yRbP、**ＵＡ－19**出土の53が370±30yRbP、**ＵＡ－19**（２）出土の54が350±30yRbP、**ＵＡ－20①**出土の55が350±30yRbP、56が350±30yRbPである。

同じ灰集中から出土した複数試料の間ではＵＡ－５出土の２点に若干の差が見られるものの、特に大きな年代差は認められず、**すべてアイヌ文化期**に含まれる。**貝殻集中**出土試料57の^{14}Ｃ年代は330±30yRbPで、**アイヌ文化期**に当たる。

試料の測定結果はすべて軽石層との層位関係に整合的である。擦文文化期とアイヌ文化期に大きく区分して記述したが、両文化期の移行期頃に当たる暦年較正年代で13世紀から14世紀にかけての範囲は、較正曲線が大きく波打つ部分に当たるため、年代を絞ることが難しい。年代値を出土遺物等と比較検討する必要がある。

炭素含有率はすべて50%を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ^{13}C (‰) (AMS)	δ^{13}C 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-91790	1	UHD－14 HF-1 上面	木炭	AAA	**-25.58 ± 0.40**	**380 ± 30**	**95.35 ± 0.34**
IAAA-91791	2	UHD－14 HF-1 灰上面	木炭	AAA	**-28.91 ± 0.65**	**360 ± 30**	**95.63 ± 0.35**
IAAA-91792	3	UHP－15 HF-1焼土上面	木炭	AAA	**-25.03 ± 0.58**	**960 ± 30**	**88.70 ± 0.33**
IAAA-91793	4	UHP－15 床面	木炭	AAA	**-25.96 ± 0.60**	**770 ± 30**	**90.82 ± 0.32**
IAAA-91794	5	UHP－15 床面	木炭	AAA	**-27.00 ± 0.39**	**930 ± 30**	**89.03 ± 0.33**

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ13C (‰) (AMS)	δ13C補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-91795	6	UHD－16 HF-2焼土上面	炭化堅果	AaA	-28.22 ± 0.41	590 ± 30	92.89 ± 0.33
IAAA-91796	7	UHD－16 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-27.00 ± 0.56	620 ± 30	92.54 ± 0.33
IAAA-91797	8	UHP－17 HF-1焼土上面	炭化堅果	AaA	-26.21 ± 0.53	940 ± 30	88.99 ± 0.32
IAAA-91798	9	UHP－17 かまど燃焼部上面	炭化堅果	AAA	-26.38 ± 0.51	840 ± 30	90.12 ± 0.33
IAAA-91799	10	UHD－21 HF-2焼土	炭化堅果	AaA	-26.51 ± 0.44	590 ± 30	92.87 ± 0.34
IAAA-91800	11	UHD－21 焼土上面	木炭	AAA	-28.19 ± 0.54	640 ± 30	92.32 ± 0.34
IAAA-91801	12	UHD－22 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-27.17 ± 0.34	490 ± 30	94.07 ± 0.33
IAAA-91802	13	UHD－22 灰	木炭	AAA	-26.56 ± 0.71	450 ± 30	94.53 ± 0.33
IAAA-91803	14	UHP－23 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-25.62 ± 0.54	1,010 ± 30	88.17 ± 0.34
IAAA-91804	15	UHD－24 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-25.62 ± 0.61	500 ± 30	93.99 ± 0.33
IAAA-91805	16	UHD－25 HF-1焼土上面	炭化堅果	AaA	-26.47 ± 0.42	390 ± 30	95.30 ± 0.36
IAAA-91806	17	UHD－25 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-27.50 ± 0.71	380 ± 30	95.33 ± 0.35
IAAA-91807	18	UH－26 HF-1焼土上面	炭化堅果	AaA	-24.17 ± 0.65	400 ± 30	95.18 ± 0.34
IAAA-91808	19	UHD－26 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-25.38 ± 0.38	460 ± 30	94.38 ± 0.35
IAAA-91809	20	UHP－31 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-26.20 ± 0.60	950 ± 30	88.87 ± 0.31
IAAA-91810	21	UHD－37 HF-1	木炭	AAA	-27.09 ± 0.73	530 ± 30	93.65 ± 0.35
IAAA-91811	22	UHD－38 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-28.61 ± 0.53	370 ± 30	95.47 ± 0.36
IAAA-91812	23	UHD－38 HF-1焼土	木炭	AAA	-25.19 ± 0.48	430 ± 30	94.78 ± 0.33
IAAA-91813	24	UHD－40 HF-1焼土上面(黒色土)	木炭	AAA	-26.78 ± 0.54	360 ± 30	95.67 ± 0.34
IAAA-91814	25	UHD－41 HF-1灰	木炭	AAA	-28.17 ± 0.58	420 ± 30	94.91 ± 0.35
IAAA-91815	26	UHD－41 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-27.04 ± 0.57	360 ± 30	95.65 ± 0.35
IAAA-91816	27	UHD－43 HF-1焼土上面	炭化堅果	AAA	-26.02 ± 0.45	420 ± 30	94.93 ± 0.36
IAAA-91817	28	UHD－43 HF-2焼土上面	木炭	AAA	-25.87 ± 0.54	880 ± 30	89.67 ± 0.34
IAAA-91818	29	UHD－44 焼土上面	炭化堅果	AAA	-25.80 ± 0.63	400 ± 30	95.17 ± 0.35
IAAA-91819	30	UHD－44 HF-1灰	炭化堅果	AAA	-27.03 ± 0.52	360 ± 30	95.66 ± 0.34
IAAA-91820	31	UHD－45 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-26.00 ± 0.68	410 ± 30	95.06 ± 0.34
IAAA-91821	32	UHD－45 HF-2焼土	木炭	AAA	-23.98 ± 0.53	390 ± 30	95.26 ± 0.34
IAAA-91822	33	UHD－48 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-28.29 ± 0.58	940 ± 30	88.95 ± 0.32
IAAA-91823	34	UHD－49 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-26.43 ± 0.43	660 ± 30	92.13 ± 0.33
IAAA-91824	35	UHD－50 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-27.62 ± 0.52	380 ± 30	95.34 ± 0.35
IAAA-91825	36	UHD－50 HF-1焼土上面	木炭	AAA	-25.90 ± 0.40	400 ± 30	95.20 ± 0.34
IAAA-91826	37	UHD－52 HF-1焼土	木炭	AAA	-26.04 ± 0.40	460 ± 30	94.45 ± 0.34

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ13C (‰) (AMS)	δ13C 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-91827	38	UHD－53 HF-1焼土上面	炭化種子	AAA	**-10.34 ± 0.54**	**440 ± 30**	**94.71 ± 0.35**
IAAA-91828	39	UHD－53 HF-2 焼土上面	炭化堅果	AAA	**-28.32 ± 0.66**	**370 ± 30**	**95.49 ± 0.32**
IAAA-91829	40	UHD－56 HF-1焼土上面	炭化堅果	AAA	**-27.28 ± 0.53**	**360 ± 30**	**95.65 ± 0.34**
IAAA-91830	41	UHD－56 層位:HF-1灰	木炭	AAA	**-29.37 ± 0.55**	**340 ± 30**	**95.88 ± 0.34**
IAAA-91831	42	UA－5 サンプル 21	炭化堅果	AAA	**-26.28 ± 0.55**	**450 ± 30**	**94.60 ± 0.34**
IAAA-91832	43	UA－5 灰層 ロ	炭化堅果	AAA	**-26.41 ± 0.46**	**350 ± 30**	**95.70 ± 0.34**
IAAA-91833	44	UA－7 灰層	炭化堅果	AAA	**-29.65 ± 0.58**	**370 ± 30**	**95.47 ± 0.34**
IAAA-91834	45	UA－8 灰層	炭化堅果	AAA	**-31.95 ± 0.52**	**450 ± 30**	**94.53 ± 0.34**
IAAA-91835	46	UA－9 灰層 ロ	炭化堅果	AaA	**-26.35 ± 0.67**	**370 ± 30**	**95.50 ± 0.34**
IAAA-91836	47	UA－12 灰層	炭化堅果	AAA	**-27.04 ± 0.56**	**390 ± 30**	**95.24 ± 0.34**
IAAA-91837	48	UA－13 灰層	木炭	AAA	**-28.56 ± 0.52**	**400 ± 30**	**95.17 ± 0.34**
IAAA-91838	49	UA－14 灰サンプル	炭化堅果	AAA	**-25.79 ± 0.61**	**400 ± 30**	**95.09 ± 0.35**
IAAA-91839	50	UA－14 灰サンプル	炭化堅果	AAA	**-24.81 ± 0.54**	**340 ± 30**	**95.88 ± 0.34**
IAAA-91840	51	UA－17(2)b 灰層サンプル	炭化堅果	AaA	**-26.35 ± 0.40**	**370 ± 30**	**95.48 ± 0.34**
IAAA-91841	52	UA－17(1)b 灰層サンプル	炭化堅果	AaA	**-24.79 ± 0.64**	**390 ± 30**	**95.24 ± 0.35**
IAAA-91842	53	UA－19 灰層	炭化堅果	AAA	**-23.63 ± 0.64**	**370 ± 30**	**95.53 ± 0.34**
IAAA-91843	54	UA－19(2) 灰層	炭化堅果	AAA	**-23.74 ± 0.38**	**350 ± 30**	**95.70 ± 0.35**
IAAA-91844	55	UA－20① 灰	炭化堅果	AAA	**-26.38 ± 0.49**	**350 ± 30**	**95.78 ± 0.34**
IAAA-91845	56	UA－20① 灰	炭化堅果	AAA	**-28.80 ± 0.42**	**350 ± 30**	**95.73 ± 0.35**
IAAA-91846	57	貝殻集中 Ⅲ層	木炭	AAA	**-28.55 ± 0.45**	**330 ± 30**	**95.97 ± 0.34**

測定番号	δ13C 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-91790	390 ± 30	95.24 ± 0.33	382 ± 28	1450AD - 1512AD (55.4%) 1601AD - 1616AD (12.8%)	1445AD - 1524AD (65.5%) 1559AD - 1563AD (1.0%) 1571AD - 1631AD (28.9%)
IAAA-91791	420 ± 30	94.86 ± 0.33	359 ± 29	1467AD - 1522AD (38.7%) 1575AD - 1584AD (5.1%) 1590AD - 1625AD (24.4%)	1451AD - 1530AD (47.4%) 1541AD - 1635AD (48.0%)

測定番号	δ13C 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-91792	960 ± 30	88.69 ± 0.31	963 ± 29	1024AD - 1048AD (24.7%) 1087AD - 1123AD (33.0%) 1138AD - 1150AD (10.4%)	1019AD - 1155AD (95.4%)
IAAA-91793	790 ± 30	90.65 ± 0.30	773 ± 28	1225AD - 1273AD (68.2%)	1217AD - 1280AD (95.4%)
IAAA-91794	970 ± 30	88.66 ± 0.32	933 ± 29	1039AD - 1055AD (11.4%) 1077AD - 1153AD (56.8%)	1025AD - 1165AD (95.4%)
IAAA-91795	650 ± 30	92.27 ± 0.32	592 ± 28	1314AD - 1357AD (53.5%) 1389AD - 1401AD (14.7%)	1299AD - 1370AD (69.0%) 1380AD - 1412AD (26.4%)
IAAA-91796	660 ± 30	92.16 ± 0.31	622 ± 29	1299AD - 1322AD (27.9%) 1348AD - 1371AD (26.3%) 1379AD - 1392AD (14.1%)	1291AD - 1400AD (95.4%)
IAAA-91797	960 ± 30	88.77 ± 0.30	937 ± 28	1037AD - 1053AD (12.0%) 1080AD - 1152AD (56.2%)	1026AD - 1160AD (95.4%)
IAAA-91798	860 ± 30	89.87 ± 0.32	835 ± 29	1175AD - 1228AD (58.7%) 1233AD - 1240AD (6.5%) 1248AD - 1251AD (3.0%)	1158AD - 1264AD (95.4%)
IAAA-91799	620 ± 30	92.58 ± 0.33	594 ± 29	1311AD - 1359AD (53.3%) 1387AD - 1401AD (14.9%)	1299AD - 1370AD (69.7%) 1380AD - 1411AD (25.7%)
IAAA-91800	690 ± 30	91.71 ± 0.32	642 ± 29	1291AD - 1315AD (28.2%) 1356AD - 1389AD (40.0%)	1282AD - 1329AD (41.5%) 1341AD - 1396AD (53.9%)
IAAA-91801	530 ± 30	93.65 ± 0.32	491 ± 28	1417AD - 1440AD (68.2%)	1406AD - 1449AD (95.4%)
IAAA-91802	480 ± 30	94.23 ± 0.30	451 ± 28	1430AD - 1452AD (68.2%)	1415AD - 1474AD (95.4%)
IAAA-91803	1,020 ± 30	88.05 ± 0.32	1,011 ± 30	990AD - 1033AD (68.2%)	972AD - 1049AD (82.8%) 1086AD - 1124AD (9.7%) 1137AD - 1151AD (2.9%)
IAAA-91804	510 ± 30	93.87 ± 0.31	498 ± 28	1415AD - 1437AD (68.2%)	1402AD - 1448AD (95.4%)
IAAA-91805	410 ± 30	95.02 ± 0.35	386 ± 30	1449AD - 1498AD (50.5%) 1505AD - 1512AD (4.8%) 1601AD - 1616AD (12.9%)	1442AD - 1524AD (66.4%) 1558AD - 1564AD (1.2%) 1570AD - 1631AD (27.8%)

測定番号	δ13C 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-91806	430 ± 30	94.84 ± 0.32	384 ± 29	1450AD - 1498AD (49.9%) 1505AD - 1512AD (4.9%) 1601AD - 1616AD (13.4%)	1443AD - 1524AD (66.1%) 1559AD - 1564AD (1.0%) 1571AD - 1631AD (28.3%)
IAAA-91807	380 ± 30	95.34 ± 0.32	397 ± 28	1445AD - 1492AD (60.0%) 1602AD - 1612AD (8.2%)	1438AD - 1522AD (77.0%) 1574AD - 1584AD (1.6%) 1589AD - 1625AD (16.8%)
IAAA-91808	470 ± 30	94.31 ± 0.34	464 ± 29	1426AD - 1448AD (68.2%)	1411AD - 1463AD (95.4%)
IAAA-91809	970 ± 30	88.65 ± 0.29	948 ± 28	1030AD - 1050AD (17.6%) 1083AD - 1125AD (37.4%) 1136AD - 1152AD (13.2%)	1025AD - 1155AD (95.4%)
IAAA-91810	560 ± 30	93.25 ± 0.32	526 ± 30	1400AD - 1435AD (68.2%)	1321AD - 1350AD (16.0%) 1391AD - 1443AD (79.4%)
IAAA-91811	430 ± 30	94.76 ± 0.34	372 ± 30	1454AD - 1516AD (50.1%) 1595AD - 1618AD (18.1%)	1446AD - 1528AD (56.4%) 1554AD - 1634AD (39.0%)
IAAA-91812	430 ± 30	94.75 ± 0.32	430 ± 28	1436AD - 1468AD (68.2%)	1421AD - 1496AD (92.3%) 1601AD - 1615AD (3.1%)
IAAA-91813	380 ± 30	95.32 ± 0.32	355 ± 28	1473AD - 1522AD (35.2%) 1574AD - 1626AD (33.0%)	1453AD - 1530AD (45.0%) 1540AD - 1635AD (50.4%)
IAAA-91814	470 ± 30	94.29 ± 0.33	419 ± 29	1438AD - 1478AD (68.2%)	1427AD - 1515AD (88.5%) 1600AD - 1618AD (6.9%)
IAAA-91815	390 ± 30	95.25 ± 0.33	357 ± 29	1470AD - 1522AD (37.6%) 1575AD - 1584AD (5.4%) 1590AD - 1625AD (25.2%)	1452AD - 1530AD (46.1%) 1540AD - 1635AD (49.3%)
IAAA-91816	440 ± 30	94.73 ± 0.35	418 ± 30	1438AD - 1481AD (68.2%)	1428AD - 1516AD (87.3%) 1597AD - 1618AD (8.1%)
IAAA-91817	890 ± 30	89.51 ± 0.32	876 ± 30	1058AD - 1075AD (10.1%) 1155AD - 1215AD (58.1%)	1042AD - 1107AD (23.7%) 1117AD - 1224AD (71.7%)
IAAA-91818	410 ± 30	95.01 ± 0.32	397 ± 29	1445AD - 1493AD (59.1%) 1602AD - 1613AD (9.1%)	1438AD - 1523AD (75.8%) 1574AD - 1626AD (19.6%)
IAAA-91819	390 ± 30	95.26 ± 0.32	356 ± 28	1471AD - 1522AD (36.1%) 1574AD - 1626AD (32.1%)	1453AD - 1530AD (45.7%) 1541AD - 1635AD (49.7%)

測定番号	δ13C 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-91820	420 ± 30	94.87 ± 0.31	406 ± 28	1444AD - 1485AD (68.2%)	1434AD - 1521AD (83.0%) 1592AD - 1620AD (12.4%)
IAAA-91821	370 ± 30	95.46 ± 0.32	389 ± 28	1448AD - 1495AD (55.6%) 1602AD - 1616AD (12.6%)	1441AD - 1523AD (70.9%) 1572AD - 1629AD (24.5%)
IAAA-91822	990 ± 30	88.35 ± 0.30	940 ± 28	1035AD - 1052AD (13.8%) 1081AD - 1128AD (39.3%) 1134AD - 1152AD (15.2%)	1026AD - 1159AD (95.4%)
IAAA-91823	680 ± 30	91.86 ± 0.32	658 ± 28	1286AD - 1307AD (32.4%) 1363AD - 1386AD (35.8%)	1280AD - 1320AD (46.5%) 1350AD - 1391AD (48.9%)
IAAA-91824	430 ± 30	94.82 ± 0.34	383 ± 29	1450AD - 1499AD (49.1%) 1504AD - 1512AD (5.7%) 1601AD - 1616AD (13.4%)	1443AD - 1524AD (65.3%) 1558AD - 1564AD (1.3%) 1570AD - 1631AD (28.9%)
IAAA-91825	410 ± 30	95.02 ± 0.33	395 ± 28	1445AD - 1495AD (57.7%) 1602AD - 1615AD (10.5%)	1439AD - 1523AD (75.6%) 1574AD - 1625AD (19.8%)
IAAA-91826	480 ± 30	94.25 ± 0.33	458 ± 28	1426AD - 1450AD (68.2%)	1415AD - 1465AD (95.4%)
IAAA-91827	200 ± 30	97.58 ± 0.34	436 ± 29	1433AD - 1464AD (68.2%)	1419AD - 1491AD (93.8%) 1603AD - 1610AD (1.6%)
IAAA-91828	430 ± 30	94.84 ± 0.29	370 ± 26	1457AD - 1516AD (49.6%) 1596AD - 1618AD (18.6%)	1449AD - 1525AD (57.2%) 1557AD - 1632AD (38.2%)
IAAA-91829	390 ± 30	95.21 ± 0.32	357 ± 28	1470AD - 1522AD (37.6%) 1575AD - 1584AD (5.3%) 1590AD - 1625AD (25.2%)	1452AD - 1530AD (46.3%) 1541AD - 1635AD (49.1%)
IAAA-91830	410 ± 30	95.02 ± 0.32	338 ± 28	1491AD - 1527AD (22.7%) 1556AD - 1603AD (31.3%) 1610AD - 1632AD (14.2%)	1472AD - 1640AD (95.4%)
IAAA-91831	470 ± 30	94.35 ± 0.32	446 ± 28	1429AD - 1455AD (68.2%)	1417AD - 1481AD (95.4%)
IAAA-91832	380 ± 30	95.42 ± 0.33	353 ± 28	1475AD - 1522AD (33.0%) 1574AD - 1627AD (35.2%)	1455AD - 1530AD (43.6%) 1540AD - 1635AD (51.8%)
IAAA-91833	450 ± 30	94.56 ± 0.31	372 ± 28	1455AD - 1516AD (51.2%) 1598AD - 1618AD (17.0%)	1447AD - 1525AD (57.5%) 1557AD - 1633AD (37.9%)
IAAA-91834	570 ± 30	93.18 ± 0.32	452 ± 29	1429AD - 1452AD (68.2%)	1414AD - 1474AD (95.4%)

測定番号	δ13C 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-91835	390 ± 30	95.24 ± 0.31	369 ± 28	1456AD - 1518AD (48.8%) 1594AD - 1619AD (19.4%)	1448AD - 1526AD (55.4%) 1556AD - 1633AD (40.0%)
IAAA-91836	430 ± 30	94.84 ± 0.32	391 ± 28	1447AD - 1495AD (56.2%) 1602AD - 1616AD (12.0%)	1441AD - 1523AD (72.3%) 1573AD - 1629AD (23.1%)
IAAA-91837	460 ± 30	94.48 ± 0.33	397 ± 29	1445AD - 1493AD (59.1%) 1602AD - 1613AD (9.1%)	1438AD - 1523AD (75.8%) 1574AD - 1626AD (19.6%)
IAAA-91838	420 ± 30	94.94 ± 0.32	404 ± 29	1443AD - 1489AD (63.5%) 1603AD - 1609AD (4.7%)	1435AD - 1522AD (80.6%) 1576AD - 1583AD (0.9%) 1591AD - 1622AD (13.9%)
IAAA-91839	340 ± 30	95.91 ± 0.33	338 ± 28	1491AD - 1527AD (22.7%) 1556AD - 1603AD (31.3%) 1610AD - 1632AD (14.2%)	1472AD - 1640AD (95.4%)
IAAA-91840	390 ± 30	95.21 ± 0.33	371 ± 28	1455AD - 1516AD (50.3%) 1596AD - 1618AD (17.9%)	1448AD - 1526AD (56.8%) 1556AD - 1633AD (38.6%)
IAAA-91841	390 ± 30	95.28 ± 0.32	391 ± 29	1447AD - 1495AD (56.1%) 1602AD - 1616AD (12.1%)	1441AD - 1523AD (71.3%) 1572AD - 1630AD (24.1%)
IAAA-91842	340 ± 30	95.80 ± 0.31	367 ± 28	1456AD - 1520AD (47.6%) 1592AD - 1620AD (20.6%)	1449AD - 1527AD (54.1%) 1555AD - 1633AD (41.3%)
IAAA-91843	330 ± 30	95.95 ± 0.34	353 ± 29	1475AD - 1522AD (32.8%) 1574AD - 1627AD (35.4%)	1454AD - 1530AD (43.5%) 1539AD - 1635AD (51.9%)
IAAA-91844	370 ± 30	95.51 ± 0.33	346 ± 28	1486AD - 1524AD (24.5%) 1558AD - 1631AD (43.7%)	1465AD - 1636AD (95.4%)
IAAA-91845	410 ± 30	94.98 ± 0.33	350 ± 29	1481AD - 1523AD (29.2%) 1572AD - 1630AD (39.0%)	1457AD - 1635AD (95.4%)
IAAA-91846	390 ± 30	95.28 ± 0.33	330 ± 28	1497AD - 1529AD (16.4%) 1540AD - 1601AD (39.6%) 1616AD - 1634AD (12.2%)	1479AD - 1643AD (95.4%)

［参考値］

参考文献

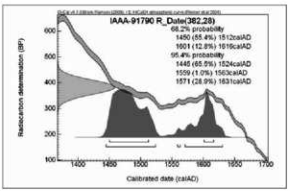
Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion : Reporting of ^{14}C data, *RadiocaRbon* 19, 355－363

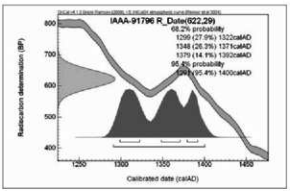
Bronk Ramsey C. 1995 RadiocaRbon calibration and analysis of stratigraphy : the OxCal Program, *RadiocaRbon* 37(2), 425-430

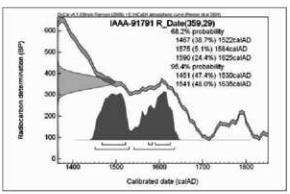
Bronk Ramsey C. 2001 Development of the radiocaRbon calibration program, *RadiocaRbon* 43(2A), 355－363

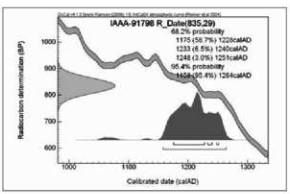
Bronk Ramsey C., van der Pflicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocaRbon dates, *RadiocaRbon* 43(2A), 381-389

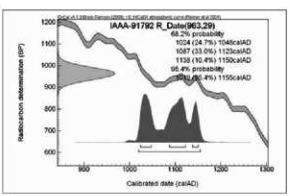
Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocaRbon age calibration, 0－26cal kyr BP, *RadiocaRbon* 46, 1029－1058

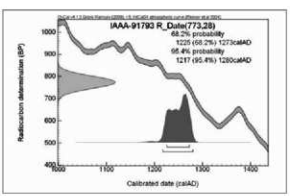

IAAA-91790 R_Date(382,28)
68.2% probability
1450 (65.4%) 1512calAD
1601 (12.8%) 1619calAD
95.4% probability
1446 (65.5%) 1524calAD
1559 (1.0%) 1563calAD
1571 (28.9%) 1631calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

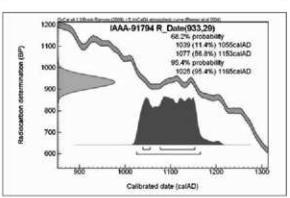

IAAA-91796 R_Date(622,29)
68.2% probability
1299 (27.9%) 1322calAD
1348 (26.3%) 1371calAD
1379 (14.1%) 1392calAD
95.4% probability
1297 (95.4%) 1400calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

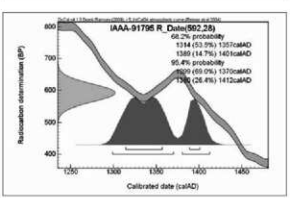

IAAA-91791 R_Date(359,29)
68.2% probability
1467 (38.7%) 1522calAD
1575 (5.1%) 1584calAD
1590 (24.4%) 1625calAD
95.4% probability
1451 (47.4%) 1530calAD
1541 (46.0%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

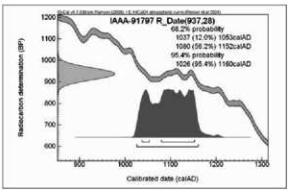

IAAA-91798 R_Date(835,29)
68.2% probability
1175 (58.7%) 1226calAD
1233 (6.5%) 1240calAD
1248 (3.0%) 1251calAD
95.4% probability
1158 (95.4%) 1264calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

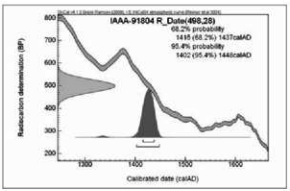

IAAA-91792 R_Date(963,29)
68.2% probability
1024 (24.7%) 1048calAD
1087 (33.0%) 1123calAD
1138 (10.4%) 1150calAD
95.4% probability
1019 (86.4%) 1155calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

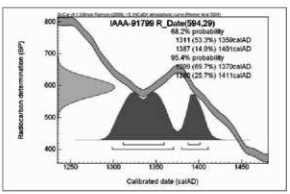

IAAA-91793 R_Date(773,28)
68.2% probability
1225 (68.2%) 1273calAD
95.4% probability
1217 (95.4%) 1280calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

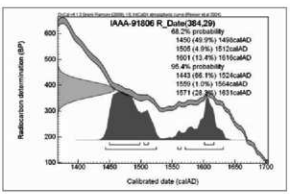

IAAA-91794 R_Date(933,29)
68.2% probability
1039 (11.4%) 1055calAD
1077 (56.8%) 1153calAD
95.4% probability
1025 (95.4%) 1165calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

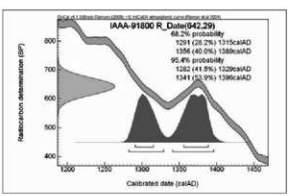

IAAA-91795 R_Date(502,28)
68.2% probability
1344 (53.5%) 1357calAD
1389 (14.7%) 1401calAD
95.4% probability
1299 (69.0%) 1370calAD
1389 (26.4%) 1412calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

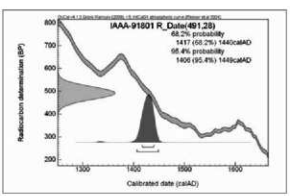

IAAA-91797 R_Date(937,28)
68.2% probability
1037 (12.0%) 1053calAD
1080 (56.2%) 1152calAD
95.4% probability
1026 (95.4%) 1160calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

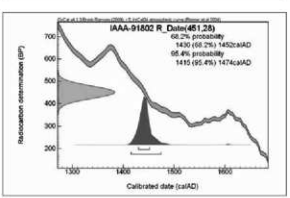

IAAA-91804 R_Date(498,28)
68.2% probability
1448 (68.2%) 1437calAD
95.4% probability
1402 (95.4%) 1446calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

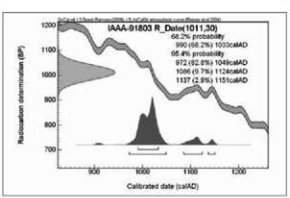

IAAA-91799 R_Date(594,29)
68.2% probability
1311 (53.3%) 1358calAD
1387 (14.9%) 1401calAD
95.4% probability
1289 (69.7%) 1370calAD
1390 (25.7%) 1411calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

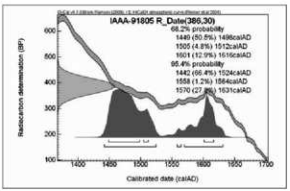

IAAA-91806 R_Date(384,29)
68.2% probability
1450 (49.9%) 1499calAD
1505 (4.9%) 1512calAD
1601 (13.4%) 1616calAD
95.4% probability
1443 (66.1%) 1524calAD
1559 (1.0%) 1564calAD
1571 (28.3%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

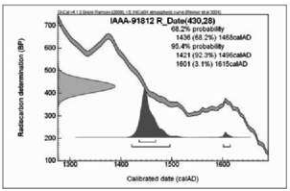

IAAA-91800 R_Date(642,29)
68.2% probability
1291 (28.2%) 1315calAD
1356 (40.0%) 1388calAD
95.4% probability
1282 (41.9%) 1320calAD
1341 (53.5%) 1396calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

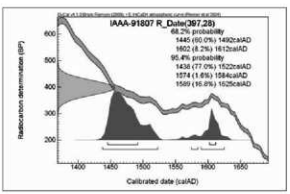

IAAA-91801 R_Date(491,28)
68.2% probability
1447 (68.2%) 1440calAD
95.4% probability
1406 (95.4%) 1449calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

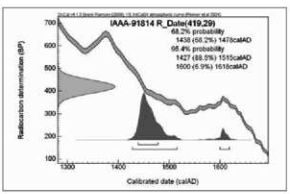

IAAA-91802 R_Date(451,28)
68.2% probability
1430 (68.2%) 1452calAD
95.4% probability
1415 (95.4%) 1474calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

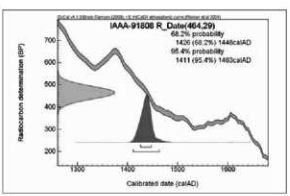

IAAA-91803 R_Date(1011,30)
68.2% probability
990 (68.2%) 1033calAD
95.4% probability
972 (92.8%) 1049calAD
1096 (0.7%) 1124calAD
1137 (2.0%) 1151calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

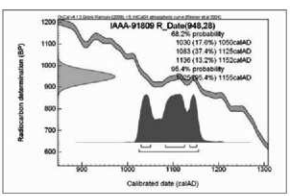

IAAA-91805 R_Date(386,30)
68.2% probability
1449 (50.5%) 1496calAD
1505 (4.8%) 1512calAD
1601 (12.9%) 1516calAD
95.4% probability
1442 (66.4%) 1524calAD
1558 (1.2%) 1564calAD
1570 (27.8%) 1631calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

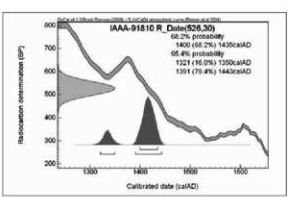

IAAA-91812 R_Date(430,28)
68.2% probability
1436 (68.2%) 1465calAD
95.4% probability
1423 (92.3%) 1496calAD
1601 (3.1%) 1615calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

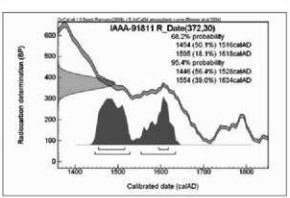

IAAA-91807 R_Date(397,28)
68.2% probability
1445 (60.0%) 1492calAD
1602 (8.2%) 1612calAD
95.4% probability
1438 (77.0%) 1522calAD
1574 (1.6%) 1584calAD
1589 (16.8%) 1625calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

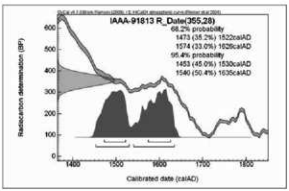

IAAA-91814 R_Date(419,29)
68.2% probability
1438 (68.2%) 1470calAD
95.4% probability
1427 (88.5%) 1515calAD
1600 (6.9%) 1619calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

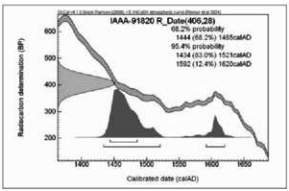

IAAA-91808 R_Date(464,29)
68.2% probability
1426 (68.2%) 1448calAD
95.4% probability
1411 (95.4%) 1463calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

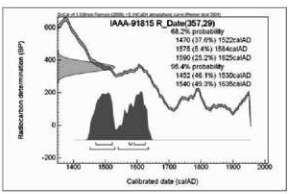

IAAA-91809 R_Date(948,28)
68.2% probability
1030 (17.0%) 1050calAD
1083 (37.4%) 1125calAD
1136 (13.2%) 1152calAD
95.4% probability
1026 (45.4%) 1155calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

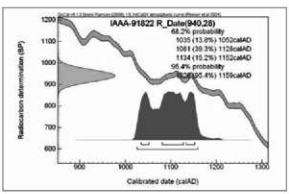

IAAA-91810 R_Date(526,30)
68.2% probability
1400 (68.2%) 1435calAD
95.4% probability
1321 (16.0%) 1350calAD
1391 (79.4%) 1443calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

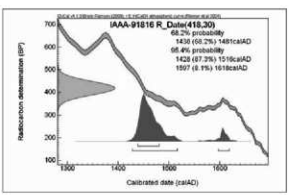

IAAA-91811 R_Date(372,30)
68.2% probability
1454 (50.1%) 1516calAD
1595 (18.1%) 1618calAD
95.4% probability
1446 (56.4%) 1526calAD
1554 (39.0%) 1634calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

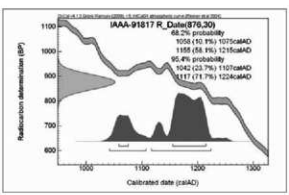

IAAA-91813 R_Date(355,28)
68.2% probability
1473 (35.2%) 1522calAD
1574 (33.0%) 1626calAD
95.4% probability
1453 (45.0%) 1530calAD
1540 (50.4%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

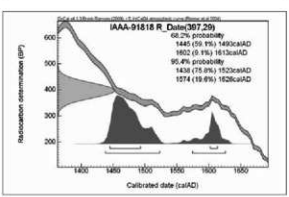

IAAA-91820 R_Date(406,28)
68.2% probability
1444 (68.2%) 1465calAD
95.4% probability
1434 (83.0%) 1521calAD
1592 (12.4%) 1620calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

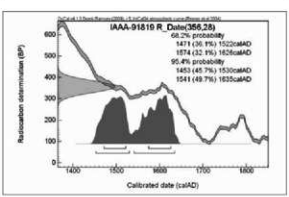

IAAA-91815 R_Date(357,29)
68.2% probability
1470 (37.6%) 1522calAD
1575 (5.4%) 1584calAD
1590 (25.2%) 1625calAD
95.4% probability
1452 (46.1%) 1530calAD
1540 (49.3%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

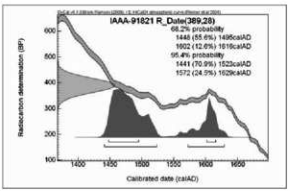

IAAA-91822 R_Date(940,28)
68.2% probability
1035 (13.8%) 1053calAD
1081 (39.3%) 1128calAD
1134 (15.2%) 1152calAD
95.4% probability
1035 (95.4%) 1159calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

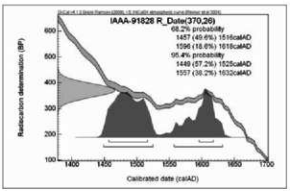

IAAA-91816 R_Date(418,30)
68.2% probability
1430 (68.2%) 1481calAD
95.4% probability
1428 (87.3%) 1516calAD
1597 (8.1%) 1618calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

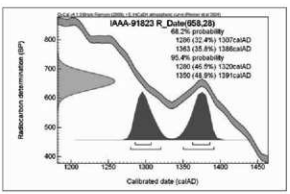

IAAA-91817 R_Date(976,30)
68.2% probability
1058 (10.5%) 1075calAD
1155 (58.1%) 1215calAD
95.4% probability
1042 (23.7%) 1107calAD
1117 (71.7%) 1224calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

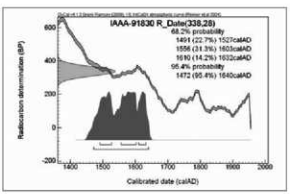

IAAA-91818 R_Date(367,29)
68.2% probability
1445 (59.1%) 1490calAD
1602 (9.1%) 1613calAD
95.4% probability
1438 (75.8%) 1523calAD
1574 (19.6%) 1626calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

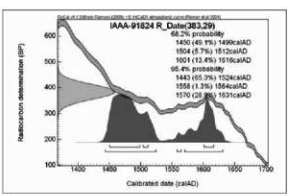

IAAA-91819 R_Date(356,28)
68.2% probability
1471 (36.1%) 1522calAD
1574 (32.1%) 1626calAD
95.4% probability
1453 (45.7%) 1530calAD
1541 (49.7%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

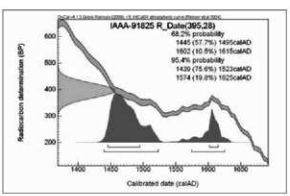

IAAA-91821 R_Date(389,28)
68.2% probability
1446 (55.6%) 1495calAD
1602 (12.6%) 1616calAD
95.4% probability
1441 (70.9%) 1523calAD
1572 (24.5%) 1629calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

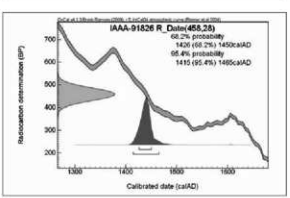

IAAA-91828 R_Date(370,26)
68.2% probability
1457 (49.6%) 1516calAD
1596 (18.6%) 1618calAD
95.4% probability
1449 (57.2%) 1525calAD
1557 (38.2%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

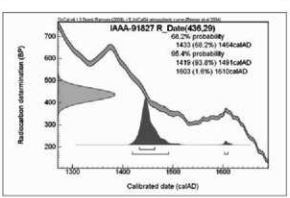

IAAA-91823 R_Date(658,28)
68.2% probability
1296 (32.4%) 1337calAD
1363 (35.8%) 1386calAD
95.4% probability
1290 (46.5%) 1320calAD
1350 (48.9%) 1391calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

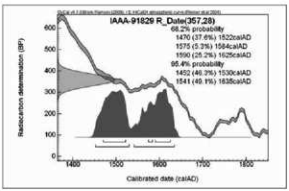

IAAA-91830 R_Date(338,28)
68.2% probability
1464 (22.7%) 1527calAD
1556 (31.3%) 1603calAD
1610 (14.2%) 1632calAD
95.4% probability
1472 (95.4%) 1640calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

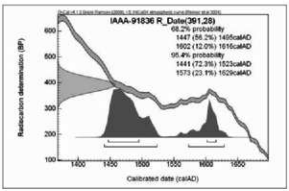

IAAA-91824 R_Date(383,29)
68.2% probability
1450 (49.1%) 1499calAD
1504 (6.7%) 1512calAD
1601 (12.4%) 1616calAD
95.4% probability
1443 (65.2%) 1524calAD
1558 (1.3%) 1564calAD
1570 (28.9%) 1631calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

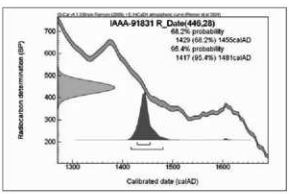

IAAA-91825 R_Date(395,28)
68.2% probability
1445 (57.7%) 1495calAD
1602 (10.5%) 1616calAD
95.4% probability
1439 (75.6%) 1523calAD
1574 (19.8%) 1625calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

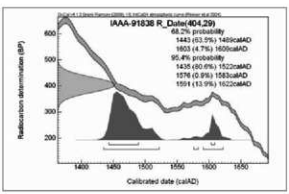

IAAA-91826 R_Date(458,28)
68.2% probability
1426 (68.2%) 1450calAD
95.4% probability
1415 (95.4%) 1485calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

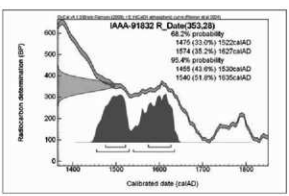

IAAA-91827 R_Date(436,29)
68.2% probability
1433 (68.2%) 1464calAD
95.4% probability
1419 (93.8%) 1491calAD
1603 (1.6%) 1610calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

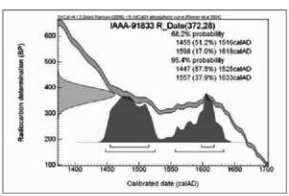

IAAA-91829 R_Date(357,28)
68.2% probability
1470 (37.6%) 1522calAD
1575 (5.3%) 1584calAD
1590 (25.2%) 1625calAD
95.4% probability
1452 (46.3%) 1530calAD
1541 (49.1%) 1638calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

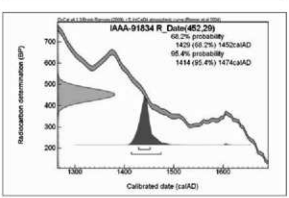

IAAA-91836 R_Date(391,28)
68.2% probability
1447 (56.2%) 1495calAD
1602 (12.0%) 1616calAD
95.4% probability
1441 (72.3%) 1523calAD
1573 (23.1%) 1629calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

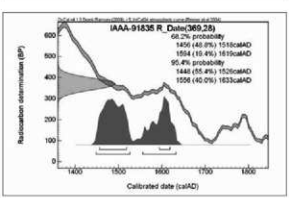

IAAA-91831 R_Date(446,28)
68.2% probability
1429 (68.2%) 1455calAD
95.4% probability
1417 (95.4%) 1481calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

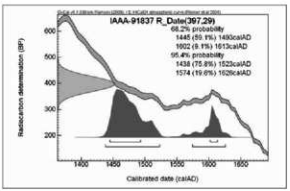

IAAA-91838 R_Date(404,29)
68.2% probability
1443 (63.5%) 1490calAD
1603 (4.7%) 1609calAD
95.4% probability
1435 (60.6%) 1522calAD
1576 (0.9%) 1583calAD
1591 (13.9%) 1622calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

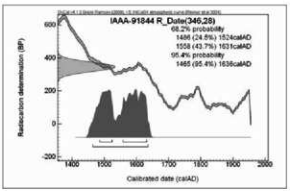

IAAA-91832 R_Date(363,28)
68.2% probability
1475 (32.0%) 1522calAD
1574 (36.2%) 1627calAD
95.4% probability
1455 (43.6%) 1530calAD
1540 (51.8%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

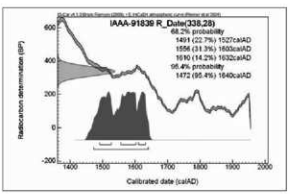

IAAA-91833 R_Date(372,28)
68.2% probability
1455 (51.2%) 1516calAD
1598 (17.0%) 1618calAD
95.4% probability
1447 (57.9%) 1525calAD
1557 (37.9%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

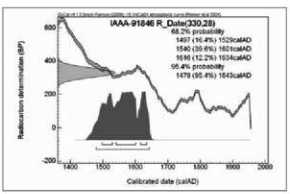

IAAA-91834 R_Date(452,29)
68.2% probability
1429 (68.2%) 1452calAD
95.4% probability
1414 (95.4%) 1474calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

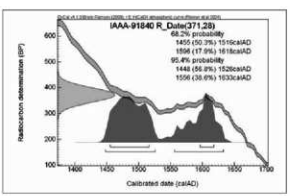

IAAA-91835 R_Date(369,28)
68.2% probability
1456 (48.0%) 1518calAD
1594 (19.4%) 1619calAD
95.4% probability
1448 (55.4%) 1526calAD
1556 (40.0%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

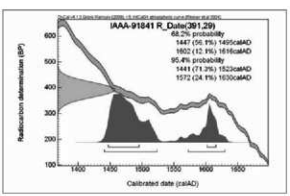

IAAA-91837 R_Date(397,29)
68.2% probability
1445 (68.9%) 1490calAD
1602 (9.1%) 1613calAD
95.4% probability
1438 (75.8%) 1523calAD
1574 (19.6%) 1629calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

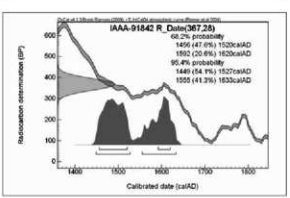

IAAA-91844 R_Date(346,28)
68.2% probability
1486 (24.8%) 1524calAD
1558 (43.7%) 1631calAD
95.4% probability
1465 (95.4%) 1636calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

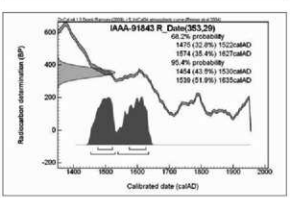

IAAA-91839 R_Date(338,28)
68.2% probability
1491 (22.7%) 1527calAD
1556 (31.3%) 1603calAD
1610 (14.2%) 1632calAD
95.4% probability
1472 (95.4%) 1640calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

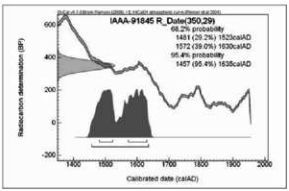

IAAA-91846 R_Date(330,28)
68.2% probability
1497 (16.4%) 1529calAD
1540 (39.6%) 1601calAD
1616 (12.2%) 1634calAD
95.4% probability
1479 (95.4%) 1643calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)


IAAA-91840 R_Date(371,28)
68.2% probability
1455 (50.3%) 1519calAD
1596 (17.9%) 1618calAD
95.4% probability
1448 (56.8%) 1528calAD
1556 (38.6%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)


IAAA-91841 R_Date(391,29)
68.2% probability
1447 (56.1%) 1495calAD
1602 (12.1%) 1616calAD
95.4% probability
1441 (71.2%) 1523calAD
1572 (24.1%) 1630calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)


IAAA-91842 R_Date(367,28)
68.2% probability
1456 (47.6%) 1520calAD
1592 (20.6%) 1620calAD
95.4% probability
1449 (54.1%) 1527calAD
1555 (41.3%) 1633calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)


IAAA-91843 R_Date(353,29)
68.2% probability
1470 (32.8%) 1522calAD
1574 (35.4%) 1627calAD
95.4% probability
1454 (43.5%) 1530calAD
1539 (51.9%) 1635calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)



［参考］　層年較正年代グラフ

（平成20年３月 受領）
（平成24年度 ＵＨ 分類加筆　末光）

写　真　図　版

調査状況

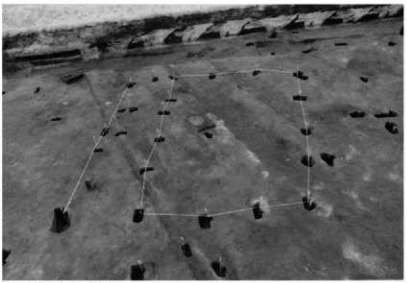
調査状況

図版２

遺構調査状況

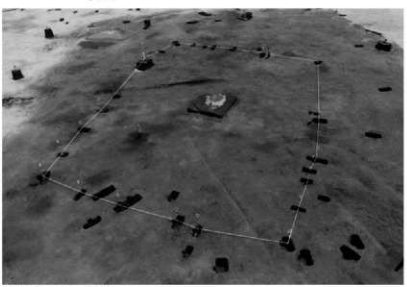
調査終了

調査状況（２）

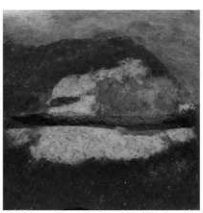


ＵＨＤ－13　検出

ＵＨＤ－13　ＨＦ－１セクション



ＵＨＤ－14　検出



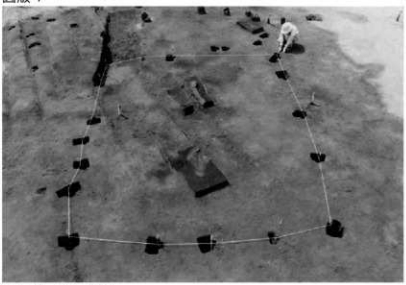
ＵＨＤ－14　ＨＦ－１セクション

ＵＨＤ－16　検出

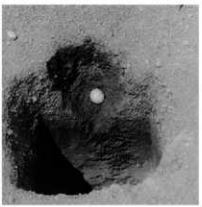
ＵＨＤ－16　ＨＰ－10・11セクション

平地住居跡（１）

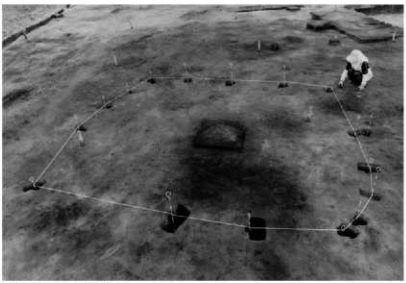
図版４



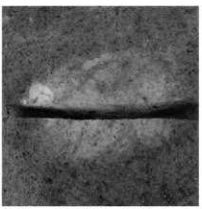
ＵＨＤ－21　検出



ＵＨＤ－21　ＨＰ－９遺物出土状況

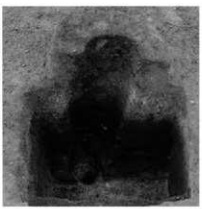


ＵＨＤ－22　検出



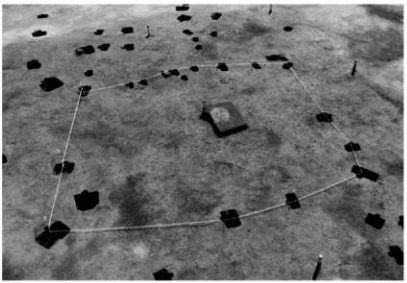
ＵＨＤ－22　ＨＦ－１セクション

ＵＨＤ－24　検出



ＵＨＤ－24　ＨＰ－１完掘

平地住居跡（２）

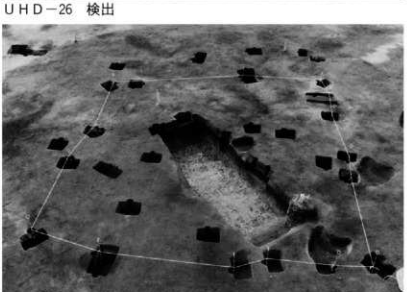


ＵＨＤ－25　検出

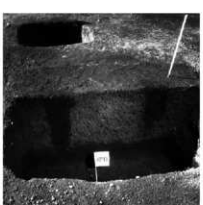
ＵＨＤ－25　刀子出土状況

ＵＨＤ－26　検出

ＵＨＤ－26　ＨＦ－22・23完掘

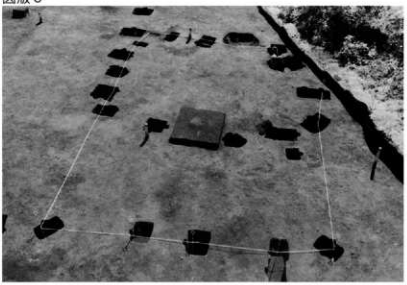


ＵＨＤ－28　検出

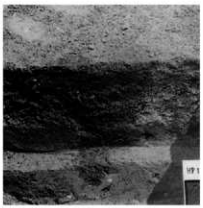


ＵＨＤ－28　ＨＰ－13セクション

図版6



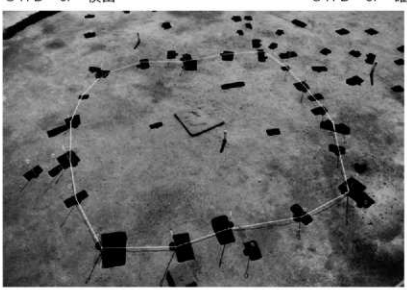
ＵＨＤ－36　検出



ＵＨＤ－36　ＨＰ－16セクション

ＵＨＤ－37　検出

ＵＨＤ－37　確認



ＵＨＤ－38　検出

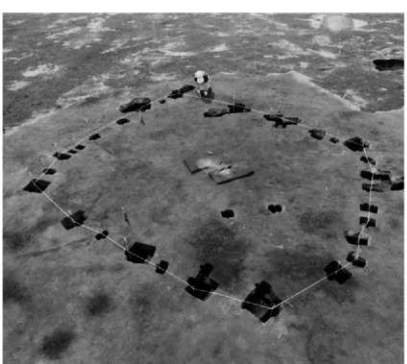
ＵＨＤ－38　ＨＰ－１炭化材出土状況

平地住居跡（４）

ＵＨＤ－40　検出

ＵＨＤ－40　鋤出土状況

ＵＨＤ－40　北側柱穴列



ＵＨＤ－41　検出

ＵＨＤ－41　ＨＦ－１セクション

ＵＨＤ－41　ＨＰ－20完掘

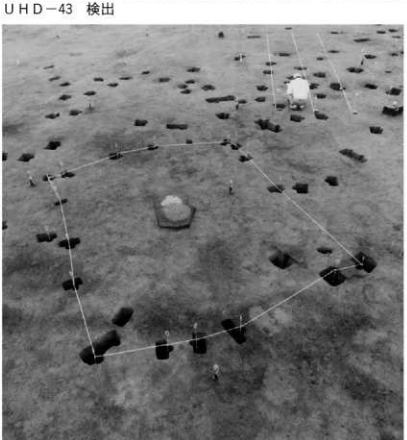
平地住居跡（５）

図版８

ＵＨＤ－43　検出

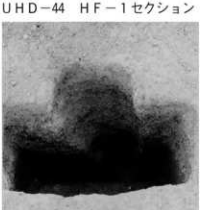
ＵＨＤ－43　ＨＦ－１セクション

ＵＨＤ－43　小柄出土状況



ＵＨＤ－44　検出

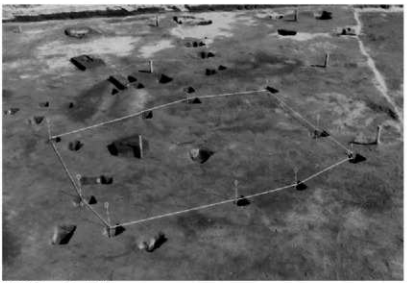
ＵＨＤ－44　ＨＦ－１セクション



ＵＨＤ－44　ＨＰ－18完掘

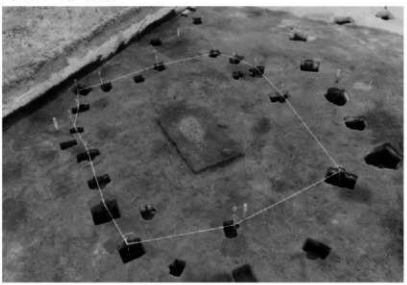
ＵＨＤ－45　検出

ＵＨＤ－45　ＨＰ－14セクション



ＵＨＤ－46　検出

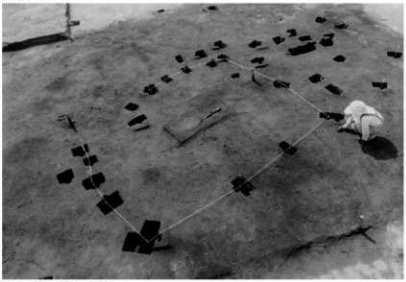
ＵＨＤ－46　ＨＰ－５セクション



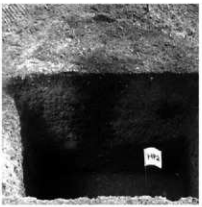
ＵＨＤ－48　検出

ＵＨＤ－48　確認

図版10

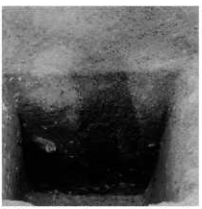


ＵＨＤ－49　検出

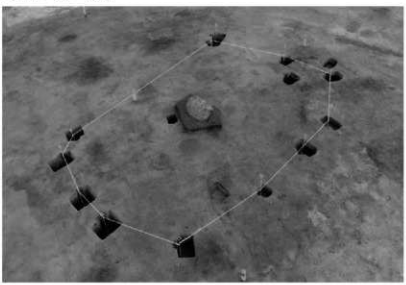


ＵＨＤ－49　ＨＰ－２セクション

ＵＨＤ－50　検出



ＵＨＤ－50　ＨＰ－18セクション



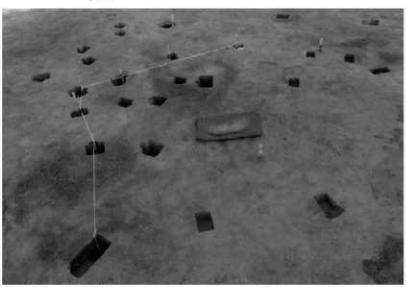
ＵＨＤ－52　検出

ＵＨＤ－52　ＨＦ－１セクション

平地住居跡（８）

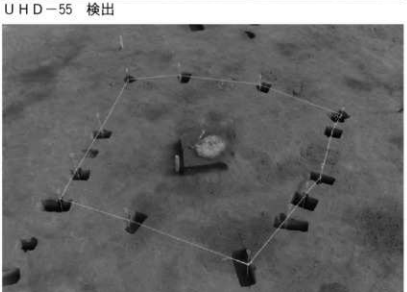
ＵＨＤ－53　検出

ＵＨＤ－53　ＨＰ－１セクション



ＵＨＤ－55　検出

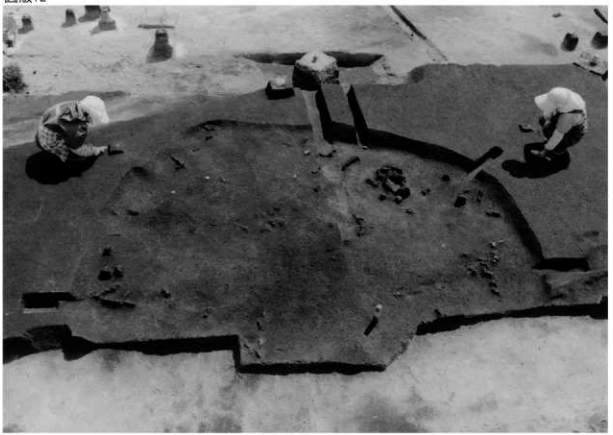
ＵＨＤ－55　ＨＦ－１セクション



ＵＨＤ－56　検出

ＵＨＤ－56　ＨＦ－１セクション

図版12



ＵＨＰ－15　遺物出土状況

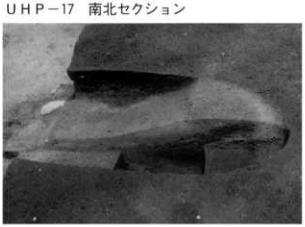
ＵＨＰ－15　東西セクション

ＵＨＰ－15　南北セクション

ＵＨＰ－15　鉄鍋出土状況

ＵＨＰ－17　炭化材出土状況

ＵＨＰ－17　南北セクション



ＵＨＰ－17　竈煙道セクション

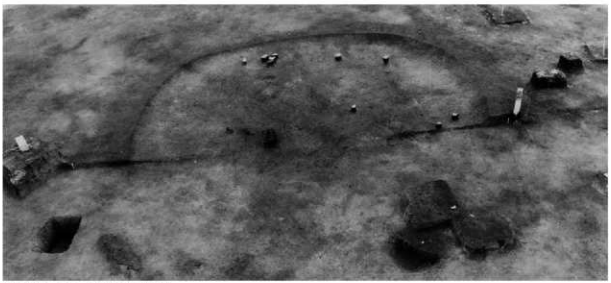
ＵＨＰ－17　竈燃焼部検出

竪穴住居跡（２）

図版14

ＵＨＰ－23　検出

ＵＨＰ－23　ＨＦ－１セクション



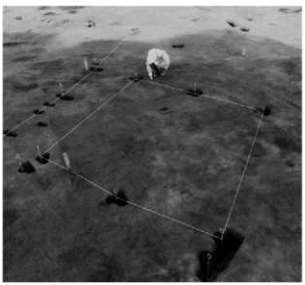
ＵＨＰ－31　遺物出土状況

ＵＨＰ－31　東西セクション

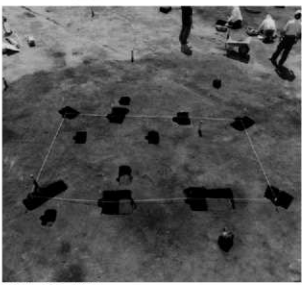
竪穴住居跡（３）

ＵＨ－18　検出

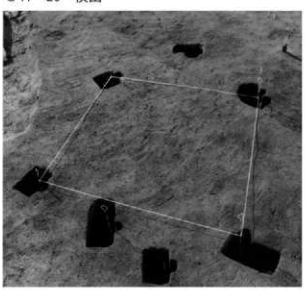
ＵＨ－19　検出



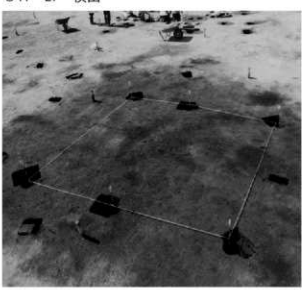
ＵＨ－20　検出



ＵＨ－27　検出



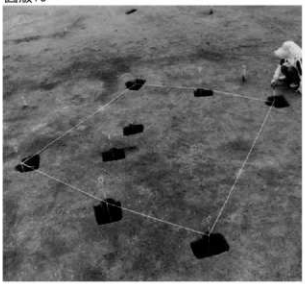
ＵＨ－29　検出



ＵＨ－30　検出

建物跡（１）

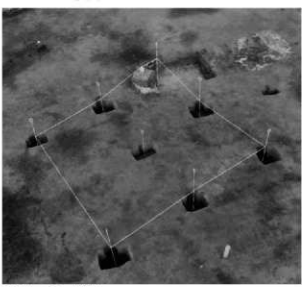
図版16



ＵＨ－32　検出

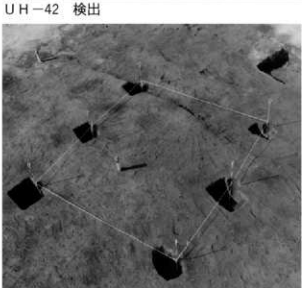
ＵＨ－34　検出

ＵＨ－35　検出



ＵＨ－42　検出

ＵＨ－47　検出



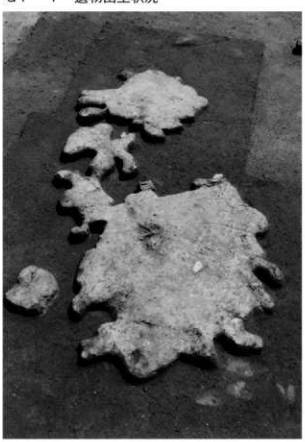
ＵＨ－54　検出

建物跡（２）

ＧＰ－１　遺物出土状況

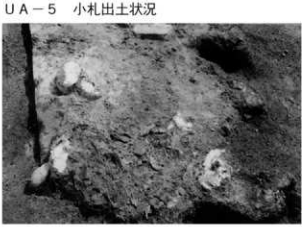
ＧＰ－１　青磁平皿・刀子出土状況

ＧＰ－１　漆塗椀出土状況



ＵＡ－５　検出

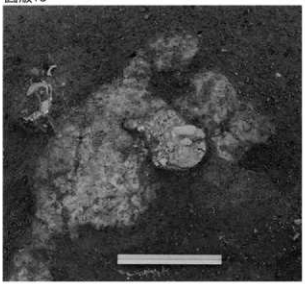
ＵＡ－５　小札出土状況



ＵＡ－５　魚骨出土状況

土壙墓・灰集中（１）

図版18

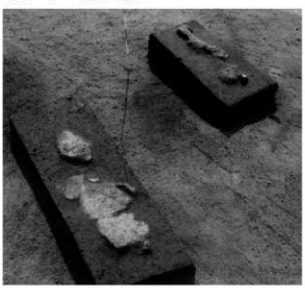


ＵＡ－７　小札出土状況

ＵＡ－８　検出

ＵＡ－９　セクション

ＵＡ－10　検出



ＵＡ－12　検出

ＵＡ－13　検出

灰集中（２）

ＵＡ－14　検出

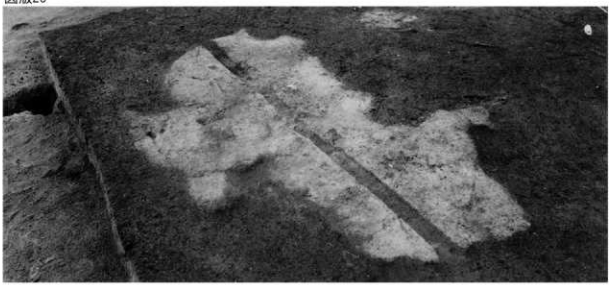
ＵＡ－17　検出

ＵＡ－17　骨片出土状況

ＵＡ－18　検出

ＵＡ－19　検出

図版20



ＵＡ－20　セクション

ＵＡ－20　骨片・貝出土状況

ＵＡ－20　骨片・貝出土状況

ＵＡ－21　検出

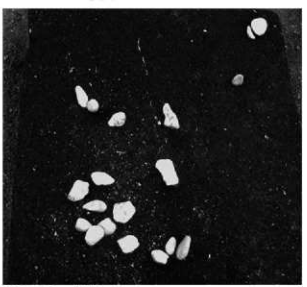
ＵＡ－21　鏃先出土状況

灰集中（４）

ＵＰＳ－１　検出

ＵＰＳ－２　検出

ＵＰＳ－３　検出



ＵＳ－５　検出

ＵＳ－６　検出

ＵＳ－７　検出

土器集中・礫集中（１）

図版22

ＵＳ－８　検出

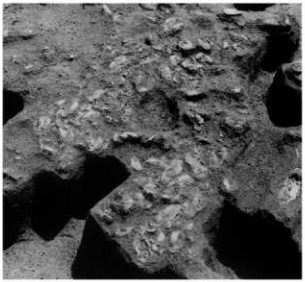
ＵＳ－９　検出

ＵＳ－10　検出

ＵＳ－12　検出

畑跡

礫集中（２）・畑跡



貝殻集中

刀子出土状況（Ｄ－36区）

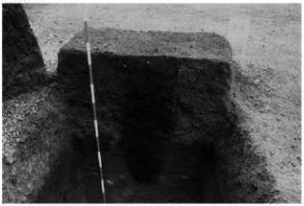
ヤス出土状況（Ｉ－33区）

小柄出土状況（Ｌ－34区）

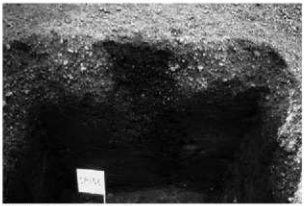
小札集中（Ｉ・Ｊ－27・28区）

遺物出土状況

図版24



ＳＰ－38セクション

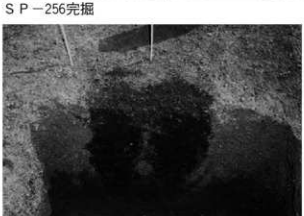


ＳＰ－156セクション

ＳＰ－221セクション

ＳＰ－256完掘

ＳＰ－405セクション



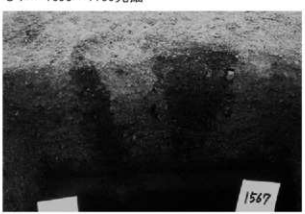
ＳＰ－671・672セクション

ＳＰ－424・425・426セクション

ＳＰ－966・967セクション

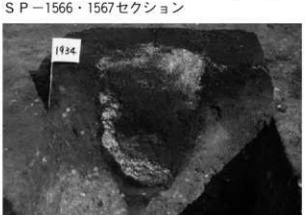
ＳＰ－1099・1100完掘

ＳＰ－1406・1436セクション

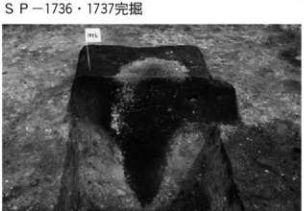


ＳＰ－1566・1567セクション

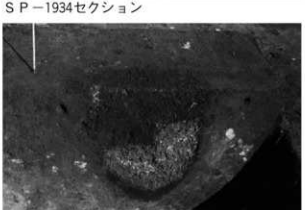
ＳＰ－1736・1737完掘



ＳＰ－1934セクション



ＳＰ－1936セクション



ＳＰ－1949セクション

小柱穴（２）

図版26

ＴＰ－１　完掘

ＴＰ－２　完掘

ブロック３　石器出土状況

ブロック３　石器出土状況

ブロック４　調査状況

Ｔピット・旧石器ブロック

UPS－1　1

UPS－2　3

UPS－3　2

UPS－17　4

遺構の土器（1）

図版28

2

1

3

6

7

4

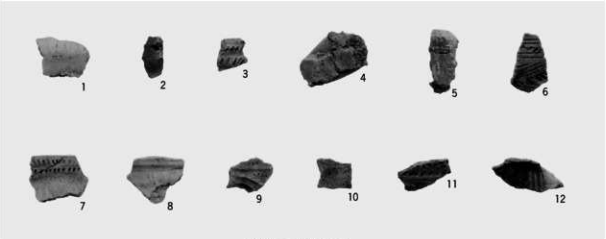
8

包含層の土器（1）

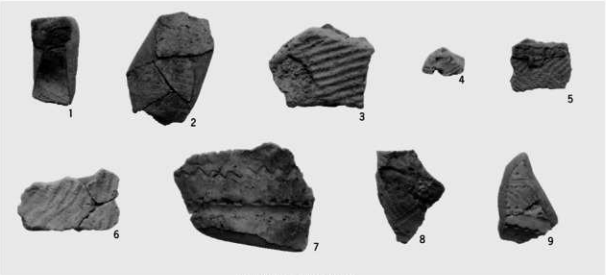
5

9

包含層の土器（2）

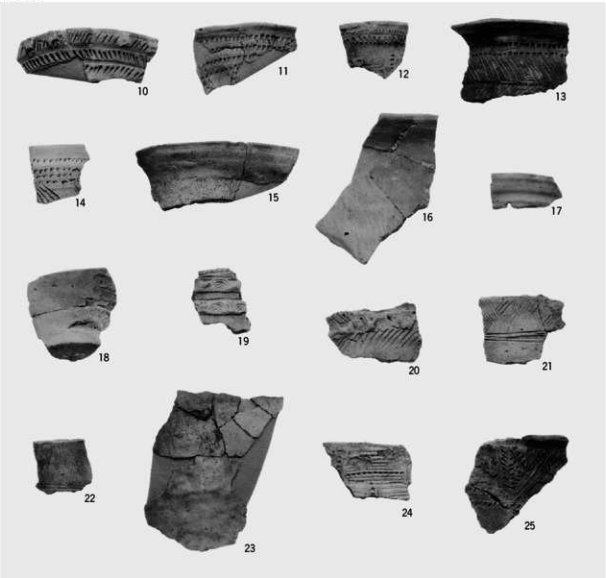


遺構の土器（2）

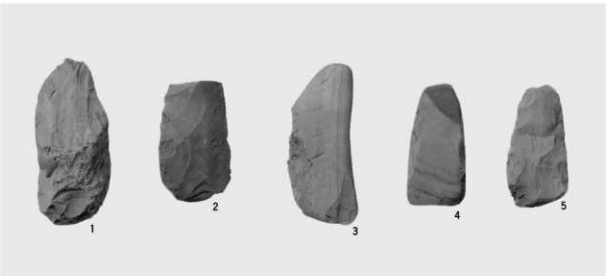


包含層の土器（3）

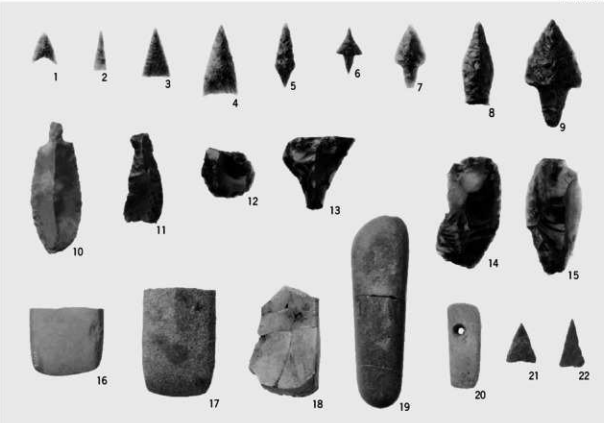
図版30



包含層の土器（4）



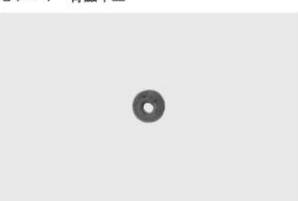
遺構の石器



包含層の石器

ＧＰ－１　青磁平皿

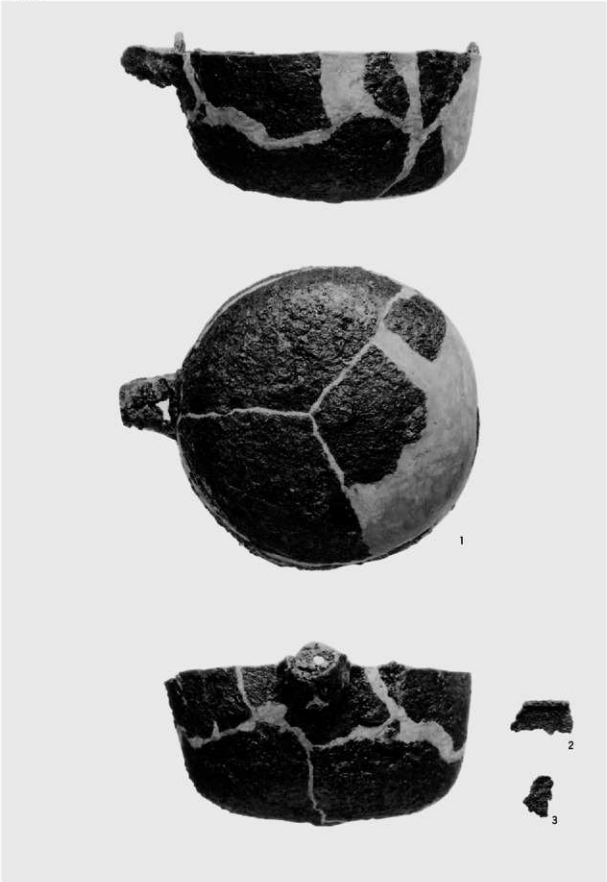
青磁平皿見込み



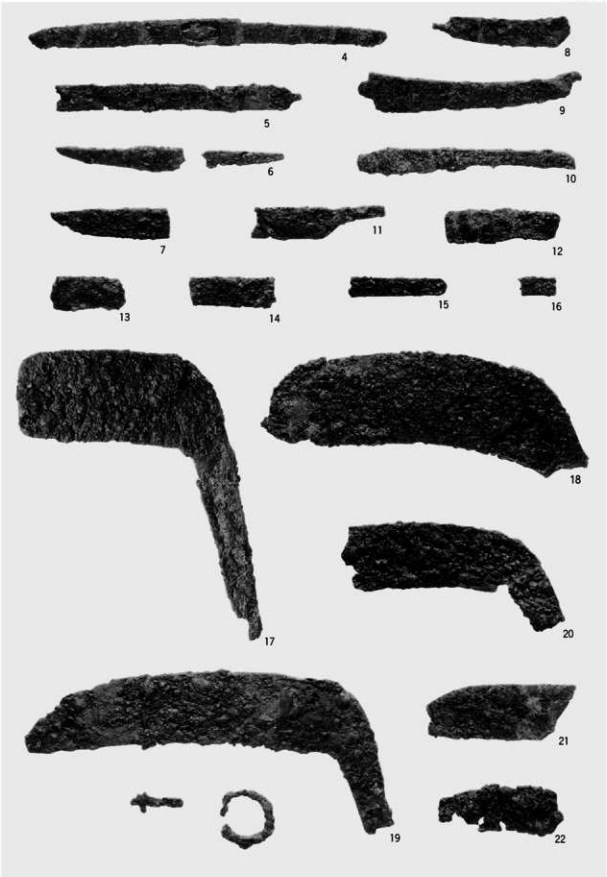
ＵＡ－14　ガラス玉（Ｓ＝１／１）

ＵＨＤ－26　刀子柄（Ｓ＝１／１）

図版32

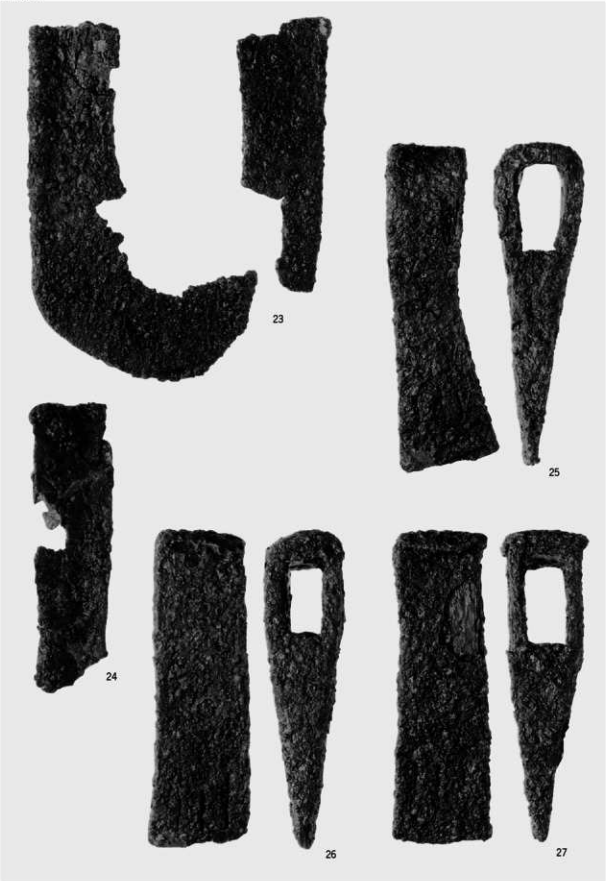


金属製品（1）



金属製品（2）

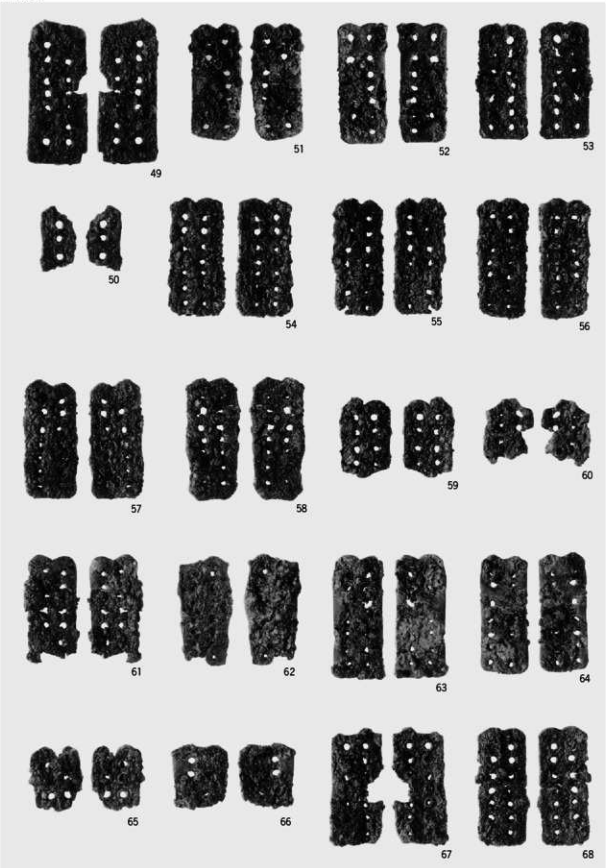
図版34



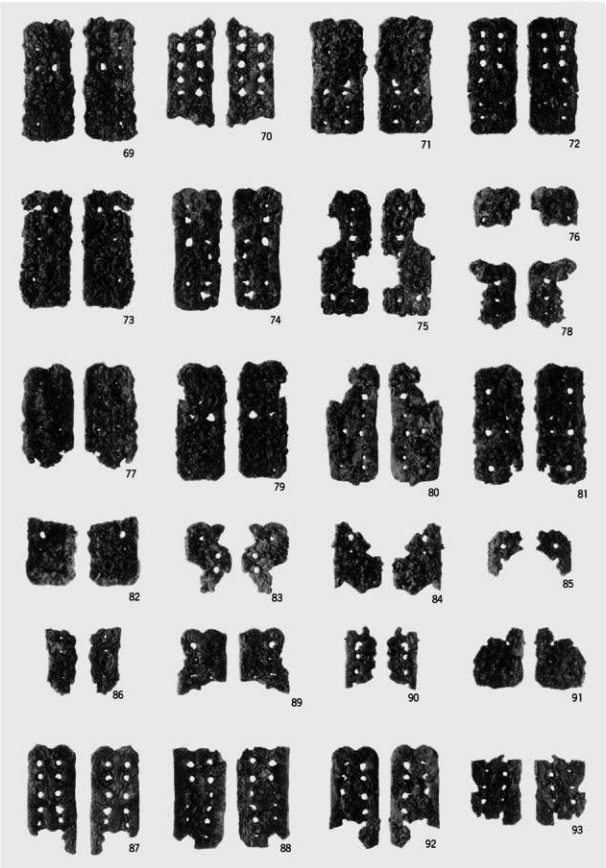
金属製品（３）

金属製品（4）

図版36

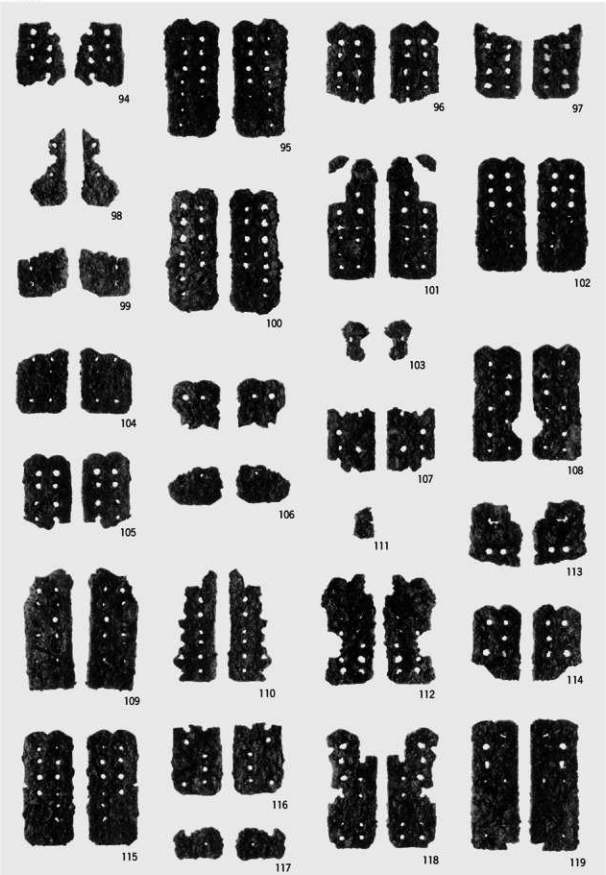


金属製品（５）

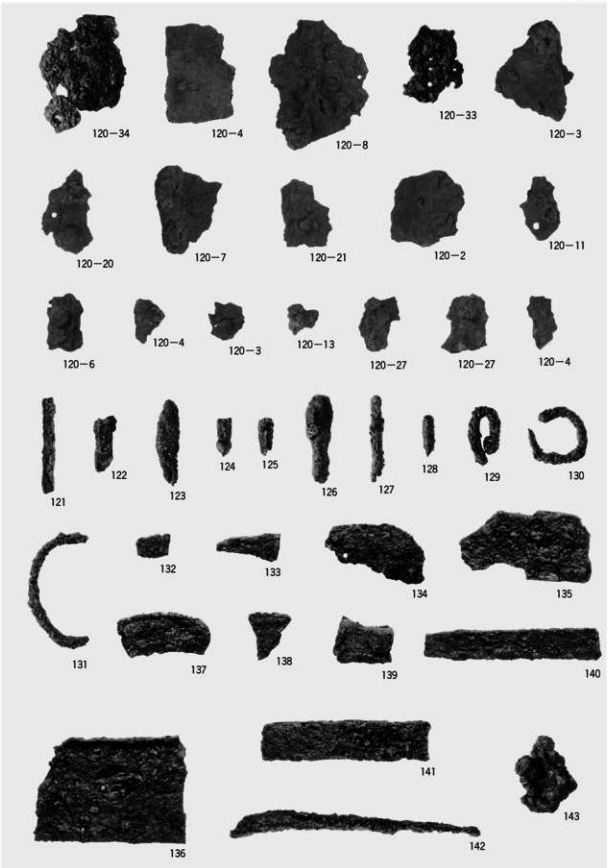

69
70
71
72
73
74
75
76
78
77
79
80
81
82
83
84
85
86
89
90
91
87
88
92
93

金属製品（6）

図版38

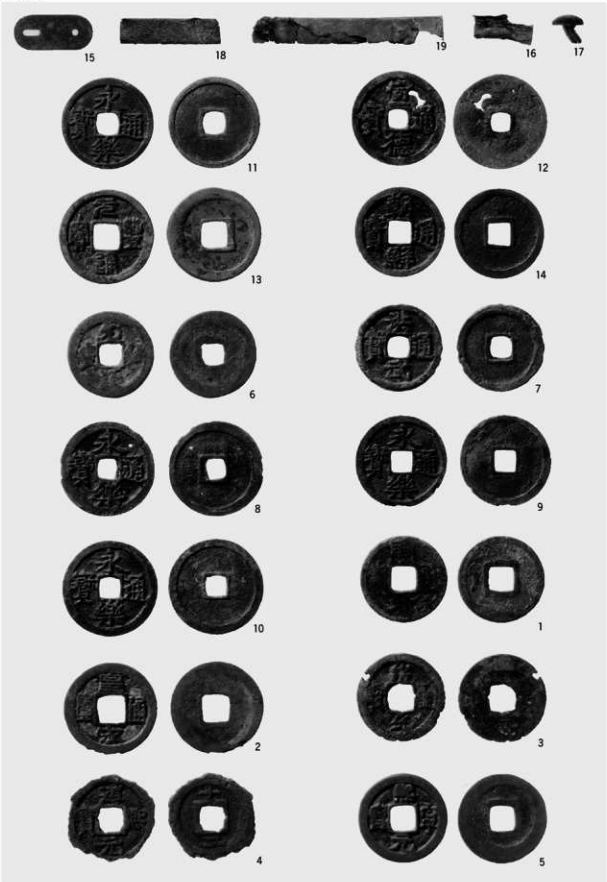

94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119

金属製品（７）

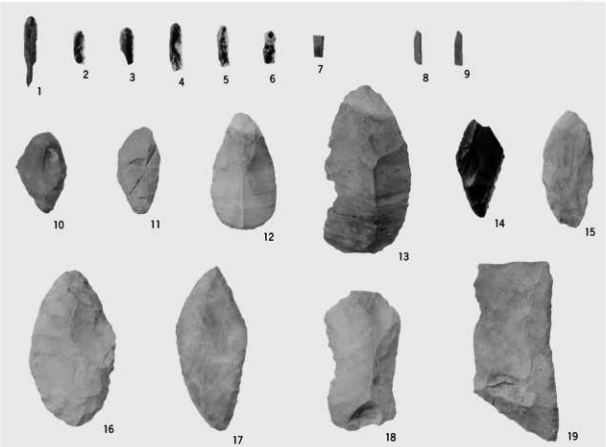

120−34
120−4
120−8
120−33
120−3
120−20
120−7
120−21
120−2
120−11
120−6
120−4
120−3
120−13
120−27
120−27
120−4
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
137
138
139
140
136
141
142
143

金属製品（8）

図版40



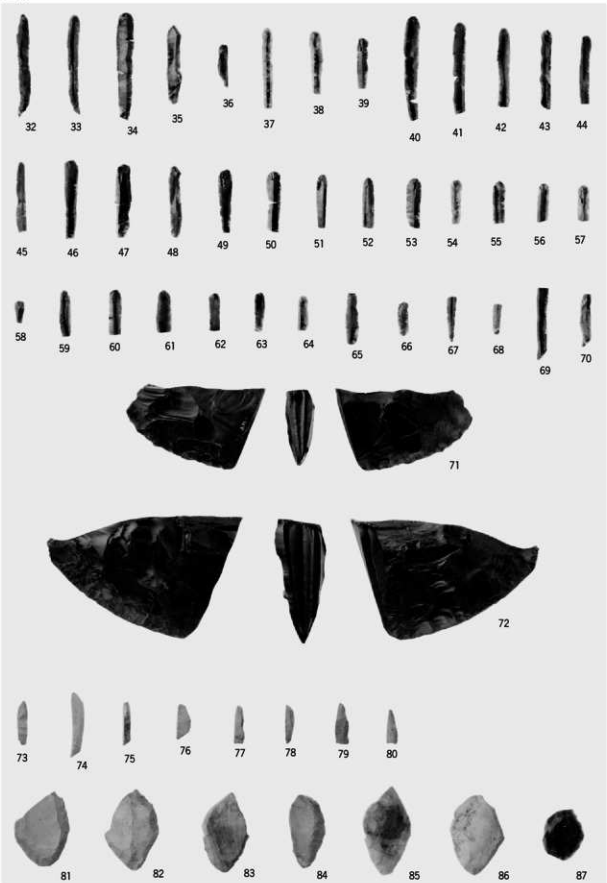
金属製品（9）



ブロック３の石器（図Ⅷ－14）

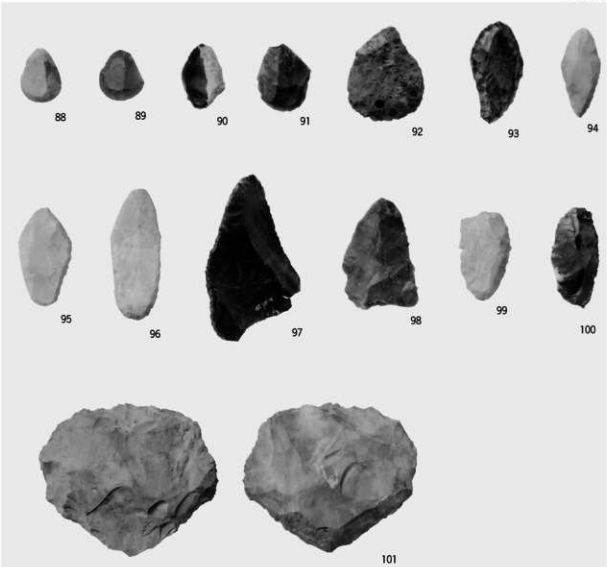
ブロック４の石器（図Ⅷ－20）

図版42



ブロック５の石器（１）（図Ⅷ－26・27－32～97）

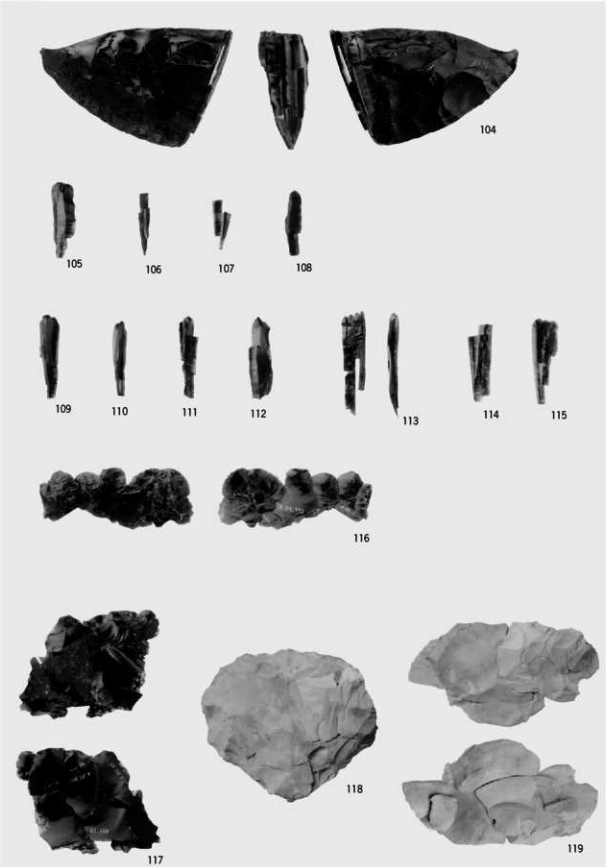
旧石器（２）



ブロック５の石器（２）（図Ⅷ－27・28－88～101）

ブロック外の石器（図Ⅷ－34）

図版44



旧石器接合資料（図Ⅷ－35～39）

旧石器（４）

引用参考文献

論文・論考・書籍等

阿部明義 2005 「アイヌ文化期の遺構と遺物について」『千歳市 オルイカ２遺跡（２）』北埋調報221
安斎正人・佐藤宏之 編 2006 『旧石器時代の地域編年的研究』 同成社
上屋眞一 1998 「近世アイヌ期の建物跡について」 『カリンバ２遺跡 第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ地点』 恵庭市教育委員会
扇谷昌康 1993「美々山道をめぐる２、３の考察」『郷土の研究』第６号 苫小牧郷土文化研究会
長見義三 1976 『千歳地名散歩』 北海道新聞社
木下亀城・小川留太郎 1967 『標準原色図鑑全集６ 岩石鉱物』 保育社
小林孝二 2010 『アイヌの建築文化再考 －近世絵画と発掘跡からみたチセの原像－ 』 北海道出版企画センター
小山正忠・竹原秀雄 1967 『新版標準土色帖』 日本色研事業株式会社
榊原正文 2002 『データベース アイヌ語地名３ 石狩Ⅱ 』 北海道出版企画センター
坂詰秀一 編 1986 『出土渡来銭 －中世－ 』考古学ライブラリー45 ニュー・サイエンス社
佐久間光平 2008 「北海道千歳市祝梅上層遺跡の石器群」 考古学Ⅵ
鈴木 信 2001 「３ 北海道の中世出土銭」『千歳市 ユカンボシＣ15遺跡（４）』北埋調報159
鈴木 信 2001 「４ 北海道の中世陶磁器」『千歳市 ユカンボシＣ15遺跡（４）』北埋調報159
曽屋龍典・佐藤博之 1980 『千歳地域の地質』 地質調査所
知里真志保 1956 『地名アイヌ語小辞典』(1973 『知里真志保著作集３』所収) 平凡社
永井久美男 編 2002 『新版 中世出土銭の分類図版』 高志書院
永田方正 1891 『北海道蝦夷語地名解』(1984復刻) 草風館
長町章弘 2007 「旧カリンバ川流域に存在したアイヌ文化期の集落について」北海道考古学会研究会資料
町田 洋・新井房夫 2003 『新編 火山灰アトラス』 東京大学出版会
松浦武四郎 1857 『武四郎蝦夷地紀行』(1988 秋葉実 解説) 北海道出版企画センター
三浦正人 2008 「２．アイヌ文化期の畑 －コタンからのアプローチ－ 」『千歳市 キウス５遺跡（８）』北埋調報251
三浦正人 2011 「沙流川歴史館講座 遺跡からみたコタンの構造」『沙流川歴史館年報』第12号
三浦正人 2012 「発掘された千歳・恵庭両市域のコタン跡」
『アイヌ文化期の「集落」研究』 北海道考古学会 2012年度研究大会 発表資料
山岸素夫・宮崎貞澄 1990 『日本甲冑の基礎知識』 雄山閣出版
山田 哲 2006 『北海道における細石刃石器群の研究』 六一書房
横田賢次郎・森田 勉 1978 「大宰府出土の輸入中国陶磁器について －型式分類と編年を中心として－」
『九州歴史資料館 研究論集』４

団体組織刊行物

千歳市 1969 『千歳市史』 更科源蔵編
千歳市 1983 『増補 千歳市史』 千歳市史編さん委員会編
千歳市 2009 『新千歳市史』 千歳市史編さん委員会編
千歳市教育委員会 1994 『千歳市埋蔵文化財包蔵地分布図』
千歳市埋蔵文化財センター 2012 『千歳市遺跡地図 中央部 東部 １：25,000』
文化庁 1979 『全国遺跡地図 北海道Ⅱ』 文化庁文化財保護部
ペドロジット懇談会 1984 『土壌調査ハンドブック』 博友社
北海道教育委員会 1977 『埋蔵文化財包蔵地一覧表 （付 指定文化財） （全道編）』
北海道考古学会 2012 『アイヌ文化期の「集落」研究』 北海道考古学会 2012年度研究大会 発表資料

埋蔵文化財発掘調査報告書

千歳市教育委員会 1967 『千歳遺跡』 大場利夫・石川徹 調査
千歳市教育委員会 1979 『続千歳遺跡』 石川徹調査
千歳市教育委員会 1979 『千歳市における埋蔵文化財（上）』 千歳市文化財調査報告書Ⅴ
千歳市教育委員会 1981 『末広遺跡における考古学的調査（上）』 千歳市文化財調査報告書Ⅶ
千歳市教育委員会 1982 『末広遺跡における考古学的調査（下）』 千歳市文化財調査報告書Ⅷ
千歳市教育委員会 1983 『メボシ川２遺跡における考古学的調査』 千歳市文化財調査報告書Ⅸ
千歳市教育委員会 1984 『丸子山遺跡における考古学的調査』 千歳市文化財調査報告書ⅩⅣ
千歳市教育委員会 1985 『末広遺跡における考古学的調査（続）』 千歳市文化財調査報告書ⅩⅠ
千歳市教育委員会 1986 『末広遺跡における考古学的調査（Ⅳ）』 千歳市文化財調査報告書ⅩⅩⅠ

千歳市教育委員会　1986　『梅川３遺跡における考古学的調査』　千歳市文化財調査報告書ＸＸⅡ
千歳市教育委員会　2002　『ユカンボシＣ２遺跡・オサツ２遺跡における考古学的調査』千歳市文化財調査報告書ＸＸⅦ
千歳市教育委員会　2002　『梅川４遺跡における考古学的調査』　千歳市文化財調査報告書ＸＸⅧ
千歳市教育委員会　2003　『祝梅川遺跡・祝梅川矢島遺跡・梅川４遺跡における考古学的調査』
千歳市文化財調査報告書ＸＸⅨ
千歳市教育委員会　2004　『トメト川３遺跡における考古学的調査』　千歳市文化財調査報告書ＸＸＸⅠ
福岡市教育委員会　1984　『博多１　別冊』
福岡市教育委員会　1997　『博多60』
北海道文化財保護協会　1997　『千歳市　オサツ16遺跡（２）』　北海道文化財保護協会調査報告書第７集

㈶北海道埋蔵文化財センター刊行物

㈶北海道埋蔵文化財センター　1994　『遺跡が語る北海道の歴史』　財団法人北海道埋蔵文化財センター15周年記念誌
㈶北海道埋蔵文化財センター　2004　『遺跡が語る北海道の歴史』　財団法人北海道埋蔵文化財センター25周年記念誌
㈶北海道埋蔵文化財センター　2008　『調査年報20　平成19年度』
㈶北海道埋蔵文化財センター　2009　『調査年報21　平成20年度』

㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書（北埋調報）

「一般国道337号千歳市新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査」関連

㈶北海道埋蔵文化財センター　1999　『千歳市 柏台１遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報138
㈶北海道埋蔵文化財センター　2002　『千歳市 チプニー１遺跡・チプニー２遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報173
㈶北海道埋蔵文化財センター　2003　『千歳市 オルイカ１遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報188
㈶北海道埋蔵文化財センター　2003　『千歳市 オルイカ２遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報189
㈶北海道埋蔵文化財センター　2004　『千歳市 オルイカ１遺跡（２）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報206
㈶北海道埋蔵文化財センター　2004　『千歳市 チプニー２遺跡（２）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報207
㈶北海道埋蔵文化財センター　2005　『千歳市 オルイカ２遺跡（２）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報221
㈶北海道埋蔵文化財センター　2006　『千歳市 チプニー２遺跡（３）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報225
㈶北海道埋蔵文化財センター　2007　『千歳市 祝梅川上田遺跡・梅川２遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報238
㈶北海道埋蔵文化財センター　2008　『千歳市 キウス５遺跡（８）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報251
㈶北海道埋蔵文化財センター　2008　『千歳市 キウス９遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報252
㈶北海道埋蔵文化財センター　2008　『千歳市 梅川４遺跡（１）』
一般国道337号千歳市新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報253
㈶北海道埋蔵文化財センター　2010　『千歳市 オルイカ２遺跡（３）』
一般国道337号千歳市新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報267
㈶北海道埋蔵文化財センター　2010　『千歳市 アンカリトー７遺跡・アンカリトー９遺跡』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報268
㈶北海道埋蔵文化財センター　2010　『千歳市 梅川４遺跡（２）』
一般国道337号新千歳空港関連工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報269

「道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査」関連

㈶北海道埋蔵文化財センター　2011　『千歳市 キウス５遺跡（９）』
道央圏連絡道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報284
㈶北海道埋蔵文化財センター　2012　『千歳市 祝梅川小野遺跡（１）　梅川１遺跡（１）』
道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報285

その他

㈶北海道埋蔵文化財センター　1986　『美沢川流域の遺跡群Ⅸ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報24
㈶北海道埋蔵文化財センター　1986　『ユオイチャシ跡　ポロモイチャシ跡　二風谷遺跡』
沙流川総合開発事業（二風谷ダム建設用地内）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報26
㈶北海道埋蔵文化財センター　1988　『新千歳空港用地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
「美沢川流域の遺跡群ⅩⅠ」　北埋調報44
㈶北海道埋蔵文化財センター　1990　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅢ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報62
㈶北海道埋蔵文化財センター　1991　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅣ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報69
㈶北海道埋蔵文化財センター　1992　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅤ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報77
㈶北海道埋蔵文化財センター　1993　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅥ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報83
㈶北海道埋蔵文化財センター　1994　『千歳市　ユカンボシＣ２遺跡』
長都地区道営畑地帯総合土地改良事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報86
㈶北海道埋蔵文化財センター　1994　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅦ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報89
㈶北海道埋蔵文化財センター　1996　『千歳市　オサツトー１遺跡・キウス７遺跡』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報90
㈶北海道埋蔵文化財センター　1995　『千歳市　オサツ２遺跡（１）・オサツ14遺跡』
都地区道営畑地帯総合土地改良事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報96
㈶北海道埋蔵文化財センター　1996　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅧ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報102
㈶北海道埋蔵文化財センター　1996　『千歳市　キウス７遺跡（３）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報105
㈶北海道埋蔵文化財センター　1997　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅩ』
新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報114
㈶北海道埋蔵文化財センター　1997　『千歳市　キウス５遺跡（３）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報115
㈶北海道埋蔵文化財センター　1998　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（１）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報128
㈶北海道埋蔵文化財センター　1999　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（２）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報133
㈶北海道埋蔵文化財センター　2000　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（３）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報146
㈶北海道埋蔵文化財センター　2001　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（４）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報159
㈶北海道埋蔵文化財センター　2002　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（５）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報176
㈶北海道埋蔵文化財センター　2003　『千歳市　ユカンボシＣ15遺跡（６）』
北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書　北埋調報192

報告書抄録

ふりがな	ちとせし　しゅくばいがわうえだ　いせき（2）
書名	千歳市　祝梅川上田遺跡（2）
副書名	道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書　（北埋調報）
シリーズ番号	第300集
編著者名	三浦正人・越田雅司・愛場和人・末光正卓・広田良成
編集機関	公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター
所在地	〒069-0832　北海道江別市西野幌685番地1　℡011-386-3231
発行年月日	西暦2013年3月29日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
祝梅川上田遺跡	北海道 千歳市 祝梅 614ほか	1224	A－03 －50	5700 (M－25杭) 42° 50′ 27.1″	141° 41′ 37.5″	20080507 ～ 20081031	9,910㎡	道央圏連絡道路 工事に伴う 事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
祝梅川上田遺跡	集落跡	アイヌ文化期	平地住居跡　建物跡 墓坑　土坑　灰集中　焼土 柱穴・杭穴　畑跡　遺物集中	刀・小刀・刀子・鎌・鍬先・鉞・マレク・ヤス・鉤・針・小札・銙留板物甲・銅銭 銅製装具・小柄 炭化木製品・ガラス玉・陶磁器・錘石	擦文文化期 後半 ～ アイヌ文化期 集落跡
		擦文文化期	竪穴住居跡	擦文土器　鉄鍋	
		縄文時代	Tピット・焼土・遺物集中	縄文土器	
	散布地	後期旧石器時代	旧石器ブロック	湧別技法札滑型の細石刃核 細石刃・掻器・彫器	

要約

祝梅川上田遺跡は石狩低地帯東辺の馬追（まおい）丘陵の裾部を北流する祝梅川の右岸の段丘に立地する。

平成18（2006）年度に遺跡の南側を調査し『千歳市　祝梅川上田遺跡・梅川２遺跡』（北埋調報238）を刊行している。

当報告は平成20（2008）年度調査分の報告である。

本遺跡は擦文文化期後期～アイヌ文化期（10世紀後半～15世紀後半）の集落跡で、竪穴住居跡、平地住居跡、建物跡、墓坑、灰集中、焼土、畑跡、礫集中、柱穴・杭穴、カワシンジュガイの集中等を調査した。

遺物は鉄鍋・工具・農具・漁獲具・鉤・針・小札・銙留板物甲・銅銭・小柄等の金属製品や、炭化木製品、ガラス玉・錘石・擦文文化期後期の土器等が出土した。これらに伴う自然遺物も多数出土した。

また、墓坑には同安窯系の陶磁器、漆椀・小刀が副葬されていた。

少数であるが、縄文時代早期・前期・中期・晩期・続縄文時代の遺構・遺物も検出した。旧石器ブロックも調査し、湧別技法札滑型の細石刃核、細石刃、掻器、彫器が出土した。

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第300集

千歳市　祝梅川上田遺跡（２）

－　道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書　－

平成25(2013)年３月29日

編集・発行　公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832　北海道江別市西野幌685番地１
TEL 011(386)3231　FAX 011(386)3238
［URL］　http : //www.domaibun.or.jp/
［E-mail］mail@domaibun.or.jp

印　　刷　三浦印刷株式会社
〒064-0809　札幌市中央区南９条西６丁目
TEL(011)511-6191　FAX(011)512-6041
［E-mail］miura@jeans.ocn.ne.jp